注３ **大学番号：私250**

届出

［平成27年度設置］

計画の区分： 学部の学科の設置

注１

関西学院大学　理工学部　先進エネルギーナノ工学科、環境・応用化学科、生命医化学科

注２

【届出】設置に係る設置計画履行状況報告書

学校法人関西学院
平成３０年５月１日現在

作成担当者

総合企画部

次　長　　金本（カネモト）　琢磨（タクマ）
今村（イマムラ）　奈々（ナナ）

電話番号　0798-54-6026（直　通）

（夜間）　0798-54-6026（直　通）

ＦＡＸ　0798-54-6030

ｅ－mail　kikaku@kwansei.ac.jp

（注）１　「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。

２　大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院　・・・」と記入してください。
設置時から対象学部等の名称変更があった場合には，表題には設置時の旧名称を記載し，その下欄に（　　）書きにて，現在の名称を記載してください。
例）　〇〇大学　△△学部　□□学科
（◇◇学部（平成◇◇年度より学科名称変更））
表題は「計画の区分」に従い、記入してください。
例）
・学部の設置の場合：「〇〇大学　△△学部」
・学部の学科の設置の場合：「〇〇大学　△△学部　□□学科」
・短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学　△△学科」
・大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院　〇〇研究科」
・通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学　△△学部　□□学科（通信教育課程）」

３　大学番号の欄については，平成２９年３月３１日付事務連絡「大学等の設置に係る設置計画履行状況報告書等の提出について（依頼）」の別紙に記載のある大学番号を記載してください。

目次

理工学部

＜先進エネルギーナノ工学科＞　ページ

１．調査対象大学等の概要等　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　１

２．授業科目の概要　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　５

３．施設・設備の整備状況、経費　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　１３

４．ＡＣ対象学部等を含む大学等の状況　・・・・・・・・・・・・・・・・・・　１５

５．教員組織の状況　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　２１

６．留意事項等に対する履行状況等　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　４１

７．その他全般的事項　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　４３

＜環境・応用化学科＞　ページ

１．調査対象大学等の概要等　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　４７

２．授業科目の概要　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　５１

３．施設・設備の整備状況、経費　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　５９

４．ＡＣ対象学部等を含む大学等の状況　・・・・・・・・・・・・・・・・・・　６１

５．教員組織の状況　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　６７

６．留意事項等に対する履行状況等　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　８５

７．その他全般的事項　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　８７

＜生命医化学科＞　ページ

１．調査対象大学等の概要等　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　９１

２．授業科目の概要　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　９５

３．施設・設備の整備状況、経費　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　１０３

４．ＡＣ対象学部等を含む大学等の状況　・・・・・・・・・・・・・・・・・・　１０５

５．教員組織の状況　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　１１１

６．留意事項等に対する履行状況等　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　１３３

７．その他全般的事項　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　１３５

1　調査対象大学等の概要等

（1）設　置　者

学校法人関西学院

（2）大　学　名

関西学院大学

（3）大学の位置

〒669－1337
兵庫県三田市学園2丁目1番地
〒662－0891
兵庫県西宮市上ケ原一番町1番155号

・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には，複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

（4）管理運営組織

職　　名	設　　置　　時	変　更　状　況	備　　考
理 事 長	（ ミヤハラ　アキラ ） 宮原　明 （平成27年4月）		
学　　長	（ ムラタ　オサム ） 村田　治 （平成27年4月）		
学 部 長	（ カトウ　サトル ） 加藤　知 （平成27年4月）	（ ミズキ　ジュンイチロウ ） 水木　純一郎 （平成29年4月）	任期満了のため平成29年4月1日より変更(29)
学科長等	―		

（注）・「変更状況」は，変更があった場合に記入し，併せて「備考」に変更の理由と変更年月日，報告年度を（　）書きで記入してください。
（例）平成２９年度に報告済の内容　→（29）
平成３０年度に報告する内容　→（30）
・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば，「変更状況」に赤字にて記載（昨年度までに報告された記載があれば，そこに赤字で見え消し修正）するとともに，上記と同様に，「備考」に変更理由等を記入してください。
・大学院の場合には，「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は，各職に相当する職名の方を記載してください。

（５）　調査対象学部等の名称，定員，入学者の状況等

（注）・　当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等，定員を定めている組織ごとに記入してください（入試区分ごとではありません）。
・　なお，課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は，法令上規定されている最小単位（大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」でも記載してください。その場合適宜各項目の表を追加してください。
・　様式は，平成２７年度開設の４年制の学科の場合（平成３０年度までの４年間）ですが，開設年度・修業年限に合わせて作成してください。（修業年限が３年以下の場合には欄を削除し，５年以上の場合には，欄を設けてください。）

（５）－①　調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の名称（学位）	学位又は学科の分野	設置時の計画				備　考
		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	
理工学部 先進エネルギー ナノ工学科 学士（工学）	工学関係	年 4	人 80	年次 人 —	人 320	

（注）・　定員を変更した場合は，「備考」に変更前の人数，変更年月及び報告年度を（　）書きで記入してください。
・　学生募集停止を予定している場合は、「備考」にその旨記載してください。
・　「学位又は学科の分野」には、「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要（別記様式第２号（その２の１））」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。

（５）－②　調査対象学部等の入学者の状況

区分＼対象年度	平成２７年度		平成２８年度		平成２９年度		平成３０年度		平均入学定員超過率	備　考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期		
Ａ　入学定員	人 80 （　－　） ［　－　］	人	人 80 （　－　） ［　－　］	人	人 80 （　－　） ［　－　］	人	人 80 （　－　） ［　－　］	人	0.87倍	
志願者数	629 （－） ［－］	－ （－） ［－］	514 （－） ［4］	－ （－） ［－］	600 （－） ［6］	－ （－） ［－］	566 （－） ［9］	（　） ［　］		
受験者数	608 （－） ［－］	－ （－） ［－］	501 （－） ［4］	－ （－） ［－］	588 （－） ［6］	－ （－） ［－］	553 （－） ［9］	（　） ［　］		
合格者数	321 （－） ［－］	－ （－） ［－］	341 （－） ［3］	－ （－） ［－］	288 （－） ［1］	－ （－） ［－］	258 （－） ［1］	（　） ［　］		
Ｂ　入学者数	55 （－） ［－］	－ （－） ［－］	99 （－） ［2］	－ （－） ［－］	73 （－） ［1］	－ （－） ［－］	54 （－） ［0］	（　） ［　］		
入学定員超過率 Ｂ／Ａ	0.68		1.23		0.91		0.67			

（注）・　数字は，平成３０年５月１日現在の数字を記入してください。
・　（　）内には，編入学の状況について**外数で**記入してください。なお，編入学を複数年次で行っている場合には，((　))書きとするなどし，その旨を「備考」に付記してください。 該当がない年には「－」を記入してください。
・　［　］内には，留学生の状況について**内数で**記入してください。該当がない年には「－」を記入してください。
・　留学生については，「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により，我が国の大学（大学院を含む。），短期大学，高等専門学校，専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
・　短期交換留学生など，定員内に含めていない学生については記入しないでください。
・　転入学生は記入しないでください。
・　学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「－」を記入してください。また，その他の学期に入学定員を設けている場合は，備考欄にその人数を記入してください。
・　「入学定員超過率」については，**各年度の春季入学とその他を合計した入学定員，入学者数で算出**してください。なお，計算の際は小数点以下第３位を切り捨て，小数点以下第２位まで記入してください。
・　「平均入学定員超過率」には，開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお，計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。

（５）－③　調査対象学部等の在学者の状況

学年＼対象年度	平成２７年度		平成２８年度		平成２９年度		平成３０年度		備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
１年次	55 [－] (－)	－ [－] (－)	99 [2] (－)	－ [－] (－)	73 [1] (－)	－ [－] (－)	54 [0] (－)	[　　] (　　)	平成28年9月 1年次1人退学（29） 平成29年3月 2年次1人退学（29）
２年次			55 [－] (－)	－ [－] (－)	98 [2] (－)	－ [－] (－)	73 [1] (－)	[　　] (　　)	
３年次					54 [－] (－)	－ [－] (－)	98 [2] (－)	[　　] (　　)	
４年次							54 [－] (－)	[　　] (　　)	
計	55 [－] (－)		154 [2] (－)		225 [3] (－)		279 [3] (－)		

（注）・　数字は，平成３０年５月１日現在の数字を記入してください。
・　[　　]内には，留学生の状況について**内数で**記入してください。該当がない年には「－」を記入してください。
・　留学生については，「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により，我が国の大学（大学院を含む。），短期大学，高等専門学校，専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
・　短期交換留学生など，定員内に含めていない学生については記入しないでください。
・　編入学生や転入学生も含めて記入してください。その際，備考欄に人数の内訳を記入してください。
・　学期の区分に従い学生を入学させる場合は，春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は，その他の学期欄は「－」を記入してください。また，その他の学期に入学定員を設けている場合は，備考欄にその人数を記入してください。
・　「計」については，**各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数，留学生数**を記入してください。
・（　）内には，留年者の状況について，内数で記入してください。該当がない年には「－」を記入してください。

（５）－④　調査対象学部等の退学者等の状況

区分 / 対象年度	在学者数(b)	退学者数(a)	内訳 入学した年度	内訳 退学者数	内訳 退学者数のうち留学生数	主な退学理由
平成27年度	55 人	0 人	平成27年度	0 人	0 人	
平成28年度	154 人	2 人	平成27年度	1 人	0 人	他学部に3年次編入（1人）
			平成28年度	1 人	0 人	その他（1人）
平成29年度	225 人	0 人	平成27年度	0 人	0 人	
			平成28年度	0 人	0 人	
			平成29年度	0 人	0 人	
平成30年度	279 人	0 人	平成27年度	0 人	0 人	
			平成28年度	0 人	0 人	
			平成29年度	0 人	0 人	
			平成30年度	0 人	0 人	
合　計	713 人	2 人				

（注）・ 数字は，平成30年5月1日現在の数字を記入してください。
・ 各年度の在学者数については，該当年度に在学した人数を記入してください。（途中で退学者がいた場合でも、その退学者数を減らす必要はありません。）
・ 内訳については，退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
・ 在学者数や退学者数には編入学生や転入学生も含めて記入してください。
・ 留学生については，「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により，我が国の大学（大学院を含む。），短期大学，高等専門学校，専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記入してください。
・ 短期交換留学生など，定員内に含めていない学生については記入しないでください。
・「主な退学理由」は，下の項目を参考に記入してください。その際，「就学意欲の低下（〇人）」というように，その人数も含めて記入してください。
（記入項目例）・就学意欲の低下　・学力不足　・他の教育機関への入学・転学　・海外留学
・就職　・学生個人の心身に関する事情　・家庭の事情　・除籍　・その他

（５）－⑤　調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【平成27年度】

$$\frac{\text{平成27年度の退学者数(a)}}{\text{平成27年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{55} = 0.00\ \%$$

【平成28年度】

$$\frac{\text{平成28年度の退学者数(a)}}{\text{平成28年度の在学者数(b)}} = \frac{2}{154} = 1.29\ \%$$

【平成29年度】

$$\frac{\text{平成29年度の退学者数(a)}}{\text{平成29年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{225} = 0.00\ \%$$

【平成30年度】

$$\frac{\text{平成30年度の退学者数(a)}}{\text{平成30年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{279} = 0.00\ \%$$

（注）・　小数点以下第３位を切り捨て，小数点以下第２位まで表示されます。

２　授業科目の概要

＜理工学部　先進エネルギーナノ工学科＞

（１）ー① 授業科目表

【認可時又は届出時】

科目区分		授業科目の名称	配当年次	単位数 必修	単位数 選択	単位数 自由	専任教員等の配置 教授	専任教員等の配置 准教授	専任教員等の配置 講師	専任教員等の配置 助教	専任教員等の配置 助手	兼任・兼担
総合教育科目	キリスト教科目	キリスト教学Ａ	1前	2								1
		キリスト教学Ｂ	1後	2								1
	言語教育科目	英語リーディングＩＡ	1前	1								4
		英語リーディングＩＢ	1後	1								4
		英語ライティングＩＡ	1前	1								10
		英語ライティングＩＢ	1後	1								10
		英語コミュニケーションＩＡ	1前	1								10
		英語コミュニケーションＩＢ	1後	1								10
		英語リーディングⅡＡ	2前	1								10
		英語リーディングⅡＢ	2後	1								10
		英語ライティングⅡＡ	2前	1								10
		英語ライティングⅡＢ	2後	1								10
		英語コミュニケーションⅡＡ	2前	1								10
		英語コミュニケーションⅡＢ	2後	1								10
		ドイツ語読解Ⅰ	1前		1							1
		ドイツ語読解Ⅱ	1後		1							1
		フランス語読解Ⅰ	1前		1							1
		フランス語読解Ⅱ	1後		1							1
		ドイツ語文法Ⅰ	1前		1							1
		ドイツ語文法Ⅱ	1後		1							1
		フランス語文法Ⅰ	1前		1							1
		フランス語文法Ⅱ	1後		1							1
	教養教育科目	哲学	1前		2							1
		論理学	1前		2							1
		西洋史	1後		2							1
		心理学	1前		2							1
		社会学	1後		2							1
		法学	1前		2							1
		日本国憲法	1前		2							1
		経済学	1前		2							1
		自然科学史	1前		2							1
		科学倫理	1後		2							1
		環境学	1後		2							4
		サイバー社会入門	1前		2							1
		芸術と技術	1後		2							1
		地誌学	1前		2							1
専門教育科目	必修科目	先進エネルギーナノ工学入門	1前	2			6	2	1			
		ものづくり理工学実験Ⅰ	3前	3			2	2				
		ものづくり理工学実験Ⅱ	3後	3			3	1				
		外国書講読	4通	2			8	3	1			
		輪講	4通	2			8	3	1			
		卒業実験及び演習	4通	8			8	3	1			

【平成３０年度】

科目区分		授業科目の名称	配当年次	単位数 必修	単位数 選択	単位数 自由	専任教員等の配置 教授	専任教員等の配置 准教授	専任教員等の配置 講師	専任教員等の配置 助教	専任教員等の配置 助手	兼任・兼担
総合教育科目	キリスト教科目	キリスト教学Ａ	1前	2								1
		キリスト教学Ｂ	1後	2								1
	言語教育科目	英語リーディングＩＡ	1前	1								9
		英語リーディングＩＢ	1後	1								9
		英語ライティングＩＡ	1前	1								14
		英語ライティングＩＢ	1後	1								14
		英語コミュニケーションＩＡ	1前	1								9
		英語コミュニケーションＩＢ	1後	1								9
		英語リーディングⅡＡ	2前	1								9
		英語リーディングⅡＢ	2後	1								9
		英語ライティングⅡＡ	2前	1								13
		英語ライティングⅡＢ	2後	1								13
		英語コミュニケーションⅡＡ	2前	1								7
		英語コミュニケーションⅡＢ	2後	1								7
		ドイツ語読解Ⅰ	1前		1							1
		ドイツ語読解Ⅱ	1後		1							1
		フランス語読解Ⅰ	1前		1							1
		フランス語読解Ⅱ	1後		1							1
		ドイツ語文法Ⅰ	1前		1							1
		ドイツ語文法Ⅱ	1後		1							1
		フランス語文法Ⅰ	1前		1							1
		フランス語文法Ⅱ	1後		1							1
	教養教育科目	哲学	1前		2							1
		論理学	1前		2							1
		西洋史	1後		2							1
		心理学	1前		2							1
		社会学	1後		2							1
		法学	1前		2							1
		日本国憲法	1前		2							1
		経済学	1前		2							1
		自然科学史	1前		2							1
		科学倫理	1後		2							1
		環境学	1後		2							4
		サイバー社会入門	1前		2							1
		芸術と技術	1後		2							1
		地誌学	1前		2							1
専門教育科目	必修科目	先進エネルギーナノ工学入門	1前	2			7	3	1			
		ものづくり理工学実験Ⅰ	3前	3			5	3	1			2
		ものづくり理工学実験Ⅱ	3後	3			5	3	1			1
		外国書講読	4通	2			8	3	1			
		輪講	4通	2			8	3	1			
		卒業実験及び演習	4通	8			8	3	1			

科目区分		授業科目の名称	配当年次	単位数 必修	単位数 選択	単位数 自由	専任教員等の配置 教授	専任教員等の配置 准教授	専任教員等の配置 講師	専任教員等の配置 助教	専任教員等の配置 助手	兼任・兼担
専門教育科目	基礎科目	線形代数学Ⅰ	1前		2							1
		微積分学Ⅰ	1前		2							1
		力学Ⅰ	1後		2		1					
		力学Ⅱ	2前		2		1					
		物理数学Ⅰ	2前		2		1					
		物理数学Ⅱ	2後		2		1					
		物理数学Ⅲ	3前		2		1					
		電磁気学Ⅰ	2前		2				1			
		電磁気学Ⅱ	2後		2			1				
		電磁気学演習Ⅰ	2前		2				1			
		電磁気学演習Ⅱ	2後		2			1				
		構造物性学	3前		2			1				
		固体電子論	3前		2		1					
	実験科目	基礎化学実験Ⅰ	1後		2							14
		基礎物理学実験Ⅰ	2前		2		2	1				
		基礎物理学実験Ⅱ	2後		2		1		1			
	発展科目	ナノケミストリーⅠ	1後		2			1				
		ナノケミストリーⅡ	2前		2		1					
		ナノケミストリーⅢ	3前		2		1					
		エネルギー材料熱力学	2後		2			1				
		エネルギー材料熱力学演習	2後		2			1				
		ナノ物性量子力学Ⅰ	2後		2		1					
		ナノ物性量子力学Ⅱ	3前		2		1					
		ナノ物性量子力学演習Ⅰ	2後		2		1					
		ナノ物性量子力学演習Ⅱ	3前		2		1					
		統計熱力学	3前		2			1				
	先端科目	物質設計ナノ工学	3後		2		1					
		プロセス設計ナノ工学	3後		2			1				
		エネルギー変換と電気化学	3後		2		1					
		エネルギー電気・電子回路工学	3後		2		1					
		エネルギー半導体工学	3後		2		1					
		極限環境プロセッシング	4前		2		1					
		ナノスケール分析科学	4前		2		1					
		先進エネルギーナノ工学詳論	4前		2		8	3	1			3
	境界領域科目	物理学序論	1前		2							1
		基礎化学Ａ	1前		2							1
		基礎化学Ｂ	1後		2							1
		基礎化学Ｃ	1後		2							1
		線形代数学Ⅱ	1後		2							1
		線形代数学Ⅲ	2前		2							1
		微積分学Ⅱ	1後		2							1
		デモンストレーション物理学Ⅰ	1後		2							1
		デモンストレーション物理学Ⅱ	2前		2							1
	自由選択科目	生命科学入門実験	1前		2							8
		生命科学Ⅰ	1前		2							1
		生命科学Ⅱ	1後		2							1
		環境政策論	2前		2							1
		基礎地学Ⅰ	2前		2							2
		基礎地学Ⅱ	2後		2							2
		コンピュータ演習Ａ	2後		2							1
		コンピュータ演習Ｂ	3前		2							1
		環境経済学	2後		2							1
		地学実験Ａ	3前		1							2
		科学技術英語Ａ	3前		2							4
		科学技術英語Ｂ	3後		2							4
		千刈集中英語実習	3前		2							1
		量子力学Ⅲ	3後		2							1

科目区分		授業科目の名称	配当年次	単位数 必修	単位数 選択	単位数 自由	専任教員等の配置 教授	専任教員等の配置 准教授	専任教員等の配置 講師	専任教員等の配置 助教	専任教員等の配置 助手	兼任・兼担
専門教育科目	基礎科目	線形代数学Ⅰ	1前		2							1
		微積分学Ⅰ	1前		2							1
		力学Ⅰ	1後		2		1					
		力学Ⅱ	2前		2		1					
		物理数学Ⅰ	2前		2		1					
		物理数学Ⅱ	2後		2		1					
		物理数学Ⅲ	3前		2		1					
		電磁気学Ⅰ	2前		2				1			
		電磁気学Ⅱ	2後		2			1				
		電磁気学演習Ⅰ	2前		2				1			
		電磁気学演習Ⅱ	2後		2			1				
		構造物性学	3前		2			1				
		固体電子論	3前		2		1					
	実験科目	基礎化学実験Ⅰ	1後		2							14
		基礎物理学実験Ⅰ	2前		2		2	1				
		基礎物理学実験Ⅱ	2後		2		1		1			
	発展科目	ナノケミストリーⅠ	1後		2			1				
		ナノケミストリーⅡ	2前		2		1					
		ナノケミストリーⅢ	3前		2		1					
		エネルギー材料熱力学	2後		2			1				
		エネルギー材料熱力学演習	2後		2			1				
		ナノ物性量子力学Ⅰ	2後		2		1					
		ナノ物性量子力学Ⅱ	3前		2		1					
		ナノ物性量子力学演習Ⅰ	2後		2		1					
		ナノ物性量子力学演習Ⅱ	3前		2		1					
		統計熱力学	3前		2			1				
	先端科目	物質設計ナノ工学	3後		2		1					
		プロセス設計ナノ工学	3後		2			1				
		エネルギー変換と電気化学	3後		2		1					
		エネルギー電気・電子回路工学	3後		2		1					
		エネルギー半導体工学	3後		2		1					
		極限環境プロセッシング	4前		2		1					
		ナノスケール分析科学	4前		2		1					
		先進エネルギーナノ工学詳論	4前		2		8	3	1			
	境界領域科目	物理学序論	1前		2							1
		基礎化学Ａ	1前		2							1
		基礎化学Ｂ	1後		2							1
		基礎化学Ｃ	1前・後		2							1
		線形代数学Ⅱ	1後		2							1
		線形代数学Ⅲ	2前		2							1
		微積分学Ⅱ	1後		2							1
		デモンストレーション物理学Ⅰ	1後		2							1
		デモンストレーション物理学Ⅱ	2前		2							1
	自由選択科目	生命科学入門実験	1前		2							8
		生命科学Ⅰ	1前		2							1
		生命科学Ⅱ	1後		2							1
		環境政策論	2前		2							1
		基礎地学Ⅰ	2前		2							2
		基礎地学Ⅱ	2後		2							2
		コンピュータ演習Ａ	1前・後		2							3
		コンピュータ演習Ｂ	3前		2							1
		環境経済学	2後		2							1
		地学実験Ａ	3前		1							2
		科学技術英語Ａ	3前		2							5
		科学技術英語Ｂ	3後		2							6
		千刈集中英語実習	3前		2							11
		量子力学Ⅲ	3後		2							1

【平成２７年度】

科目区分		授業科目の名称	配当年次	単位数 必修	単位数 選択	単位数 自由	専任教員等の配置 教授	専任教員等の配置 准教授	専任教員等の配置 講師	専任教員等の配置 助教	専任教員等の配置 助手	兼任・兼担
総合教育科目	キリスト教科目	キリスト教学Ａ	1前	2								1
		キリスト教学Ｂ	1後	2								1
	言語教育科目	英語リーディングＩＡ	1前	1								7
		英語リーディングＩＢ	1後	1								7
		英語ライティングＩＡ	1前	1								8
		英語ライティングＩＢ	1後	1								8
		英語コミュニケーションＩＡ	1前	1								10
		英語コミュニケーションＩＢ	1後	1								10
		英語リーディングⅡＡ	2前	1								10
		英語リーディングⅡＢ	2後	1								10
		英語ライティングⅡＡ	2前	1								10
		英語ライティングⅡＢ	2後	1								10
		英語コミュニケーションⅡＡ	2前	1								10
		英語コミュニケーションⅡＢ	2後	1								10
		ドイツ語読解Ⅰ	1前		1							1
		ドイツ語読解Ⅱ	1後		1							1
		フランス語読解Ⅰ	1前		1							1
		フランス語読解Ⅱ	1後		1							1
		ドイツ語文法Ⅰ	1前		1							1
		ドイツ語文法Ⅱ	1後		1							1
		フランス語文法Ⅰ	1前		1							1
		フランス語文法Ⅱ	1後		1							1
	教養教育科目	哲学	1前		2							1
		論理学	1前		2							1
		西洋史	1後		2							1
		心理学	1前		2							1
		社会学	1後		2							1
		法学	1前		2							1
		日本国憲法	1前		2							1
		経済学	1前		2							1
		自然科学史	1前		2							1
		科学倫理	1後		2							1
		環境学	1後		2							4
		サイバー社会入門	1前		2							1
		芸術と技術	1後		2							2
		地誌学	1前		2							1
専門教育科目	必修科目	先進エネルギーナノ工学入門	1前	2			6	2	1			
		ものづくり理工学実験Ⅰ	3前	3			2	2				
		ものづくり理工学実験Ⅱ	3後	3			3	1				
		外国書講読	4通	2			8	3	1			
		輪講	4通	2			8	3	1			
		卒業実験及び演習	4通	8			8	3	1			
	基礎科目	線形代数学Ⅰ	1前		2							1
		微積分学Ⅰ	1前		2							1
		力学Ⅰ	1後		2		1					
		力学Ⅱ	2前		2		1					
		物理数学Ⅰ	2前		2		1					
		物理数学Ⅱ	2後		2		1					
		物理数学Ⅲ	3前		2		1					
		電磁気学Ⅰ	2前		2				1			
		電磁気学Ⅱ	2後		2			1				
		電磁気学演習Ⅰ	2前		2				1			
		電磁気学演習Ⅱ	2後		2			1				
		構造物性学	3前		2			1				
		固体電子論	3前		2		1					
	実験科目	基礎化学実験Ⅰ	1後		2							14
		基礎物理学実験Ⅰ	2前		2		2	1				
		基礎物理学実験Ⅱ	2後		2		1		1			

【平成２８年度】

科目区分		授業科目の名称	配当年次	単位数 必修	単位数 選択	単位数 自由	専任教員等の配置 教授	専任教員等の配置 准教授	専任教員等の配置 講師	専任教員等の配置 助教	専任教員等の配置 助手	兼任・兼担
総合教育科目	キリスト教科目	キリスト教学Ａ	1前	2								1
		キリスト教学Ｂ	1後	2								1
	言語教育科目	英語リーディングＩＡ	1前	1								10
		英語リーディングＩＢ	1後	1								10
		英語ライティングＩＡ	1前	1								11
		英語ライティングＩＢ	1後	1								11
		英語コミュニケーションＩＡ	1前	1								9
		英語コミュニケーションＩＢ	1後	1								9
		英語リーディングⅡＡ	2前	1								9
		英語リーディングⅡＢ	2後	1								9
		英語ライティングⅡＡ	2前	1								13
		英語ライティングⅡＢ	2後	1								13
		英語コミュニケーションⅡＡ	2前	1								8
		英語コミュニケーションⅡＢ	2後	1								8
		ドイツ語読解Ⅰ	1前		1							1
		ドイツ語読解Ⅱ	1後		1							1
		フランス語読解Ⅰ	1前		1							1
		フランス語読解Ⅱ	1後		1							1
		ドイツ語文法Ⅰ	1前		1							1
		ドイツ語文法Ⅱ	1後		1							1
		フランス語文法Ⅰ	1前		1							1
		フランス語文法Ⅱ	1後		1							1
	教養教育科目	哲学	1前		2							1
		論理学	1前		2							1
		西洋史	1後		2							1
		心理学	1前		2							1
		社会学	1後		2							1
		法学	1前		2							1
		日本国憲法	1前		2							1
		経済学	1前		2							1
		自然科学史	1前		2							1
		科学倫理	1後		2							1
		環境学	1後		2							4
		サイバー社会入門	1前		2							1
		芸術と技術	1後		2							1
		地誌学	1前		2							1
専門教育科目	必修科目	先進エネルギーナノ工学入門	1前	2			6	2	1			
		ものづくり理工学実験Ⅰ	3前	3			2	2				
		ものづくり理工学実験Ⅱ	3後	3			3	1				
		外国書講読	4通	2			8	3	1			
		輪講	4通	2			8	3	1			
		卒業実験及び演習	4通	8			8	3	1			
	基礎科目	線形代数学Ⅰ	1前		2							1
		微積分学Ⅰ	1前		2							1
		力学Ⅰ	1後		2		1					
		力学Ⅱ	2前		2		1					
		物理数学Ⅰ	2前		2		1					
		物理数学Ⅱ	2後		2		1					
		物理数学Ⅲ	3前		2		1					
		電磁気学Ⅰ	2前		2				1			
		電磁気学Ⅱ	2後		2			1				
		電磁気学演習Ⅰ	2前		2				1			
		電磁気学演習Ⅱ	2後		2			1				
		構造物性学	3前		2			1				
		固体電子論	3前		2		1					
	実験科目	基礎化学実験Ⅰ	1後		2							14
		基礎物理学実験Ⅰ	2前		2		1	1				
		基礎物理学実験Ⅱ	2後		2		1		1			

科目区分		授業科目の名称	配当年次	単位数 必修	単位数 選択	単位数 自由	専任教員等の配置 教授	専任教員等の配置 准教授	専任教員等の配置 講師	専任教員等の配置 助教	専任教員等の配置 助手	兼任・兼担
専門教育科目	発展科目	ナノケミストリーⅠ	1後		2			1				
		ナノケミストリーⅡ	2前		2		1					
		ナノケミストリーⅢ	3前		2		1					
		エネルギー材料熱力学	2後		2			1				
		エネルギー材料熱力学演習	2後		2			1				
		ナノ物性量子力学Ⅰ	2後		2		1					
		ナノ物性量子力学Ⅱ	3前		2		1					
		ナノ物性量子力学演習Ⅰ	2後		2		1					
		ナノ物性量子力学演習Ⅱ	3前		2		1					
		統計熱力学	3前		2			1				
	先端科目	物質設計ナノ工学	3後		2		1					
		プロセス設計ナノ工学	3後		2			1				
		エネルギー変換と電気化学	3後		2		1					
		エネルギー電気・電子回路工学	3後		2		1					
		エネルギー半導体工学	3後		2		1					
		極限環境プロセッシング	4前		2		1					
		ナノスケール分析科学	4前		2		1					
		先進エネルギーナノ工学詳論	4前		2		8	3	1			3
	境界領域科目	物理学序論	1前		2							1
		基礎化学Ａ	1前		2							1
		基礎化学Ｂ	1後		2							1
		基礎化学Ｃ	1後		2							1
		線形代数学Ⅱ	1後		2							1
		線形代数学Ⅲ	2前		2							1
		微積分学Ⅱ	1後		2							1
		デモンストレーション物理学Ⅰ	1後		2							1
		デモンストレーション物理学Ⅱ	2前		2							1
	自由選択科目	生命科学入門実験	1前		2							8
		生命科学Ⅰ	1前		2							1
		生命科学Ⅱ	1後		2							1
		環境政策論	2前		2							1
		基礎地学Ⅰ	2前		2							2
		基礎地学Ⅱ	2後		2							2
		コンピュータ演習Ａ	2後		2							1
		コンピュータ演習Ｂ	3前		2							1
		環境経済学	2後		2							1
		地学実験Ａ	3前		1							2
		科学技術英語Ａ	3前		2							4
		科学技術英語Ｂ	3後		2							4
		千刈集中英語実習	3前		2							1
		量子力学Ⅲ	3後		2							1

科目区分		授業科目の名称	配当年次	単位数 必修	単位数 選択	単位数 自由	専任教員等の配置 教授	専任教員等の配置 准教授	専任教員等の配置 講師	専任教員等の配置 助教	専任教員等の配置 助手	兼任・兼担
専門教育科目	発展科目	ナノケミストリーⅠ	1後		2			1				
		ナノケミストリーⅡ	2前		2		1					
		ナノケミストリーⅢ	3前		2		1					
		エネルギー材料熱力学	2後		2			1				
		エネルギー材料熱力学演習	2後		2			1				
		ナノ物性量子力学Ⅰ	2後		2		1					
		ナノ物性量子力学Ⅱ	3前		2		1					
		ナノ物性量子力学演習Ⅰ	2後		2		1					
		ナノ物性量子力学演習Ⅱ	3前		2		1					
		統計熱力学	3前		2			1				
	先端科目	物質設計ナノ工学	3後		2		1					
		プロセス設計ナノ工学	3後		2			1				
		エネルギー変換と電気化学	3後		2		1					
		エネルギー電気・電子回路工学	3後		2		1					
		エネルギー半導体工学	3後		2		1					
		極限環境プロセッシング	4前		2		1					
		ナノスケール分析科学	4前		2		1					
		先進エネルギーナノ工学詳論	4前		2		8	3	1			3
	境界領域科目	物理学序論	1前		2							1
		基礎化学Ａ	1前		2							1
		基礎化学Ｂ	1後		2							1
		基礎化学Ｃ	1後		2							1
		線形代数学Ⅱ	1後		2							1
		線形代数学Ⅲ	2前		2							1
		微積分学Ⅱ	1後		2							1
		デモンストレーション物理学Ⅰ	1後		2							1
		デモンストレーション物理学Ⅱ	2前		2							1
	自由選択科目	生命科学入門実験	1前		2							8
		生命科学Ⅰ	1前		2							1
		生命科学Ⅱ	1後		2							1
		環境政策論	2前		2							1
		基礎地学Ⅰ	2前		2							2
		基礎地学Ⅱ	2後		2							2
		コンピュータ演習Ａ	2後		2							2
		コンピュータ演習Ｂ	3前		2							1
		環境経済学	2後		2							1
		地学実験Ａ	3前		1							2
		科学技術英語Ａ	3前		2							4
		科学技術英語Ｂ	3後		2							4
		千刈集中英語実習	3前		2							1
		量子力学Ⅲ	3後		2							1

【平成２９年度】

科目区分		授業科目の名称	配当年次	単位数 必修	単位数 選択	単位数 自由	専任教員等の配置 教授	専任教員等の配置 准教授	専任教員等の配置 講師	専任教員等の配置 助教	専任教員等の配置 助手	兼任・兼担
総合教育科目	キリスト教科目	キリスト教学Ａ	1前	2								1
		キリスト教学Ｂ	1後	2								1
	言語教育科目	英語リーディングＩＡ	1前	1								9
		英語リーディングＩＢ	1後	1								9
		英語ライティングＩＡ	1前	1								14
		英語ライティングＩＢ	1後	1								14
		英語コミュニケーションＩＡ	1前	1								9
		英語コミュニケーションＩＢ	1後	1								9
		英語リーディングⅡＡ	2前	1								9
		英語リーディングⅡＢ	2後	1								9
		英語ライティングⅡＡ	2前	1								13
		英語ライティングⅡＢ	2後	1								13
		英語コミュニケーションⅡＡ	2前	1								7
		英語コミュニケーションⅡＢ	2後	1								7
		ドイツ語読解Ⅰ	1前		1							1
		ドイツ語読解Ⅱ	1後		1							1
		フランス語読解Ⅰ	1前		1							1
		フランス語読解Ⅱ	1後		1							1
		ドイツ語文法Ⅰ	1前		1							1
		ドイツ語文法Ⅱ	1後		1							1
		フランス語文法Ⅰ	1前		1							1
		フランス語文法Ⅱ	1後		1							1
	教養教育科目	哲学	1前		2							1
		論理学	1前		2							1
		西洋史	1後		2							1
		心理学	1前		2							1
		社会学	1後		2							1
		法学	1前		2							1
		日本国憲法	1前		2							1
		経済学	1前		2							1
		自然科学史	1前		2							1
		科学倫理	1後		2							1
		環境学	1後		2							4
		サイバー社会入門	1前		2							1
		芸術と技術	1後		2							1
		地誌学	1前		2							1
専門教育科目	必修科目	先進エネルギーナノ工学入門	1前	2			7	3	1			
		ものづくり理工学実験Ⅰ	3前	3			2	3				1
		ものづくり理工学実験Ⅱ	3後	3			4	1	1			1
		外国書講読	4通	2			8	3	1			
		輪講	4通	2			8	3	1			
		卒業実験及び演習	4通	8			8	3	1			
	基礎科目	線形代数学Ⅰ	1前		2							1
		微積分学Ⅰ	1前		2							1
		力学Ⅰ	1後		2		1					
		力学Ⅱ	2前		2		1					
		物理数学Ⅰ	2前		2		1					
		物理数学Ⅱ	2後		2		1					
		物理数学Ⅲ	3前		2		1					
		電磁気学Ⅰ	2前		2				1			
		電磁気学Ⅱ	2後		2			1				
		電磁気学演習Ⅰ	2前		2				1			
		電磁気学演習Ⅱ	2後		2			1				
		構造物性学	3前		2			1				
		固体電子論	3前		2		1					
	実験科目	基礎化学実験Ⅰ	1後		2							14
		基礎物理学実験Ⅰ	2前		2		1	1				
		基礎物理学実験Ⅱ	2後		2		1		1			

科目区分		授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担
				必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
専門教育科目	発展科目	ナノケミストリーⅠ	1後		2			1				
		ナノケミストリーⅡ	2前		2		1					
		ナノケミストリーⅢ	3前		2		1					
		エネルギー材料熱力学	2後		2			1				
		エネルギー材料熱力学演習	2後		2			1				
		ナノ物性量子力学Ⅰ	2後		2		1					
		ナノ物性量子力学Ⅱ	3前		2		1					
		ナノ物性量子力学演習Ⅰ	2後		2		1					
		ナノ物性量子力学演習Ⅱ	3前		2		1					
		統計熱力学	3前		2			1				
	先端科目	物質設計ナノ工学	3後		2		1					
		プロセス設計ナノ工学	3後		2			1				
		エネルギー変換と電気化学	3後		2		1					
		エネルギー電気・電子回路工学	3後		2		1					
		エネルギー半導体工学	3後		2		1					
		極限環境プロセッシング	4前		2		1					
		ナノスケール分析科学	4前		2		1					
		先進エネルギーナノ工学詳論	4前		2		8	3	1			3
	境界領域科目	物理学序論	1前		2							2
		基礎化学Ａ	1前		2							1
		基礎化学Ｂ	1後		2							1
		基礎化学Ｃ	1後		2							1
		線形代数学Ⅱ	1後		2							1
		線形代数学Ⅲ	2前		2							1
		微積分学Ⅱ	1後		2							1
		デモンストレーション物理学Ⅰ	1後		2							1
		デモンストレーション物理学Ⅱ	2前		2							1
	自由選択科目	生命科学入門実験	1前		2							8
		生命科学Ⅰ	1前		2							1
		生命科学Ⅱ	1後		2							1
		環境政策論	2前		2							1
		基礎地学Ⅰ	2前		2							2
		基礎地学Ⅱ	2後		2							2
		コンピュータ演習Ａ	1後		2							1
		コンピュータ演習Ｂ	3前		2							1
		環境経済学	2後		2							1
		地学実験Ａ	3前		1							2
		科学技術英語Ａ	3前		2							6
		科学技術英語Ｂ	3後		2							6
		千刈集中英語実習	3前		2							12
		量子力学Ⅲ	3後		2							1

（注）・　認可申請書又は設置届出書の様式第２号（その２の１）に準じて作成してください。
・　設置認可時又は届出時の授業科目全て（兼任，兼担教員が担当する科目を含む。）を黒字で記載してください。
その上で，認可時又は届出時から変更となっている箇所は太字の赤字としてください。
・　履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても記入してください。
・　１ページ目には認可時又は届出時と平成３０年度の表を記入してください。
・　不要な年度（平成２８年度開設であれば平成２７年度、平成２９年度開設であれば平成２７年度及び平成２８年度、平成３０年度開設であれば平成２７年度から平成２９年度）の表は適宜削除し，詰めてください。
（２つの表が１ページに表示されるようにしてください。）

（１）ー②授業科目表に関する変更内容

【平成２７年度】

・クラス数及び担当教員の編成を見直したことにより、「英語リーディングＩＡ」、「英語リーディングＩＢ」の兼任・兼担を「４」から「７」に変更。
・クラス数及び担当教員の編成を見直したことにより、「英語ライティングＩＡ」、「英語ライティングＩＢ」の兼任・兼担を「１０」から「８」に変更。
・授業形態を変更したことにより、「芸術と技術」の兼任・兼担を「１」から「２」に変更。

【平成２８年度】

・クラス数及び担当教員の編成を見直したことにより、「英語リーディングＩＡ」、「英語リーディングＩＢ」の兼任・兼担を「７」から「１０」に変更。
・クラス数及び担当教員の編成を見直したことにより、「英語ライティングＩＡ」、「英語ライティングＩＢ」の兼任・兼担を「８」から「１１」に変更。
・クラス数及び担当教員の編成を見直したことにより、「英語コミュニケーションＩＡ」、「英語コミュニケーションＩＢ」、「英語リーディングⅡＡ」、「英語リーディングⅡＢ」の兼任・兼担を「１０」から「９」に変更。
・クラス数及び担当教員の編成を見直したことにより、「英語ライティングⅡＡ」、「英語ライティングⅡＢ」の兼任・兼担を「１０」から「１３」に変更。
・クラス数及び担当教員の編成を見直したことにより、「英語コミュニケーションⅡＡ」、「英語コミュニケーションⅡＢ」の兼任・兼担を　「１０」から「８」に変更。
・授業形態を変更したことにより、「芸術と技術」の兼任・兼担を「２」から「１」に変更。
・担当教員の編成を見直したことにより、「基礎物理学実験Ｉ」の専任教員等の配置を「教授２」から「教授１」に変更。
・担当教員の編成を見直したことにより、「コンピュータ演習Ａ」の兼任・兼担を「１」から「２」に変更。

【平成２９年度】

・クラス数及び担当教員の編成を見直したことにより、「英語リーディングＩＡ」、「英語リーディングＩＢ」の兼任・兼担を「１０」から「９」に変更。
・クラス数及び担当教員の編成を見直したことにより、「英語ライティングＩＡ」、「英語ライティングＩＢ」の兼任・兼担を「１１」から「１４」に変更。
・クラス数及び担当教員の編成を見直したことにより、「英語コミュニケーションⅡＡ」、「英語コミュニケーションⅡＢ」の兼任・兼担を「８」から「７」に変更。
・担当教員の編成を見直したことにより、「先進エネルギーナノ工学入門」の専任教員等の配置を「教授６」から「教授７」に、「准教授２」から「准教授３」に変更。
・担当教員の編成を見直したことにより、「ものづくり理工学実験Ｉ」の専任教員等の配置を「准教授２」から「准教授３」に、兼任・兼担を「０」から「１」に変更。
・担当教員の編成を見直したことにより、「ものづくり理工学実験Ⅱ」の専任教員等の配置を「教授３」から「教授４」、「講師０」から「講師１」に、兼任・兼担を「０」から「１」に変更。
・担当教員の編成を見直したことにより、「物理学序論」の兼任・兼担を「１」から「２」に変更。
・担当教員の編成を見直したことにより、「コンピュータ演習Ａ」の兼任・兼担等の配置を「兼２」から「兼１」に変更、配当年次も「２年次」から「１年次」に変更。
・担当教員の編成を見直したことにより、「科学技術英語Ａ」、「科学技術英語Ｂ」の兼任・兼担を「４」から「６」に変更。
・担当教員の編成を見直したことにより、「千刈集中英語実習」の兼任・兼担を「１」から「１２」に変更。

【平成３０年度】

・担当教員の編成を見直したことにより、「ものづくり理工学実験Ｉ」の専任教員等の配置を「教授２」から「教授５」に、兼任・兼担を「１」から「２」に変更。
・担当教員の編成を見直したことにより、「ものづくり理工学実験Ⅱ」の専任教員等の配置を「教授４」から「教授５」に、「准教授１」から「准教授３」に変更。
・担当教員の編成を見直したことにより、「基礎物理学実験Ｉ」の専任教員等の配置を「教授１」から「教授２」に変更。
・担当教員の編成を見直したことにより、「先進エネルギーナノ工学詳論」の兼任・兼担を「３」から「０」に変更。
・担当教員の編成を見直したことにより、「物理学序論」の兼任・兼担を「２」から「１」に変更。
・担当教員の編成を見直したことにより、「基礎化学Ｃ」の配当年次を「１後」から「１前・後」に変更。
・担当教員の編成を見直したことにより、「コンピュータ演習Ａ」の兼任・兼担を「１」から「３」に変更。また、開講学期の見直しにより、配当年次に「前期」を追加。
・担当教員の編成を見直したことにより、「科学技術英語Ａ」の兼任・兼担を「６」から「５」に変更。
・担当教員の編成を見直したことにより、「千刈集中英語実習」の兼任・兼担を「１２」から「１１」に変更。

（注）・　変更内容（配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など）を箇条書きで記入してください。
変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
・　変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。
・　不要な年度（平成２８年度開設であれば平成２７年度、平成２９年度開設であれば平成２７年度及び平成２８年度、平成３０年度開設であれば平成２７年度から平成２９年度）の表は適宜削除してください。

（２）授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計（Ａ）	必修	選択	自由	計	
20 科目	79 科目	0 科目	99 科目	20 科目 [0]	79 科目 [0]	0 科目 [0]	99 科目 [0]	

（注）・　未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに，［　］内に，設置時の計画からの増減を記入してください。（記入例：１科目減の場合：△１）

（３） 未開講科目

番号	授業科目名	単 位 数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由，代替措置の有無
—	該当なし。					

（注）・ 配当年次に達しているにも関わらず，何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお，理由については可能な限り具体的に記入してください。
・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については，記入しないでください。
・ 教職大学院の場合は，「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

（４） 廃止科目

番号	授業科目名	単 位 数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由，代替措置の有無
—	該当なし。					

（注）・ 設置時の計画にあり，何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお，理由については可能な限り具体的に記入してください。
・ 教職大学院の場合は，「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

（５） 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし。

（注）・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

（６） 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目（３）と廃止科目（４）の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計（Ａ）}} = \frac{0}{99} = \boxed{0.00}\ \%$$

（注）・ 小数点以下第３位を切り捨て，小数点以下第２位まで表示されます。
・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「（３）未開講科目」と「（４）廃止科目」の合計数となるように留意してください。

3　施設・設備の整備状況，経費

区分		内容				備考
(1)	区　分	専　用	共　用	共用する他の学校等の専用	計	大学全体 聖和短期大学と共用
校地等	校舎敷地	267,458 ㎡			290,990 ㎡	
		~~247,004 ㎡~~			~~270,461 ㎡~~	神戸三田キャンパス理工学部新学科用校舎敷地およびその他敷地の面積変更（27）
		~~248,517 ㎡~~	23,532 ㎡		~~271,974 ㎡~~	西宮上ケ原キャンパス高等部体育館新設に伴う校舎敷地の面積変更（27）
		~~248,919 ㎡~~	~~23,457 ㎡~~	－ ㎡	~~272,376 ㎡~~	西宮上ケ原キャンパス西宮市への土地一部無償譲渡に伴う運動場用地の面積変更（27）
	運動場用地	277,465 ㎡			287,277 ㎡	新女子寮新設に伴う運動場用地およびその他敷地の面積変更（27）
		~~279,250 ㎡~~	9,812 ㎡		~~289,062 ㎡~~	新規購入した聖和寮隣地（寮建設予定）をその他敷地に計上（27）
		~~277,663 ㎡~~	~~7,948 ㎡~~		~~285,611 ㎡~~	西宮聖和キャンパス西宮市への土地一部無償譲渡に伴うその他敷地の面積変更（27）
		~~278,168 ㎡~~	~~8,365 ㎡~~	－ ㎡	~~286,533 ㎡~~	西宮上ケ原キャンパス高等部体育館新設に伴う校舎敷地の面積変更（28）
	小　計	544,923 ㎡	33,344 ㎡		578,267 ㎡	神戸三田キャンパス航空部格納庫新設伴う校舎敷地および運動場用地の面積変更（28）
		~~526,254 ㎡~~	~~33,269 ㎡~~		~~559,523 ㎡~~	西宮上ケ原キャンパスの土地一部を西宮市へ無償譲渡したことに伴う校舎敷地の面積変更（28）
		~~526,180 ㎡~~	~~31,405 ㎡~~		~~557,585 ㎡~~	新規購入した仁川五ケ山町土地（グラウンド）を運動場用地に計上（28）
		~~527,087 ㎡~~	~~31,822 ㎡~~	－ ㎡	~~558,909 ㎡~~	仁川五ケ山町の土地一部を西宮市へ無償譲渡したことに伴う運動場用地の面積変更（28）
	その他	44,657 ㎡			48,755 ㎡	国際学生レジデンスⅠ売却に伴うその他敷地の面積変更（28）
		~~44,431 ㎡~~	4,098 ㎡		~~48,529 ㎡~~	新清風寮敷地の区分を修正（28）
		~~40,762 ㎡~~	~~5,686 ㎡~~		~~46,448 ㎡~~	新清風寮隣接地の区分をその他敷地から運動場用地へ変更（28）
		~~41,816 ㎡~~	~~7,550 ㎡~~		~~49,366 ㎡~~	西宮上ケ原キャンパス地積校正に伴う面積変更（29）
		~~44,214 ㎡~~	~~5,698 ㎡~~	－ ㎡	~~49,912 ㎡~~	旧有光寮跡地を駐車場に用途変更（29）
	合　計	589,580 ㎡			627,022 ㎡	仁川五ケ山町土地を運動場用地からその他敷地に用途変更（29）
		~~589,354 ㎡~~			~~626,796 ㎡~~	新清風寮敷地・駐車場を共用面積から専用面積に変更（29）
		~~567,016 ㎡~~	37,442 ㎡		~~605,971 ㎡~~	西宮聖和キャンパス10号館の建替えに伴いその他敷地から校舎敷地に一部用途変更（29）
		~~567,996 ㎡~~	~~38,955 ㎡~~		~~606,951 ㎡~~	新規購入した仁川五ケ山町土地をその他敷地に計上（30）
		~~571,301 ㎡~~	~~37,520 ㎡~~	－ ㎡	~~608,821 ㎡~~	
(2) 校　舎		専　用	共　用	共用する他の学校等の専用	計	大学全体 聖和短期大学と共用
		242,790 ㎡			262,321 ㎡	
		~~241,504 ㎡~~			~~262,290 ㎡~~	
		~~241,453 ㎡~~	19,166 ㎡		~~263,057 ㎡~~	
		~~242,265 ㎡~~	~~16,705 ㎡~~	365 ㎡	~~263,869 ㎡~~	西宮上ケ原キャンパスＨ号館・社会学部棟完成後の登記面積誤差による変更（27）
		~~242,674 ㎡~~	~~17,523 ㎡~~	~~4,081 ㎡~~	~~264,278 ㎡~~	西宮上ケ原キャンパス中央講堂完成後の登記面積誤差による変更（27）
		(242,265 ㎡)			(263,869 ㎡)	神戸三田キャンパス理工学部新学科用校舎（Ⅶ号館）完成後の登記面積誤差および倉庫棟新設に伴う面積変更（27）
		~~(242,674 ㎡)~~	(17,523 ㎡)	(4,081 ㎡)	~~(264,278 ㎡)~~	
						総合体育館改修による大学管理部分の面積変更（28）
						西宮上ケ原キャンパス中央講堂の面積誤差による変更（28）
						西宮聖和キャンパス10号館取壊しによる面積変更（28）
						西宮聖和キャンパス2号館建築予定による面積変更（28）
						神戸三田キャンパスⅦ号館の面積誤差による変更（28）
						神戸三田キャンパス航空部格納庫建築による面積変更（28）
						西宮聖和キャンパス2号館完成後の登記面積誤差による変更（29）
						西宮聖和キャンパス2号館を専用面積から共用面積に変更（29）
						総合体育館改修に伴う一部用途変更による面積変更（29）
						西宮上ケ原キャンパスＧ号館改修に伴う一部用途変更による面積変更（29）
						西宮聖和キャンパス3号館改修に伴う一部用途変更による面積変更（29）
						西宮聖和キャンパス8号館改修に伴う一部用途変更による面積変更（29）
						西宮聖和キャンパスの共用する他の学校等の専用面積から専用・共用面積に変更(30)
						西宮聖和キャンパス聖和大学院棟のぽぷら保育園設置による面積変更（30）

	講　義　室	演　習　室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設	大学全体
(3) 教　室　等	257 室 ~~252 室~~ ~~251 室~~ ~~247 室~~	166 室 ~~169 室~~ ~~158 室~~ ~~157 室~~	281 室 ~~269 室~~ ~~267 室~~	46 室 45 ~~44~~ ~~46~~ (補助職員 ~~48~~人)	13 室 ~~14 室~~ ~~13 室~~ 10 ~~11~~ (補助職員 ~~10~~人)	西宮上ケ原キャンパス文学部本館および神戸三田キャンパスⅠ号館・Ⅱ号館改修に伴う変更（27） 退職のため情報処理学習施設補助職員減員(27) 新規採用による語学学習施設職員増員(27) 西宮聖和キャンパス2号館建設に伴う変更（28） 退職のため情報処理学習施設補助職員減員(28) 西宮上ケ原キャンパス第4別館、大阪梅田キャンパス10階、中央講堂、総合体育館の改修に伴う講義室数及び演習室数の変更（29） 退職のため語学学習施設補助職員減員(29) 新規採用による情報処理学習施設補助職員増員（30）

(4) 専任教員研究室	新設学部等の名称	室　数	
	理工学部先進エネルギーナノ工学科	24 ~~12~~ 室	過年度計上漏れの室数を追加したため増加（30）

(5) 図書・設備	新設学部等の名称	図　書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標　本 点	
	理工学部先進ｴﾈﾙｷﾞｰﾅﾉ工学科	375,132 〔296,167〕 ~~〔281,854〕~~ (374,214 〔282,132〕)	10,182 〔4,832〕 ~~〔4,833〕~~ (10,095 〔4,758〕)	30,485 ~~30,845~~ ~~31,924~~ 〔29,233〕 ~~〔25,657〕~~ ~~〔26,589〕~~ (28,893 〔27,707〕)	8,850 ~~9,033~~ ~~8,233~~ (8,607)	1,916 ~~2,108~~ ~~1,762~~ ~~1,623~~ ~~315~~ (1,916)	0 (0)	平成27年4月 視聴覚資料は、教育研究充実のため増加(27) 機械・器具は算出方法変更のため増加（27） 平成28年4月 学術雑誌（外国語）は、出版社単位で電子ジャーナルへ切り替えたため減少（28） 電子ジャーナルは、購読パッケージの見直しを行ったため減少（28） 視聴覚資料は、新規取得及び除却をし、除却が新規取得を上回ったため減少（28） 機械・器具は新規取得のため増加（28） 平成29年4月 図書（外国書）は、教育研究充実のため増加（29） 電子ジャーナルは、CiNii定額制終了に伴いCiNiiから提供されていたタイトル移管先が未定のため減少（29） 電子ジャーナル（外国書）は、教育研究充実のため増加（29） 機械・器具は新規取得のため増加（29） 平成30年4月 機械・器具は新規取得及び除却をし、除却が新規取得を上回ったため減少（30）
	計	375,132 〔296,167〕 ~~〔281,854〕~~ (374,214 〔282,132〕)	10,182 〔4,832〕 ~~〔4,833〕~~ (10,095 〔4,758〕)	30,485 ~~30,845~~ ~~31,924~~ 〔29,233〕 ~~〔25,657〕~~ ~~〔26,589〕~~ (28,893 〔27,707〕)	8,850 ~~9,033~~ ~~8,233~~ (8,607)	1,916 ~~2,108~~ ~~1,762~~ ~~1,623~~ ~~315~~ (1,916)	0 (0)	

(6) 図　書　館	面　積	閲覧座席数	収納可能冊数	大学全体
	26,044㎡ ~~23,121㎡~~	2,634席 ~~2,318席~~	2,750,000冊 ~~2,500,000冊~~	平成29年4月 面積・閲覧座席数・収納可能冊数は、短期大学図書館の大学図書館分室化に伴い増加（29）

(7) 体　育　館	面　積	体育館以外のスポーツ施設の概要		大学全体
	16,191㎡ ~~16,216㎡~~ ~~15,753㎡~~	－	－	総合体育館改修に伴う高等部管理部分の変更、大学スポーツセンター取壊しおよびG号館地下の仮設大学トレーニングセンター撤収に伴う変更（28） 総合体育館改修に伴う一部用途変更による面積変更（29） 西宮聖和キャンパス8号館改修に伴う一部用途変更による面積変更（29）

(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	区　分	開設年度	完成年度	区　分	開設前年度	開設年度	完成年度	
経費の見積り	教員１人当り研究費等	3,817千円	3,730千円	図書購入費	2,381千円	2,619千円	3,000千円	図書購入費には、電子ジャーナル・データベースの整備費（運用コスト含む）を含む。
	共同研究費等	9,882千円	11,499千円	設備購入費	296,503千円	22,532千円	22,532千円	

学生１人当り納付金	第１年次	第２年次	第３年次	第４年次	第５年次	第６年次	
	1,657千円 ~~1,619千円~~	1,593千円 ~~1,575千円~~ ~~1,534千円~~ ~~1,491千円~~	1,575千円 ~~1,534千円~~ ~~1,491千円~~	1,534千円 ~~1,491千円~~	千円	千円	学費改定のため（28）（29）（30）
学生納付金以外の維持方法の概要	手数料収入、寄付金収入、補助金収入、資産運用収入、資産売却収入を充当する。						

（注）・　設置時の計画を，申請書の様式第２号（その１の１）に準じて作成してください。（複数のキャンパスに分かれている場合，複数の様式に分ける必要はありません。なお，「（１）校地等」及び「（２）校舎」は大学全体の数字を，その他の項目はＡＣ対象学部等の数値を記入してください。）

・　運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は，その旨（所要時間・距離等）を「備考」に記入してください。

・　「(5)図書・設備」については，上段に完成年度の予定数値を，下段には平成３０年５月１日現在の数値を記入してください。

・　昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては，変更部分を赤字で見え消し修正するとともに，その理由及び報告年度「（30）」を「備考」に赤字で記入してください。

なお，昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については，見え消しのまま黒字にしてください。

・　校舎等建物の計画の変更（校舎又は体育館の総面積の減少，建築計画の遅延）がある場合には，「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。

・　国立大学については「（８）経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

４　ＡＣ対象学部等を含む大学等の状況

大学の名称	関西学院大学								備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	開設年度	所在地	
	年	人	年次 人	人		倍		兵庫県西宮市 上ケ原一番町	
神学部	4	30	―	120	学士（神学）	1.04	昭和27年	1番155号	
文学部						1.04		同上	
文化歴史学科	4	275	―	1,100	学士（文学）	1.02	平成15年		
総合心理科学科	4	175	―	700	学士（文学）	1.02	平成15年		
文学言語学科	4	320	―	1,280	学士（文学）	1.06	平成15年		
社会学部								同上	
社会学科	4	650	―	2,600	学士（社会学）	1.04	昭和35年		
法学部						1.03		同上	
法律学科	4	520	―	2,080	学士（法学）	1.01	昭和23年		
政治学科	4	160	―	640	学士（法学）	1.12	昭和23年		
経済学部	4	680	―	2,720	学士（経済学）	1.04	昭和23年	同上	
商学部	4	650	―	2,600	学士（商学）	1.03	昭和26年	同上	
理工学部						0.97			
数理科学科	4	75	―	300	学士（理学）	1.01	平成21年	兵庫県三田市	
物理学科	4	75	―	300	学士（理学）	1.03	昭和36年	学園2丁目1番地	
先進エネルギーナノ工学科	4	80	―	240	学士（工学）	0.96	平成27年		
化学科	4	75	―	300	学士（理学）	0.94	昭和36年		
環境・応用化学科	4	80	―	240	学士（工学）	0.98	平成27年		
生命科学科	4	80	―	320	学士（生命科学）	1.00	平成14年		
生命科学専攻	4	―	―	―	学士（生命科学）	-			H27年より学生募集停止
生命医化学専攻	4	―	―	―	学士（生命科学）	-			H27年より学生募集停止
生命医化学科	4	80	―	240	学士（生命医化学）	0.94	平成27年		
情報科学科	4	75	―	300	学士（情報科学）	1.07	平成14年		
人間システム工学科	4	80	―	320	学士（工学）	1.10	平成21年		
総合政策学部						1.03		同上	H21年より学部一括募集を開始
総合政策学科	4	245	3年次 20	1,010	学士（総合政策）	1.03	平成7年		H28年度入学定員増（5人）、編入学定員減（△15人）
メディア情報学科	4	120	―	480	学士（総合政策）	1.03	平成14年		
都市政策学科	4	100	―	400	学士（総合政策）	1.03	平成21年		
国際政策学科	4	125	3年次 10	510	学士（総合政策）	1.03	平成21年		H28年度入学定員増（5人）、編入学定員減（△5人）
人間福祉学部						1.02			
社会福祉学科	4	130	―	520	学士（社会福祉学）	1.01	平成20年	兵庫県西宮市	
社会起業学科	4	70	―	280	学士（社会起業）	1.06	平成20年	上ケ原一番町	
人間科学科	4	100	―	400	学士（人間科学）	1.00	平成20年	1番155号	

大学の名称	関西学院大学								備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	開設年度	所在地	
	年	人	年次 人	人		倍			
教育学部 教育学科	4	350	3年次 5	1,410	学士（教育学）	1.03	平成25年	兵庫県西宮市 岡田山7番54号	
国際学部 国際学科	4	300	―	1,200	学士（国際学）	1.03	平成22年	兵庫県西宮市 上ケ原一番町 1番155号	

大学の名称	関西学院大学大学院								備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	開設年度	所在地	
	年	人	年次 人	人		倍			
博士課程　前期課程 神学研究科 神学専攻	2	10	―	20	修士（神学）	0.65	昭和27年	兵庫県西宮市 上ケ原一番町 1番155号	
文学研究科 文化歴史学専攻	2	22	―	44	修士（哲学） 修士（美学） 修士（芸術学） 修士（歴史学） 修士（地理学）	0.42 0.49	平成19年	同上	
総合心理科学専攻	2	20	―	40	修士（心理科学） 修士（学校教育学）	0.45	平成19年		
文学言語学専攻	2	22	―	44	修士（文学） 修士（言語学）	0.33	平成19年		
社会学研究科 社会学専攻	2	12	―	24	修士（社会学）	0.49	昭和36年	同上	
法学研究科 法学・政治学専攻	2	45	―	90	修士（法学）	0.29	平成16年	同上	
経済学研究科 経済学専攻	2	30	―	60	修士（経済学）	0.20	昭和25年	同上	
商学研究科 商学専攻	2	30	―	60	修士（商学） 修士（経営学） 修士（会計学） 修士（マーケティング） 修士（ファイナンス） 修士（ビジネス情報） 修士（国際ビジネス）	0.21	昭和28年	同上	

大学の名称	関西学院大学大学院								備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	開設年度	所在地	
	年	人	年次人	人		倍			
理工学研究科						1.08		兵庫県三田市	
数理科学専攻	2	10	—	20	修士（理学） 修士（工学）	0.95	平成21年	学園2丁目1番地	
物理学専攻	2	22	—	44	修士（理学） 修士（工学） 修士（国際自然科学）	1.63	昭和40年		
化学専攻	2	33	—	66	修士（理学） 修士（工学） 修士（国際自然科学）	0.98	昭和40年		
生命科学専攻	2	35	—	70	修士（理学） 修士（工学） 修士（国際自然科学）	0.99	平成16年		
情報科学専攻	2	22	—	44	修士（理学） 修士（工学）	0.92	平成18年		
人間システム工学専攻	2	25	—	50	修士（理学） 修士（工学）	1.08	平成25年		
総合政策研究科								同上	
総合政策専攻	2	50	—	100	修士（総合政策）	0.16	平成11年		
言語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝ文化研究科								兵庫県西宮市	
言語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝ文化専攻	2	30	—	60	修士（言語科学） 修士（言語文化学） 修士（言語教育学） 修士（日本語教育学）	0.71	平成13年	上ケ原一番町 1番155号	
人間福祉研究科								同上	
人間福祉専攻	2	8	—	16	修士（人間福祉）	0.87	平成20年		
教育学研究科								兵庫県西宮市	
教育学専攻	2	6	—	12	修士（教育学）	0.74	平成21年	岡田山7番54号	
国際学研究科								兵庫県西宮市 上ケ原一番町	
国際学専攻	2	6	—	12	修士（国際学）	0.49	平成26年	1番155号	
博士課程　後期課程									
神学研究科									
神学専攻	3	2	—	6	博士（神学）	0.50	昭和29年	同上	
文学研究科						0.58		同上	
文化歴史学専攻	3	7	—	21	博士（哲学） 博士（美学） 博士（芸術学） 博士（歴史学） 博士（地理学）	0.37	平成19年		
総合心理科学専攻	3	6	—	18	博士（心理学） 博士（教育心理学）	0.88	平成19年		
文学言語学専攻	3	7	—	21	博士（文学） 博士（言語学）	0.52	平成19年		

大学の名称	関西学院大学大学院								備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	開設年度	所在地	
	年	人	年次人	人		倍			
社会学研究科 社会学専攻	3	4	—	12	博士（社会学）	1.00	昭和36年	兵庫県西宮市上ケ原一番町1番155号	
法学研究科						0.27		同上	
政治学専攻	3	2	—	6	博士（法学）	0.33	昭和34年		
基礎法学専攻	3	2	—	6	博士（法学）	0.00	昭和29年		
民刑事法学専攻	3	2	—	6	博士（法学）	0.50	昭和38年		
経済学研究科 経済学専攻	3	3	—	9	博士（経済学）	0.11	昭和29年	同上	
商学研究科 商学専攻	3	5	—	15	博士（商学）	0.40	昭和36年	同上	
理工学研究科						0.38		兵庫県三田市学園2丁目1番地	
数理科学専攻	3	2	—	6	博士（理学） 博士（工学）	0.16	平成23年		
物理学専攻	3	3	—	9	博士（理学） 博士（工学）	0.44	昭和42年		
化学専攻	3	6	—	18	博士（理学） 博士（工学）	0.55	昭和42年		
生命科学専攻	3	5	—	15	博士（理学） 博士（工学）	0.20	平成18年		
情報科学専攻	3	2	—	6	博士（理学） 博士（工学）	0.33	平成18年		
人間システム工学専攻	3	2	—	6	博士（理学） 博士（工学）	0.50	平成25年		
総合政策研究科 総合政策専攻	3	5	—	15	博士（総合政策）	0.20	平成13年	同上	
言語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝ文化研究科 言語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝ文化専攻	3	3	—	9	博士（言語コミュニケーション文化）	0.66	平成15年	兵庫県西宮市上ケ原一番町1番155号	
人間福祉研究科 人間福祉専攻	3	5	—	15	博士（人間福祉）	0.73	平成20年	同上	
教育学研究科 教育学専攻	3	3	—	9	博士（教育学）	0.66	平成21年	兵庫県西宮市岡田山7番54号	
国際学研究科 国際学専攻	3	2	—	6	博士（国際学）	0.50	平成26年	兵庫県西宮市上ケ原一番町1番155号	
経営戦略研究科 先端マネジメント専攻	3	4	—	12	博士（先端マネジメント）	1.00	平成20年	同上	

大学の名称	関西学院大学大学院								備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	開設年度	所在地	
	年	人	年次人	人		倍			
専門職学位課程								兵庫県西宮市	
司法研究科								上ケ原一番町	
法務専攻	3	30	―	150	法務博士（専門職）	0.49	平成16年	1番155号	H28年度入学定員減（△20人） H29年度入学定員減（△20人）
経営戦略研究科								大阪府大阪市北区茶屋町19番19号7ﾌﾟﾛｰｽﾞﾀﾜｰ14階	
経営戦略専攻	2	100	―	200	経営管理修士（専門職）	0.80	平成17年		
会計専門職専攻	2	70	―	140	会計修士（専門職）	0.47	平成17年	兵庫県西宮市	
								上ケ原一番町	
								1番155号	

大学の名称	聖和短期大学								備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	開設年度	所在地	
	年	人	年次人	人		倍			
								兵庫県西宮市	
保育科	2	150	―	300	短期大学士（保育学）	1.01	昭和25年	岡田山7番54号	

（注）・本調査の対象となっている大学等の設置者（学校法人等）が設置している全ての大学（学部，学科），大学院（専攻）及び短期大学（学科）（ＡＣ対象学部等含む）について，それぞれの学校種ごとに，平成２９年５月１日現在の上記項目の情報を記入してください。

・学部の学科または研究科の専攻等，「入学定員を定めている組織」ごとに記入してください。

※「入学定員を定めている組織ごと」には，課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。

※なお，課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は，法令上規定されている組織上の最小単位（大学であれば「学科」，短期大学であれば「専攻課程」）でも記載してください。

・専攻科に係るものについては，記入する必要はありません。

・ＡＣ対象学部等についても必ず記入してください。

・「平均入学定員超過率」には，標準修業年限に相当する期間における入学定員に対する入学者の割合の平均の小数点以下第２位まで（小数点以下第３位を切り捨て）を記入してください。

・学生募集を停止している学部等がある場合，入学定員・収容定員・平均入学定員超過率は「－」とし，「備考」に「平成〇〇年より学生募集停止」と記入してください。

５　教員組織の状況

＜理工学部　先進エネルギーナノ工学科＞

（１）ー① 担当教員表

【認可時又は届出時】

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞	担当授業科目名
専	教授	水木　純一郎 ＜平成27年4月＞	先進エネルギーナノ工学入門 外国書講読 輪講 卒業実験及び演習 力学Ⅰ 力学Ⅱ 基礎物理学実験Ⅰ 先進エネルギーナノ工学詳論
専	教授	鹿田　真一 ＜平成27年4月＞	先進エネルギーナノ工学入門 ものづくり理工学実験Ⅰ 外国書講読 輪講 卒業実験及び演習 物理数学Ⅱ エネルギー電気・電子回路工学 先進エネルギーナノ工学詳論
専	教授	田中　裕久 ＜平成28年4月＞	ものづくり理工学実験Ⅱ 外国書講読 輪講 卒業実験及び演習 ナノケミストリーⅡ ナノケミストリーⅢ エネルギー変換と電気化学 先進エネルギーナノ工学詳論
専	教授	大谷　昇 ＜平成27年4月＞	先進エネルギーナノ工学入門 外国書講読 輪講 卒業実験及び演習 固体電子論 基礎物理学実験Ⅱ エネルギー半導体工学 先進エネルギーナノ工学詳論
専	教授	金子　忠昭 ＜平成27年4月＞	ものづくり理工学実験Ⅰ ものづくり理工学実験Ⅱ 外国書講読 輪講 卒業実験及び演習 基礎物理学実験Ⅰ 極限環境プロセッシング 先進エネルギーナノ工学詳論

【平成２７年度】

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞	担当授業科目名
専	教授	水木　純一郎 ＜平成27年4月＞	先進エネルギーナノ工学入門 外国書講読 輪講 卒業実験及び演習 力学Ⅰ 力学Ⅱ 基礎物理学実験Ⅰ 先進エネルギーナノ工学詳論
専	教授	鹿田　真一 ＜平成27年4月＞	先進エネルギーナノ工学入門 ものづくり理工学実験Ⅰ 外国書講読 輪講 卒業実験及び演習 物理数学Ⅱ エネルギー電気・電子回路工学 先進エネルギーナノ工学詳論
専	教授	田中　裕久 ＜平成28年4月＞	ものづくり理工学実験Ⅱ 外国書講読 輪講 卒業実験及び演習 ナノケミストリーⅡ ナノケミストリーⅢ エネルギー変換と電気化学 先進エネルギーナノ工学詳論
専	教授	大谷　昇 ＜平成27年4月＞	先進エネルギーナノ工学入門 外国書講読 輪講 卒業実験及び演習 固体電子論 基礎物理学実験Ⅱ エネルギー半導体工学 先進エネルギーナノ工学詳論
専	教授	金子　忠昭 ＜平成27年4月＞	ものづくり理工学実験Ⅰ ものづくり理工学実験Ⅱ 外国書講読 輪講 卒業実験及び演習 基礎物理学実験Ⅰ 極限環境プロセッシング 先進エネルギーナノ工学詳論

【平成２８年度】

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞	担当授業科目名
専	教授	水木　純一郎 ＜平成27年4月＞	先進エネルギーナノ工学入門 外国書講読 輪講 卒業実験及び演習 力学Ⅰ 力学Ⅱ 先進エネルギーナノ工学詳論
専	教授	鹿田　真一 ＜平成27年4月＞	先進エネルギーナノ工学入門 ものづくり理工学実験Ⅰ 外国書講読 輪講 卒業実験及び演習 物理数学Ⅱ エネルギー電気・電子回路工学 先進エネルギーナノ工学詳論
専	教授	田中　裕久 ＜平成28年4月＞	ものづくり理工学実験Ⅱ 外国書講読 輪講 卒業実験及び演習 ナノケミストリーⅡ ナノケミストリーⅢ エネルギー変換と電気化学 先進エネルギーナノ工学詳論
専	教授	大谷　昇 ＜平成27年4月＞	先進エネルギーナノ工学入門 外国書講読 輪講 卒業実験及び演習 固体電子論 基礎物理学実験Ⅱ エネルギー半導体工学 先進エネルギーナノ工学詳論
専	教授	金子　忠昭 ＜平成27年4月＞	ものづくり理工学実験Ⅰ ものづくり理工学実験Ⅱ 外国書講読 輪講 卒業実験及び演習 基礎物理学実験Ⅰ 極限環境プロセッシング 先進エネルギーナノ工学詳論

【平成２９年度】

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞	担当授業科目名
専	教授 **（学部長）**	水木　純一郎 ＜平成27年4月＞	外国書講読 輪講 卒業実験及び演習 力学Ⅰ 力学Ⅱ 先進エネルギーナノ工学詳論
専	教授	鹿田　真一 ＜平成27年4月＞	先進エネルギーナノ工学入門 ものづくり理工学実験Ⅰ 外国書講読 輪講 卒業実験及び演習 物理数学Ⅱ エネルギー電気・電子回路工学 先進エネルギーナノ工学詳論
専	教授	田中　裕久 ＜平成28年4月＞	**先進エネルギーナノ工学入門** ものづくり理工学実験Ⅱ 外国書講読 輪講 卒業実験及び演習 ナノケミストリーⅡ ナノケミストリーⅢ エネルギー変換と電気化学 先進エネルギーナノ工学詳論
専	教授	大谷　昇 ＜平成27年4月＞	先進エネルギーナノ工学入門 外国書講読 輪講 卒業実験及び演習 固体電子論 基礎物理学実験Ⅱ エネルギー半導体工学 先進エネルギーナノ工学詳論
専	教授	金子　忠昭 ＜平成27年4月＞	**先進エネルギーナノ工学入門** ものづくり理工学実験Ⅰ ものづくり理工学実験Ⅱ 外国書講読 輪講 卒業実験及び演習 基礎物理学実験Ⅰ 極限環境プロセッシング 先進エネルギーナノ工学詳論

【平成３０年度】

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞	担当授業科目名
専	教授 **（学部長）**	水木　純一郎 ＜平成27年4月＞	外国書講読 輪講 卒業実験及び演習 力学Ⅰ 力学Ⅱ 基礎物理学実験Ⅰ 先進エネルギーナノ工学詳論
専	教授	鹿田　真一 ＜平成27年4月＞	先進エネルギーナノ工学入門 ものづくり理工学実験Ⅰ **ものづくり理工学実験Ⅱ** 外国書講読 輪講 卒業実験及び演習 物理数学Ⅱ エネルギー電気・電子回路工学 先進エネルギーナノ工学詳論
専	教授	田中　裕久 ＜平成28年4月＞	**先進エネルギーナノ工学入門** **ものづくり理工学実験Ⅰ** ものづくり理工学実験Ⅱ 外国書講読 輪講 卒業実験及び演習 ナノケミストリーⅡ ナノケミストリーⅢ エネルギー変換と電気化学 先進エネルギーナノ工学詳論
専	教授	大谷　昇 ＜平成27年4月＞	先進エネルギーナノ工学入門 外国書講読 輪講 卒業実験及び演習 固体電子論 基礎物理学実験Ⅱ エネルギー半導体工学 先進エネルギーナノ工学詳論
専	教授	金子　忠昭 ＜平成27年4月＞	**先進エネルギーナノ工学入門** ものづくり理工学実験Ⅰ ものづくり理工学実験Ⅱ 外国書講読 輪講 卒業実験及び演習 基礎物理学実験Ⅰ 極限環境プロセッシング 先進エネルギーナノ工学詳論

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 担当授業科目名
専	教授	日比野　浩樹 ＜平成27年4月＞ 先進エネルギーナノ工学入門 外国書講読 輪講 卒業実験及び演習 ナノ物性量子力学Ⅰ ナノ物性量子力学演習Ⅰ ナノスケール分析科学 先進エネルギーナノ工学詳論
専	教授	藤原　明比古 ＜平成27年4月＞ 先進エネルギーナノ工学入門 ものづくり理工学実験Ⅱ 外国書講読 輪講 卒業実験及び演習 ナノ物性量子力学Ⅱ ナノ物性量子力学演習Ⅱ 先進エネルギーナノ工学詳論
専	教授	若林　克法 ＜平成27年4月＞ 先進エネルギーナノ工学入門 外国書講読 輪講 卒業実験及び演習 物理数学Ⅰ 物理数学Ⅲ 物質設計ナノ工学 先進エネルギーナノ工学詳論
専	准教授	吉川　浩史 ＜平成27年4月＞ 先進エネルギーナノ工学入門 ものづくり理工学実験Ⅰ 外国書講読 輪講 卒業実験及び演習 ナノケミストリーⅠ エネルギー材料熱力学 エネルギー材料熱力学演習 先進エネルギーナノ工学詳論
専	准教授	松尾　元彰 ＜平成28年4月＞ 外国書講読 輪講 卒業実験及び演習 電磁気学Ⅱ 電磁気学演習Ⅱ 構造物性学 基礎物理学実験Ⅰ 先進エネルギーナノ工学詳論

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 担当授業科目名
専	教授	日比野　浩樹 ＜平成27年4月＞ 先進エネルギーナノ工学入門 外国書講読 輪講 卒業実験及び演習 ナノ物性量子力学Ⅰ ナノ物性量子力学演習Ⅰ ナノスケール分析科学 先進エネルギーナノ工学詳論
専	教授	藤原　明比古 ＜平成27年4月＞ 先進エネルギーナノ工学入門 ものづくり理工学実験Ⅱ 外国書講読 輪講 卒業実験及び演習 ナノ物性量子力学Ⅱ ナノ物性量子力学演習Ⅱ 先進エネルギーナノ工学詳論
専	教授	若林　克法 ＜平成27年4月＞ 先進エネルギーナノ工学入門 外国書講読 輪講 卒業実験及び演習 物理数学Ⅰ 物理数学Ⅲ 物質設計ナノ工学 先進エネルギーナノ工学詳論
専	准教授	吉川　浩史 ＜平成27年4月＞ 先進エネルギーナノ工学入門 ものづくり理工学実験Ⅰ 外国書講読 輪講 卒業実験及び演習 ナノケミストリーⅠ エネルギー材料熱力学 エネルギー材料熱力学演習 先進エネルギーナノ工学詳論
専	准教授	松尾　元彰 ＜平成28年4月＞ 外国書講読 輪講 卒業実験及び演習 電磁気学Ⅱ 電磁気学演習Ⅱ 構造物性学 基礎物理学実験Ⅰ 先進エネルギーナノ工学詳論

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 担当授業科目名
専	教授	日比野　浩樹 ＜平成27年4月＞ 先進エネルギーナノ工学入門 外国書講読 輪講 卒業実験及び演習 ナノ物性量子力学Ⅰ ナノ物性量子力学演習Ⅰ ナノスケール分析科学 先進エネルギーナノ工学詳論
専	教授	藤原　明比古 ＜平成27年4月＞ 先進エネルギーナノ工学入門 ものづくり理工学実験Ⅱ 外国書講読 輪講 卒業実験及び演習 ナノ物性量子力学Ⅱ ナノ物性量子力学演習Ⅱ 先進エネルギーナノ工学詳論
専	教授	若林　克法 ＜平成27年4月＞ 先進エネルギーナノ工学入門 外国書講読 輪講 卒業実験及び演習 物理数学Ⅰ 物理数学Ⅲ 物質設計ナノ工学 先進エネルギーナノ工学詳論
専	准教授	吉川　浩史 ＜平成27年4月＞ 先進エネルギーナノ工学入門 ものづくり理工学実験Ⅰ 外国書講読 輪講 卒業実験及び演習 ナノケミストリーⅠ エネルギー材料熱力学 エネルギー材料熱力学演習 先進エネルギーナノ工学詳論
専	准教授	松尾　元彰 ＜平成28年4月＞ 外国書講読 輪講 卒業実験及び演習 電磁気学Ⅱ 電磁気学演習Ⅱ 構造物性学 基礎物理学実験Ⅰ 先進エネルギーナノ工学詳論

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 担当授業科目名
専	教授	日比野　浩樹 ＜平成27年4月＞ 先進エネルギーナノ工学入門 外国書講読 輪講 卒業実験及び演習 ナノ物性量子力学Ⅰ ナノ物性量子力学演習Ⅰ ナノスケール分析科学 先進エネルギーナノ工学詳論
専	教授	藤原　明比古 ＜平成27年4月＞ 先進エネルギーナノ工学入門 ものづくり理工学実験Ⅱ 外国書講読 輪講 卒業実験及び演習 ナノ物性量子力学Ⅱ ナノ物性量子力学演習Ⅱ 先進エネルギーナノ工学詳論
専	教授	若林　克法 ＜平成27年4月＞ 先進エネルギーナノ工学入門 **ものづくり理工学実験Ⅱ** 外国書講読 輪講 卒業実験及び演習 物理数学Ⅰ 物理数学Ⅲ 物質設計ナノ工学 先進エネルギーナノ工学詳論
専	准教授	吉川　浩史 ＜平成27年4月＞ 先進エネルギーナノ工学入門 ものづくり理工学実験Ⅰ 外国書講読 輪講 卒業実験及び演習 ナノケミストリーⅠ エネルギー材料熱力学 エネルギー材料熱力学演習 先進エネルギーナノ工学詳論
専	准教授	松尾　元彰 ＜平成28年4月＞ **先進エネルギーナノ工学入門** **ものづくり理工学実験Ⅰ** 外国書講読 輪講 卒業実験及び演習 電磁気学Ⅱ 電磁気学演習Ⅱ 構造物性学 基礎物理学実験Ⅰ 先進エネルギーナノ工学詳論

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 担当授業科目名
専	教授	日比野　浩樹 ＜平成27年4月＞ 先進エネルギーナノ工学入門 外国書講読 輪講 卒業実験及び演習 ナノ物性量子力学Ⅰ ナノ物性量子力学演習Ⅰ ナノスケール分析科学 先進エネルギーナノ工学詳論
専	教授	藤原　明比古 ＜平成27年4月＞ 先進エネルギーナノ工学入門 **ものづくり理工学実験Ⅰ** ものづくり理工学実験Ⅱ 外国書講読 輪講 卒業実験及び演習 ナノ物性量子力学Ⅱ ナノ物性量子力学演習Ⅱ 先進エネルギーナノ工学詳論
専	教授	若林　克法 ＜平成27年4月＞ 先進エネルギーナノ工学入門 **ものづくり理工学実験Ⅰ** **ものづくり理工学実験Ⅱ** 外国書講読 輪講 卒業実験及び演習 物理数学Ⅰ 物理数学Ⅲ 物質設計ナノ工学 先進エネルギーナノ工学詳論
専	准教授	吉川　浩史 ＜平成27年4月＞ 先進エネルギーナノ工学入門 ものづくり理工学実験Ⅰ **ものづくり理工学実験Ⅱ** 外国書講読 輪講 卒業実験及び演習 ナノケミストリーⅠ エネルギー材料熱力学 エネルギー材料熱力学演習 先進エネルギーナノ工学詳論
専	准教授	松尾　元彰 ＜平成28年4月＞ **先進エネルギーナノ工学入門** **ものづくり理工学実験Ⅰ** **ものづくり理工学実験Ⅱ** 外国書講読 輪講 卒業実験及び演習 電磁気学Ⅱ 電磁気学演習Ⅱ 構造物性学 基礎物理学実験Ⅰ 先進エネルギーナノ工学詳論

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞	担当授業科目名
専	准教授	小倉　鉄平 ＜平成27年4月＞	先進エネルギーナノ工学入門 ものづくり理工学実験Ⅰ ものづくり理工学実験Ⅱ 外国書講読 輪講 卒業実験及び演習 統計熱力学 プロセス設計ナノ工学 先進エネルギーナノ工学詳論
専	講師	尾崎　壽紀 ＜平成27年4月＞	先進エネルギーナノ工学入門 外国書講読 輪講 卒業実験及び演習 電磁気学Ⅰ 電磁気学演習Ⅰ 基礎物理学実験Ⅱ 先進エネルギーナノ工学詳論
兼担	教授	石井　博昭 ＜平成27年4月＞	線形代数学Ⅰ
兼担	教授	澤田　信一 ＜平成29年9月＞	量子力学Ⅲ
兼担	教授	海老原　史樹文 ＜平成27年9月＞	生命科学Ⅱ
兼担	教授	多賀　登喜雄 ＜平成29年4月＞	コンピュータ演習Ｂ
兼担	教授	御厨　正博 ＜平成27年9月＞	基礎化学実験Ⅰ 基礎化学Ｂ 環境学
兼担	教授	千葉　光一 ＜平成27年9月＞	基礎化学実験Ⅰ
兼担	教授	尾鼻　靖子 ＜平成27年4月＞	英語ﾘｰﾃﾞｨﾝｸﾞⅠＡ 英語ﾘｰﾃﾞｨﾝｸﾞⅠＢ 科学技術英語Ａ 科学技術英語Ｂ
兼担	教授	楠瀬　正昭 ＜平成28年4月＞	線形代数学Ⅲ

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞	担当授業科目名
専	准教授	小倉　鉄平 ＜平成27年4月＞	先進エネルギーナノ工学入門 ものづくり理工学実験Ⅰ ものづくり理工学実験Ⅱ 外国書講読 輪講 卒業実験及び演習 統計熱力学 プロセス設計ナノ工学 先進エネルギーナノ工学詳論
専	講師	尾崎　壽紀 ＜平成27年4月＞	先進エネルギーナノ工学入門 外国書講読 輪講 卒業実験及び演習 電磁気学Ⅰ 電磁気学演習Ⅰ 基礎物理学実験Ⅱ 先進エネルギーナノ工学詳論
兼担	教授	石井　博昭 ＜平成27年4月＞	線形代数学Ⅰ
兼担	教授	澤田　信一 ＜平成29年9月＞	量子力学Ⅲ
兼担	教授	海老原　史樹文 ＜平成27年9月＞	生命科学Ⅱ
兼担	教授	多賀　登喜雄 ＜平成29年4月＞	コンピュータ演習Ｂ
兼担	教授	御厨　正博 ＜平成27年9月＞	基礎化学実験Ⅰ 基礎化学Ｂ 環境学
兼担	教授	千葉　光一 ＜平成27年9月＞	基礎化学実験Ⅰ
兼担	教授	尾鼻　靖子 ＜平成27年4月＞	**英語ﾘｰﾃﾞｨﾝｸﾞⅡＡ** **英語ﾘｰﾃﾞｨﾝｸﾞⅡＢ** 科学技術英語Ａ 科学技術英語Ｂ
兼担	教授	楠瀬　正昭 ＜平成28年4月＞	線形代数学Ⅲ

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞	担当授業科目名
専	准教授	小倉　鉄平 ＜平成27年4月＞	先進エネルギーナノ工学入門 ものづくり理工学実験Ⅰ ものづくり理工学実験Ⅱ 外国書講読 輪講 卒業実験及び演習 統計熱力学 プロセス設計ナノ工学 先進エネルギーナノ工学詳論
専	講師	尾崎　壽紀 ＜平成27年4月＞	先進エネルギーナノ工学入門 外国書講読 輪講 卒業実験及び演習 電磁気学Ⅰ 電磁気学演習Ⅰ 基礎物理学実験Ⅱ 先進エネルギーナノ工学詳論
兼担	教授	澤田　信一 ＜平成29年9月＞	量子力学Ⅲ
兼担	教授	海老原　史樹文 ＜平成27年9月＞	生命科学Ⅱ
兼担	教授	多賀　登喜雄 ＜平成29年4月＞	コンピュータ演習Ｂ
兼担	教授	御厨　正博 ＜平成27年9月＞	基礎化学実験Ⅰ 基礎化学Ｂ 環境学
兼担	教授	千葉　光一 ＜平成27年9月＞	基礎化学実験Ⅰ
兼担	教授	尾鼻　靖子 ＜平成27年4月＞	科学技術英語Ａ 科学技術英語Ｂ

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞	担当授業科目名
専	准教授	小倉　鉄平 ＜平成27年4月＞	先進エネルギーナノ工学入門 ものづくり理工学実験Ⅰ ものづくり理工学実験Ⅱ 外国書講読 輪講 卒業実験及び演習 統計熱力学 プロセス設計ナノ工学 先進エネルギーナノ工学詳論
専	講師	尾崎　壽紀 ＜平成27年4月＞	先進エネルギーナノ工学入門 **ものづくり理工学実験Ⅰ** **ものづくり理工学実験Ⅱ** 外国書講読 輪講 卒業実験及び演習 電磁気学Ⅰ 電磁気学演習Ⅰ 基礎物理学実験Ⅱ 先進エネルギーナノ工学詳論
兼担	教授	澤田　信一 ＜平成29年9月＞	量子力学Ⅲ
兼担	教授	海老原　史樹文 ＜平成27年9月＞	生命科学Ⅱ
兼担	教授	多賀　登喜雄 ＜平成29年4月＞	コンピュータ演習Ｂ
兼担	教授	御厨　正博 ＜平成27年9月＞	基礎化学実験Ⅰ 環境学
兼担	教授	千葉　光一 ＜平成27年9月＞	基礎化学実験Ⅰ
兼担	教授	尾鼻　靖子 ＜平成27年4月＞	**英語ﾘｰﾃﾞｨﾝｸﾞⅡＡ** **英語ﾘｰﾃﾞｨﾝｸﾞⅡＢ** 科学技術英語Ａ 科学技術英語Ｂ

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞	担当授業科目名
専	准教授	小倉　鉄平 ＜平成27年4月＞	先進エネルギーナノ工学入門 ものづくり理工学実験Ⅰ ものづくり理工学実験Ⅱ 外国書講読 輪講 卒業実験及び演習 統計熱力学 プロセス設計ナノ工学 先進エネルギーナノ工学詳論
専	講師	尾崎　壽紀 ＜平成27年4月＞	先進エネルギーナノ工学入門 **ものづくり理工学実験Ⅰ** **ものづくり理工学実験Ⅱ** 外国書講読 輪講 卒業実験及び演習 電磁気学Ⅰ 電磁気学演習Ⅰ 基礎物理学実験Ⅱ 先進エネルギーナノ工学詳論
兼担	教授	澤田　信一 ＜平成29年9月＞	量子力学Ⅲ
兼担	教授	海老原　史樹文 ＜平成27年9月＞	生命科学Ⅱ
兼担	教授	多賀　登喜雄 ＜平成29年4月＞	コンピュータ演習Ｂ
兼担	教授	御厨　正博 ＜平成27年9月＞	基礎化学実験Ⅰ 環境学
兼担	教授	千葉　光一 ＜平成27年9月＞	基礎化学実験Ⅰ
兼担	教授	尾鼻　靖子 ＜平成27年4月＞	**英語ﾘｰﾃﾞｨﾝｸﾞⅡＡ** **英語ﾘｰﾃﾞｨﾝｸﾞⅡＢ** 科学技術英語Ａ 科学技術英語Ｂ

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞	担当授業科目名
兼担	教授	栗田　厚 ＜平成28年4月＞	デモンストレーション物理学Ⅱ
兼担	教授	大谷　清 ＜平成27年4月＞	生命科学入門実験
兼担	教授	佐山　浩 ＜平成28年4月＞	環境政策論
兼担	教授	平井　洋平 ＜平成27年4月＞	生命科学入門実験
兼担	教授	高橋　功 ＜平成27年9月＞	デモンストレーション物理学Ⅰ
兼担	教授	橋本　秀樹 ＜平成27年9月＞	基礎化学実験Ⅰ
兼担	教授	白川　英二 ＜平成27年9月＞	基礎化学実験Ⅰ 基礎化学Ｃ
兼担	教授	氏木　道人 ＜平成27年4月＞	英語ﾘｰﾃﾞｨﾝｸﾞⅠＡ 英語ﾘｰﾃﾞｨﾝｸﾞⅠＢ 科学技術英語Ａ 科学技術英語Ｂ 千刈集中英語実習
兼担	教授	山根　英司 ＜平成27年4月＞	微積分学Ⅰ 微積分学Ⅱ
兼担	教授	田和　圭子 ＜平成27年9月＞	基礎化学実験Ⅰ
兼担	教授	佐藤　英俊 ＜平成27年4月＞	生命科学入門実験
兼担	教授	大崎　浩一 ＜平成27年9月＞	線形代数学Ⅱ
兼担	教授	森崎　泰弘 ＜平成27年9月＞	基礎化学実験Ⅰ
兼担	教授	谷水　雅治 ＜平成28年4月＞	基礎地学Ⅰ 基礎地学Ⅱ 地学実験Ａ

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞	担当授業科目名
兼担	教授	栗田　厚 ＜平成28年4月＞	デモンストレーション物理学Ⅱ
兼担	教授	大谷　清 ＜平成27年4月＞	生命科学入門実験
兼担	教授	佐山　浩 ＜平成28年4月＞	環境政策論
兼担	教授	平井　洋平 ＜平成27年4月＞	生命科学入門実験
兼担	教授	橋本　秀樹 ＜平成27年9月＞	基礎化学実験Ⅰ
兼担	教授	白川　英二 ＜平成27年9月＞	基礎化学実験Ⅰ 基礎化学Ｃ
兼担	教授	氏木　道人 ＜平成27年4月＞	英語ﾘｰﾃﾞｨﾝｸﾞⅠＡ 英語ﾘｰﾃﾞｨﾝｸﾞⅠＢ 科学技術英語Ａ 科学技術英語Ｂ 千刈集中英語実習
兼担	教授	山根　英司 ＜平成27年4月＞	微積分学Ⅰ
兼担	教授	田和　圭子 ＜平成27年9月＞	基礎化学実験Ⅰ
兼担	教授	佐藤　英俊 ＜平成27年4月＞	生命科学入門実験
兼担	教授	森崎　泰弘 ＜平成27年9月＞	基礎化学実験Ⅰ
兼担	教授	谷水　雅治 ＜平成28年4月＞	基礎地学Ⅰ 基礎地学Ⅱ 地学実験Ａ

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞	担当授業科目名
兼担	教授	栗田　厚 ＜平成28年4月＞	デモンストレーション物理学Ⅱ
兼担	教授	大谷　清 ＜平成27年4月＞	生命科学入門実験
兼担	教授	佐山　浩 ＜平成28年4月＞	環境政策論
兼担	教授	平井　洋平 ＜平成27年4月＞	生命科学入門実験
兼担	教授	橋本　秀樹 ＜平成27年9月＞	基礎化学実験Ⅰ
兼担	教授	白川　英二 ＜平成27年9月＞	基礎化学実験Ⅰ
兼担	教授	氏木　道人 ＜平成27年4月＞	英語ﾘｰﾃﾞｨﾝｸﾞⅠＡ 英語ﾘｰﾃﾞｨﾝｸﾞⅠＢ 科学技術英語Ａ 科学技術英語Ｂ
兼担	教授	田和　圭子 ＜平成27年9月＞	基礎化学実験Ⅰ
兼担	教授	佐藤　英俊 ＜平成27年4月＞	生命科学入門実験
兼担	教授	森崎　泰弘 ＜平成27年9月＞	基礎化学実験Ⅰ
兼担	教授	谷水　雅治 ＜平成28年4月＞	基礎地学Ⅰ 基礎地学Ⅱ 地学実験Ａ

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞	担当授業科目名
兼担	教授	栗田　厚 ＜平成28年4月＞	デモンストレーション物理学Ⅱ
兼担	教授	大谷　清 ＜平成27年4月＞	生命科学入門実験
兼担	教授	佐山　浩 ＜平成28年4月＞	環境政策論
兼担	教授	平井　洋平 ＜平成27年4月＞	生命科学入門実験
兼担	教授	橋本　秀樹 ＜平成27年9月＞	基礎化学実験Ⅰ
兼担	教授	白川　英二 ＜平成27年9月＞	基礎化学実験Ⅰ
兼担	教授	氏木　道人 ＜平成27年4月＞	英語ﾘｰﾃﾞｨﾝｸﾞⅠＡ 英語ﾘｰﾃﾞｨﾝｸﾞⅠＢ 科学技術英語Ａ 科学技術英語Ｂ
兼担	教授	田和　圭子 ＜平成27年9月＞	基礎化学実験Ⅰ
兼担	教授	佐藤　英俊 ＜平成27年4月＞	生命科学入門実験
兼担	教授	森崎　泰弘 ＜平成27年9月＞	基礎化学実験Ⅰ
兼担	教授	谷水　雅治 ＜平成28年4月＞	基礎地学Ⅰ 基礎地学Ⅱ 地学実験Ａ

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞	担当授業科目名
兼担	教授	羽村　季之 ＜平成27年9月＞	基礎化学実験Ⅰ
兼担	教授	朴　勝俊 ＜平成28年9月＞	環境経済学
兼担	教授	河野　正道 ＜平成27年4月＞	経済学
兼担	教授	田辺　陽 ＜平成27年9月＞	環境学
兼担	教授	長岡　徹 ＜平成27年4月＞	日本国憲法
兼担	教授	玉井　尚登 ＜平成27年9月＞	環境学
兼担	教授	関根　孝道 ＜平成27年4月＞	法学
兼担	准教授	阪上　潔 ＜平成27年4月＞	物理学序論 環境学
兼担	准教授	山田　一美 ＜平成27年4月＞	英語ﾘｰﾃﾞｨﾝｸﾞⅠA 英語ﾘｰﾃﾞｨﾝｸﾞⅠB 科学技術英語A 科学技術英語B
兼担	准教授	工藤　多恵 ＜平成27年4月＞	英語ﾘｰﾃﾞｨﾝｸﾞⅠA 英語ﾘｰﾃﾞｨﾝｸﾞⅠB 科学技術英語A 科学技術英語B
兼担	准教授	増尾　貞弘 ＜平成27年4月＞	基礎化学実験Ⅰ 基礎化学A
兼担	准教授	沖米田　司 ＜平成27年4月＞	生命科学入門実験

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞	担当授業科目名
兼担	教授	羽村　季之 ＜平成27年9月＞	基礎化学実験Ⅰ
兼担	教授	朴　勝俊 ＜平成28年9月＞	環境経済学
兼担	教授	河野　正道 ＜平成27年4月＞	経済学
兼担	教授	田辺　陽 ＜平成27年9月＞	環境学
兼担	教授	長岡　徹 ＜平成27年4月＞	日本国憲法
兼担	教授	玉井　尚登 ＜平成27年9月＞	環境学
兼担	教授	関根　孝道 ＜平成27年4月＞	法学
兼担	准教授	阪上　潔 ＜平成27年4月＞	物理学序論 環境学
兼担	准教授	山田　一美 ＜平成27年4月＞	英語ﾘｰﾃﾞｨﾝｸﾞⅠA 英語ﾘｰﾃﾞｨﾝｸﾞⅠB 科学技術英語A 科学技術英語B
兼担	准教授	工藤　多恵 ＜平成27年4月＞	**英語ﾘｰﾃﾞｨﾝｸﾞⅡA** **英語ﾘｰﾃﾞｨﾝｸﾞⅡB** 科学技術英語A 科学技術英語B
兼担	准教授	増尾　貞弘 ＜平成27年4月＞	基礎化学実験Ⅰ 基礎化学A
兼担	准教授	沖米田　司 ＜平成27年4月＞	生命科学入門実験

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞	担当授業科目名
兼担	教授	羽村　季之 ＜平成27年9月＞	基礎化学実験Ⅰ
兼担	教授	朴　勝俊 ＜平成28年9月＞	環境経済学
兼担	教授	河野　正道 ＜平成27年4月＞	経済学
兼担	教授	田辺　陽 ＜平成27年9月＞	環境学
兼担	教授	玉井　尚登 ＜平成27年9月＞	環境学
兼担	教授	関根　孝道 ＜平成27年4月＞	法学
兼担	**教授**	**石浦　菜岐佐** **＜平成28年9月＞**	**コンピュータ演習A**
兼担	**教授**	**増田　佳代** **＜平成28年9月＞**	**線形代数学Ⅱ**
兼担	准教授	阪上　潔 ＜平成27年4月＞	物理学序論 環境学
兼担	准教授	山田　一美 ＜平成27年4月＞	英語ﾘｰﾃﾞｨﾝｸﾞⅠA 英語ﾘｰﾃﾞｨﾝｸﾞⅠB 科学技術英語A 科学技術英語B
兼担	准教授	工藤　多恵 ＜平成27年4月＞	英語ﾘｰﾃﾞｨﾝｸﾞⅠA 英語ﾘｰﾃﾞｨﾝｸﾞⅠB **英語ﾘｰﾃﾞｨﾝｸﾞⅡA** **英語ﾘｰﾃﾞｨﾝｸﾞⅡB** 科学技術英語A 科学技術英語B
兼担	**教授**	増尾　貞弘 ＜平成27年4月＞	基礎化学実験Ⅰ 基礎化学A
兼担	准教授	沖米田　司 ＜平成27年4月＞	生命科学入門実験

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞	担当授業科目名
兼担	教授	羽村　季之 ＜平成27年9月＞	基礎化学実験Ⅰ
兼担	教授	朴　勝俊 ＜平成28年9月＞	環境経済学
兼担	教授	河野　正道 ＜平成27年4月＞	経済学
兼担	教授	田辺　陽 ＜平成27年9月＞	環境学
兼担	教授	長岡　徹 ＜平成27年4月＞	日本国憲法
兼担	教授	玉井　尚登 ＜平成27年9月＞	環境学
兼担	教授	関根　孝道 ＜平成27年4月＞	法学
兼担	**教授**	**増田　佳代** **＜平成28年9月＞**	**線形代数学Ⅰ**
兼担	准教授	阪上　潔 ＜平成27年4月＞	物理学序論 環境学
兼担	准教授	山田　一美 ＜平成27年4月＞	英語ﾘｰﾃﾞｨﾝｸﾞⅠA 英語ﾘｰﾃﾞｨﾝｸﾞⅠB 科学技術英語A 科学技術英語B
兼担	准教授	工藤　多恵 ＜平成27年4月＞	**英語ﾘｰﾃﾞｨﾝｸﾞⅡA** **英語ﾘｰﾃﾞｨﾝｸﾞⅡB** 科学技術英語A 科学技術英語B **千刈集中英語実習**
兼担	**教授**	増尾　貞弘 ＜平成27年4月＞	基礎化学実験Ⅰ 基礎化学A
兼担	准教授	沖米田　司 ＜平成27年4月＞	生命科学入門実験

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞	担当授業科目名
兼担	教授	羽村　季之 ＜平成27年9月＞	基礎化学実験Ⅰ
兼担	教授	朴　勝俊 ＜平成28年9月＞	環境経済学
兼担	教授	河野　正道 ＜平成27年4月＞	経済学
兼担	教授	田辺　陽 ＜平成27年9月＞	環境学
兼担	教授	玉井　尚登 ＜平成27年9月＞	環境学
兼担	教授	関根　孝道 ＜平成27年4月＞	法学
兼担	准教授	阪上　潔 ＜平成27年4月＞	物理学序論 環境学
兼担	准教授	山田　一美 ＜平成27年4月＞	英語ﾘｰﾃﾞｨﾝｸﾞⅠA 英語ﾘｰﾃﾞｨﾝｸﾞⅠB 科学技術英語A 科学技術英語B
兼担	准教授	工藤　多恵 ＜平成27年4月＞	英語ﾘｰﾃﾞｨﾝｸﾞⅠA **英語ﾘｰﾃﾞｨﾝｸﾞⅡA** **英語ﾘｰﾃﾞｨﾝｸﾞⅡB** **千刈集中英語実習**
兼担	**教授**	増尾　貞弘 ＜平成27年4月＞	基礎化学実験Ⅰ 基礎化学A
兼担	准教授	沖米田　司 ＜平成27年4月＞	生命科学入門実験

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞	担当授業科目名
兼担	准教授	宗景　ゆり ＜平成27年4月＞	生命科学Ⅰ
兼担	准教授	壷井　基裕 ＜平成28年4月＞	基礎地学Ⅰ 基礎地学Ⅱ 地学実験Ａ
兼担	准教授	Michael Lynn ＜平成27年4月＞	英語ﾗｲﾃｨﾝｸﾞⅠＡ 英語ﾗｲﾃｨﾝｸﾞⅠＢ 英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅠＡ 英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅠＢ 英語ﾘｰﾃﾞｨﾝｸﾞⅡＡ 英語ﾘｰﾃﾞｨﾝｸﾞⅡＢ 英語ﾗｲﾃｨﾝｸﾞⅡＡ 英語ﾗｲﾃｨﾝｸﾞⅡＢ 英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅡＡ 英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅡＢ
兼担	講師	前川　裕 ＜平成27年4月＞	キリスト教学Ａ キリスト教学Ｂ ドイツ語文法Ⅰ ドイツ語文法Ⅱ 科学倫理
兼担	講師	Stuart Cunningham ＜平成27年4月＞	英語ﾗｲﾃｨﾝｸﾞⅠＡ 英語ﾗｲﾃｨﾝｸﾞⅠＢ 英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅠＡ 英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅠＢ 英語ﾘｰﾃﾞｨﾝｸﾞⅡＡ 英語ﾘｰﾃﾞｨﾝｸﾞⅡＢ 英語ﾗｲﾃｨﾝｸﾞⅡＡ 英語ﾗｲﾃｨﾝｸﾞⅡＢ 英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅡＡ 英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅡＢ

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞	担当授業科目名
兼担	准教授	宗景　ゆり ＜平成27年4月＞	生命科学Ⅰ
兼担	教授	壷井　基裕 ＜平成28年4月＞	基礎地学Ⅰ 基礎地学Ⅱ 地学実験Ａ
兼担	准教授	平賀　純子 ＜平成27年9月＞	デモンストレーション物理学Ⅰ
兼担	准教授	住　政二郎 ＜平成27年4月＞	英語ﾘｰﾃﾞｨﾝｸﾞⅠＡ 英語ﾘｰﾃﾞｨﾝｸﾞⅠＢ 英語ﾘｰﾃﾞｨﾝｸﾞⅡＡ 英語ﾘｰﾃﾞｨﾝｸﾞⅡＢ 英語ﾗｲﾃｨﾝｸﾞⅡＡ 英語ﾗｲﾃｨﾝｸﾞⅡＢ 英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅡＡ 英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅡＢ
兼担	講師	前川　裕 ＜平成27年4月＞	キリスト教学Ａ キリスト教学Ｂ 科学倫理

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞	担当授業科目名
兼担	准教授	宗景　ゆり ＜平成27年4月＞	生命科学Ⅰ
兼担	教授	壷井　基裕 ＜平成28年4月＞	基礎地学Ⅰ 基礎地学Ⅱ 地学実験Ａ
兼担	准教授	平賀　純子 ＜平成27年9月＞	デモンストレーション物理学Ⅰ
兼担	准教授	住　政二郎 ＜平成27年4月＞	英語ﾘｰﾃﾞｨﾝｸﾞⅠＡ 英語ﾘｰﾃﾞｨﾝｸﾞⅠＢ 科学技術英語Ａ 科学技術英語Ｂ 千刈集中英語実習
兼担	准教授	畠山　琢次 ＜平成29年9月＞	基礎化学Ｃ
兼担	准教授	重藤　真介 ＜平成29年9月＞	基礎化学Ｂ
兼担	准教授	前川　裕 ＜平成27年4月＞	キリスト教学Ａ キリスト教学Ｂ 科学倫理

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞	担当授業科目名
兼担	准教授	宗景　ゆり ＜平成27年4月＞	生命科学Ⅰ
兼担	教授	壷井　基裕 ＜平成28年4月＞	基礎地学Ⅰ 基礎地学Ⅱ 地学実験Ａ
兼担	准教授	平賀　純子 ＜平成27年9月＞	デモンストレーション物理学Ⅰ
兼担	准教授	住　政二郎 ＜平成27年4月＞	英語ﾘｰﾃﾞｨﾝｸﾞⅠＢ 科学技術英語Ｂ 千刈集中英語実習
兼担	教授	畠山　琢次 ＜平成29年9月＞	基礎化学Ｃ
兼担	准教授	重藤　真介 ＜平成29年9月＞	基礎化学Ｂ
兼担	准教授	前川　裕 ＜平成27年4月＞	キリスト教学Ａ キリスト教学Ｂ 科学倫理

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 担当授業科目名
兼担	講師	Matthew Barbee ＜平成27年4月＞ 英語ﾗｲﾃｨﾝｸﾞⅠA 英語ﾗｲﾃｨﾝｸﾞⅠB 英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅠA 英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅠB 英語ﾘｰﾃﾞｨﾝｸﾞⅡA 英語ﾘｰﾃﾞｨﾝｸﾞⅡB 英語ﾗｲﾃｨﾝｸﾞⅡA 英語ﾗｲﾃｨﾝｸﾞⅡB 英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅡA 英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅡB
兼担	講師	Carmen Tamas ＜平成27年4月＞ 英語ﾗｲﾃｨﾝｸﾞⅠA 英語ﾗｲﾃｨﾝｸﾞⅠB 英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅠA 英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅠB 英語ﾘｰﾃﾞｨﾝｸﾞⅡA 英語ﾘｰﾃﾞｨﾝｸﾞⅡB 英語ﾗｲﾃｨﾝｸﾞⅡA 英語ﾗｲﾃｨﾝｸﾞⅡB 英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅡA 英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅡB
兼担	講師	Daniel Parsons ＜平成27年4月＞ 英語ﾗｲﾃｨﾝｸﾞⅠA 英語ﾗｲﾃｨﾝｸﾞⅠB 英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅠA 英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅠB 英語ﾘｰﾃﾞｨﾝｸﾞⅡA 英語ﾘｰﾃﾞｨﾝｸﾞⅡB 英語ﾗｲﾃｨﾝｸﾞⅡA 英語ﾗｲﾃｨﾝｸﾞⅡB 英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅡA 英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅡB
兼担	講師	Amy Johnson ＜平成27年4月＞ 英語ﾗｲﾃｨﾝｸﾞⅠA 英語ﾗｲﾃｨﾝｸﾞⅠB 英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅠA 英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅠB 英語ﾘｰﾃﾞｨﾝｸﾞⅡA 英語ﾘｰﾃﾞｨﾝｸﾞⅡB 英語ﾗｲﾃｨﾝｸﾞⅡA 英語ﾗｲﾃｨﾝｸﾞⅡB 英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅡA 英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅡB
兼担	講師	Manuel Senna ＜平成27年4月＞ 英語ﾗｲﾃｨﾝｸﾞⅠA 英語ﾗｲﾃｨﾝｸﾞⅠB 英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅠA 英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅠB 英語ﾘｰﾃﾞｨﾝｸﾞⅡA 英語ﾘｰﾃﾞｨﾝｸﾞⅡB 英語ﾗｲﾃｨﾝｸﾞⅡA 英語ﾗｲﾃｨﾝｸﾞⅡB 英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅡA 英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅡB
兼担	講師	Polly Tang ＜平成27年4月＞ 英語ﾗｲﾃｨﾝｸﾞⅠA 英語ﾗｲﾃｨﾝｸﾞⅠB 英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅠA 英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅠB 英語ﾘｰﾃﾞｨﾝｸﾞⅡA 英語ﾘｰﾃﾞｨﾝｸﾞⅡB 英語ﾗｲﾃｨﾝｸﾞⅡA 英語ﾗｲﾃｨﾝｸﾞⅡB 英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅡA 英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅡB

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 担当授業科目名
兼担	講師	Matthew Barbee ＜平成27年4月＞ **英語ﾘｰﾃﾞｨﾝｸﾞⅠA** **英語ﾘｰﾃﾞｨﾝｸﾞⅠB** 英語ﾗｲﾃｨﾝｸﾞⅡA 英語ﾗｲﾃｨﾝｸﾞⅡB 英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅡA 英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅡB
兼担	講師	Daniel Parsons ＜平成27年4月＞ 英語ﾗｲﾃｨﾝｸﾞⅠA 英語ﾗｲﾃｨﾝｸﾞⅠB 英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅠA 英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅠB 英語ﾘｰﾃﾞｨﾝｸﾞⅡA 英語ﾘｰﾃﾞｨﾝｸﾞⅡB 英語ﾗｲﾃｨﾝｸﾞⅡA 英語ﾗｲﾃｨﾝｸﾞⅡB 英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅡA 英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅡB
兼担	講師	Manuel Senna ＜平成27年4月＞ 英語ﾗｲﾃｨﾝｸﾞⅠA 英語ﾗｲﾃｨﾝｸﾞⅠB 英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅠA 英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅠB 英語ﾘｰﾃﾞｨﾝｸﾞⅡA 英語ﾘｰﾃﾞｨﾝｸﾞⅡB 英語ﾗｲﾃｨﾝｸﾞⅡA 英語ﾗｲﾃｨﾝｸﾞⅡB 英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅡA 英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅡB
兼担	講師	Polly Tang ＜平成27年4月＞ **英語ﾘｰﾃﾞｨﾝｸﾞⅠA** **英語ﾘｰﾃﾞｨﾝｸﾞⅠB** 英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅠA 英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅠB 英語ﾗｲﾃｨﾝｸﾞⅡA 英語ﾗｲﾃｨﾝｸﾞⅡB 英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅡA 英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅡB

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 担当授業科目名
兼担	講師	Matthew Barbee ＜平成27年4月＞ 英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅠA 英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅠB 英語ﾗｲﾃｨﾝｸﾞⅠA 英語ﾗｲﾃｨﾝｸﾞⅠB 英語ﾗｲﾃｨﾝｸﾞⅡA 英語ﾗｲﾃｨﾝｸﾞⅡB 英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅡA 英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅡB
兼担	講師	Daniel Parsons ＜平成27年4月＞ 英語ﾗｲﾃｨﾝｸﾞⅠA 英語ﾗｲﾃｨﾝｸﾞⅠB 英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅠA 英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅠB 英語ﾘｰﾃﾞｨﾝｸﾞⅡA 英語ﾘｰﾃﾞｨﾝｸﾞⅡB 英語ﾗｲﾃｨﾝｸﾞⅡA 英語ﾗｲﾃｨﾝｸﾞⅡB 英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅡA 英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅡB
兼担	講師	Manuel Senn ＜平成27年4月＞ 英語ﾗｲﾃｨﾝｸﾞⅠA 英語ﾗｲﾃｨﾝｸﾞⅠB 英語ﾘｰﾃﾞｨﾝｸﾞⅡA 英語ﾘｰﾃﾞｨﾝｸﾞⅡB 英語ﾗｲﾃｨﾝｸﾞⅡA 英語ﾗｲﾃｨﾝｸﾞⅡB
兼担	講師	Polly Tang ＜平成27年4月＞ 英語ﾗｲﾃｨﾝｸﾞⅠA 英語ﾗｲﾃｨﾝｸﾞⅠB 英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅠA 英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅠB 英語ﾘｰﾃﾞｨﾝｸﾞⅡA 英語ﾘｰﾃﾞｨﾝｸﾞⅡB 英語ﾗｲﾃｨﾝｸﾞⅡA 英語ﾗｲﾃｨﾝｸﾞⅡB

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 担当授業科目名
兼担	講師	Matthew Barbee ＜平成27年4月＞ 英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅠA 英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅠB 英語ﾗｲﾃｨﾝｸﾞⅠA 英語ﾗｲﾃｨﾝｸﾞⅠB 英語ﾗｲﾃｨﾝｸﾞⅡA 英語ﾗｲﾃｨﾝｸﾞⅡB 英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅡA 英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅡB **千刈集中英語実習**

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 担当授業科目名

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞	担当授業科目名
兼担	講師	Robert Stroud ＜平成27年4月＞	英語ﾗｲﾃｨﾝｸﾞⅠA 英語ﾗｲﾃｨﾝｸﾞⅠB 英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅠA 英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅠB 英語ﾘｰﾃﾞｨﾝｸﾞⅡA 英語ﾘｰﾃﾞｨﾝｸﾞⅡB 英語ﾗｲﾃｨﾝｸﾞⅡA 英語ﾗｲﾃｨﾝｸﾞⅡB 英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅡA 英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅡB
兼担	講師	Regan Thomson ＜平成27年4月＞	英語ﾗｲﾃｨﾝｸﾞⅠA 英語ﾗｲﾃｨﾝｸﾞⅠB 英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅠA 英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅠB 英語ﾘｰﾃﾞｨﾝｸﾞⅡA 英語ﾘｰﾃﾞｨﾝｸﾞⅡB 英語ﾗｲﾃｨﾝｸﾞⅡA 英語ﾗｲﾃｨﾝｸﾞⅡB 英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅡA 英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅡB

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞	担当授業科目名
兼担	講師	Robert Stroud ＜平成27年4月＞	英語ﾗｲﾃｨﾝｸﾞⅠA 英語ﾗｲﾃｨﾝｸﾞⅠB 英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅠA 英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅠB 英語ﾘｰﾃﾞｨﾝｸﾞⅡA 英語ﾘｰﾃﾞｨﾝｸﾞⅡB 英語ﾗｲﾃｨﾝｸﾞⅡA 英語ﾗｲﾃｨﾝｸﾞⅡB 英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅡA 英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅡB
兼担	講師	Regan Thomson ＜平成27年4月＞	英語ﾗｲﾃｨﾝｸﾞⅠA 英語ﾗｲﾃｨﾝｸﾞⅠB 英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅠA 英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅠB 英語ﾘｰﾃﾞｨﾝｸﾞⅡA 英語ﾘｰﾃﾞｨﾝｸﾞⅡB 英語ﾗｲﾃｨﾝｸﾞⅡA 英語ﾗｲﾃｨﾝｸﾞⅡB 英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅡA 英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅡB
兼担	講師	Evan Cacali ＜平成27年4月＞	英語ﾗｲﾃｨﾝｸﾞⅠA 英語ﾗｲﾃｨﾝｸﾞⅠB 英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅠA 英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅠB 英語ﾘｰﾃﾞｨﾝｸﾞⅡA 英語ﾘｰﾃﾞｨﾝｸﾞⅡB 英語ﾗｲﾃｨﾝｸﾞⅡA 英語ﾗｲﾃｨﾝｸﾞⅡB 英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅡA 英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅡB
兼担	講師	Mario Perez ＜平成27年4月＞	英語ﾗｲﾃｨﾝｸﾞⅠA 英語ﾗｲﾃｨﾝｸﾞⅠB 英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅠA 英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅠB
兼担	講師	Willam Marcus ＜平成27年4月＞	英語ﾘｰﾃﾞｨﾝｸﾞⅠA 英語ﾘｰﾃﾞｨﾝｸﾞⅠB 英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅠA 英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅠB 英語ﾘｰﾃﾞｨﾝｸﾞⅡA 英語ﾘｰﾃﾞｨﾝｸﾞⅡB 英語ﾗｲﾃｨﾝｸﾞⅡA 英語ﾗｲﾃｨﾝｸﾞⅡB 英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅡA 英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅡB

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞	担当授業科目名
兼担	講師	Regan Thomson ＜平成27年4月＞	英語ﾗｲﾃｨﾝｸﾞⅠA 英語ﾗｲﾃｨﾝｸﾞⅠB 英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅠA 英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅠB 英語ﾘｰﾃﾞｨﾝｸﾞⅡA 英語ﾘｰﾃﾞｨﾝｸﾞⅡB 英語ﾗｲﾃｨﾝｸﾞⅡA 英語ﾗｲﾃｨﾝｸﾞⅡB
兼担	講師	Evan Cacali ＜平成27年4月＞	英語ﾗｲﾃｨﾝｸﾞⅠA 英語ﾗｲﾃｨﾝｸﾞⅠB 英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅠA 英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅠB 英語ﾘｰﾃﾞｨﾝｸﾞⅡA 英語ﾘｰﾃﾞｨﾝｸﾞⅡB 英語ﾗｲﾃｨﾝｸﾞⅡA 英語ﾗｲﾃｨﾝｸﾞⅡB 英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅡA 英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅡB
兼担	講師	Mario Perez ＜平成27年4月＞	英語ﾗｲﾃｨﾝｸﾞⅠA 英語ﾗｲﾃｨﾝｸﾞⅠB 英語ﾘｰﾃﾞｨﾝｸﾞⅡA 英語ﾘｰﾃﾞｨﾝｸﾞⅡB 英語ﾗｲﾃｨﾝｸﾞⅡA 英語ﾗｲﾃｨﾝｸﾞⅡB 英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅡA 英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅡB
兼担	講師	Willam Marcus ＜平成27年4月＞	英語ﾘｰﾃﾞｨﾝｸﾞⅠA 英語ﾘｰﾃﾞｨﾝｸﾞⅠB 英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅠA 英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅠB 英語ﾘｰﾃﾞｨﾝｸﾞⅡA 英語ﾘｰﾃﾞｨﾝｸﾞⅡB 英語ﾗｲﾃｨﾝｸﾞⅡA 英語ﾗｲﾃｨﾝｸﾞⅡB 英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅡA 英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅡB

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞	担当授業科目名
兼担	講師	Evan Cacali ＜平成27年4月＞	英語ﾗｲﾃｨﾝｸﾞⅠA 英語ﾗｲﾃｨﾝｸﾞⅠB 英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅠA 英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅠB 英語ﾘｰﾃﾞｨﾝｸﾞⅡA 英語ﾘｰﾃﾞｨﾝｸﾞⅡB 英語ﾗｲﾃｨﾝｸﾞⅡA 英語ﾗｲﾃｨﾝｸﾞⅡB 千刈集中英語実習
兼担	講師	Mario Perez ＜平成27年4月＞	英語ﾗｲﾃｨﾝｸﾞⅠA 英語ﾗｲﾃｨﾝｸﾞⅠB 英語ﾘｰﾃﾞｨﾝｸﾞⅡA 英語ﾘｰﾃﾞｨﾝｸﾞⅡB 英語ﾗｲﾃｨﾝｸﾞⅡA 英語ﾗｲﾃｨﾝｸﾞⅡB 英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅡA 英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅡB 千刈集中英語実習
兼担	講師	Willam Marcus ＜平成27年4月＞	英語ﾗｲﾃｨﾝｸﾞⅠA 英語ﾗｲﾃｨﾝｸﾞⅠB 英語ﾗｲﾃｨﾝｸﾞⅡA 英語ﾗｲﾃｨﾝｸﾞⅡB 英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅡA 英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅡB

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞	担当授業科目名
兼担	講師	Evan Cacali ＜平成27年4月＞	英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅠA 英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅠB 英語ﾗｲﾃｨﾝｸﾞⅠA 英語ﾗｲﾃｨﾝｸﾞⅠB 英語ﾘｰﾃﾞｨﾝｸﾞⅡA 英語ﾘｰﾃﾞｨﾝｸﾞⅡB 英語ﾗｲﾃｨﾝｸﾞⅡA 英語ﾗｲﾃｨﾝｸﾞⅡB 千刈集中英語実習
兼担	講師	Mario Perez ＜平成27年4月＞	英語ﾗｲﾃｨﾝｸﾞⅠA 英語ﾗｲﾃｨﾝｸﾞⅠB 英語ﾘｰﾃﾞｨﾝｸﾞⅡA 英語ﾘｰﾃﾞｨﾝｸﾞⅡB 英語ﾗｲﾃｨﾝｸﾞⅡA 英語ﾗｲﾃｨﾝｸﾞⅡB 英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅡA 英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅡB 科学技術英語A 科学技術英語B 千刈集中英語実習
兼担	講師	Willam Marcus ＜平成27年4月＞	英語ﾗｲﾃｨﾝｸﾞⅠA 英語ﾗｲﾃｨﾝｸﾞⅠB 英語ﾗｲﾃｨﾝｸﾞⅡA 英語ﾗｲﾃｨﾝｸﾞⅡB 英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅡA 英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅡB

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞	担当授業科目名

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞	担当授業科目名
		Audrey Moreno ＜平成27年4月＞	
兼担	講師		英語ﾗｲﾃｨﾝｸﾞⅠA 英語ﾗｲﾃｨﾝｸﾞⅠB 英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅠA 英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅠB 英語ﾘｰﾃﾞｨﾝｸﾞⅡA 英語ﾘｰﾃﾞｨﾝｸﾞⅡB 英語ﾗｲﾃｨﾝｸﾞⅡA 英語ﾗｲﾃｨﾝｸﾞⅡB 英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅡA 英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅡB
		Dormer Geoffrey ＜平成27年4月＞	
兼担	講師		英語ﾘｰﾃﾞｨﾝｸﾞⅠA 英語ﾘｰﾃﾞｨﾝｸﾞⅠB 英語ﾗｲﾃｨﾝｸﾞⅠA 英語ﾗｲﾃｨﾝｸﾞⅠB 英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅠA 英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅠB

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞	担当授業科目名
		Audrey Moreno ＜平成27年4月＞	
兼担	講師		英語ﾗｲﾃｨﾝｸﾞⅠA 英語ﾗｲﾃｨﾝｸﾞⅠB 英語ﾗｲﾃｨﾝｸﾞⅡA 英語ﾗｲﾃｨﾝｸﾞⅡB 英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅡA 英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅡB
		Dormer Geoffrey ＜平成27年4月＞	
兼担	講師		英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅠA 英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅠB 英語ﾗｲﾃｨﾝｸﾞⅡA 英語ﾗｲﾃｨﾝｸﾞⅡB 英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅡA 英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅡB
		Erik Fritz ＜平成28年4月＞	
兼担	講師		英語ﾗｲﾃｨﾝｸﾞⅠA 英語ﾗｲﾃｨﾝｸﾞⅠB 英語ﾘｰﾃﾞｨﾝｸﾞⅡA 英語ﾘｰﾃﾞｨﾝｸﾞⅡB 英語ﾗｲﾃｨﾝｸﾞⅡA 英語ﾗｲﾃｨﾝｸﾞⅡB 英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅡA 英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅡB
		Katie Deng ＜平成28年4月＞	
兼担	講師		英語ﾗｲﾃｨﾝｸﾞⅠA 英語ﾗｲﾃｨﾝｸﾞⅠB 英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅠA 英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅠB 英語ﾗｲﾃｨﾝｸﾞⅡA 英語ﾗｲﾃｨﾝｸﾞⅡB
		Kevin Bartlett ＜平成28年4月＞	
兼担	講師		英語ﾗｲﾃｨﾝｸﾞⅠA 英語ﾗｲﾃｨﾝｸﾞⅠB 英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅠA 英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅠB 英語ﾘｰﾃﾞｨﾝｸﾞⅡA 英語ﾘｰﾃﾞｨﾝｸﾞⅡB 英語ﾗｲﾃｨﾝｸﾞⅡA 英語ﾗｲﾃｨﾝｸﾞⅡB

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞	担当授業科目名
		Dormer Geoffrey ＜平成27年4月＞	
兼担	講師		英語ﾗｲﾃｨﾝｸﾞⅠA 英語ﾗｲﾃｨﾝｸﾞⅠB 英語ﾘｰﾃﾞｨﾝｸﾞⅡA 英語ﾘｰﾃﾞｨﾝｸﾞⅡB 英語ﾗｲﾃｨﾝｸﾞⅡA 英語ﾗｲﾃｨﾝｸﾞⅡB 英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅡA 英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅡB 科学技術英語A 科学技術英語B 千刈集中英語実習
		Erik Fritz ＜平成28年4月＞	
兼担	講師		英語ﾗｲﾃｨﾝｸﾞⅠA 英語ﾗｲﾃｨﾝｸﾞⅠB 英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅠA 英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅠB 英語ﾘｰﾃﾞｨﾝｸﾞⅡA 英語ﾘｰﾃﾞｨﾝｸﾞⅡB 英語ﾗｲﾃｨﾝｸﾞⅡA 英語ﾗｲﾃｨﾝｸﾞⅡB 千刈集中英語実習
		Katie Deng ＜平成28年4月＞	
兼担	講師		英語ﾗｲﾃｨﾝｸﾞⅠA 英語ﾗｲﾃｨﾝｸﾞⅠB 英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅠA 英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅠB 英語ﾘｰﾃﾞｨﾝｸﾞⅡA 英語ﾘｰﾃﾞｨﾝｸﾞⅡB 英語ﾗｲﾃｨﾝｸﾞⅡA 英語ﾗｲﾃｨﾝｸﾞⅡB
		Kevin Bartlett ＜平成28年4月＞	
兼担	講師		英語ﾗｲﾃｨﾝｸﾞⅠA 英語ﾗｲﾃｨﾝｸﾞⅠB 英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅠA 英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅠB 英語ﾘｰﾃﾞｨﾝｸﾞⅡA 英語ﾘｰﾃﾞｨﾝｸﾞⅡB 英語ﾗｲﾃｨﾝｸﾞⅡA 英語ﾗｲﾃｨﾝｸﾞⅡB 千刈集中英語実習

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞	担当授業科目名
		Erik Fritz ＜平成28年4月＞	
兼担	講師		英語ﾗｲﾃｨﾝｸﾞⅠA 英語ﾗｲﾃｨﾝｸﾞⅠB 英語ﾘｰﾃﾞｨﾝｸﾞⅡA 英語ﾘｰﾃﾞｨﾝｸﾞⅡB 英語ﾗｲﾃｨﾝｸﾞⅡA 英語ﾗｲﾃｨﾝｸﾞⅡB 英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅡA 英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅡB
		Kevin Bartlett ＜平成28年4月＞	
兼担	講師		英語ﾗｲﾃｨﾝｸﾞⅠA 英語ﾗｲﾃｨﾝｸﾞⅠB 英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅠA 英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅠB 英語ﾘｰﾃﾞｨﾝｸﾞⅡA 英語ﾘｰﾃﾞｨﾝｸﾞⅡB 英語ﾗｲﾃｨﾝｸﾞⅡA 英語ﾗｲﾃｨﾝｸﾞⅡB 科学技術英語A 科学技術英語B 千刈集中英語実習

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞	担当授業科目名

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞	担当授業科目名

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞	担当授業科目名

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞	担当授業科目名
兼担	講師	Troy Rubesch ＜平成29年4月＞	英語ﾗｲﾃｨﾝｸﾞⅠA 英語ﾗｲﾃｨﾝｸﾞⅠB 英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅠA 英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅠB 英語ﾘｰﾃﾞｨﾝｸﾞⅡA 英語ﾘｰﾃﾞｨﾝｸﾞⅡB 英語ﾗｲﾃｨﾝｸﾞⅡA 英語ﾗｲﾃｨﾝｸﾞⅡB 千刈集中英語実習
兼担	講師	Laura Huston ＜平成29年4月＞	英語ﾗｲﾃｨﾝｸﾞⅠA 英語ﾗｲﾃｨﾝｸﾞⅠB 英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅠA 英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅠB 英語ﾗｲﾃｨﾝｸﾞⅡA 英語ﾗｲﾃｨﾝｸﾞⅡB 英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅡA 英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅡB
兼担	講師	Jason Henwood ＜平成29年4月＞	英語ﾗｲﾃｨﾝｸﾞⅠA 英語ﾗｲﾃｨﾝｸﾞⅠB 英語ﾗｲﾃｨﾝｸﾞⅡA 英語ﾗｲﾃｨﾝｸﾞⅡB 英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅡA 英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅡB 千刈集中英語実習
兼担	講師	Kym Jolley ＜平成29年4月＞	英語ﾗｲﾃｨﾝｸﾞⅠA 英語ﾗｲﾃｨﾝｸﾞⅠB 英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅠA 英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅠB 英語ﾗｲﾃｨﾝｸﾞⅡA 英語ﾗｲﾃｨﾝｸﾞⅡB 英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅡA 英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅡB 千刈集中英語実習
兼担	講師	Shalvin Singh ＜平成29年4月＞	英語ﾗｲﾃｨﾝｸﾞⅠA 英語ﾗｲﾃｨﾝｸﾞⅠB 英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅠA 英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅠB 英語ﾗｲﾃｨﾝｸﾞⅡA 英語ﾗｲﾃｨﾝｸﾞⅡB 千刈集中英語実習

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞	担当授業科目名
兼担	講師	Troy Rubesch ＜平成29年4月＞	英語ﾗｲﾃｨﾝｸﾞⅠA 英語ﾗｲﾃｨﾝｸﾞⅠB 英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅠA 英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅠB 英語ﾗｲﾃｨﾝｸﾞⅡA 英語ﾗｲﾃｨﾝｸﾞⅡB 千刈集中英語実習
兼担	講師	Laura Huston ＜平成29年4月＞	英語ﾗｲﾃｨﾝｸﾞⅠA 英語ﾗｲﾃｨﾝｸﾞⅠB 英語ﾗｲﾃｨﾝｸﾞⅡA 英語ﾗｲﾃｨﾝｸﾞⅡB 英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅡA 英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅡB 千刈集中英語実習
兼担	講師	Jason Henwood ＜平成29年4月＞	英語ﾗｲﾃｨﾝｸﾞⅠA 英語ﾗｲﾃｨﾝｸﾞⅠB 英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅠA 英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅠB 英語ﾘｰﾃﾞｨﾝｸﾞⅡA 英語ﾘｰﾃﾞｨﾝｸﾞⅡB 英語ﾗｲﾃｨﾝｸﾞⅡA 英語ﾗｲﾃｨﾝｸﾞⅡB 千刈集中英語実習
兼担	講師	Kym Jolley ＜平成29年4月＞	英語ﾗｲﾃｨﾝｸﾞⅠA 英語ﾗｲﾃｨﾝｸﾞⅠB 英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅠA 英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅠB 英語ﾘｰﾃﾞｨﾝｸﾞⅡA 英語ﾘｰﾃﾞｨﾝｸﾞⅡB 英語ﾗｲﾃｨﾝｸﾞⅡA 英語ﾗｲﾃｨﾝｸﾞⅡB
兼担	講師	Shalvin Singh ＜平成29年4月＞	英語ﾗｲﾃｨﾝｸﾞⅠA 英語ﾗｲﾃｨﾝｸﾞⅠB 英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅠA 英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅠB 英語ﾗｲﾃｨﾝｸﾞⅡA 英語ﾗｲﾃｨﾝｸﾞⅡB 英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅡA 英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅡB

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 担当授業科目名
兼担	助教	長谷川　由美子 ＜平成27年4月＞ 生命科学入門実験
兼担	助教	小森　英之 ＜平成27年4月＞ 生命科学入門実験
兼担	助教	藤原　正澄 ＜平成27年9月＞ 基礎化学実験Ⅰ
兼担	助教	宮田　将徳 ＜平成27年4月＞ 生命科学入門実験
兼担	助教	前田　康大 ＜平成27年4月＞ 生命科学入門実験
兼担	助教	當麻　真奈 ＜平成27年9月＞ 基礎化学実験Ⅰ
兼担	助教	岩井　貴弘 ＜平成27年9月＞ 基礎化学実験Ⅰ

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 担当授業科目名
兼担	助教	藤原　正澄 ＜平成27年9月＞ 基礎化学実験Ⅰ
兼担	助教	宮田　将徳 ＜平成27年4月＞ 生命科学入門実験
兼担	助教	當麻　真奈 ＜平成27年9月＞ 基礎化学実験Ⅰ
兼担	助教	岩井　貴弘 ＜平成27年9月＞ 基礎化学実験Ⅰ

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 担当授業科目名
兼担	助教	藤原　正澄 ＜平成27年9月＞ 基礎化学実験Ⅰ
兼担	助教	宮田　将徳 ＜平成27年4月＞ 生命科学入門実験
兼担	助教	當麻　真奈 ＜平成27年9月＞ 基礎化学実験Ⅰ
兼担	助教	岩井　貴弘 ＜平成27年9月＞ 基礎化学実験Ⅰ

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 担当授業科目名
兼担	助教	宮田　将徳 ＜平成27年4月＞ 生命科学入門実験
兼担	助教	當麻　真奈 ＜平成27年9月＞ 基礎化学実験Ⅰ
兼担	助教	岩井　貴弘 ＜平成27年9月＞ 基礎化学実験Ⅰ

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 担当授業科目名
兼担	講師	Michael Collins ＜平成30年4月＞ 英語ﾗｲﾃｨﾝｸﾞⅠA 英語ﾗｲﾃｨﾝｸﾞⅠB 英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅠA 英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅠB 英語ﾘｰﾃﾞｨﾝｸﾞⅡA 英語ﾘｰﾃﾞｨﾝｸﾞⅡB 英語ﾗｲﾃｨﾝｸﾞⅡA 英語ﾗｲﾃｨﾝｸﾞⅡB 千刈集中英語実習
兼担	講師	Chad Cottam ＜平成30年4月＞ 英語ﾗｲﾃｨﾝｸﾞⅠA 英語ﾗｲﾃｨﾝｸﾞⅠB 英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅠA 英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅠB 英語ﾗｲﾃｨﾝｸﾞⅡA 英語ﾗｲﾃｨﾝｸﾞⅡB 英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅡA 英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅡB 千刈集中英語実習
兼担	講師	Imogen Custance ＜平成30年4月＞ 英語ﾗｲﾃｨﾝｸﾞⅠA 英語ﾗｲﾃｨﾝｸﾞⅠB 英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅠA 英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅠB 英語ﾗｲﾃｨﾝｸﾞⅡA 英語ﾗｲﾃｨﾝｸﾞⅡB 英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅡA 英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅡB 千刈集中英語実習
兼担	助教	當麻　真奈 ＜平成27年9月＞ 基礎化学実験Ⅰ
兼担	助教	岩井　貴弘 ＜平成27年9月＞ 基礎化学実験Ⅰ

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞	担当授業科目名
兼担	助教	北村　圭 ＜平成27年9月＞	基礎化学実験Ⅰ
兼担	助教	三橋　了爾 ＜平成27年9月＞	基礎化学実験Ⅰ
兼担	助教	赤井　勇斗 ＜平成27年9月＞	基礎化学実験Ⅰ
兼担	助教	桑原　圭裕 ＜平成27年9月＞	芸術と技術

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞	担当授業科目名
兼任	講師	池田　瑞穂 ＜平成28年9月＞	コンピュータ演習Ａ
兼任	講師	町田　敏生 ＜平成30年4月＞	先進エネルギーナノ工学詳論
兼任	講師	井上　尚之 ＜平成27年4月＞	自然科学史
兼任	講師	谷　恭子 ＜平成27年4月＞	フランス語読解Ⅰ フランス語読解Ⅱ
兼任	講師	副島　猛 ＜平成27年4月＞	哲学 論理学
兼任	講師	阪口　勝弘 ＜平成27年4月＞	フランス語文法Ⅰ フランス語文法Ⅱ
兼任	講師	北口　勝也 ＜平成27年4月＞	心理学
兼任	講師	藤戸　麻理 ＜平成27年4月＞	ドイツ語読解Ⅰ ドイツ語読解Ⅱ
兼任	講師	平田　誠一郎 ＜平成27年9月＞	社会学
兼任	講師	谷村　要 ＜平成27年4月＞	サイバー社会入門
兼任	講師	村上 亮 ＜平成27年9月＞	西洋史
兼任	講師	中窪　啓介 ＜平成27年4月＞	地誌学

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞	担当授業科目名
兼任	講師	池田　瑞穂 ＜平成28年9月＞	コンピュータ演習Ａ
兼任	講師	町田　敏生 ＜平成30年4月＞	先進エネルギーナノ工学詳論
兼任	講師	井上　尚之 ＜平成27年4月＞	自然科学史
兼任	講師	谷　恭子 ＜平成27年4月＞	フランス語読解Ⅰ フランス語読解Ⅱ
兼任	講師	副島　猛 ＜平成27年4月＞	哲学 論理学
兼任	講師	阪口　勝弘 ＜平成27年4月＞	フランス語文法Ⅰ フランス語文法Ⅱ
兼任	講師	北口　勝也 ＜平成27年4月＞	心理学
兼任	講師	藤戸　麻理 ＜平成27年4月＞	ドイツ語読解Ⅰ ドイツ語読解Ⅱ
兼任	講師	村上 亮 ＜平成27年9月＞	西洋史
兼任	講師	中窪　啓介 ＜平成27年4月＞	地誌学
兼任	**講師**	**内田　啓太郎 ＜平成27年4月＞**	**サイバー社会入門**
兼任	**講師**	**宮田　玲 ＜平成27年4月＞**	**ドイツ語文法Ⅰ ドイツ語文法Ⅱ**
兼任	**講師**	**尾添　侑太 ＜平成27年9月＞**	**社会学**
兼任	**講師**	**藤田　明史 ＜平成27年4月＞**	**芸術と技術**

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞	担当授業科目名
兼任	講師	池田　瑞穂 ＜平成28年9月＞	コンピュータ演習Ａ
兼任	講師	町田　敏生 ＜平成30年4月＞	先進エネルギーナノ工学詳論
兼任	講師	井上　尚之 ＜平成27年4月＞	自然科学史
兼任	講師	谷　恭子 ＜平成27年4月＞	フランス語読解Ⅰ フランス語読解Ⅱ
兼任	講師	副島　猛 ＜平成27年4月＞	哲学 論理学
兼任	講師	阪口　勝弘 ＜平成27年4月＞	フランス語文法Ⅰ フランス語文法Ⅱ
兼任	講師	北口　勝也 ＜平成27年4月＞	心理学
兼任	講師	藤戸　麻理 ＜平成27年4月＞	ドイツ語読解Ⅰ ドイツ語読解Ⅱ
兼任	講師	村上 亮 ＜平成27年9月＞	西洋史
兼任	**講師**	**内田　啓太郎 ＜平成27年4月＞**	**サイバー社会入門**
兼任	**講師**	**宮田　玲 ＜平成27年4月＞**	**ドイツ語文法Ⅰ ドイツ語文法Ⅱ**
兼任	**講師**	**尾添　侑太 ＜平成27年9月＞**	**社会学**
兼任	**講師**	**藤田　明史 ＜平成27年4月＞**	**芸術と技術**
兼任	**講師**	**宮西　正宣 ＜平成28年4月＞**	**線形代数学Ⅰ**

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞	担当授業科目名
兼任	講師	町田　敏生 ＜平成30年4月＞	先進エネルギーナノ工学詳論
兼任	講師	井上　尚之 ＜平成27年4月＞	自然科学史
兼任	講師	谷　恭子 ＜平成27年4月＞	フランス語読解Ⅰ フランス語読解Ⅱ
兼任	講師	副島　猛 ＜平成27年4月＞	哲学 論理学
兼任	講師	阪口　勝弘 ＜平成27年4月＞	フランス語文法Ⅰ フランス語文法Ⅱ
兼任	講師	北口　勝也 ＜平成27年4月＞	心理学
兼任	講師	藤戸　麻理 ＜平成27年4月＞	ドイツ語読解Ⅰ ドイツ語読解Ⅱ
兼任	講師	村上 亮 ＜平成27年9月＞	西洋史
兼任	**講師**	**内田　啓太郎 ＜平成27年4月＞**	**サイバー社会入門**
兼任	講師	**宮田　玲 ＜平成27年4月＞**	**ドイツ語文法Ⅰ ドイツ語文法Ⅱ**
兼任	**講師**	**尾添　侑太 ＜平成27年9月＞**	**社会学**
兼任	**講師**	**藤田　明史 ＜平成27年4月＞**	**芸術と技術**

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞	担当授業科目名
兼任	講師	井上　尚之 ＜平成27年4月＞	自然科学史
兼任	講師	谷　恭子 ＜平成27年4月＞	フランス語読解Ⅰ フランス語読解Ⅱ
兼任	講師	副島　猛 ＜平成27年4月＞	哲学 論理学
兼任	講師	阪口　勝弘 ＜平成27年4月＞	フランス語文法Ⅰ フランス語文法Ⅱ
兼任	講師	北口　勝也 ＜平成27年4月＞	心理学
兼任	講師	藤戸　麻理 ＜平成27年4月＞	ドイツ語読解Ⅰ ドイツ語読解Ⅱ
兼任	**講師**	**内田　啓太郎 ＜平成27年4月＞**	**サイバー社会入門**
兼任	**講師**	**宮田　玲 ＜平成27年4月＞**	**ドイツ語文法Ⅰ ドイツ語文法Ⅱ**
兼任	**講師**	**尾添　侑太 ＜平成27年9月＞**	**社会学**
兼任	**講師**	**藤田　明史 ＜平成27年4月＞**	**芸術と技術**

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞	担当授業科目名

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞	担当授業科目名

（１）ー②担当教員表に関する変更内容

【平成２７年度】

・クラス数及び担当教員の編成を見直したことにより、尾鼻靖子兼担教授の担当授業科目を変更。
・クラス数及び担当教員の編成を見直したことにより、工藤多恵兼担准教授の担当授業科目を変更。
・昇任により壷井基裕兼担准教授の職名を「准教授」から「教授」に変更。
・担当教員の編成を見直したことにより、高橋功兼担教授から平賀純子兼担准教授に変更。
・クラス数及び担当教員の編成を見直したことにより、Matthew Barbee兼担講師、Polly Tang兼担講師の担当授業科目を変更。
・Michael Lynn兼担准教授、Stuart Cunningham兼担講師、Carmen Tamas兼担講師、Amy Johnson兼担講師が就任辞退したが、住政二郎兼担准教授、Evan Cacali兼担講師、Mario Perez兼担講師、Willam Marcus兼担講師、Audrey Moreno兼担講師、Dormer Geoffrey兼担講師が新たに就任し、クラス数及び担当教員の編成を変更。
・担当教員の編成を見直したことにより、前川裕兼担講師の担当授業科目を変更し、「ドイツ語文法Ⅰ」、「ドイツ語文法Ⅱ」は宮田玲兼任講師に変更。
・長谷川由美子兼担助教の就任辞退により、安達直樹兼担助教に変更。
・小森英之兼担助教の就任辞退により、荒木啓吾兼担助教に変更。
・前田康大兼担助教の就任辞退により、松吉ひろ子兼担助教に変更。
・平田誠一郎兼任講師の担当辞退により、尾添侑太兼任講師に変更。
・谷村要兼任講師の担当辞退により、内田啓太郎兼任講師に変更。
・授業形態を変更したことにより、藤田明史兼任講師を「芸術と技術」の担当教員として追加。

【平成２８年度】

・担当教員の編成を見直したことにより、水木純一郎教授の担当授業科目を一部削除。
・担当教員の編成を見直したことにより、石井博昭兼担教授から宮西正宜兼任講師に変更。
・特別研究員となったことにより、尾鼻靖子兼担教授の担当授業科目を一部削除。
・担当教員の編成を見直したことにより、楠瀬正昭兼担教授から城健男兼任講師に変更。
・担当教員の編成を見直したことにより、山根英司兼担教授の担当授業科目を変更し、「微積分学Ⅱ」は前田一貴兼担助教に変更。
・担当教員の編成を見直したことにより、大崎浩一兼担教授から増田佳代兼担教授に変更。
・長岡徹兼担教授担当辞退により、佐藤潤一兼任講師に変更。
・担当教員の編成を見直したことにより、石浦菜岐佐兼担教授を「コンピュータ演習Ａ」の担当教員として追加。
・クラス数及び担当教員の編成を見直したことにより、工藤多恵兼担准教授、住政二郎兼担准教授の担当授業科目を変更。
・昇任により増尾貞弘兼担准教授の職名を「准教授」から「教授」に変更。
・クラス数及び担当教員の編成を見直したことにより、Matthew Barbee兼担講師、Manuel Senna兼担講師、Polly Tang兼担講師、Regan Thomson兼担講師、Evan Cacali兼担講師、Mario Perez兼担講師、Audrey Moreno兼担講師、Dormer Geoffrey兼担講師の担当授業科目を変更。
・Robert Stroud兼担講師が辞任したが、Erik Fritz兼担講師、Katie Deng兼担講師、Kevin Bartlett兼担講師が新たに就任し、クラス数及び担当教員の編成を変更。
・授業形態を変更したことにより、桑原圭裕兼担助教の担当授業科目を削除。
・中窪啓介兼任講師担当辞退により、吉田雄介兼任講師に変更。
・クラス数及び担当教員の編成を見直したことにより、言語教育科目を担当する兼任講師６名を追加。

【平成２９年度】

・水木純一郎教授が学部長に就任し、同時に負担軽減のため、担当授業科目を一部削除。
・担当教員の編成を見直したことにより、田中裕久教授、金子忠昭教授、若林克法教授、松尾元彰准教授、尾崎壽紀講師に担当授業科目を追加。
・担当教員の編成を見直したことにより、御厨正博兼担教授の担当授業科目を変更し、「基礎化学Ｂ」は重藤真介兼担准教授に変更。
・特別研究員の終了により、尾鼻靖子兼担教授の担当授業科目を復活。
・担当教員の編成を見直したことにより、白川英司兼担教授の担当授業科目を変更し、「基礎化学Ｃ」は畠山琢次兼担准教授に変更。
・クラス数及び担当教員の編成を見直したことにより、氏木道人兼担教授の担当授業科目を一部削除。
・担当教員の編成を見直したことにより、山根英司兼担教授から石井博昭兼任講師に変更。
・佐藤潤一兼任講師担当辞退により、長岡徹兼担教授に変更。
・担当教員の編成を見直したことにより、石浦菜岐佐兼担教授の担当授業科目を削除。
・担当教員の編成を見直したことにより、増田佳代兼担教授の担当授業科目を変更し、「線形代数学Ⅱ」は仲久則兼任講師に変更。
・担当教員の編成を見直したことにより、宮西正宜兼任講師から、増田佳代兼担教授に変更。
・クラス数及び担当教員の編成を見直したことにより、工藤多恵兼担准教授、住政二郎兼担准教授の担当授業科目を変更。
・昇任により前川裕兼担講師の職名を「講師」から「准教授」に変更。
・クラス数及び担当教員の編成を見直したことにより、Matthew Barbee兼担講師、Evan Cacali兼担講師、Mario Perez兼担講師、Willam Marcus兼担講師、Dormer Geoffrey兼担講師、Erik Fritz兼担講師、Katie Deng兼担講師、Kevin Bartlett兼担講師の担当授業科目を変更。
・Daniel Parsons兼担講師、Manuel Senna兼担講師、Polly Tang兼担講師、Regan Thomson兼担講師、Audrey Moreno兼担講師が担当辞退したが、Troy Rubesch兼担講師、Laura Huston兼担講師、Jason Henwood兼担講師、Kym Jolley兼担講師、Shalvin Singh兼担講師が新たに就任し、クラス数及び担当教員の編成を変更。
・藤原正澄兼担助教辞任により、山内光陽兼担助教に変更。
・赤井勇人兼担助教辞任により、山口きらら兼担助教に変更。
・担当教員の編成を見直したことにより、前田一貴兼担助教から石井博昭兼任講師に変更。
・担当教員の編成を見直したことにより、池田瑞穂兼任講師から田口宗孝兼任講師に変更。
・クラス数及び担当教員の編成を見直したことにより、藤平愛美兼任講師の担当授業科目を削除し、「英語リーディングＩＡ」「英語リーディングＩＢ」はデイヴィス恵美兼任講師に変更。
・クラス数及び担当教員の編成を見直したことにより、瀬川新一兼任講師、水田愼一朗兼任講師、武市久仁彦兼任講師を追加。

【平成３０年度】

・担当教員の編成を見直したことにより、鹿田真一教授、田中裕久教授、藤原明比古教授、若林克法教授、吉川浩史准教授、松尾元彰准教授、尾崎壽紀講師の担当授業科目を追加。
・長岡徹兼担教授担当辞退により、佐藤潤一兼任講師に変更。
・担当教員の編成を見直したことにより、増田佳代兼担教授から前田一貴兼担助教に変更。
・クラス数及び担当教員の編成を見直したことにより、工藤多恵兼担准教授、住政二郎兼担准教授の担当授業科目を変更。
・昇任により畠山琢次兼担准教授の職名を「准教授」から「教授」に変更。
・クラス数及び担当教員の編成を見直したことにより、Mario Perez兼担講師、Erik Fritz兼担講師、Kevin Bartlett兼担講師、Troy Rubesch兼担講師、Laura Huston兼担講師、Jason Henwood兼担講師、Kym Jolley兼担講師、Shalvin Singh兼担講師の担当授業科目を変更。
・Matthew Barbee兼担講師、Dormer Geoffrey兼担講師、Katie Deng兼担講師が辞任したが、Michael Collins兼担講師、Chad Cottam兼担講師、Imogen Custance兼担講師が、新たに就任しクラス数及び担当教員の編成を変更。
・宮田将徳兼担助教辞任により、福田亮介兼担助教に変更。
・松吉ひろ子兼担助教辞任により、竹谷皓規兼担助教に変更。
・担当教員の編成を見直したことにより桑野幸徳兼任講師、北澤宏一兼任講師、町田敏生兼任講師、瀬川新一兼担講師の担当授業科目を削除。
・村上亮兼任講師担当辞退により、岡本託兼任講師に変更。
・担当教員の編成を見直したことにより、武市久仁彦兼任講師の担当授業科目を変更し、「ものづくり理工実験Ⅱ」を水田愼一朗兼任講師に変更。
・担当教員の編成を見直したことにより、田口宗孝兼任講師から西本佳央兼任講師に変更。
・担当教員の編成を見直したことにより、「コンピュータ演習Ａ」を担当する風井浩志兼任講師、山崎陽一兼任講師を追加。

（注）・　変更内容を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
・　**認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合**は，当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し，大学設置・学校法人審議会による教員資格審査（AC教員審査）を受けてください。**AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
・　「専任教員採用等変更書（ＡＣ）」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」と記入してください。なお，設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は，「教員審査省略」と記入してください。
・　不要な年度（平成２８年度開設であれば平成２７年度、平成２９年度開設であれば平成２７年度及び平成２８年度、平成３０年度開設であれば平成２７年度から平成２９年度）の表は適宜削除してください。

（２） 専任教員数等

（２）－① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における設置基準上の必要専任教員数	うち、完成年度時における設置基準上の必要教授数
8 名	4 名

（注）・ 大学設置基準第十三条別表第一、短期大学設置基準第二十二条別表第一イにより算出される専任教員数を記入してください。

（２）－② 専任教員数

設置時の計画					現在（報告書提出時）の状況					現在（報告書提出時）の完成年度時の計画				
教 授	准教授	講 師	助 教	計（A）	教 授	准教授	講 師	助 教	計（B）	教 授	准教授	講 師	助 教	計（C）
8	3	1	0	12	8	3	1	0	12	8	3	1	0	12
(7)	(2)	(1)	(0)	(10)						[0]	[0]	[0]	[0]	[0]

（注）・「設置時の計画」には，設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに，（ ）内に開設時の状況を記入してください。
・「現在（報告書提出時）の状況」には、報告書提出年度の５月１日の教員数（実人数）を記入してください。
・**「現在（報告書提出時）の完成年度時の計画」には，「現在（報告書提出時）の状況」に記入した数字に，教員審査を受審済みであり，完成年度までに就任する教員数を加えた数を記入**するとともに，［ ］内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：１名減の場合：△１）

（２）－③ 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める定年年齢（歳）	報告書提出時（上記（B））の教員のうち、定年を延長して採用している教員数	完成年度時（上記（C））の教員うち、定年を延長して採用する教員数
65歳（教授の資格を有する者は68歳）	0 名	0 名

（注）・「年齢構成」には，当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません），および，平成３０年５月１日現在，定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数および完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。
・なお，職位等によって定年年齢が異なる場合には，職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し，「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

（２）－④ 設置時の計画に対する教員充足率

$$\frac{\text{現在（報告書提出時）の完成年度時の計画（C）}}{\text{設置時の計画（A）}} = \frac{12}{12} = \boxed{100.00}\ \%$$

（注）・ 小数点以下第３位を切り捨て，小数点以下第２位まで表示されます。

（２）－⑤ 現在（報告書提出時）の状況における定年を延長している教員構成率

$$\frac{\text{報告書提出時の教員のうち、定年を延長して採用している教員数}}{\text{現在（報告書提出時）の状況（B）}} = \frac{0}{12} = \boxed{0.00}\ \%$$

（注）・ 小数点以下第３位を切り捨て，小数点以下第２位まで表示されます。

（３） 専任教員辞任等の理由

（３）ー①　専任教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況

番　号	職　位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由
―	―	該当なし。				

合計（D）			後任補充状況の集計（E）								
就任を辞退した教員数	担当科目数の合計（a）＋（b）＋（c）		①の合計数（a）		②の合計数（b）		③の合計数（c）				
0　人	必修	0　科目	必修	0　科目	必修	0　科目	必修	0　科目			
	選択	0　科目	選択	0　科目	選択	0　科目	選択	0　科目			
	自由	0　科目	自由	0　科目	自由	0　科目	自由	0　科目			
	計	0　科目	計	0　科目	計	0　科目	計	0　科目			

（注）・　認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての専任教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。
・　「就任辞退（未就任）」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことです。
就任した後に辞任した教員は、以下「（３）ー②専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。
・　昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに就任を辞退した場合，赤字にて記入するとともに，
「就任辞退（未就任）の理由」に就任辞退の理由等および（　）書きで報告年度を記入してください。
・　また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、
「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

・専任教員が担当する（している）場合は「①」
・兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
・後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

（３）ー②　専任教員辞任の理由及び後任補充状況

番　号	職　位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由
－	－	該当なし。				

合計（F）			後任補充状況の集計（G）								
辞任した教員数	担当科目数の合計（a）＋（b）＋（c）		①の合計数（a）		②の合計数（b）		③の合計数（c）				
0　人	必修	0　科目	必修	0　科目	必修	0　科目	必修	0　科目			
	選択	0　科目	選択	0　科目	選択	0　科目	選択	0　科目			
	自由	0　科目	自由	0　科目	自由	0　科目	自由	0　科目			
	計	0　科目	計	0　科目	計	0　科目	計	0　科目			

（注）・　一度就任した後に、**定年による退職以外の理由で辞任した全ての専任教員**についてに記入してください。
・　昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに辞任等した場合，赤字にて記入するとともに，「辞任等の理由」
に辞任理由等および（　）書きで報告年度を記入してください。
・　また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、
「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

・専任教員が担当する（している）場合は「①」
・兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
・後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

（３）ー③　上記（３）ー①　・　（３）ー②　の合計

合計（D）＋（F）			後任補充状況の集計（E）＋（G）								
辞任等した教員数	担当科目数の合計（a）＋（b）＋（c）		①の合計数（a）		②の合計数（b）		③の合計数（c）				
0　人	必修	0　科目	必修	0　科目	必修	0　科目	必修	0　科目			
	選択	0　科目	選択	0　科目	選択	0　科目	選択	0　科目			
	自由	0　科目	自由	0　科目	自由	0　科目	自由	0　科目			
	計	0　科目	計	0　科目	計	0　科目	計	0　科目			

（３）ー④　設置時の計画に対する教員辞任率

$$\frac{(3)-③合計(D)+(F)}{(2)-②設置時の計画(A)} = \frac{0}{12} = \boxed{0.00}\ \%$$

（注）・　小数点以下第３位を切り捨て，小数点以下第２位まで表示されます。

（３）ー⑤　定年により退職した専任教員に対する後任補充状況

番　号	職　位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由
－	－	該当なし。				

合計				後任補充状況の集計					
辞任した教員数	担当科目数の合計（a）＋（b）＋（c）			①の合計数（a）		②の合計数（b）		③の合計数（c）	
0　人	必修	0	科目	必修	0 科目	必修	0 科目	必修	0 科目
	選択	0	科目	選択	0 科目	選択	0 科目	選択	0 科目
	自由	0	科目	自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目
	計	0	科目	計	0 科目	計	0 科目	計	0 科目

（注）・　**定年により退職した全ての専任教員**について に記入してください。
・　昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに辞任等した場合，赤字にて記入するとともに，「辞任等の理由」に辞任理由等および（　）書きで報告年度を記入してください。
・　また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

・専任教員が担当する（している）場合は「①」
・兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
・後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

（４）専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし。

（注）・　上記（３）の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

６　留意事項等に対する履行状況等

区　　分	留　意　事　項　等		履　行　状　況		未履行事項についての実施計画
設　置　時 （27年4月）	該当なし。				
設置計画履行状況調　査　時 （28年2月）	理工学部先進エネルギーナノ工学科の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生確保の努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。	改善意見	平成28年度以降の定員確保に向けて、方策を検討し努力した。具体的には、先進エネルギーナノ工学科教員が中心となり、高校訪問を近畿圏内の高校だけでなく、東北地方等の高校でも実施した。積極的な広報活動を行い、新学科の学びの内容を高校教員や高校生に伝えた。また、オープンキャンパスの実施、夢ナビライブへの参加、模擬授業の高校への提供等により、受験生に新学科の学びの内容を理解してもらう機会を多く設けた。また、新たに学科のWebページを開設し、教育研究内容が受験生に浸透するよう、情報を発信した。 この結果、入学者を99名確保することができ、平成28年度、平均入学定員超過率は0.95倍となった。(28) 平成29年度は、600名の志願者より73名の入学者を迎えた。3年間の平均入学定員超過率は、0.94倍となった。志願状況等より入学定員は適切と思われるため入学定員は変更しない。引き続き、定員確保に努める。(29) 平成30年度は、566名の志願より54名の入学者を迎えた。多くの志願者があったにもかかわらず歩留まりを予測することが難しく定員を確保することができなかった。完成年次を迎え、過去4年間の平均入学定員超過率は0.87倍となった。毎年、定員確保に努めているが、新学科ということもあり歩留まりを予測することが難しく、年度によって入学者数にばらつきが出る結果となった。しかしながら、過去4年間の志願者数の平均は577名と入学定員を大きく上回っていることから、本学科に対する社会的な需要が高いことが示されている。今後、継続して入試データを蓄積し、歩留まりの予測精度を高めることで、より安定的で確実な定員確保が可能となる。併せて、受験生への積極的な広報活動も継続的に実施していく。具体的には、先進エネルギーナノ工学科の教員が中心となり、高校訪問を中国・四国・九州地方等の高校を中心に積極的に実施する。加えて、オープンキャンパスの実施、夢ナビライブへの参加、模擬授業の高校への提供等を予定している。 （30）	履行済	

区　　分	留　意　事　項　等		履　行　状　況		未履行事項について の実施計画
設置計画履行状況 調　　査　　時 （29年2月）	該当なし。				
設置計画履行状況 調　　査　　時 （30年2月）	該当なし。				

（注）・　「設置時」には，当該大学等の設置時（認可時又は届出時）に付された留意事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る留意事項を除く。）　と，それに対する履行状況等について，具体的に記入し，報告年度を（　　）書きで付記してください。

・　「設置計画履行状況調査時」には，当該設置計画履行状況調査の結果，**当該大学に付された意見を全て記入**するとともに，付された意見に対する履行状況等について，具体的に記入してください。その履行状況等を裏付ける資料があれば，添付してください。

・　「履行状況」では，履行途中であれば「未履行」，履行済みであれば「履行済」を選択してください。

・　該当がない場合には，「該当なし」と記入してください。

・　「設置計画履行状況調査時」の（年月）には，調査結果を公表した月（通常２月）を記入してください。（実地調査や面接調査を実施した日ではありません。）

７　その他全般的事項

＜理工学部　先進エネルギーナノ工学科＞

（１） 設置計画変更事項等

設　置　時　の　計　画	変更内容・状況，今後の見通しなど
① 様式第2号（その3の1）「授業科目の概要」 P.5 芸術と技術	① 授業形態を変更したため、「授業科目の概要」の該当部分を変更。(27)(28)【別紙1参照】
② 「校地校舎等の図面」P.9～12 キャンパス別　校地等面積一覧表 キャンパス別　校舎等建物一覧表	② 校地校舎等の面積変更に伴い、「キャンパス別　校地等面積一覧表」及び「キャンパス別　校舎等建物一覧表」を変更。(30) 【別紙2参照】

（注）・　１～６の項目に記入した事項以外で，設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）
及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

（２） 教員の資質の維持向上の方策（ＦＤ・ＳＤ活動含む）

①　実施体制

ａ　委員会の設置状況

・ 全学的な組織として、平成22年4月より総合教育研究室と情報メディア教育センターを統合し、高等教育推進センターを設置した。また、高等教育推進センターのもとに教育力向上（ＦＤ）専門部会と情報通信技術（ＩＣＴ）専門部会を設置していたが、平成25年度よりそれらの専門部会を廃し、教育力向上企画専門部会、学習支援専門部会を設置した。学習支援専門部会では、各種調査及び学習支援システムを活用した教育の開発と支援について取り組んでいる。これらの取り組みは、すべて教員と学生のコミュニケーション強化を目的としているため、ＦＤに関する取り組みの1つとして捉えている。平成24年4月よりＦＤ活動を含む教員の資質の維持向上の取り組みに対する意思決定の高度化、施策の全学的推進を図るため、教務委員会のもとに教育力向上部会を設置した。

・ ＦＤ委員会（理工学部・理工学研究科共通）を設置している。

ｂ　委員会の開催状況（教員の参加状況含む）

・ 平成25年度以降の教務委員会は、月1回開催、委員は各学部副学部長等で構成されている。教育力向上部会は随時開催。教育力向上部会の委員も各学部副学部長等で構成されている。

・ 平成25年度より設置した教育力向上企画専門部会は、センター長が指名した委員で構成されており、平成26年度までは年4回、平成27年度は年3回開催していたが、平成28年度、29年度は教育力向上企画専門部会は開催せず、教務委員会のもとに設置されている教育力向上部会に講師を派遣し、全学的に教育力向上のための企画を検討した。学習支援専門部会は、学部から選出された委員と教務機構長補佐で構成されており、平成26年度は年10回、平成27年度は年8回、平成28年度、平成29年度は7回開催した。

・ ＦＤ委員会は、平成26年度は10回、平成27年度は6回、平成28年度は5回、平成29年度は4回開催した。副学部長(教務担当)、学部長補佐(教務担当)を中心に各学科から選出されたＦＤ委員9名で構成されている。

ｃ　委員会の審議事項等

・ 教務委員会は、別紙3「教務委員会規程」第6条に記載のとおり、全学科目の開講と担当者に関する事項、全学科目の非常勤講師の採用審査に関する事項、授業実施に関する事項、定期・中間試験実施に関する事項、全学に共通する教務上の様式に関する事項、不測事態への対応体制に関する事項等を議決する。なお、教育力向上部会では教育力向上（ファカルティ・ディベロップメント）施策の全学的推進を協議する。

・ 平成25年度より設置している教育力向上企画専門部会の審議内容は別紙3「高等教育推進センター規程」に基づき、授業調査、ＦＤ講演会、初任者研修等を主な事項としている。

・ 平成25年度から設置している学習支援専門部会では、「高等教育推進センター規程」に基づき、各種調査や学習支援システムを活用した教育の開発と支援について協議している。

・ ＦＤ委員会は、学部・研究科の教育方針やその特色に照らしあわせて、授業形態・方法の点検と改善の方法を議論する。

② 実施状況

a 実施内容

・ 新任教員研修（全学）

・ 大学院生、大学教員対象のワークショップ「大学教員のための『講義方法のブラッシュアップ』」（全学）（平成25年度～平成29年度）

・ ＦＤ講演会・ＦＤワークショップ・ＬＭＳ講習会・ＳＤ講演会・ＳＤワークショップ（全学）

・ 各学部のＦＤ活動報告「高等教育推進センターニューズレター」（全学）（平成25年度～平成29年度）

・ ホームページの充実（全学）

・ カレッジコミュニティ調査（ＣＣＡ）（全学）（平成26・28年度）

・ 大学ＩＲコンソーシアム　共通学生調査（平成25年度～平成29年度）

・ 研修会の開催（理工学部）

・ 履修指導マニュアルの作成（理工学部）

・ 指導教員による成績配布の際の履修指導方針の明確化（理工学部）

・ 教員間での各授業の合格状況の把握と共有化（理工学部）

・ アカデミックアドバイザー制度の導入（理工学部）

・ シラバスの向上に向けた取組（理工学部）

b 実施方法

・ 新任教員研修は、毎年度初めに大学の役職者が大学の歴史や組織、研究関連諸制度、人権問題等について新任教員オリエンテーションとして行っている。また、この研修内でＦＤ講演会やＬＭＳの操作法の講習も実施し、教員の資質の維持向上を図っている。

・ 本学の教員や教員を志す大学院生（既に非常勤講師等で教壇に立っている者を含む）を対象として、授業の方法等をプレＦＤとして実施している。なお、関西地区ＦＤ連絡協議会と共催し、他大学の教員も受け入れている。

・ ＦＤワークショップとして、ＴＡを対象としたワークショップを新たに開催し、変化する大学の授業と教育方法、ＴＡが受講生に求められる能力・役割について再考する機会を設けている。

・ 全学の教職員を対象として、ＦＤ講演会、ＦＤワークショップ、ＬＭＳ利用講習会、ＳＤ講演会、ＳＤワークショップを実施している。

・ 各学部にＦＤ委員会を組織する等、学部単位でも研修会や講演会を実施し、ＦＤ活動に取り組んでいる。1年間取り組んだことについて、高等教育推進センターが報告書をまとめ、「高等教育推進センターニューズレター」として、発行している。ニューズレターは毎年2回発行する。

・ 大学のホームページにＦＤ関連サイトを開設し、これまで行ってきたＦＤに関する講演会や研究会の講演要旨や、今後開催される講演会・研究会等の情報を公表している。

・ 大学ＩＲコンソーシアムの共通学生調査については、コンソーシアム加盟の大学が共通の調査項目を用いて、調査を実施している。この学生調査による間接評価結果は、成績などの直接評価結果と合わせて評価指標とすることが可能である。

・ 平成26年度は生きた学びの場として神戸三田キャンパスに設置されたアカデミック・コモンズの理念、現在の運営方針と活動状況、将来の展望について、「アカデミック・コモンズが拓く新たな学び」というテーマで研修会を実施した。平成27年度は、本学におけるインスティテューショナル・リサーチ（ＩＲ）の現状と課題について「ＩＲ学生調査、データの活用法」というテーマで研修会を実施した。また、神戸三田キャンパスで開催されたメンタルヘルス研究会「アサーティブなコミュニケ―ション」へ積極的に参加した。平成28年度は、ＤＶＤ視聴の形で『教育の質保証とシラバスの実質化』に関するＦＤ研修を実施した。またアカデミック・アドバイザー制度における教員面談指導能力の向上を図るため、立命館大学より講師を招き「学生動態の定点観測の試み - 立命館大学物理学科における学修面談について － 」というテーマで研修会を実施した。さらに、ＦＤ研修会として、学生からの授業アンケートで高い評価を受けている2つの講義の見学を行った。平成29年度は、「授業におけるルーブリックの活用」と題して、ＦＤ研修を実施した。また、シラバス向上に向けた取組を実施した。

・ 担任が学生に成績を渡す際、学生の単位修得状況に応じて、的確なアドバイスが出来るよう各学科が履修指導マニュアルを作成し、履修指導を行う際の方針を明確化している。

・ 平成26年度、平成27年度、平成28年度、平成29年度教授会において、カリキュラム及び教育体制の点検の指標として、成績分布表を配布。

・ 平成27年度から9学科体制となったことに伴い、学生数増加による授業調査の手間などの軽減のため、独自の出席調査アプリを開発し、平成27年度より運用を開始し、平成28年度、平成29年度も利用した。

c 開催状況（教員の参加状況含む）

・ 新任教員オリエンテーションは、毎年度初めに新任教員が全員参加する。平成22年度からは、本学が全新任者を対象として実施してきた学院紹介等を含むオリエンテーションプログラム、従来から行われていた人権研修プログラムに、研究制度と研究費の使用についてなど、教員としての自覚を後押しするようなプログラムを新たに研修プログラムとして加え、新任者研修プログラムとして体系化し、全学的なＦＤへの取組として実施している。

・ 平成24年度からは「講義方法のブラッシュアップ」というテーマで講師を迎え、授業の構成、黒板の使い方等について、夏季にワークショップを行っている。今後も継続する予定である。

・ ＦＤ講演会を平成26年度～平成28年度は1回、平成29年度は2回、ＬＭＳ利用講習会を平成26年度は10回、平成27年度は11回、平成28年度は13回、平成29年度は12回、ＳＤ講演会を平成25年度～平成29年度は1回実施した。また、ＦＤワークショップを平成27年度は2回、平成28年度は4回、平成29年度は1回開催した。平成28年度は、新たにＳＤワークショップを実施した。今後も、ＦＤ講演会やＦＤワークショップ、ＳＤワークショップを毎年1～2回、ＬＭＳ利用講習会を数回、ＳＤ講演会を年1回実施する。

・ 各学部のＦＤ委員会が1年間取り組んだ内容について、報告書にまとめ「高等教育推進センターニューズレター」に掲載している。

・ 大学ホームページのＦＤサイト「教育改善・ＦＤへの取組」に、これまで行ってきたＦＤに関する講演会や研究会の講演要旨、今後学内の部課で開催される講演会・研究会等の情報を公表している。

・ 平成26年度、平成28年度にカレッジコミュニティ調査（ＣＣＡ）を実施した。本調査は現役学生の「正課活動への参加」や「大学への進学動機」等、学生の実態や大学の学習環境等の調査を行ったものである。この調査報告書を教員に配布して活用している。

・ 大学ＩＲコンソーシアム共通の学生調査について、平成25年度より全学部生のおよそ7割の学生を対象として、1年生調査と上級生調査を実施している。調査項目は授業内外における学習行動を中心としており、学部間のみならず、他大学との比較を行い、カリキュラムや授業改善等の参考としている。

・ 平成26年度は研修会を1回開催し、約半数の教員が参加した。平成27年度も、外部講師を招いて研修会を1回開催、約半数の教員が参加した。平成28年度、平成29年度も、外部講師を招いて研修会を1回開催、約半数の教員が参加した。また新たに「教育の質保証とシラバスの実質化』というテーマでＦＤ研修会を開催し、全教員が参加した。

・ 平成26年度、平成27年度、平成28年度及び平成29年度の9月、3月の成績発表において、明確化した履修指導方針をもとに、履修指導を行った。

・ 平成26年度、平成27年度、平成28年度及び平成29年度の5月開催の教授会において、教員間における学生の各科目の成績状況の把握と共有化を目的に成績分布表を配布した。

ｄ　実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

・ 学生による授業評価アンケートの結果を分析し、各教員に報告し、それについて各教員はコメントを提出することにしている。またその教員コメントを学内で公開し、相互研鑽に努めている。各学部内のＦＤ委員会での活動結果をニューズレターに掲載し、学部間の情報交換としている。またニューズレターや高等教育推進センター紀要『関西学院高等教育研究』を各教員に配布することで情報の共有を行っている。

・ 平成26年度の研修会を通じて、クレセントチューターと呼ばれる院生中心の学修支援システムがレポート作成、成果発表、試験勉強などのフィールドに分かれてきめ細かく対応している状況を把握するとともに、チューター自身の能力向上のための支援体制のあり方などは、ラーニング・アシスタント制度の効率的な運用を考える上でも大きな手がかりを与えるものであることを学ぶことができた。

・ 平成27年度の研修会を通じて、学生調査データの積極的な活用方法について学ぶことができた。国内における本学の現状を把握し、課題を解決するために、大学間でのデータ比較や、複数の調査データの分析が有用であることがわかった。

・ メンタルヘルス研究会に参加することで、自他共に肯定するという考え方に基づくより一層の教育指導能力の向上を図ることができた。

・ 平成28年度の研修会を通じて、面談を学生の振り返りの場や、学生生活の問題を聞くことで安心感を与える場とする考え方などを学ぶことができた。また、学生は入学後の英語クラスなど集団の影響を受けるため、入学初期に成績上位層の学生のレベルをさらに引き上げる事で集団全体の質を上げるような取り組みも重要である事がわかった。

・ 平成29年度の研修会を通じて、初等・中等教育で導入が始まっているルーブリックに関して大学での活用に関する情勢と実践に向けた取り組みについて学ぶことができ、具体的な導入を想定した質疑応答が活発になされた。シラバス向上に向けた取り組みでは、組織的な評価システムと実践的、効果的、かつ持続可能な運用について検討を行い、方針を教員で共有した。

・ 成績発表の際の履修指導方針を明確化することにより、全学生に対して、同じ内容の履修指導を行うことが可能になった。

・ 教授会において、カリキュラム及び教育体制の点検の指標として、成績分布表を配布することにより、カリキュラムや成績評価や履修指導に改善すべき点がないか検討を行うことが可能になった。

③　学生に対する授業評価アンケートの実施状況

ａ　実施の有無及び実施時期

・ 学生による授業評価アンケートは、平成24年度より毎年全学的に統一された方式で実施している。実施方法は各学部で専任教員3科目以上、非常勤講師1科目以上の科目を抽出して実施する「マークシート方式で実施する調査」とマークシート方式で実施しない科目を対象とした「Ｗｅｂ方式で実施する調査」の2方式である。このほかに全学統一書式で「自由記述用紙で実施する調査」も毎年全開講科目を対象として実施している。平成29年度には、学生の学修行動についての調査項目を加えた。

ｂ　教員や学生への公開状況，方法等

・ 平成24年度より「シラバスとの整合性」、「話し方」、「授業進行の工夫」、「リポート、宿題など」、「授業準備」、「新たな知見」、「満足」の各項目について、各学部の科目区分毎にマクロで分析したレーダーチャートを全学生・全教職員に公表している。また、調査結果を踏まえて「学生の評価に対するコメント」と「今後の改善点について」の2点のポイントについて、各教員がまとめた改善報告書を全学生・全教職員に公表している。なお、それらに加え、平成24年度より、実施した調査結果をもとに各学部がとりまとめた総評についても、全学生・全教職員に平成25年度から公表している。

（注）・「①ａ　委員会の設置状況」には，関係規程等を転載又は添付すること。
「②実施状況」には，実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

（３） 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

先進エネルギーナノ工学科は、平成27年度は入学定員80名に対し、55名の新入生を第一期生として迎えた。入学定員超過率は0.68倍であった。志願者数は629名で、多くの志願者が集まったにも関わらず、新設学科ということで過去のデータが利用できず、定員を大幅に下回った。また、旧課程最後の入試であったことが影響して、浪人生の動きをうまく読みとることができなかったことも入学定員割れの原因となった平成28年度は、積極的な広報活動を行い、また前年度のデータを活用して入学定員80名の学生確保を目指した結果、定員を上回る99名の新入生を迎え、入学定員超率は、1.02倍で定員を確保することができた。平成29年度は、73名の新入生を迎え、入学定員超過率は0.91倍であった。平成30年度は、54名の新入生を迎え、入学定員超過率は0.67倍であった。完成年次を迎え4年間の平均入学定員超過率は0.87倍となった。毎年、定員確保に努めているが、新学科ということもあり歩留まりを予測することが難しく、年度によって入学者数にばらつきが出る結果となった。しかしながら、過去4年間の志願者数の平均は577名と入学定員を大きく上回っており、本学科に対する社会的な需要が高いことが示されている。今後、継続して入試データを蓄積し、歩留まりの予測精度を高めることで、より安定的で確実な定員確保が可能となる。併せて、受験生への積極的な広報活動も継続的に実施していく予定である。

先進エネルギーナノ工学科設置の趣旨・目的は、エネルギーを「創る」、「蓄える」、「運ぶ」、「有効に使う」の4つの教育研究分野を相互に関連付けながら、基礎から応用までの幅広い学修環境を提供し、将来の日本を支える人材を育成することにある。すなわち、本学科では、エネルギー問題をターゲットとして、グリーンイノベーションに寄与し得る人材育成をめざす。先進エネルギーナノ工学科設置の趣旨・目的を実現するために、先進エネルギーナノ工学科の教員組織及び教育課程を編成し、1年目、2年目、3年目及び4年目の春学期においても、予定していた全ての科目を適正な規模で開講することができた。今後も、本学科の設置の趣旨・目的を実現するために、設置計画を踏まえた適切な教育及び教育の質の向上のための取組を継続して実施する。

② 自己点検・評価報告書

ａ 公表（予定）時期

・ 平成30年度は、平成27年度に設定した目標の進捗評価を中心に自己点検・評価を実施する。
評価結果を平成31年3月末日に公表。

ｂ 公表方法

・ 本学Ｗｅｂサイトにて公表

③ 認証評価を受ける計画

・ 平成25年度に大学基準協会の認証評価で「適合」の認定を受けた。
次回は平成32年度に認証評価を受けるべく、学内で検討中。

（注）・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。
また，「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については，できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。
なお，「② 自己点検・評価報告書」については，当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

（４） 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書

ａ ホームページに公表（予定）の有無 （ 有 ・ 無 ）

ｂ 公表（予定）有の場合の公表（予定）時期 （ 平成30年 9月 1日 ）

（注）・ 「ａ ホームページに公表（予定）有無」には，５月１日時点で公表している場合，もしくは，今後公表する予定の場合は，「有」にマルを記入してください。今後も公表する予定がない場合は，「無」にマルを記入してください。
・ 「ｂ 公表（予定）有の場合の公表（予定）時期」には，「ａ ホームページに公表（予定）有無」で「有」にマルを記入した場合のみ，時期を記入してください。

1　調査対象大学等の概要等

（1）設　置　者

学校法人関西学院

（2）大　学　名

関西学院大学

（3）大学の位置

〒669－1337
兵庫県三田市学園2丁目1番地
〒662－0891
兵庫県西宮市上ケ原一番町1番155号

・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には，複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

（4）管理運営組織

職　　名	設　　置　　時	変　更　状　況	備　　考
理 事 長	（ ミヤハラ　アキラ ） 宮原　明 （平成27年4月）		
学　　長	（ ムラタ　オサム ） 村田　治 （平成27年4月）		
学 部 長	（ カトウ　サトル ） 加藤　知 （平成27年4月）	（ ミズキ　ジュンイチロウ ） 水木　純一郎 （平成29年4月）	任期満了のため平成29年4月1日より変更(29)
学科長等	―		

（注）・「変更状況」は，変更があった場合に記入し，併せて「備考」に変更の理由と変更年月日，報告年度を（　）書きで記入してください。
（例）平成２９年度に報告済の内容　→（29）
平成３０年度に報告する内容　→（30）
・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば，「変更状況」に赤字にて記載（昨年度までに報告された記載があれば，そこに赤字で見え消し修正）するとともに，上記と同様に，「備考」に変更理由等を記入してください。
・大学院の場合には，「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は，各職に相当する職名の方を記載してください。

（５） 調査対象学部等の名称，定員，入学者の状況等

（注）・ 当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等，定員を定めている組織ごとに記入してください（入試区分ごとではありません）。
・ なお，課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は，法令上規定されている最小単位（大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」でも記載してください。その場合適宜各項目の表を追加してください。
・ 様式は，平成２７年度開設の４年制の学科の場合（平成３０年度までの４年間）ですが，開設年度・修業年限に合わせて作成してください。（修業年限が３年以下の場合には欄を削除し，５年以上の場合には，欄を設けてください。）

（５）－① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の名称（学位）	学位又は学科の分野	設置時の計画				備考
		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	
理工学部 環境・応用化学科 学士（工学）	工学関係	年 4	人 80	年次 人 —	人 320	

（注）・ 定員を変更した場合は，「備考」に変更前の人数，変更年月及び報告年度を（ ）書きで記入してください。
・ 学生募集停止を予定している場合は、「備考」にその旨記載してください。
・ 「学位又は学科の分野」には、「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要（別記様式第２号（その２の１））」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。

（５）－② 調査対象学部等の入学者の状況

区分＼対象年度	平成２７年度		平成２８年度		平成２９年度		平成３０年度		平均入学定員超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期		
A 入学定員	人 80 （ — ） [—]	人	人 80 （ — ） [—]	人	人 80 （ — ） [—]	人	人 80 （ — ） [—]	人	0.95倍	
志願者数	861 （ — ） [—]	— （ — ） [—]	648 （ — ） [9]	— （ — ） [—]	665 （ 1 ） [10]	— （ — ） [—]	673 （ — ） [25]	（ ） [ ]		
受験者数	850 （ — ） [—]	— （ — ） [—]	637 （ — ） [9]	— （ — ） [—]	656 （ 1 ） [10]	— （ — ） [—]	651 （ — ） [25]	（ ） [ ]		
合格者数	377 （ — ） [—]	— （ — ） [—]	393 （ — ） [8]	— （ — ） [—]	372 （ 1 ） [6]	— （ — ） [—]	355 （ — ） [15]	（ ） [ ]		
B 入学者数	71 （ — ） [—]	— （ — ） [—]	90 （ — ） [5]	— （ — ） [—]	72 （ 1 ） [4]	— （ — ） [—]	72 （ — ） [8]	（ ） [ ]		
入学定員超過率 B／A	0.88		1.12		0.90		0.90			

（注）・ 数字は，平成３０年５月１日現在の数字を記入してください。
・ （ ）内には，編入学の状況について**外数で**記入してください。なお，編入学を複数年次で行っている場合には，(( ))書きとするなどし，その旨を「備考」に付記してください。 該当がない年には「－」を記入してください。
・ [ ]内には，留学生の状況について**内数で**記入してください。該当がない年には「－」を記入してください。
・ 留学生については，「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により，我が国の大学（大学院を含む。），短期大学，高等専門学校，専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
・ 短期交換留学生など，定員内に含めていない学生については記入しないでください。
・ 転入学生は記入しないでください。
・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「－」を記入してください。また，その他の学期に入学定員を設けている場合は，備考欄にその人数を記入してください。
・ 「入学定員超過率」については，**各年度の春季入学とその他を合計した入学定員，入学者数で算出**してください。なお，計算の際は小数点以下第３位を切り捨て，小数点以下第２位まで記入してください。
・ 「平均入学定員超過率」には，開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお，計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。

（５）－③　調査対象学部等の在学者の状況

学年＼対象年度	平成２７年度		平成２８年度		平成２９年度		平成３０年度		備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
１年次	71 [－] (—)	－ [－] (—)	90 [5] (—)	－ [－] (—)	72 [4] (—)	－ [－] (—)	72 [8] (—)	[　　] (　　)	平成28年9月 1年次1人退学（29） 平成29年4月 3年次1人編入学（29） 平成30年3月 2年次2人退学（30）
２年次			71 [－] (—)	－ [－] (—)	89 [5] (—)	－ [－] (—)	72 [4] (—)	[　　] (　　)	
３年次					72 [－] (—)	－ [－] (—)	87 [5] (—)	[　　] (　　)	
４年次							72 [－] (—)	[　　] (　　)	
計	71 [－] (－)		161 [5] (－)		233 [9] (－)		303 [17] (－)		

（注）・　数字は，平成３０年５月１日現在の数字を記入してください。
・　[　　]内には，留学生の状況について**内数で**記入してください。該当がない年には「－」を記入してください。
・　留学生については，「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により，我が国の大学（大学院を含む。），短期大学，高等専門学校，専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
・　短期交換留学生など，定員内に含めていない学生については記入しないでください。
・　編入学生や転入学生も含めて記入してください。その際，備考欄に人数の内訳を記入してください。
・　学期の区分に従い学生を入学させる場合は，春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は，その他の学期欄は「－」を記入してください。また，その他の学期に入学定員を設けている場合は，備考欄にその人数を記入してください。
・　「計」については，**各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数，留学生数**を記入してください。
・（　）内には，留年者の状況について，内数で記入してください。該当がない年には「－」を記入してください。

（５）－④　調査対象学部等の退学者等の状況

区分 / 対象年度	在学者数(b)	退学者数(a)	内訳 入学した年度	内訳 退学者数	内訳 退学者数のうち留学生数	主な退学理由
平成27年度	71 人	0 人	平成27年度	0 人	0 人	
平成28年度	161 人	1 人	平成27年度	0 人	0 人	
			平成28年度	1 人	0 人	学生個人の心身に関する事情(1人)
平成29年度	233 人	2 人	平成27年度	0 人	0 人	
			平成28年度	2 人	0 人	学生個人の心身に関する事情(1人)、進路変更(1人)
			平成29年度	0 人	0 人	
平成30年度	303 人	0 人	平成27年度	0 人	0 人	
			平成28年度	0 人	0 人	
			平成29年度	0 人	0 人	
			平成30年度	0 人	0 人	
合　計	768 人	3 人				

（注）・ 数字は，平成30年5月1日現在の数字を記入してください。
・ 各年度の在学者数については，該当年度に在学した人数を記入してください。（途中で退学者がいた場合でも、その退学者数を減らす必要はありません。）
・ 内訳については，退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
・ 在学者数や退学者数には編入学生や転入学生も含めて記入してください。
・ 留学生については，「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により，我が国の大学（大学院を含む。），短期大学，高等専門学校，専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記入してください。
・ 短期交換留学生など，定員内に含めていない学生については記入しないでください。
・「主な退学理由」は，下の項目を参考に記入してください。その際，「就学意欲の低下（〇人）」というように，その人数も含めて記入してください。
（記入項目例）・就学意欲の低下　・学力不足　・他の教育機関への入学・転学　・海外留学
・就職　・学生個人の心身に関する事情　・家庭の事情　・除籍　・その他

（５）－⑤　調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【平成27年度】

$$\frac{\text{平成27年度の退学者数(a)}}{\text{平成27年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{71} = 0.00\ \%$$

【平成28年度】

$$\frac{\text{平成28年度の退学者数(a)}}{\text{平成28年度の在学者数(b)}} = \frac{1}{161} = 0.62\ \%$$

【平成29年度】

$$\frac{\text{平成29年度の退学者数(a)}}{\text{平成29年度の在学者数(b)}} = \frac{2}{233} = 0.85\ \%$$

【平成30年度】

$$\frac{\text{平成30年度の退学者数(a)}}{\text{平成30年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{303} = 0.00\ \%$$

（注）・　小数点以下第３位を切り捨て，小数点以下第２位まで表示されます。

2　授業科目の概要

＜理工学部　環境・応用化学科＞

（1）ー① 授業科目表

【認可時又は届出時】

科目区分		授業科目の名称	配当年次	単位数 必修	単位数 選択	単位数 自由	専任教員等の配置 教授	専任教員等の配置 准教授	専任教員等の配置 講師	専任教員等の配置 助教	専任教員等の配置 助手	兼任・兼担
総合教育科目	キリスト教科目	キリスト教学Ａ	1前	2								1
		キリスト教学Ｂ	1後	2								1
	言語教育科目	英語リーディングⅠＡ	1前	1								4
		英語リーディングⅠＢ	1後	1								4
		英語ライティングⅠＡ	1前	1								10
		英語ライティングⅠＢ	1後	1								10
		英語コミュニケーションⅠＡ	1前	1								10
		英語コミュニケーションⅠＢ	1後	1								10
		英語リーディングⅡＡ	2前	1								10
		英語リーディングⅡＢ	2後	1								10
		英語ライティングⅡＡ	2前	1								10
		英語ライティングⅡＢ	2後	1								10
		英語コミュニケーションⅡＡ	2前	1								10
		英語コミュニケーションⅡＢ	2後	1								10
		ドイツ語読解Ⅰ	1前		1							1
		ドイツ語読解Ⅱ	1後		1							1
		フランス語読解Ⅰ	1前		1							1
		フランス語読解Ⅱ	1後		1							1
		ドイツ語文法Ⅰ	1前		1							1
		ドイツ語文法Ⅱ	1後		1							1
		フランス語文法Ⅰ	1前		1							1
		フランス語文法Ⅱ	1後		1							1
	教養教育科目	哲学	1前		2							1
		論理学	1前		2							1
		西洋史	1後		2							1
		心理学	1前		2							1
		社会学	1後		2							1
		法学	1前		2							1
		日本国憲法	1前		2							1
		経済学	1前		2							1
		自然科学史	1前		2							1
		科学倫理	1後		2							1
		環境学	1後		2		1					3
		サイバー社会入門	1前		2							1
		芸術と技術	1後		2							1
		地誌学	1前		2							1
専門教育科目	必修科目	基礎化学Ａ	1前	2				1				
		基礎化学Ｂ	1後	2			1					
		基礎化学Ｃ	1後	2			1					
		環境化学	1前	2			1					
		基礎化学実験Ⅰ	1前	2			7	1		6		
		基礎化学実験Ⅱ	1後	2			7	1		6		
		基礎物理学実験Ⅰ	2前	2								3
		環境・応用化学実験Ⅰ	3前	9			8	2		6		
		環境・応用化学実験Ⅱ	3後	9			8	2		6		
		外国書講読	4通	2			8	2				
		輪講	4通	2			8	2				
		卒業実験及び演習	4通	8			8	2		6		

【平成３０年度】

科目区分		授業科目の名称	配当年次	単位数 必修	単位数 選択	単位数 自由	専任教員等の配置 教授	専任教員等の配置 准教授	専任教員等の配置 講師	専任教員等の配置 助教	専任教員等の配置 助手	兼任・兼担
総合教育科目	キリスト教科目	キリスト教学Ａ	1前	2								1
		キリスト教学Ｂ	1後	2								1
	言語教育科目	英語リーディングⅠＡ	1前	1								9
		英語リーディングⅠＢ	1後	1								9
		英語ライティングⅠＡ	1前	1								14
		英語ライティングⅠＢ	1後	1								14
		英語コミュニケーションⅠＡ	1前	1								9
		英語コミュニケーションⅠＢ	1後	1								9
		英語リーディングⅡＡ	2前	1								9
		英語リーディングⅡＢ	2後	1								9
		英語ライティングⅡＡ	2前	1								13
		英語ライティングⅡＢ	2後	1								13
		英語コミュニケーションⅡＡ	2前	1								7
		英語コミュニケーションⅡＢ	2後	1								7
		ドイツ語読解Ⅰ	1前		1							1
		ドイツ語読解Ⅱ	1後		1							1
		フランス語読解Ⅰ	1前		1							1
		フランス語読解Ⅱ	1後		1							1
		ドイツ語文法Ⅰ	1前		1							1
		ドイツ語文法Ⅱ	1後		1							1
		フランス語文法Ⅰ	1前		1							1
		フランス語文法Ⅱ	1後		1							1
	教養教育科目	哲学	1前		2							1
		論理学	1前		2							1
		西洋史	1後		2							1
		心理学	1前		2							1
		社会学	1後		2							1
		法学	1前		2							1
		日本国憲法	1前		2							1
		経済学	1前		2							1
		自然科学史	1前		2							1
		科学倫理	1後		2							1
		環境学	1後		2		1					3
		サイバー社会入門	1前		2							1
		芸術と技術	1後		2							1
		地誌学	1前		2							1
専門教育科目	必修科目	基礎化学Ａ	1前	2			1					
		基礎化学Ｂ	1後	2			1					
		基礎化学Ｃ	1後	2			1					
		環境化学	1前	2			1					
		基礎化学実験Ⅰ	1前	2			8			6		
		基礎化学実験Ⅱ	1後	2			8			6		
		基礎物理学実験Ⅰ	2前	2								3
		環境・応用化学実験Ⅰ	3前	9			10			6		
		環境・応用化学実験Ⅱ	3後	9			10			6		
		外国書講読	4通	2			10					
		輪講	4通	2			10					
		卒業実験及び演習	4通	8			10			6		

科目区分		授業科目の名称	配当年次	単位数 必修	単位数 選択	単位数 自由	専任教員等の配置 教授	専任教員等の配置 准教授	専任教員等の配置 講師	専任教員等の配置 助教	専任教員等の配置 助手	兼任・兼担
専門教育科目	数学・物理科目	線形代数学Ⅰ	1前		2							1
		線形代数学Ⅱ	1後		2							1
		線形代数学Ⅲ	2前		2							1
		微積分学Ⅰ	1前		2							1
		微積分学Ⅱ	1後		2							1
		基礎物理学Ａ	1前		2							1
		基礎物理学Ｂ	1後		2							1
		基礎物理学Ｃ	2前		2							1
		基礎物理学Ｄ	2後		2							1
	地学・生命・情報科目	生命科学Ⅰ	1前		2							1
		生命科学Ⅱ	1後		2		1					
		生命科学入門実験	1前		2							8
		コンピュータ演習Ａ	1前		2							1
		基礎地学Ⅰ	2前		2		1	1				
		基礎地学Ⅱ	2後		2		1	1				
	基礎科目	無機化学	2前		2		1					
		量子化学	2前		2		1					
		化学熱力学	2後		2		1					
		有機反応論	2前		2		1					
		有機構造論	2前		2		1					
		反応速度論	2前		2		1					
		高分子化学	2後		2		1					
		地球環境化学	2後		2		1					
		分析化学	2前		2		1					
	発展科目	発展物理化学	2後		2			1				
		発展有機化学	2後		2		1					
		錯体化学	3前		2		1					
		応用物理化学	3前		2		1					
		分光学	3前		2			1				
		合成有機化学	3前		2		1					
		応用有機化学	3後		2		1					
		環境有機材料化学	3前		2		1					
		応用物性化学	3後		2		1					
		応用地球化学	3後		2		1	1				
		応用量子化学	3後		2		1					
		環境分析化学	3後		2		1					
		地球物質科学	3前		2			1				
		有機工業化学	3後		2		1					
	自由選択科目	環境倫理	1後		2							2
		自然環境論	1前		2							1
		地球環境科学実験	2通		2		1	1				
		科学技術英語Ａ	3前		2							4
		科学技術英語Ｂ	3後		2							4
		千刈集中英語実習	3前		2							1

科目区分		授業科目の名称	配当年次	単位数 必修	単位数 選択	単位数 自由	専任教員等の配置 教授	専任教員等の配置 准教授	専任教員等の配置 講師	専任教員等の配置 助教	専任教員等の配置 助手	兼任・兼担
専門教育科目	数学・物理科目	線形代数学Ⅰ	1前		2							1
		線形代数学Ⅱ	1後		2							1
		線形代数学Ⅲ	2前		2							1
		微積分学Ⅰ	1前		2							1
		微積分学Ⅱ	1後		2							1
		基礎物理学Ａ	1前		2							1
		基礎物理学Ｂ	1後		2							1
		基礎物理学Ｃ	2前		2							1
		基礎物理学Ｄ	2後		2							1
	地学・生命・情報科目	生命科学Ⅰ	1前		2							1
		生命科学Ⅱ	1後		2		1					
		生命科学入門実験	1前		2							8
		コンピュータ演習Ａ	1前・後		2							2
		基礎地学Ⅰ	2前		2		2					
		基礎地学Ⅱ	2後		2		2					
	基礎科目	無機化学	2前		2		1					
		量子化学	2前		2		1					
		化学熱力学	2後		2		1					
		有機反応論	2前		2		1					
		有機構造論	2前		2		1					
		反応速度論	2前		2		1					
		高分子化学	2後		2		1					
		地球環境化学	2後		2		1					
		分析化学	2前		2		1					
	発展科目	発展物理化学	2後		2		1					
		発展有機化学	2後		2		1					
		錯体化学	3前		2		1					
		応用物理化学	3前		2		1					
		分光学	3前		2		1					
		合成有機化学	3前		2		1					
		応用有機化学	3後		2		1					
		環境有機材料化学	3前		2		1					
		応用物性化学	3後		2		1					
		応用地球化学	3後		2		2					
		応用量子化学	3後		2		1					
		環境分析化学	3後		2		1					
		地球物質科学	3前		2		1					
		有機工業化学	3後		2		1					
	自由選択科目	環境倫理	1後		2							1
		自然環境論	1後		2							1
		地球環境科学実験	2通		2		2					1
		科学技術英語Ａ	3前		2							5
		科学技術英語Ｂ	3後		2							6
		千刈集中英語実習	3前		2							11

【平成２７年度】

科目区分		授業科目の名称	配当年次	単位数 必修	単位数 選択	単位数 自由	専任教員等の配置 教授	専任教員等の配置 准教授	専任教員等の配置 講師	専任教員等の配置 助教	専任教員等の配置 助手	兼任・兼担
総合教育科目	キリスト教科目	キリスト教学Ａ	1前	2								1
		キリスト教学Ｂ	1後	2								1
	言語教育科目	英語リーディングⅠＡ	1前	1								7
		英語リーディングⅠＢ	1後	1								7
		英語ライティングⅠＡ	1前	1								7
		英語ライティングⅠＢ	1後	1								7
		英語コミュニケーションⅠＡ	1前	1								10
		英語コミュニケーションⅠＢ	1後	1								10
		英語リーディングⅡＡ	2前	1								10
		英語リーディングⅡＢ	2後	1								10
		英語ライティングⅡＡ	2前	1								10
		英語ライティングⅡＢ	2後	1								10
		英語コミュニケーションⅡＡ	2前	1								10
		英語コミュニケーションⅡＢ	2後	1								10
		ドイツ語読解Ⅰ	1前		1							1
		ドイツ語読解Ⅱ	1後		1							1
		フランス語読解Ⅰ	1前		1							1
		フランス語読解Ⅱ	1後		1							1
		ドイツ語文法Ⅰ	1前		1							1
		ドイツ語文法Ⅱ	1後		1							1
		フランス語文法Ⅰ	1前		1							1
		フランス語文法Ⅱ	1後		1							1
	教養教育科目	哲学	1前		2							1
		論理学	1前		2							1
		西洋史	1後		2							1
		心理学	1前		2							1
		社会学	1後		2							1
		法学	1前		2							1
		日本国憲法	1前		2							1
		経済学	1前		2							1
		自然科学史	1前		2							1
		科学倫理	1後		2							1
		環境学	1後		2		1					3
		サイバー社会入門	1前		2							1
		芸術と技術	1後		2							2
		地誌学	1前		2							1
専門教育科目	必修科目	基礎化学Ａ	1前	2				1				
		基礎化学Ｂ	1後	2			1					
		基礎化学Ｃ	1後	2			1					
		環境化学	1前	2			1					
		基礎化学実験Ⅰ	1前	2			7	1		6		
		基礎化学実験Ⅱ	1後	2			7	1		6		
		基礎物理学実験Ⅰ	2前	2								3
		環境・応用化学実験Ⅰ	3前	9			9	1		6		
		環境・応用化学実験Ⅱ	3後	9			9	1		6		
		外国書講読	4通	2			9	1				
		輪講	4通	2			9	1				
		卒業実験及び演習	4通	8			9	1		6		

【平成２８年度】

科目区分		授業科目の名称	配当年次	単位数 必修	単位数 選択	単位数 自由	専任教員等の配置 教授	専任教員等の配置 准教授	専任教員等の配置 講師	専任教員等の配置 助教	専任教員等の配置 助手	兼任・兼担
総合教育科目	キリスト教科目	キリスト教学Ａ	1前	2								1
		キリスト教学Ｂ	1後	2								1
	言語教育科目	英語リーディングⅠＡ	1前	1								10
		英語リーディングⅠＢ	1後	1								10
		英語ライティングⅠＡ	1前	1								10
		英語ライティングⅠＢ	1後	1								10
		英語コミュニケーションⅠＡ	1前	1								9
		英語コミュニケーションⅠＢ	1後	1								9
		英語リーディングⅡＡ	2前	1								9
		英語リーディングⅡＢ	2後	1								9
		英語ライティングⅡＡ	2前	1								13
		英語ライティングⅡＢ	2後	1								13
		英語コミュニケーションⅡＡ	2前	1								8
		英語コミュニケーションⅡＢ	2後	1								8
		ドイツ語読解Ⅰ	1前		1							1
		ドイツ語読解Ⅱ	1後		1							1
		フランス語読解Ⅰ	1前		1							1
		フランス語読解Ⅱ	1後		1							1
		ドイツ語文法Ⅰ	1前		1							1
		ドイツ語文法Ⅱ	1後		1							1
		フランス語文法Ⅰ	1前		1							1
		フランス語文法Ⅱ	1後		1							1
	教養教育科目	哲学	1前		2							1
		論理学	1前		2							1
		西洋史	1後		2							1
		心理学	1前		2							1
		社会学	1後		2							1
		法学	1前		2							1
		日本国憲法	1前		2							1
		経済学	1前		2							1
		自然科学史	1前		2							1
		科学倫理	1後		2							1
		環境学	1後		2		1					3
		サイバー社会入門	1前		2							1
		芸術と技術	1後		2							1
		地誌学	1前		2							1
専門教育科目	必修科目	基礎化学Ａ	1前	2			1					
		基礎化学Ｂ	1後	2			1					
		基礎化学Ｃ	1後	2			1					
		環境化学	1前	2			1					
		基礎化学実験Ⅰ	1前	2			8			6		
		基礎化学実験Ⅱ	1後	2			8			6		
		基礎物理学実験Ⅰ	2前	2								3
		環境・応用化学実験Ⅰ	3前	9			10			6		
		環境・応用化学実験Ⅱ	3後	9			10			6		
		外国書講読	4通	2			10					
		輪講	4通	2			10					
		卒業実験及び演習	4通	8			10			6		

科目区分		授業科目の名称	配当年次	単位数 必修	単位数 選択	単位数 自由	専任教員等の配置 教授	専任教員等の配置 准教授	専任教員等の配置 講師	専任教員等の配置 助教	専任教員等の配置 助手	兼任・兼担
専門教育科目	数学・物理科目	線形代数学Ⅰ	1前		2							1
		線形代数学Ⅱ	1後		2							1
		線形代数学Ⅲ	2前		2							1
		微積分学Ⅰ	1前		2							1
		微積分学Ⅱ	1後		2							1
		基礎物理学Ａ	1前		2							1
		基礎物理学Ｂ	1後		2							1
		基礎物理学Ｃ	2前		2							1
		基礎物理学Ｄ	2後		2							1
	地学・生命・情報科目	生命科学Ⅰ	1前		2							1
		生命科学Ⅱ	1後		2		1					
		生命科学入門実験	1前		2							8
		コンピュータ演習Ａ	1前		2							1
		基礎地学Ⅰ	2前		2		2					
		基礎地学Ⅱ	2後		2		2					
	基礎科目	無機化学	2前		2		1					
		量子化学	2前		2		1					
		化学熱力学	2後		2		1					
		有機反応論	2前		2		1					
		有機構造論	2前		2		1					
		反応速度論	2前		2		1					
		高分子化学	2後		2		1					
		地球環境化学	2後		2		1					
		分析化学	2前		2		1					
	発展科目	発展物理化学	2後		2			1				
		発展有機化学	2後		2		1					
		錯体化学	3前		2		1					
		応用物理化学	3前		2		1					
		分光学	3前		2			1				
		合成有機化学	3前		2		1					
		応用有機化学	3後		2		1					
		環境有機材料化学	3前		2		1					
		応用物性化学	3後		2		1					
		応用地球化学	3後		2		2					
		応用量子化学	3後		2		1					
		環境分析化学	3後		2		1					
		地球物質科学	3前		2		1					
		有機工業化学	3後		2		1					
	自由選択科目	環境倫理	1後		2							2
		自然環境論	1前		2							1
		地球環境科学実験	2通		2		2					
		科学技術英語Ａ	3前		2							4
		科学技術英語Ｂ	3後		2							4
		千刈集中英語実習	3前		2							1

科目区分		授業科目の名称	配当年次	単位数 必修	単位数 選択	単位数 自由	専任教員等の配置 教授	専任教員等の配置 准教授	専任教員等の配置 講師	専任教員等の配置 助教	専任教員等の配置 助手	兼任・兼担
専門教育科目	数学・物理科目	線形代数学Ⅰ	1前		2							1
		線形代数学Ⅱ	1後		2							1
		線形代数学Ⅲ	2前		2							1
		微積分学Ⅰ	1前		2							1
		微積分学Ⅱ	1後		2							1
		基礎物理学Ａ	1前		2							1
		基礎物理学Ｂ	1後		2							1
		基礎物理学Ｃ	2前		2							1
		基礎物理学Ｄ	2後		2							1
	地学・生命・情報科目	生命科学Ⅰ	1前		2							1
		生命科学Ⅱ	1後		2		1					
		生命科学入門実験	1前		2							8
		コンピュータ演習Ａ	1後		2							1
		基礎地学Ⅰ	2前		2		2					
		基礎地学Ⅱ	2後		2		2					
	基礎科目	無機化学	2前		2		1					
		量子化学	2前		2		1					
		化学熱力学	2後		2		1					
		有機反応論	2前		2		1					
		有機構造論	2前		2		1					
		反応速度論	2前		2		1					
		高分子化学	2後		2		1					
		地球環境化学	2後		2		1					
		分析化学	2前		2		1					
	発展科目	発展物理化学	2後		2		1					
		発展有機化学	2後		2		1					
		錯体化学	3前		2		1					
		応用物理化学	3前		2		1					
		分光学	3前		2		1					
		合成有機化学	3前		2		1					
		応用有機化学	3後		2		1					
		環境有機材料化学	3前		2		1					
		応用物性化学	3後		2		1					
		応用地球化学	3後		2		2					
		応用量子化学	3後		2		1					
		環境分析化学	3後		2		1					
		地球物質科学	3前		2		1					
		有機工業化学	3後		2		1					
	自由選択科目	環境倫理	1後		2							1
		自然環境論	1前		2							1
		地球環境科学実験	2通		2		2					
		科学技術英語Ａ	3前		2							4
		科学技術英語Ｂ	3後		2							4
		千刈集中英語実習	3前		2							1

【平成２９年度】

科目区分		授業科目の名称	配当年次	単位数 必修	選択	自由	専任教員等の配置 教授	准教授	講師	助教	助手	兼任・兼担
総合教育科目	キリスト教科目	キリスト教学Ａ	1前	2								1
		キリスト教学Ｂ	1後	2								1
	言語教育科目	英語リーディングＩＡ	1前	1								9
		英語リーディングＩＢ	1後	1								9
		英語ライティングＩＡ	1前	1								14
		英語ライティングＩＢ	1後	1								14
		英語コミュニケーションＩＡ	1前	1								9
		英語コミュニケーションＩＢ	1後	1								9
		英語リーディングⅡＡ	2前	1								9
		英語リーディングⅡＢ	2後	1								9
		英語ライティングⅡＡ	2前	1								13
		英語ライティングⅡＢ	2後	1								13
		英語コミュニケーションⅡＡ	2前	1								7
		英語コミュニケーションⅡＢ	2後	1								7
		ドイツ語読解Ⅰ	1前		1							1
		ドイツ語読解Ⅱ	1後		1							1
		フランス語読解Ⅰ	1前		1							1
		フランス語読解Ⅱ	1後		1							1
		ドイツ語文法Ⅰ	1前		1							1
		ドイツ語文法Ⅱ	1後		1							1
		フランス語文法Ⅰ	1前		1							1
		フランス語文法Ⅱ	1後		1							1
	教養教育科目	哲学	1前		2							1
		論理学	1前		2							1
		西洋史	1後		2							1
		心理学	1前		2							1
		社会学	1後		2							1
		法学	1前		2							1
		日本国憲法	1前		2							1
		経済学	1前		2							1
		自然科学史	1前		2							1
		科学倫理	1後		2							1
		環境学	1後		2		1					3
		サイバー社会入門	1前		2							1
		芸術と技術	1後		2							1
		地誌学	1前		2							1
専門教育科目	必修科目	基礎化学Ａ	1前	2			1					
		基礎化学Ｂ	1後	2			1					
		基礎化学Ｃ	1後	2			1					
		環境化学	1前	2			1					
		基礎化学実験Ⅰ	1前	2			8			6		
		基礎化学実験Ⅱ	1後	2			8			6		
		基礎物理学実験Ⅰ	2前	2								3
		環境・応用化学実験Ⅰ	3前	9			10			6		
		環境・応用化学実験Ⅱ	3後	9			10			6		
		外国書講読	4通	2			10					
		輪講	4通	2			10					
		卒業実験及び演習	4通	8			10			6		

科目区分		授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担
				必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
専門教育科目	数学・物理科目	線形代数学Ⅰ	1前		2							1
		線形代数学Ⅱ	1後		2							1
		線形代数学Ⅲ	2前		2							1
		微積分学Ⅰ	1前		2							1
		微積分学Ⅱ	1後		2							1
		基礎物理学Ａ	1前		2							1
		基礎物理学Ｂ	1後		2							1
		基礎物理学Ｃ	2前		2							1
		基礎物理学Ｄ	2後		2							1
	地学・生命・情報科目	生命科学Ⅰ	1前		2							1
		生命科学Ⅱ	1後		2		1					
		生命科学入門実験	1前		2							8
		コンピュータ演習Ａ	1後		2							1
		基礎地学Ⅰ	2前		2		**2**					
		基礎地学Ⅱ	2後		2		**2**					
	基礎科目	無機化学	2前		2		1					
		量子化学	2前		2		1					
		化学熱力学	2後		2		1					
		有機反応論	2前		2		1					
		有機構造論	2前		2		1					
		反応速度論	2前		2		1					
		高分子化学	2後		2		1					
		地球環境化学	2後		2		1					
		分析化学	2前		2		1					
	発展科目	発展物理化学	2後		2		**1**					
		発展有機化学	2後		2		1					
		錯体化学	3前		2		1					
		応用物理化学	3前		2		1					
		分光学	3前		2		**1**					
		合成有機化学	3前		2		1					
		応用有機化学	3後		2		1					
		環境有機材料化学	3前		2		1					
		応用物性化学	3後		2		1					
		応用地球化学	3後		2		**2**					
		応用量子化学	3後		2		1					
		環境分析化学	3後		2		1					
		地球物質科学	3前		2		**1**					
		有機工業化学	3後		2		1					
	自由選択科目	環境倫理	1後		2							**1**
		自然環境論	1前		2							1
		地球環境科学実験	2通		2		**2**					**1**
		科学技術英語Ａ	3前		2							**6**
		科学技術英語Ｂ	3後		2							**6**
		千刈集中英語実習	3前		2							**12**

（注）・　認可申請書又は設置届出書の様式第２号（その２の１）に準じて作成してください。
・　設置認可時又は届出時の授業科目全て（兼任，兼担教員が担当する科目を含む。）を黒字で記載してください。
その上で，認可時又は届出時から変更となっている箇所は太字の赤字としてください。
・　履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても記入してください。
・　１ページ目には認可時又は届出時と平成３０年度の表を記入してください。
・　不要な年度（平成２８年度開設であれば平成２７年度、平成２９年度開設であれば平成２７年度及び平成２８年度、平成３０年度開設であれば平成２７年度から平成２９年度）の表は適宜削除し，詰めてください。
（２つの表が１ページに表示されるようにしてください。）

（１）ー②授業科目表に関する変更内容

【平成２７年度】

・クラス数及び担当教員の編成を見直したことにより、「英語リーディングＩＡ」、「英語リーディングＩＢ」の兼任・兼担を「４」から「７」に変更。
・クラス数及び担当教員の編成を見直したことにより、「英語ライティングＩＡ」、「英語ライティングＩＢ」の兼任・兼担を「１０」から「７」に変更。
・授業形態を変更したことにより、「芸術と技術」の兼任・兼担を「１」から「２」に変更。
・担当教員の昇任による職位変更のため、「環境・応用化学実験Ⅰ」、「環境・応用化学実験Ⅱ」、「外国書講読」、「輪講」、「卒業実験及び演習」 の専任教員等の配置を「教授８」から「教授９」に、「准教授２」から「准教授１」に変更。
・担当教員の昇任による職位変更のため、「基礎地学Ⅰ」、「基礎地学Ⅱ」、「応用地球化学」、「地球環境科学実験」の専任教員等の配置を「教授１」から「教授２」、「准教授１」から「准教授０」に変更。
・担当教員の昇任による職位変更のため、「地球物質科学」の専任教員等の配置を「教授０」から「教授１」、「准教授１」から「准教授０」に変更。

【平成２８年度】

・クラス数及び担当教員の編成を見直したことにより、「英語リーディングＩＡ」、「英語リーディングＩＢ」の兼任・兼担を「７」から「１０」に変更。
・クラス数及び担当教員の編成を見直したことにより、「英語ライティングＩＡ」、「英語ライティングＩＢ」の兼任・兼担を「８」から「１０」に変更。
・クラス数及び担当教員の編成を見直したことにより、「英語コミュニケーションＩＡ」、「英語コミュニケーションＩＢ」、「英語リーディングⅡＡ」、「英語リーディングⅡＢ」の兼任・兼担を「１０」から「９」に変更。
・クラス数及び担当教員の編成を見直したことにより、「英語ライティングⅡＡ」、「英語ライティングⅡＢ」の兼任・兼担を「１０」から「１３」に変更。
・クラス数及び担当教員の編成を見直したことにより、「英語コミュニケーションⅡＡ」、「英語コミュニケーションⅡＢ」の兼任・兼担を　「１０」から「８」に変更。
・授業形態を変更したことにより、「芸術と技術」の兼任・兼担を「２」から「１」に変更。
・担当教員の昇任による職位変更のため、「基礎化学Ａ」、「発展物理化学」、「分光学」の専任教員等の配置を「教授０」から「教授１」、「准教授１」から「准教授０」に変更。
・担当教員の昇任による職位変更のため、「基礎化学実験Ⅰ」、「基礎化学実験Ⅱ」の専任教員等の配置を「教授７」から「教授８」、「准教授１」から「准教授０」に変更。
・担当教員の昇任による職位変更のため、「環境・応用化学実験Ⅰ」、「環境・応用化学実験Ⅱ」、「外国書講読」、「輪講」、「卒業実験及び演習」 の専任教員等の配置を「教授９」から「教授１０」、「准教授１」から「准教授０」に変更。
・開講学期の見直しにより、「コンピュータ演習Ａ」の配当年次を、「前期」から「後期」に変更。
・担当教員の編成を見直したことにより、「環境倫理」の兼任・兼担を「２」から「１」に変更。

【平成２９年度】

・クラス数及び担当教員の編成を見直したことにより、「英語リーディングＩＡ」、「英語リーディングＩＢ」の兼任・兼担を「１０」から「９」に変更。
・クラス数及び担当教員の編成を見直したことにより、「英語ライティングＩＡ」、「英語ライティングＩＢ」の兼任・兼担を「１０」から「１４」に変更。
・クラス数及び担当教員の編成を見直したことにより、「英語コミュニケーションⅡＡ」、「英語コミュニケーションⅡＢ」の兼任・兼担を「８」から「７」に変更。
・担当教員の編成を見直したことにより、「地球環境科学実験」の兼任・兼担を「０」から「１」に変更。
・担当教員の編成を見直したことにより、「科学技術英語Ａ」、「科学技術英語Ｂ」の兼任・兼担を「４」から「６」に変更。
・担当教員の編成を見直したことにより、「千刈集中英語実習」の兼任・兼担を「１」から「１２」に変更。

【平成３０年度】

・担当教員の編成を見直したことにより、「コンピュータ演習Ａ」の兼任・兼担を「１」から「２」に変更。また、開講学期の見直しにより、配当年次に「前期」を追加。
・開講学期の見直しにより、「自然環境論」の配当年次を、「前期」から「後期」に変更。
・担当教員の編成を見直したことにより、「科学技術英語Ａ」の兼任・兼担を「６」から「５」に変更。
・担当教員の編成を見直したことにより、「千刈集中英語実習」の兼任・兼担を「１２」から「１１」に変更。

（注）・　変更内容（配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など）を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
・　変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。
・　不要な年度（平成２８年度開設であれば平成２７年度、平成２９年度開設であれば平成２７年度及び平成２８年度、平成３０年度開設であれば平成２７年度から平成２９年度）の表は適宜削除してください。

（２） 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計（Ａ）	必修	選択	自由	計	
26 科目	66 科目	0 科目	92 科目	26 科目 [0]	66 科目 [0]	0 科目 [0]	92 科目 [0]	

（注）・　未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに，［　］内に，設置時の計画からの増減を記入してください。（記入例：１科目減の場合：△１）

（３） 未開講科目

番号	授業科目名	単 位 数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由，代替措置の有無
—	該当なし。					

（注）・ 配当年次に達しているにも関わらず，何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお，理由については可能な限り具体的に記入してください。
・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については，記入しないでください。
・ 教職大学院の場合は，「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

（４） 廃止科目

番号	授業科目名	単 位 数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由，代替措置の有無
—	該当なし。					

（注）・ 設置時の計画にあり，何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお，理由については可能な限り具体的に記入してください。
・ 教職大学院の場合は，「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

（５） 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし。

（注）・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

（６） 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目（３）と廃止科目（４）の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計（A）}} = \frac{0}{92} = 0.00\%$$

（注）・ 小数点以下第３位を切り捨て，小数点以下第２位まで表示されます。
・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「（３）未開講科目」と「（４）廃止科目」の合計数となるように留意してください。

３　施設・設備の整備状況，経費

区分		内容				備考
(1)	区　分	専　用	共　用	共用する他の学校等の専用	計	大学全体 聖和短期大学と共用
校地等	校舎敷地	267,458 ㎡			290,990 ㎡	
		~~247,004 ㎡~~			~~270,461 ㎡~~	神戸三田キャンパス理工学部新学科用校舎敷地およびその他敷地の面積変更（27）
		~~248,517 ㎡~~	23,532 ㎡		~~271,974 ㎡~~	西宮上ケ原キャンパス高等部体育館新設に伴う校舎敷地の面積変更（27）
		~~248,919 ㎡~~	~~23,457 ㎡~~	－ ㎡	~~272,376 ㎡~~	西宮上ケ原キャンパス西宮市への土地一部無償譲渡に伴う運動場用地の面積変更（27）
	運動場用地	277,465 ㎡			287,277 ㎡	新女子寮新設に伴う運動場用地およびその他敷地の面積変更（27）
		~~279,250 ㎡~~	9,812 ㎡		~~289,062 ㎡~~	新規購入した聖和寮隣地（寮建設予定）をその他敷地に計上（27）
		~~277,663 ㎡~~	~~7,948 ㎡~~		~~285,611 ㎡~~	西宮聖和キャンパス西宮市への土地一部無償譲渡に伴うその他敷地の面積変更（27）
		~~278,168 ㎡~~	~~8,365 ㎡~~	－ ㎡	~~286,533 ㎡~~	西宮上ケ原キャンパス高等部体育館新設に伴う校舎敷地の面積変更（28）
	小　計	544,923 ㎡	33,344 ㎡		578,267 ㎡	神戸三田キャンパス航空部格納庫新設伴う校舎敷地および運動場用地の面積変更（28）
		~~526,254 ㎡~~	~~33,269 ㎡~~		~~559,523 ㎡~~	西宮上ケ原キャンパスの土地一部を西宮市へ無償譲渡したことに伴う校舎敷地の面積変更（28）
		~~526,180 ㎡~~	~~31,405 ㎡~~		~~557,585 ㎡~~	新規購入した仁川五ケ山町土地（グラウンド）を運動場用地に計上（28）
		~~527,087 ㎡~~	~~31,822 ㎡~~	－ ㎡	~~558,909 ㎡~~	仁川五ケ山町の土地一部を西宮市へ無償譲渡したことに伴う運動場用地の面積変更（28）
	その他	44,657 ㎡			48,755 ㎡	国際学生レジデンスⅠ売却に伴うその他敷地の面積変更（28）
		~~44,431 ㎡~~	4,098 ㎡		~~48,529 ㎡~~	新清風寮敷地の区分を修正（28）
		~~40,762 ㎡~~	~~5,686 ㎡~~		~~46,448 ㎡~~	新清風寮隣接地の区分をその他敷地から運動場用地へ変更（28）
		~~41,816 ㎡~~	~~7,550 ㎡~~		~~49,366 ㎡~~	西宮上ケ原キャンパス地積校正に伴う面積変更（29）
		~~44,214 ㎡~~	~~5,698 ㎡~~	－ ㎡	~~49,912 ㎡~~	旧有光寮跡地を駐車場に用途変更（29）
	合　計	589,580 ㎡			627,022 ㎡	仁川五ケ山町土地を運動場用地からその他敷地に用途変更（29）
		~~589,354 ㎡~~			~~626,796 ㎡~~	新清風寮敷地・駐車場を共用面積から専用面積に変更（29）
		~~567,016 ㎡~~	37,442 ㎡		~~605,971 ㎡~~	西宮聖和キャンパス10号館の建替えに伴いその他敷地から校舎敷地に一部用途変更（29）
		~~567,996 ㎡~~	~~38,955 ㎡~~		~~606,951 ㎡~~	新規購入した仁川五ケ山町土地をその他敷地に計上（30）
		~~571,301 ㎡~~	~~37,520 ㎡~~	－ ㎡	~~608,821 ㎡~~	
(2) 校　舎		専　用	共　用	共用する他の学校等の専用	計	大学全体 聖和短期大学と共用
		242,790 ㎡			262,321 ㎡	
		~~241,504 ㎡~~			~~262,290 ㎡~~	西宮上ケ原キャンパスＨ号館・社会学部棟完成後の登記面積誤差による変更（27）
		~~241,453 ㎡~~	19,166 ㎡		~~263,057 ㎡~~	西宮上ケ原キャンパス中央講堂完成後の登記面積誤差による変更（27）
		~~242,265 ㎡~~	~~16,705 ㎡~~	365 ㎡	~~263,869 ㎡~~	神戸三田キャンパス理工学部新学科用校舎（Ⅶ号館）完成後の登記面積誤差および倉庫棟新設に伴う面積変更（27）
		~~242,674 ㎡~~	~~17,523 ㎡~~	~~4,081 ㎡~~	~~264,278 ㎡~~	総合体育館改修による大学管理部分の面積変更（28）
		(242,265 ㎡)			(263,869 ㎡)	西宮上ケ原キャンパス中央講堂の面積誤差による変更（28）
		~~(242,674 ㎡)~~	(17,523 ㎡)	(4,081 ㎡)	~~(264,278 ㎡)~~	西宮聖和キャンパス10号館取壊しによる面積変更（28） 西宮聖和キャンパス2号館建築予定による面積変更（28） 神戸三田キャンパスⅦ号館の面積誤差による変更（28） 神戸三田キャンパス航空部格納庫建築による面積変更（28） 西宮聖和キャンパス2号館完成後の登記面積誤差による変更（29） 西宮聖和キャンパス2号館を専用面積から共用面積に変更（29） 総合体育館改修に伴う一部用途変更による面積変更（29） 西宮上ケ原キャンパスＧ号館改修に伴う一部用途変更による面積変更（29） 西宮聖和キャンパス3号館改修に伴う一部用途変更による面積変更（29） 西宮聖和キャンパス8号館改修に伴う一部用途変更による面積変更（29） 西宮聖和キャンパスの共用する他の学校等の専用面積から専用・共用面積に変更（30） 西宮聖和キャンパス聖和大学院棟のぽぷら保育園設置による面積変更（30）

	講　義　室	演　習　室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設	大学全体
(3) 教　室　等	257 室 ~~252 室~~ ~~251 室~~ ~~247 室~~	166 室 ~~169 室~~ ~~158 室~~ ~~157 室~~	281 室 ~~269 室~~ ~~267 室~~	46 室 45 ~~44~~ ~~46~~ (補助職員 ~~48~~ 人)	13 室 ~~14 室~~ ~~13 室~~ 10 ~~11~~ (補助職員 ~~10~~ 人)	西宮上ケ原キャンパス文学部本館および神戸三田キャンパスⅠ号館・Ⅱ号館改修に伴う変更（27） 退職のため情報処理学習施設補助職員減員(27) 新規採用による語学学習施設職員増員(27) 西宮聖和キャンパス２号館建設に伴う変更（28） 退職のため情報処理学習施設補助職員減員(28) 西宮上ケ原キャンパス第4別館、大阪梅田キャンパス10階、中央講堂、総合体育館の改修に伴う講義室数及び演習室数の変更（29） 退職のため語学学習施設補助職員減員(29) 新規採用による情報処理学習施設補助職員増員（30）

	新設学部等の名称	室　　数	
(4) 専任教員研究室	理工学部　環境・応用化学科	27 ~~17~~ ~~10~~　室	過年度計上漏れの室数を追加したため増加（29）（30）

		図　書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標　本 点	
(5) 図書・設備	理工学部 環境・応用化学科	366,556 〔248,589〕 ~~〔236,576〕~~ 365,659 〔236,809〕	9,620 〔4,584〕 ~~〔4,585〕~~ 9,537 〔4,513〕	30,485 ~~30,845~~ ~~31,924~~ 〔29,233〕 ~~〔25,657〕~~ ~~〔26,589〕~~ 28,893 〔27,707〕	8,715 ~~8,242~~ (8,460)	1,916 ~~2,108~~ ~~1,762~~ ~~1,623~~ ~~315~~ (1,916)	0 (0)	平成27年4月 視聴覚資料は、教育研究充実のため増加(27) 機械・器具は算出方法変更のため増加（27） 平成28年4月 学術雑誌（外国語）は、出版社単位で電子ジャーナルへ切り替えたため減少（28） 電子ジャーナルは、購読パッケージの見直しを行ったため減少（28） 視聴覚資料は、教育研究充実のため増加(28) 機械・器具は新規取得のため増加（28） 平成29年4月 図書（外国書）は、教育研究充実のため増加（29） 電子ジャーナルは、CiNii定額制終了に伴いCiNiiから提供されていたタイトル移管先が未定のため減少（29） 電子ジャーナル（外国書）は、教育研究充実のため増加（29） 機械・器具は新規取得のため増加（29） 平成30年4月 機械・器具は新規取得及び除却をし、除却が新規取得を上回ったため減少（30）
	計	366,556 〔248,589〕 ~~〔236,576〕~~ 365,659 〔236,809〕	9,620 〔4,584〕 ~~〔4,585〕~~ 9,537 〔4,513〕	30,485 ~~30,845~~ ~~31,924~~ 〔29,233〕 ~~〔25,657〕~~ ~~〔26,589〕~~ 28,893 〔27,707〕	8,715 ~~8,242~~ (8,460)	1,916 ~~2,108~~ ~~1,762~~ ~~1,623~~ ~~315~~ (1,916)	0 (0)	

	面　積	閲覧座席数	収納可能冊数	大学全体
(6) 図　書　館	26,044㎡ ~~23,121㎡~~	2,634席 ~~2,318席~~	2,750,000冊 ~~2,500,000冊~~	平成29年4月 面積・閲覧座席数・収納可能冊数は、短期大学図書館の大学図書館分室化に伴い増加（29）

	面　積	体育館以外のスポーツ施設の概要		大学全体
(7) 体　育　館	16,191㎡ ~~16,216㎡~~ ~~15,753㎡~~	－	－	総合体育館改修に伴う高等部管理部分の変更、大学スポーツセンター取壊しおよびG号館地下の仮設大学トレーニングセンター撤収に伴う変更（28） 総合体育館改修に伴う一部用途変更による面積変更（29） 西宮聖和キャンパス8号館改修に伴う一部用途変更による面積変更（29）

		区　分	開設年度	完成年度	区　分	開設前年度	開設年度	完成年度	
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	教員１人当り研究費等	3,817千円	3,730千円	図書購入費	3,810千円	4,190千円	4,000千円	図書購入費には、電子ジャーナル・データベースの整備費（運用コスト含む）を含む。
		共同研究費等	15,811千円	15,332千円	設備購入費	474,405千円	36,052千円	36,052千円	

	第１年次	第２年次	第３年次	第４年次	第５年次	第６年次	
学生１人当り納付金	1,657千円 ~~1,619千円~~	1,593千円 ~~1,575千円~~ ~~1,534千円~~ ~~1,491千円~~	1,575千円 ~~1,534千円~~ ~~1,491千円~~	1,534千円 ~~1,491千円~~	－千円	－千円	学費改定のため（28）（29）（30）
学生納付金以外の維持方法の概要	手数料収入、寄付金収入、補助金収入、資産運用収入、資産売却収入を充当する。						

（注）・　設置時の計画を，申請書の様式第２号（その１の１）に準じて作成してください。（複数のキャンパスに分かれている場合，複数の様式に分ける必要はありません。なお，「（１）校地等」及び「（２）校舎」は大学全体の数字を，その他の項目はＡＣ対象学部等の数値を記入してください。）

・　運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は，その旨（所要時間・距離等）を「備考」に記入してください。

・　「(５)図書・設備」については，上段に完成年度の予定数値を，下段には平成３０年５月１日現在の数値を記入してください。

・　昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては，変更部分を赤字で見え消し修正するとともに，その理由及び報告年度「（30）」を「備考」に赤字で記入してください。

なお，昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については，見え消しのまま黒字にしてください。

・　校舎等建物の計画の変更（校舎又は体育館の総面積の減少，建築計画の遅延）がある場合には，「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。

・　国立大学については「（８）経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

４　ＡＣ対象学部等を含む大学等の状況

大学の名称	関西学院大学								備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	開設年度	所在地	
	年	人	年次 人	人		倍		兵庫県西宮市 上ケ原一番町	
神学部	4	30	―	120	学士（神学）	1.04	昭和27年	1番155号	
文学部						1.04		同上	
文化歴史学科	4	275	―	1,100	学士（文学）	1.02	平成15年		
総合心理科学科	4	175	―	700	学士（文学）	1.02	平成15年		
文学言語学科	4	320	―	1,280	学士（文学）	1.06	平成15年		
社会学部								同上	
社会学科	4	650	―	2,600	学士（社会学）	1.04	昭和35年		
法学部						1.03		同上	
法律学科	4	520	―	2,080	学士（法学）	1.01	昭和23年		
政治学科	4	160	―	640	学士（法学）	1.12	昭和23年		
経済学部	4	680	―	2,720	学士（経済学）	1.04	昭和23年	同上	
商学部	4	650	―	2,600	学士（商学）	1.03	昭和26年	同上	
理工学部						0.97			
数理科学科	4	75	―	300	学士（理学）	1.01	平成21年	兵庫県三田市	
物理学科	4	75	―	300	学士（理学）	1.03	昭和36年	学園2丁目1番地	
先進エネルギーナノ工学科	4	80	―	240	学士（工学）	0.96	平成27年		
化学科	4	75	―	300	学士（理学）	0.94	昭和36年		
環境・応用化学科	4	80	―	240	学士（工学）	0.98	平成27年		
生命科学科	4	80	―	320	学士（生命科学）	1.00	平成14年		
生命科学専攻	4	―	―	―	学士（生命科学）	-			H27年より学生募集停止
生命医化学専攻	4	―	―	―	学士（生命科学）	-			H27年より学生募集停止
生命医化学科	4	80	―	240	学士（生命医化学）	0.94	平成27年		
情報科学科	4	75	―	300	学士（情報科学）	1.07	平成14年		
人間システム工学科	4	80	―	320	学士（工学）	1.10	平成21年		
総合政策学部						1.03		同上	H21年より学部一括募集を開始
総合政策学科	4	245	3年次 20	1,010	学士（総合政策）	1.03	平成7年		H28年度入学定員増（5人）、編入学定員減（△15人）
メディア情報学科	4	120	―	480	学士（総合政策）	1.03	平成14年		
都市政策学科	4	100	―	400	学士（総合政策）	1.03	平成21年		
国際政策学科	4	125	3年次 10	510	学士（総合政策）	1.03	平成21年		H28年度入学定員増（5人）、編入学定員減（△5人）
人間福祉学部						1.02			
社会福祉学科	4	130	―	520	学士（社会福祉学）	1.01	平成20年	兵庫県西宮市	
社会起業学科	4	70	―	280	学士（社会起業）	1.06	平成20年	上ケ原一番町	
人間科学科	4	100	―	400	学士（人間科学）	1.00	平成20年	1番155号	

大学の名称	関西学院大学								備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	開設年度	所在地	
	年	人	年次 人	人		倍			
教育学部 教育学科	4	350	3年次 5	1,410	学士（教育学）	1.03	平成25年	兵庫県西宮市岡田山7番54号	
国際学部 国際学科	4	300	―	1,200	学士（国際学）	1.03	平成22年	兵庫県西宮市上ケ原一番町1番155号	

大学の名称	関西学院大学大学院								備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	開設年度	所在地	
	年	人	年次 人	人		倍			
博士課程　前期課程 神学研究科 神学専攻	2	10	―	20	修士（神学）	0.65	昭和27年	兵庫県西宮市上ケ原一番町1番155号	
文学研究科 文化歴史学専攻	2	22	―	44	修士（哲学） 修士（美学） 修士（芸術学） 修士（歴史学） 修士（地理学）	0.42 0.49	平成19年	同上	
総合心理科学専攻	2	20	―	40	修士（心理科学） 修士（学校教育学）	0.45	平成19年		
文学言語学専攻	2	22	―	44	修士（文学） 修士（言語学）	0.33	平成19年		
社会学研究科 社会学専攻	2	12	―	24	修士（社会学）	0.49	昭和36年	同上	
法学研究科 法学・政治学専攻	2	45	―	90	修士（法学）	0.29	平成16年	同上	
経済学研究科 経済学専攻	2	30	―	60	修士（経済学）	0.20	昭和25年	同上	
商学研究科 商学専攻	2	30	―	60	修士（商学） 修士（経営学） 修士（会計学） 修士（マーケティング） 修士（ファイナンス） 修士（ビジネス情報） 修士（国際ビジネス）	0.21	昭和28年	同上	

大学の名称	関西学院大学大学院								備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	開設年度	所在地	
	年	人	年次人	人		倍			
理工学研究科						1.08		兵庫県三田市	
数理科学専攻	2	10	—	20	修士（理学） 修士（工学）	0.95	平成21年	学園2丁目1番地	
物理学専攻	2	22	—	44	修士（理学） 修士（工学） 修士（国際自然科学）	1.63	昭和40年		
化学専攻	2	33	—	66	修士（理学） 修士（工学） 修士（国際自然科学）	0.98	昭和40年		
生命科学専攻	2	35	—	70	修士（理学） 修士（工学） 修士（国際自然科学）	0.99	平成16年		
情報科学専攻	2	22	—	44	修士（理学） 修士（工学）	0.92	平成18年		
人間システム工学専攻	2	25	—	50	修士（理学） 修士（工学）	1.08	平成25年		
総合政策研究科								同上	
総合政策専攻	2	50	—	100	修士（総合政策）	0.16	平成11年		
言語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝ文化研究科								兵庫県西宮市	
言語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝ文化専攻	2	30	—	60	修士（言語科学） 修士（言語文化学） 修士（言語教育学） 修士（日本語教育学）	0.71	平成13年	上ケ原一番町 1番155号	
人間福祉研究科								同上	
人間福祉専攻	2	8	—	16	修士（人間福祉）	0.87	平成20年		
教育学研究科								兵庫県西宮市	
教育学専攻	2	6	—	12	修士（教育学）	0.74	平成21年	岡田山7番54号	
国際学研究科								兵庫県西宮市 上ケ原一番町	
国際学専攻	2	6	—	12	修士（国際学）	0.49	平成26年	1番155号	
博士課程　後期課程									
神学研究科									
神学専攻	3	2	—	6	博士（神学）	0.50	昭和29年	同上	
文学研究科						0.58		同上	
文化歴史学専攻	3	7	—	21	博士（哲学） 博士（美学） 博士（芸術学） 博士（歴史学） 博士（地理学）	0.37	平成19年		
総合心理科学専攻	3	6	—	18	博士（心理学） 博士（教育心理学）	0.88	平成19年		
文学言語学専攻	3	7	—	21	博士（文学） 博士（言語学）	0.52	平成19年		

大学の名称	関西学院大学大学院								備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	開設年度	所在地	
	年	人	年次人	人		倍			
社会学研究科 社会学専攻	3	4	—	12	博士（社会学）	1.00	昭和36年	兵庫県西宮市上ケ原一番町1番155号	
法学研究科						0.27		同上	
政治学専攻	3	2	—	6	博士（法学）	0.33	昭和34年		
基礎法学専攻	3	2	—	6	博士（法学）	0.00	昭和29年		
民刑事法学専攻	3	2	—	6	博士（法学）	0.50	昭和38年		
経済学研究科 経済学専攻	3	3	—	9	博士（経済学）	0.11	昭和29年	同上	
商学研究科 商学専攻	3	5	—	15	博士（商学）	0.40	昭和36年	同上	
理工学研究科						0.38		兵庫県三田市	
数理科学専攻	3	2	—	6	博士（理学） 博士（工学）	0.16	平成23年	学園2丁目1番地	
物理学専攻	3	3	—	9	博士（理学） 博士（工学）	0.44	昭和42年		
化学専攻	3	6	—	18	博士（理学） 博士（工学）	0.55	昭和42年		
生命科学専攻	3	5	—	15	博士（理学） 博士（工学）	0.20	平成18年		
情報科学専攻	3	2	—	6	博士（理学） 博士（工学）	0.33	平成18年		
人間システム工学専攻	3	2	—	6	博士（理学） 博士（工学）	0.50	平成25年		
総合政策研究科 総合政策専攻	3	5	—	15	博士（総合政策）	0.20	平成13年	同上	
言語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝ文化研究科 言語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝ文化専攻	3	3	—	9	博士（言語コミュニケーション文化）	0.66	平成15年	兵庫県西宮市上ケ原一番町1番155号	
人間福祉研究科 人間福祉専攻	3	5	—	15	博士（人間福祉）	0.73	平成20年	同上	
教育学研究科 教育学専攻	3	3	—	9	博士（教育学）	0.66	平成21年	兵庫県西宮市岡田山7番54号	
国際学研究科 国際学専攻	3	2	—	6	博士（国際学）	0.50	平成26年	兵庫県西宮市上ケ原一番町1番155号	
経営戦略研究科 先端マネジメント専攻	3	4	—	12	博士（先端マネジメント）	1.00	平成20年	同上	

大学の名称	関西学院大学大学院								備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	開設年度	所在地	
	年	人	年次 人	人		倍			
専門職学位課程 司法研究科 法務専攻	3	30	―	150	法務博士（専門職）	0.49	平成16年	兵庫県西宮市 上ケ原一番町 1番155号	H28年度入学定員減（△20人） H29年度入学定員減（△20人）
経営戦略研究科 経営戦略専攻	2	100	―	200	経営管理修士（専門職）	0.80	平成17年	大阪府大阪市北区茶屋町19番19号7ﾌﾟﾛｰｽﾞﾀﾜｰ14階	
会計専門職専攻	2	70	―	140	会計修士（専門職）	0.47	平成17年	兵庫県西宮市 上ケ原一番町 1番155号	

大学の名称	聖和短期大学								備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	開設年度	所在地	
	年	人	年次 人	人		倍			
保育科	2	150	―	300	短期大学士（保育学）	1.01	昭和25年	兵庫県西宮市 岡田山7番54号	

（注）・本調査の対象となっている大学等の設置者（学校法人等）が設置している全ての大学（学部，学科），大学院（専攻）及び短期大学（学科）（ＡＣ対象学部等含む）について，それぞれの学校種ごとに，平成２９年５月１日現在の上記項目の情報を記入してください。

・学部の学科または研究科の専攻等，「入学定員を定めている組織」ごとに記入してください。

※「入学定員を定めている組織ごと」には，課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。

※なお，課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は，法令上規定されている組織上の最小単位（大学であれば「学科」，短期大学であれば「専攻課程」）でも記載してください。

・専攻科に係るものについては，記入する必要はありません。

・ＡＣ対象学部等についても必ず記入してください。

・「平均入学定員超過率」には，標準修業年限に相当する期間における入学定員に対する入学者の割合の平均の小数点以下第２位まで（小数点以下第３位を切り捨て）を記入してください。

・学生募集を停止している学部等がある場合，入学定員・収容定員・平均入学定員超過率は「－」とし，「備考」に「平成〇〇年より学生募集停止」と記入してください。

５　教員組織の状況

＜理工学部　環境・応用化学科＞

（１）ー① 担当教員表

【認可時又は届出時】

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞	担当授業科目名
専	教授	御厨　正博 ＜平成27年4月＞	基礎化学Ｂ 基礎化学実験Ⅰ 基礎化学実験Ⅱ 環境・応用化学実験Ⅰ 環境・応用化学実験Ⅱ 外国書講読 輪講 卒業実験及び演習 無機化学 錯体化学 環境学
専	教授	千葉　光一 ＜平成27年4月＞	環境化学 基礎化学実験Ⅰ 基礎化学実験Ⅱ 環境・応用化学実験Ⅰ 環境・応用化学実験Ⅱ 外国書講読 輪講 卒業実験及び演習 分析化学 環境分析化学
専	教授	橋本　秀樹 ＜平成27年4月＞	基礎化学実験Ⅰ 基礎化学実験Ⅱ 環境・応用化学実験Ⅰ 環境・応用化学実験Ⅱ 外国書講読 輪講 卒業実験及び演習 生命科学Ⅱ 量子化学 反応速度論 応用量子化学
専	教授	白川　英二 ＜平成27年4月＞	基礎化学Ｃ 基礎化学実験Ⅰ 基礎化学実験Ⅱ 環境・応用化学実験Ⅰ 環境・応用化学実験Ⅱ 外国書講読 輪講 卒業実験及び演習 有機反応論 応用有機化学
専	教授	田和　圭子 ＜平成27年4月＞	基礎化学実験Ⅰ 基礎化学実験Ⅱ 環境・応用化学実験Ⅰ 環境・応用化学実験Ⅱ 外国書講読 輪講 卒業実験及び演習 化学熱力学 応用物理化学 応用物性化学

【平成２７年度】

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞	担当授業科目名
専	教授	御厨　正博 ＜平成27年4月＞	基礎化学Ｂ 基礎化学実験Ⅰ 基礎化学実験Ⅱ 環境・応用化学実験Ⅰ 環境・応用化学実験Ⅱ 外国書講読 輪講 卒業実験及び演習 無機化学 錯体化学 環境学
専	教授	千葉　光一 ＜平成27年4月＞	環境化学 基礎化学実験Ⅰ 基礎化学実験Ⅱ 環境・応用化学実験Ⅰ 環境・応用化学実験Ⅱ 外国書講読 輪講 卒業実験及び演習 分析化学 環境分析化学
専	教授	橋本　秀樹 ＜平成27年4月＞	基礎化学実験Ⅰ 基礎化学実験Ⅱ 環境・応用化学実験Ⅰ 環境・応用化学実験Ⅱ 外国書講読 輪講 卒業実験及び演習 生命科学Ⅱ 量子化学 反応速度論 応用量子化学
専	教授	白川　英二 ＜平成27年4月＞	基礎化学Ｃ 基礎化学実験Ⅰ 基礎化学実験Ⅱ 環境・応用化学実験Ⅰ 環境・応用化学実験Ⅱ 外国書講読 輪講 卒業実験及び演習 有機反応論 応用有機化学
専	教授	田和　圭子 ＜平成27年4月＞	基礎化学実験Ⅰ 基礎化学実験Ⅱ 環境・応用化学実験Ⅰ 環境・応用化学実験Ⅱ 外国書講読 輪講 卒業実験及び演習 化学熱力学 応用物理化学 応用物性化学

【平成２８年度】

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞	担当授業科目名
専	教授	御厨　正博 ＜平成27年4月＞	基礎化学Ｂ 基礎化学実験Ⅰ 基礎化学実験Ⅱ 環境・応用化学実験Ⅰ 環境・応用化学実験Ⅱ 外国書講読 輪講 卒業実験及び演習 無機化学 錯体化学 環境学
専	教授	千葉　光一 ＜平成27年4月＞	環境化学 基礎化学実験Ⅰ 基礎化学実験Ⅱ 環境・応用化学実験Ⅰ 環境・応用化学実験Ⅱ 外国書講読 輪講 卒業実験及び演習 分析化学 環境分析化学
専	教授	橋本　秀樹 ＜平成27年4月＞	基礎化学実験Ⅰ 基礎化学実験Ⅱ 環境・応用化学実験Ⅰ 環境・応用化学実験Ⅱ 外国書講読 輪講 卒業実験及び演習 生命科学Ⅱ 量子化学 反応速度論 応用量子化学
専	教授	白川　英二 ＜平成27年4月＞	基礎化学Ｃ 基礎化学実験Ⅰ 基礎化学実験Ⅱ 環境・応用化学実験Ⅰ 環境・応用化学実験Ⅱ 外国書講読 輪講 卒業実験及び演習 有機反応論 応用有機化学
専	教授	田和　圭子 ＜平成27年4月＞	基礎化学実験Ⅰ 基礎化学実験Ⅱ 環境・応用化学実験Ⅰ 環境・応用化学実験Ⅱ 外国書講読 輪講 卒業実験及び演習 化学熱力学 応用物理化学 応用物性化学

【平成２９年度】

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞	担当授業科目名
専	教授	御厨　正博 ＜平成27年4月＞	基礎化学Ｂ 基礎化学実験Ⅰ 基礎化学実験Ⅱ 環境・応用化学実験Ⅰ 環境・応用化学実験Ⅱ 外国書講読 輪講 卒業実験及び演習 無機化学 錯体化学 環境学
専	教授	千葉　光一 ＜平成27年4月＞	環境化学 基礎化学実験Ⅰ 基礎化学実験Ⅱ 環境・応用化学実験Ⅰ 環境・応用化学実験Ⅱ 外国書講読 輪講 卒業実験及び演習 分析化学 環境分析化学
専	教授	橋本　秀樹 ＜平成27年4月＞	基礎化学実験Ⅰ 基礎化学実験Ⅱ 環境・応用化学実験Ⅰ 環境・応用化学実験Ⅱ 外国書講読 輪講 卒業実験及び演習 生命科学Ⅱ 量子化学 反応速度論 応用量子化学
専	教授	白川　英二 ＜平成27年4月＞	基礎化学Ｃ 基礎化学実験Ⅰ 基礎化学実験Ⅱ 環境・応用化学実験Ⅰ 環境・応用化学実験Ⅱ 外国書講読 輪講 卒業実験及び演習 有機反応論 応用有機化学
専	教授	田和　圭子 ＜平成27年4月＞	基礎化学実験Ⅰ 基礎化学実験Ⅱ 環境・応用化学実験Ⅰ 環境・応用化学実験Ⅱ 外国書講読 輪講 卒業実験及び演習 化学熱力学 応用物理化学 応用物性化学

【平成３０年度】

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞	担当授業科目名
専	教授	御厨　正博 ＜平成27年4月＞	基礎化学Ｂ 基礎化学実験Ⅰ 基礎化学実験Ⅱ 環境・応用化学実験Ⅰ 環境・応用化学実験Ⅱ 外国書講読 輪講 卒業実験及び演習 無機化学 錯体化学 環境学
専	教授	千葉　光一 ＜平成27年4月＞	環境化学 基礎化学実験Ⅰ 基礎化学実験Ⅱ 環境・応用化学実験Ⅰ 環境・応用化学実験Ⅱ 外国書講読 輪講 卒業実験及び演習 分析化学 環境分析化学
専	教授	橋本　秀樹 ＜平成27年4月＞	基礎化学実験Ⅰ 基礎化学実験Ⅱ 環境・応用化学実験Ⅰ 環境・応用化学実験Ⅱ 外国書講読 輪講 卒業実験及び演習 生命科学Ⅱ 量子化学 反応速度論 応用量子化学
専	教授	白川　英二 ＜平成27年4月＞	基礎化学Ｃ 基礎化学実験Ⅰ 基礎化学実験Ⅱ 環境・応用化学実験Ⅰ 環境・応用化学実験Ⅱ 外国書講読 輪講 卒業実験及び演習 有機反応論 応用有機化学
専	教授	田和　圭子 ＜平成27年4月＞	基礎化学実験Ⅰ 基礎化学実験Ⅱ 環境・応用化学実験Ⅰ 環境・応用化学実験Ⅱ 外国書講読 輪講 卒業実験及び演習 化学熱力学 応用物理化学 応用物性化学

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞	担当授業科目名
専	教授	羽村　季之 ＜平成27年4月＞	基礎化学実験Ⅰ 基礎化学実験Ⅱ 環境・応用化学実験Ⅰ 環境・応用化学実験Ⅱ 外国書講読 輪講 卒業実験及び演習 有機構造論 合成有機化学 有機工業化学
専	教授	森崎　泰弘 ＜平成27年4月＞	基礎化学実験Ⅰ 基礎化学実験Ⅱ 環境・応用化学実験Ⅰ 環境・応用化学実験Ⅱ 外国書講読 輪講 卒業実験及び演習 高分子化学 発展有機化学 環境有機材料化学
専	教授	谷水　雅治 ＜平成27年4月＞	環境・応用化学実験Ⅰ 環境・応用化学実験Ⅱ 外国書講読 輪講 卒業実験及び演習 基礎地学Ⅰ 基礎地学Ⅱ 地球環境化学 応用地球化学 地球環境科学実験
専	准教授	増尾　貞弘 ＜平成27年4月＞	基礎化学Ａ 基礎化学実験Ⅰ 基礎化学実験Ⅱ 環境・応用化学実験Ⅰ 環境・応用化学実験Ⅱ 外国書講読 輪講 卒業実験及び演習 発展物理化学 分光学
専	准教授	壷井　基裕 ＜平成27年4月＞	環境・応用化学実験Ⅰ 環境・応用化学実験Ⅱ 外国書講読 輪講 卒業実験及び演習 基礎地学Ⅰ 基礎地学Ⅱ 応用地球化学 地球物質科学 地球環境科学実験
専	助教	藤原　正澄 ＜平成27年4月＞	基礎化学実験Ⅰ 基礎化学実験Ⅱ 環境・応用化学実験Ⅰ 環境・応用化学実験Ⅱ 卒業実験及び演習
専	助教	當麻　真奈 ＜平成27年4月＞	基礎化学実験Ⅰ 基礎化学実験Ⅱ 環境・応用化学実験Ⅰ 環境・応用化学実験Ⅱ 卒業実験及び演習

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞	担当授業科目名
専	教授	羽村　季之 ＜平成27年4月＞	基礎化学実験Ⅰ 基礎化学実験Ⅱ 環境・応用化学実験Ⅰ 環境・応用化学実験Ⅱ 外国書講読 輪講 卒業実験及び演習 有機構造論 合成有機化学 有機工業化学
専	教授	森崎　泰弘 ＜平成27年4月＞	基礎化学実験Ⅰ 基礎化学実験Ⅱ 環境・応用化学実験Ⅰ 環境・応用化学実験Ⅱ 外国書講読 輪講 卒業実験及び演習 高分子化学 発展有機化学 環境有機材料化学
専	教授	谷水　雅治 ＜平成27年4月＞	環境・応用化学実験Ⅰ 環境・応用化学実験Ⅱ 外国書講読 輪講 卒業実験及び演習 基礎地学Ⅰ 基礎地学Ⅱ 地球環境化学 応用地球化学 地球環境科学実験
専	准教授	増尾　貞弘 ＜平成27年4月＞	基礎化学Ａ 基礎化学実験Ⅰ 基礎化学実験Ⅱ 環境・応用化学実験Ⅰ 環境・応用化学実験Ⅱ 外国書講読 輪講 卒業実験及び演習 発展物理化学 分光学
専	教授	壷井　基裕 ＜平成27年4月＞	環境・応用化学実験Ⅰ 環境・応用化学実験Ⅱ 外国書講読 輪講 卒業実験及び演習 基礎地学Ⅰ 基礎地学Ⅱ 応用地球化学 地球物質科学 地球環境科学実験
専	助教	藤原　正澄 ＜平成27年4月＞	基礎化学実験Ⅰ 基礎化学実験Ⅱ 環境・応用化学実験Ⅰ 環境・応用化学実験Ⅱ 卒業実験及び演習
専	助教	當麻　真奈 ＜平成27年4月＞	基礎化学実験Ⅰ 基礎化学実験Ⅱ 環境・応用化学実験Ⅰ 環境・応用化学実験Ⅱ 卒業実験及び演習

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞	担当授業科目名
専	教授	羽村　季之 ＜平成27年4月＞	基礎化学実験Ⅰ 基礎化学実験Ⅱ 環境・応用化学実験Ⅰ 環境・応用化学実験Ⅱ 外国書講読 輪講 卒業実験及び演習 有機構造論 合成有機化学 有機工業化学
専	教授	森崎　泰弘 ＜平成27年4月＞	基礎化学実験Ⅰ 基礎化学実験Ⅱ 環境・応用化学実験Ⅰ 環境・応用化学実験Ⅱ 外国書講読 輪講 卒業実験及び演習 高分子化学 発展有機化学 環境有機材料化学
専	教授	谷水　雅治 ＜平成27年4月＞	環境・応用化学実験Ⅰ 環境・応用化学実験Ⅱ 外国書講読 輪講 卒業実験及び演習 基礎地学Ⅰ 基礎地学Ⅱ 地球環境化学 応用地球化学 地球環境科学実験
専	教授	増尾　貞弘 ＜平成27年4月＞	基礎化学Ａ 基礎化学実験Ⅰ 基礎化学実験Ⅱ 環境・応用化学実験Ⅰ 環境・応用化学実験Ⅱ 外国書講読 輪講 卒業実験及び演習 発展物理化学 分光学
専	教授	壷井　基裕 ＜平成27年4月＞	環境・応用化学実験Ⅰ 環境・応用化学実験Ⅱ 外国書講読 輪講 卒業実験及び演習 基礎地学Ⅰ 基礎地学Ⅱ 応用地球化学 地球物質科学 地球環境科学実験
専	助教	藤原　正澄 ＜平成27年4月＞	基礎化学実験Ⅰ 基礎化学実験Ⅱ 環境・応用化学実験Ⅰ 環境・応用化学実験Ⅱ 卒業実験及び演習
専	助教	當麻　真奈 ＜平成27年4月＞	基礎化学実験Ⅰ 基礎化学実験Ⅱ 環境・応用化学実験Ⅰ 環境・応用化学実験Ⅱ 卒業実験及び演習

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞	担当授業科目名
専	教授	羽村　季之 ＜平成27年4月＞	基礎化学実験Ⅰ 基礎化学実験Ⅱ 環境・応用化学実験Ⅰ 環境・応用化学実験Ⅱ 外国書講読 輪講 卒業実験及び演習 有機構造論 合成有機化学 有機工業化学
専	教授	森崎　泰弘 ＜平成27年4月＞	基礎化学実験Ⅰ 基礎化学実験Ⅱ 環境・応用化学実験Ⅰ 環境・応用化学実験Ⅱ 外国書講読 輪講 卒業実験及び演習 高分子化学 発展有機化学 環境有機材料化学
専	教授	谷水　雅治 ＜平成27年4月＞	環境・応用化学実験Ⅰ 環境・応用化学実験Ⅱ 外国書講読 輪講 卒業実験及び演習 基礎地学Ⅰ 基礎地学Ⅱ 地球環境化学 応用地球化学 地球環境科学実験
専	教授	増尾　貞弘 ＜平成27年4月＞	基礎化学Ａ 基礎化学実験Ⅰ 基礎化学実験Ⅱ 環境・応用化学実験Ⅰ 環境・応用化学実験Ⅱ 外国書講読 輪講 卒業実験及び演習 発展物理化学 分光学
専	教授	壷井　基裕 ＜平成27年4月＞	環境・応用化学実験Ⅰ 環境・応用化学実験Ⅱ 外国書講読 輪講 卒業実験及び演習 基礎地学Ⅰ 基礎地学Ⅱ 応用地球化学 地球物質科学 地球環境科学実験
専	助教	當麻　真奈 ＜平成27年4月＞	基礎化学実験Ⅰ 基礎化学実験Ⅱ 環境・応用化学実験Ⅰ 環境・応用化学実験Ⅱ 卒業実験及び演習

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞	担当授業科目名
専	助教	岩井　貴弘 ＜平成27年4月＞	基礎化学実験Ⅰ 基礎化学実験Ⅱ 環境・応用化学実験Ⅰ 環境・応用化学実験Ⅱ 卒業実験及び演習
専	助教	北村　圭 ＜平成27年4月＞	基礎化学実験Ⅰ 基礎化学実験Ⅱ 環境・応用化学実験Ⅰ 環境・応用化学実験Ⅱ 卒業実験及び演習
専	助教	三橋　了爾 ＜平成27年4月＞	基礎化学実験Ⅰ 基礎化学実験Ⅱ 環境・応用化学実験Ⅰ 環境・応用化学実験Ⅱ 卒業実験及び演習
専	助教	赤井　勇斗 ＜平成27年4月＞	基礎化学実験Ⅰ 基礎化学実験Ⅱ 環境・応用化学実験Ⅰ 環境・応用化学実験Ⅱ 卒業実験及び演習
兼担	教授	石井　博昭 ＜平成27年9月＞	微積分学Ⅱ
兼担	教授	水木　純一郎 ＜平成28年4月＞	基礎物理学実験Ⅰ
兼担	教授	高畑　由起夫 ＜平成27年4月＞	自然環境論
兼担	教授	尾鼻　靖子 ＜平成27年4月＞	英語ﾘｰﾃﾞｨﾝｸﾞⅠA 英語ﾘｰﾃﾞｨﾝｸﾞⅠB 科学技術英語A 科学技術英語B
兼担	教授	楠瀬　正昭 ＜平成28年4月＞	線形代数学Ⅲ

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞	担当授業科目名
専	助教	岩井　貴弘 ＜平成27年4月＞	基礎化学実験Ⅰ 基礎化学実験Ⅱ 環境・応用化学実験Ⅰ 環境・応用化学実験Ⅱ 卒業実験及び演習
専	助教	北村　圭 ＜平成27年4月＞	基礎化学実験Ⅰ 基礎化学実験Ⅱ 環境・応用化学実験Ⅰ 環境・応用化学実験Ⅱ 卒業実験及び演習
専	助教	三橋　了爾 ＜平成27年4月＞	基礎化学実験Ⅰ 基礎化学実験Ⅱ 環境・応用化学実験Ⅰ 環境・応用化学実験Ⅱ 卒業実験及び演習
専	助教	赤井　勇斗 ＜平成27年4月＞	基礎化学実験Ⅰ 基礎化学実験Ⅱ 環境・応用化学実験Ⅰ 環境・応用化学実験Ⅱ 卒業実験及び演習
兼担	教授	石井　博昭 ＜平成27年9月＞	微積分学Ⅱ
兼担	教授	水木　純一郎 ＜平成28年4月＞	基礎物理学実験Ⅰ
兼担	教授	高畑　由起夫 ＜平成27年4月＞	自然環境論
兼担	教授	尾鼻　靖子 ＜平成27年4月＞	**英語ﾘｰﾃﾞｨﾝｸﾞⅡA** **英語ﾘｰﾃﾞｨﾝｸﾞⅡB** 科学技術英語A 科学技術英語B
兼担	教授	楠瀬　正昭 ＜平成28年4月＞	線形代数学Ⅲ

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞	担当授業科目名
専	助教	岩井　貴弘 ＜平成27年4月＞	基礎化学実験Ⅰ 基礎化学実験Ⅱ 環境・応用化学実験Ⅰ 環境・応用化学実験Ⅱ 卒業実験及び演習
専	助教	北村　圭 ＜平成27年4月＞	基礎化学実験Ⅰ 基礎化学実験Ⅱ 環境・応用化学実験Ⅰ 環境・応用化学実験Ⅱ 卒業実験及び演習
専	助教	三橋　了爾 ＜平成27年4月＞	基礎化学実験Ⅰ 基礎化学実験Ⅱ 環境・応用化学実験Ⅰ 環境・応用化学実験Ⅱ 卒業実験及び演習
専	助教	赤井　勇斗 ＜平成27年4月＞	基礎化学実験Ⅰ 基礎化学実験Ⅱ 環境・応用化学実験Ⅰ 環境・応用化学実験Ⅱ 卒業実験及び演習
兼担	教授	石井　博昭 ＜平成27年9月＞	**線形代数学Ⅰ**
兼担	教授	高畑　由起夫 ＜平成27年4月＞	自然環境論
兼担	教授	尾鼻　靖子 ＜平成27年4月＞	科学技術英語A 科学技術英語B

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞	担当授業科目名
専	助教	岩井　貴弘 ＜平成27年4月＞	基礎化学実験Ⅰ 基礎化学実験Ⅱ 環境・応用化学実験Ⅰ 環境・応用化学実験Ⅱ 卒業実験及び演習
専	助教	北村　圭 ＜平成27年4月＞	基礎化学実験Ⅰ 基礎化学実験Ⅱ 環境・応用化学実験Ⅰ 環境・応用化学実験Ⅱ 卒業実験及び演習
専	助教	三橋　了爾 ＜平成27年4月＞	基礎化学実験Ⅰ 基礎化学実験Ⅱ 環境・応用化学実験Ⅰ 環境・応用化学実験Ⅱ 卒業実験及び演習
専	**助教**	**山内　光陽 ＜平成29年4月＞**	**基礎化学実験Ⅰ 基礎化学実験Ⅱ 環境・応用化学実験Ⅰ 環境・応用化学実験Ⅱ 卒業実験及び演習**
専	**助教**	**山口　きらら ＜平成29年4月＞**	**基礎化学実験Ⅰ 基礎化学実験Ⅱ 環境・応用化学実験Ⅰ 環境・応用化学実験Ⅱ 卒業実験及び演習**
兼担	教授	高畑　由起夫 ＜平成27年4月＞	自然環境論
兼担	教授	尾鼻　靖子 ＜平成27年4月＞	**英語ﾘｰﾃﾞｨﾝｸﾞⅡA** **英語ﾘｰﾃﾞｨﾝｸﾞⅡB** 科学技術英語A 科学技術英語B

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞	担当授業科目名
専	助教	岩井　貴弘 ＜平成27年4月＞	基礎化学実験Ⅰ 基礎化学実験Ⅱ 環境・応用化学実験Ⅰ 環境・応用化学実験Ⅱ 卒業実験及び演習
専	助教	北村　圭 ＜平成27年4月＞	基礎化学実験Ⅰ 基礎化学実験Ⅱ 環境・応用化学実験Ⅰ 環境・応用化学実験Ⅱ 卒業実験及び演習
専	助教	三橋　了爾 ＜平成27年4月＞	基礎化学実験Ⅰ 基礎化学実験Ⅱ 環境・応用化学実験Ⅰ 環境・応用化学実験Ⅱ 卒業実験及び演習
専	**助教**	**山内　光陽 ＜平成29年4月＞**	**基礎化学実験Ⅰ 基礎化学実験Ⅱ 環境・応用化学実験Ⅰ 環境・応用化学実験Ⅱ 卒業実験及び演習**
専	**助教**	**山口　きらら ＜平成29年4月＞**	**基礎化学実験Ⅰ 基礎化学実験Ⅱ 環境・応用化学実験Ⅰ 環境・応用化学実験Ⅱ 卒業実験及び演習**
兼担	教授	尾鼻　靖子 ＜平成27年4月＞	**英語ﾘｰﾃﾞｨﾝｸﾞⅡA** **英語ﾘｰﾃﾞｨﾝｸﾞⅡB** 科学技術英語A 科学技術英語B

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞	担当授業科目名
兼担	教授	大谷　清 ＜平成27年4月＞	生命科学入門実験
兼担	教授	平井　洋平 ＜平成27年4月＞	生命科学入門実験
兼担	教授	金子　忠昭 ＜平成28年4月＞	基礎物理学実験Ⅰ
兼担	教授	山口　宏 ＜平成27年4月＞	生命科学Ⅰ
兼担	教授	山根　英司 ＜平成27年4月＞	微積分学Ⅰ
兼担	教授	氏木　道人 ＜平成27年4月＞	英語ﾘｰﾃﾞｨﾝｸﾞⅠA 英語ﾘｰﾃﾞｨﾝｸﾞⅠB 科学技術英語A 科学技術英語B 千刈集中英語実習
兼担	教授	佐藤　英俊 ＜平成27年4月＞	生命科学入門実験
兼担	教授	河野　正道 ＜平成27年4月＞	経済学
兼担	教授	田辺　陽 ＜平成27年9月＞	環境学
兼担	教授	長岡　徹 ＜平成27年4月＞	日本国憲法
兼担	教授	玉井　尚登 ＜平成27年9月＞	環境学
兼担	教授	関根　孝道 ＜平成27年4月＞	法学
兼担	准教授	沖米田　司 ＜平成27年4月＞	生命科学入門実験
兼担	准教授	松尾　元彰 ＜平成28年4月＞	基礎物理学実験Ⅰ

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞	担当授業科目名
兼担	教授	大谷　清 ＜平成27年4月＞	生命科学入門実験
兼担	教授	平井　洋平 ＜平成27年4月＞	生命科学入門実験
兼担	教授	金子　忠昭 ＜平成28年4月＞	基礎物理学実験Ⅰ
兼担	教授	山口　宏 ＜平成27年4月＞	生命科学Ⅰ
兼担	教授	山根　英司 ＜平成27年4月＞	微積分学Ⅰ
兼担	教授	氏木　道人 ＜平成27年4月＞	英語ﾘｰﾃﾞｨﾝｸﾞⅠA 英語ﾘｰﾃﾞｨﾝｸﾞⅠB 科学技術英語A 科学技術英語B 千刈集中英語実習
兼担	教授	佐藤　英俊 ＜平成27年4月＞	生命科学入門実験
兼担	教授	河野　正道 ＜平成27年4月＞	経済学
兼担	教授	田辺　陽 ＜平成27年9月＞	環境学
兼担	教授	長岡　徹 ＜平成27年4月＞	日本国憲法
兼担	教授	玉井　尚登 ＜平成27年9月＞	環境学
兼担	教授	関根　孝道 ＜平成27年4月＞	法学
兼担	准教授	沖米田　司 ＜平成27年4月＞	生命科学入門実験
兼担	准教授	松尾　元彰 ＜平成28年4月＞	基礎物理学実験Ⅰ

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞	担当授業科目名
兼担	教授	大谷　清 ＜平成27年4月＞	生命科学入門実験
兼担	教授	平井　洋平 ＜平成27年4月＞	生命科学入門実験
兼担	教授	山口　宏 ＜平成27年4月＞	生命科学Ⅰ
兼担	教授	氏木　道人 ＜平成27年4月＞	英語ﾘｰﾃﾞｨﾝｸﾞⅠA 英語ﾘｰﾃﾞｨﾝｸﾞⅠB 科学技術英語A 科学技術英語B 千刈集中英語実習
兼担	教授	佐藤　英俊 ＜平成27年4月＞	生命科学入門実験
兼担	教授	河野　正道 ＜平成27年4月＞	経済学
兼担	教授	田辺　陽 ＜平成27年9月＞	環境学
兼担	教授	玉井　尚登 ＜平成27年9月＞	環境学
兼担	教授	関根　孝道 ＜平成27年4月＞	法学
兼担	**教授**	**加藤　知 ＜平成28年4月＞**	**基礎物理学実験Ⅰ**
兼担	**教授**	**松浦　周二 ＜平成28年4月＞**	**基礎物理学実験Ⅰ**
兼担	准教授	沖米田　司 ＜平成27年4月＞	生命科学入門実験

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞	担当授業科目名
兼担	教授	大谷　清 ＜平成27年4月＞	生命科学入門実験
兼担	教授	平井　洋平 ＜平成27年4月＞	生命科学入門実験
兼担	教授	山口　宏 ＜平成27年4月＞	生命科学Ⅰ
兼担	教授	氏木　道人 ＜平成27年4月＞	英語ﾘｰﾃﾞｨﾝｸﾞⅠA 英語ﾘｰﾃﾞｨﾝｸﾞⅠB 科学技術英語A 科学技術英語B
兼担	教授	佐藤　英俊 ＜平成27年4月＞	生命科学入門実験
兼担	教授	河野　正道 ＜平成27年4月＞	経済学
兼担	教授	田辺　陽 ＜平成27年9月＞	環境学
兼担	教授	長岡　徹 ＜平成29年4月＞	日本国憲法
兼担	教授	玉井　尚登 ＜平成27年9月＞	環境学
兼担	教授	関根　孝道 ＜平成27年4月＞	法学
兼担	**教授**	**加藤　知 ＜平成28年4月＞**	**基礎物理学実験Ⅰ**
兼担	**教授**	**松浦　周二 ＜平成28年4月＞**	**基礎物理学実験Ⅰ**
兼担	准教授	沖米田　司 ＜平成27年4月＞	生命科学入門実験

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞	担当授業科目名
兼担	教授	大谷　清 ＜平成27年4月＞	生命科学入門実験
兼担	教授	平井　洋平 ＜平成27年4月＞	生命科学入門実験
兼担	教授	山口　宏 ＜平成27年4月＞	生命科学Ⅰ
兼担	教授	氏木　道人 ＜平成27年4月＞	英語ﾘｰﾃﾞｨﾝｸﾞⅠA 英語ﾘｰﾃﾞｨﾝｸﾞⅠB 科学技術英語A 科学技術英語B
兼担	教授	佐藤　英俊 ＜平成27年4月＞	生命科学入門実験
兼担	教授	河野　正道 ＜平成27年4月＞	経済学
兼担	教授	田辺　陽 ＜平成27年9月＞	環境学
兼担	教授	玉井　尚登 ＜平成27年9月＞	環境学
兼担	教授	関根　孝道 ＜平成27年4月＞	法学
兼担	**教授**	**加藤　知 ＜平成28年4月＞**	**基礎物理学実験Ⅰ**
兼担	**教授**	**松浦　周二 ＜平成28年4月＞**	**基礎物理学実験Ⅰ**
兼担	**教授**	**佐山　浩 ＜平成30年9月＞**	**自然環境論**
兼担	准教授	沖米田　司 ＜平成27年4月＞	生命科学入門実験

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞	担当授業科目名
兼担	准教授	中後　大輔 ＜平成27年4月＞	コンピュータ演習Ａ
兼担	准教授	山田　一美 ＜平成27年4月＞	英語ﾘｰﾃﾞｨﾝｸﾞⅠＡ 英語ﾘｰﾃﾞｨﾝｸﾞⅠＢ 科学技術英語Ａ 科学技術英語Ｂ
兼担	准教授	森本　孝之 ＜平成27年4月＞	線形代数学Ⅰ 線形代数学Ⅱ
兼担	准教授	工藤　多恵 ＜平成27年4月＞	英語ﾘｰﾃﾞｨﾝｸﾞⅠＡ 英語ﾘｰﾃﾞｨﾝｸﾞⅠＢ 科学技術英語Ａ 科学技術英語Ｂ
兼担	准教授	Michael Lynn ＜平成27年4月＞	英語ﾗｲﾃｨﾝｸﾞⅠＡ 英語ﾗｲﾃｨﾝｸﾞⅠＢ 英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅠＡ 英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅠＢ 英語ﾘｰﾃﾞｨﾝｸﾞⅡＡ 英語ﾘｰﾃﾞｨﾝｸﾞⅡＢ 英語ﾗｲﾃｨﾝｸﾞⅡＡ 英語ﾗｲﾃｨﾝｸﾞⅡＢ 英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅡＡ 英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅡＢ
兼担	准教授	阪上　潔 ＜平成27年9月＞	環境学
兼担	講師	前川　裕 ＜平成27年4月＞	キリスト教学Ａ キリスト教学Ｂ ドイツ語文法Ⅰ ドイツ語文法Ⅱ 科学倫理
兼担	講師	Stuart Cunningham ＜平成27年4月＞	英語ﾗｲﾃｨﾝｸﾞⅠＡ 英語ﾗｲﾃｨﾝｸﾞⅠＢ 英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅠＡ 英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅠＢ 英語ﾘｰﾃﾞｨﾝｸﾞⅡＡ 英語ﾘｰﾃﾞｨﾝｸﾞⅡＢ 英語ﾗｲﾃｨﾝｸﾞⅡＡ 英語ﾗｲﾃｨﾝｸﾞⅡＢ 英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅡＡ 英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅡＢ

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞	担当授業科目名
兼担	准教授	山田　一美 ＜平成27年4月＞	英語ﾘｰﾃﾞｨﾝｸﾞⅠＡ 英語ﾘｰﾃﾞｨﾝｸﾞⅠＢ 科学技術英語Ａ 科学技術英語Ｂ
兼担	准教授	森本　孝之 ＜平成27年4月＞	線形代数学Ⅰ 線形代数学Ⅱ
兼担	准教授	工藤　多恵 ＜平成27年4月＞	**英語ﾘｰﾃﾞｨﾝｸﾞⅡＡ** **英語ﾘｰﾃﾞｨﾝｸﾞⅡＢ** 科学技術英語Ａ 科学技術英語Ｂ
兼担	准教授	阪上　潔 ＜平成27年9月＞	環境学
兼担	**准教授**	**住　政二郎** **＜平成27年4月＞**	**英語ﾘｰﾃﾞｨﾝｸﾞⅠＡ** **英語ﾘｰﾃﾞｨﾝｸﾞⅠＢ** **英語ﾘｰﾃﾞｨﾝｸﾞⅡＡ** **英語ﾘｰﾃﾞｨﾝｸﾞⅡＢ** **英語ﾗｲﾃｨﾝｸﾞⅡＡ** **英語ﾗｲﾃｨﾝｸﾞⅡＢ** **英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅡＡ** **英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅡＢ**
兼担	講師	前川　裕 ＜平成27年4月＞	キリスト教学Ａ キリスト教学Ｂ 科学倫理

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞	担当授業科目名
兼担	准教授	山田　一美 ＜平成27年4月＞	英語ﾘｰﾃﾞｨﾝｸﾞⅠＡ 英語ﾘｰﾃﾞｨﾝｸﾞⅠＢ 科学技術英語Ａ 科学技術英語Ｂ
兼担	准教授	工藤　多恵 ＜平成27年4月＞	**英語ﾘｰﾃﾞｨﾝｸﾞⅡＡ** **英語ﾘｰﾃﾞｨﾝｸﾞⅡＢ** 科学技術英語Ａ 科学技術英語Ｂ **千刈集中英語実習**
兼担	准教授	阪上　潔 ＜平成27年9月＞	環境学
兼担	**准教授**	**住　政二郎** **＜平成27年4月＞**	**英語ﾘｰﾃﾞｨﾝｸﾞⅠＡ** **英語ﾘｰﾃﾞｨﾝｸﾞⅠＢ** **科学技術英語Ａ** **科学技術英語Ｂ** **千刈集中英語実習**
兼担	**准教授**	**昌子　浩登** **＜平成29年4月＞**	**線形代数学Ⅰ** **線形代数学Ⅱ**
兼担	准教授	前川　裕 ＜平成27年4月＞	キリスト教学Ａ キリスト教学Ｂ 科学倫理

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞	担当授業科目名
兼担	准教授	山田　一美 ＜平成27年4月＞	英語ﾘｰﾃﾞｨﾝｸﾞⅠＡ 英語ﾘｰﾃﾞｨﾝｸﾞⅠＢ 科学技術英語Ａ 科学技術英語Ｂ
兼担	准教授	工藤　多恵 ＜平成27年4月＞	英語ﾘｰﾃﾞｨﾝｸﾞⅠＡ **英語ﾘｰﾃﾞｨﾝｸﾞⅡＡ** **英語ﾘｰﾃﾞｨﾝｸﾞⅡＢ** **千刈集中英語実習**
兼担	准教授	阪上　潔 ＜平成27年9月＞	環境学
兼担	**准教授**	**住　政二郎** **＜平成27年4月＞**	**英語ﾘｰﾃﾞｨﾝｸﾞⅠＢ** **科学技術英語Ｂ** **千刈集中英語実習**
兼担	准教授	前川　裕 ＜平成27年4月＞	キリスト教学Ａ キリスト教学Ｂ 科学倫理

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞	担当授業科目名
兼担	講師	Matthew Barbee ＜平成27年4月＞	英語ﾗｲﾃｨﾝｸﾞⅠA 英語ﾗｲﾃｨﾝｸﾞⅠB 英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅠA 英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅠB 英語ﾘｰﾃﾞｨﾝｸﾞⅡA 英語ﾘｰﾃﾞｨﾝｸﾞⅡB 英語ﾗｲﾃｨﾝｸﾞⅡA 英語ﾗｲﾃｨﾝｸﾞⅡB 英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅡA 英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅡB
兼担	講師	Carmen Tamas ＜平成27年4月＞	英語ﾗｲﾃｨﾝｸﾞⅠA 英語ﾗｲﾃｨﾝｸﾞⅠB 英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅠA 英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅠB 英語ﾘｰﾃﾞｨﾝｸﾞⅡA 英語ﾘｰﾃﾞｨﾝｸﾞⅡB 英語ﾗｲﾃｨﾝｸﾞⅡA 英語ﾗｲﾃｨﾝｸﾞⅡB 英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅡA 英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅡB
兼担	講師	Daniel Parsons ＜平成27年4月＞	英語ﾗｲﾃｨﾝｸﾞⅠA 英語ﾗｲﾃｨﾝｸﾞⅠB 英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅠA 英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅠB 英語ﾘｰﾃﾞｨﾝｸﾞⅡA 英語ﾘｰﾃﾞｨﾝｸﾞⅡB 英語ﾗｲﾃｨﾝｸﾞⅡA 英語ﾗｲﾃｨﾝｸﾞⅡB 英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅡA 英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅡB
兼担	講師	Amy Johnson ＜平成27年4月＞	英語ﾗｲﾃｨﾝｸﾞⅠA 英語ﾗｲﾃｨﾝｸﾞⅠB 英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅠA 英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅠB 英語ﾘｰﾃﾞｨﾝｸﾞⅡA 英語ﾘｰﾃﾞｨﾝｸﾞⅡB 英語ﾗｲﾃｨﾝｸﾞⅡA 英語ﾗｲﾃｨﾝｸﾞⅡB 英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅡA 英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅡB
兼担	講師	Manuel Senna ＜平成27年4月＞	英語ﾗｲﾃｨﾝｸﾞⅠA 英語ﾗｲﾃｨﾝｸﾞⅠB 英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅠA 英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅠB 英語ﾘｰﾃﾞｨﾝｸﾞⅡA 英語ﾘｰﾃﾞｨﾝｸﾞⅡB 英語ﾗｲﾃｨﾝｸﾞⅡA 英語ﾗｲﾃｨﾝｸﾞⅡB 英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅡA 英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅡB
兼担	講師	Polly Tang ＜平成27年4月＞	英語ﾗｲﾃｨﾝｸﾞⅠA 英語ﾗｲﾃｨﾝｸﾞⅠB 英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅠA 英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅠB 英語ﾘｰﾃﾞｨﾝｸﾞⅡA 英語ﾘｰﾃﾞｨﾝｸﾞⅡB 英語ﾗｲﾃｨﾝｸﾞⅡA 英語ﾗｲﾃｨﾝｸﾞⅡB 英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅡA 英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅡB

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞	担当授業科目名
兼担	講師	Matthew Barbee ＜平成27年4月＞	**英語ﾘｰﾃﾞｨﾝｸﾞⅠA** **英語ﾘｰﾃﾞｨﾝｸﾞⅠB** 英語ﾗｲﾃｨﾝｸﾞⅡA 英語ﾗｲﾃｨﾝｸﾞⅡB 英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅡA 英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅡB
兼担	講師	Daniel Parsons ＜平成27年4月＞	英語ﾗｲﾃｨﾝｸﾞⅠA 英語ﾗｲﾃｨﾝｸﾞⅠB 英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅠA 英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅠB 英語ﾘｰﾃﾞｨﾝｸﾞⅡA 英語ﾘｰﾃﾞｨﾝｸﾞⅡB 英語ﾗｲﾃｨﾝｸﾞⅡA 英語ﾗｲﾃｨﾝｸﾞⅡB 英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅡA 英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅡB
兼担	講師	Manuel Senna ＜平成27年4月＞	英語ﾗｲﾃｨﾝｸﾞⅠA 英語ﾗｲﾃｨﾝｸﾞⅠB 英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅠA 英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅠB 英語ﾘｰﾃﾞｨﾝｸﾞⅡA 英語ﾘｰﾃﾞｨﾝｸﾞⅡB 英語ﾗｲﾃｨﾝｸﾞⅡA 英語ﾗｲﾃｨﾝｸﾞⅡB 英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅡA 英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅡB
兼担	講師	Polly Tang ＜平成27年4月＞	**英語ﾘｰﾃﾞｨﾝｸﾞⅠA** **英語ﾘｰﾃﾞｨﾝｸﾞⅠB** 英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅠA 英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅠB 英語ﾗｲﾃｨﾝｸﾞⅡA 英語ﾗｲﾃｨﾝｸﾞⅡB 英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅡA 英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅡB

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞	担当授業科目名
兼担	講師	Matthew Barbee ＜平成27年4月＞	英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅠA 英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅠB 英語ﾗｲﾃｨﾝｸﾞⅡA 英語ﾗｲﾃｨﾝｸﾞⅡB 英語ﾗｲﾃｨﾝｸﾞⅡA 英語ﾗｲﾃｨﾝｸﾞⅡB 英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅡA 英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅡB
兼担	講師	Daniel Parsons ＜平成27年4月＞	英語ﾗｲﾃｨﾝｸﾞⅠA 英語ﾗｲﾃｨﾝｸﾞⅠB 英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅠA 英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅠB 英語ﾘｰﾃﾞｨﾝｸﾞⅡA 英語ﾘｰﾃﾞｨﾝｸﾞⅡB 英語ﾗｲﾃｨﾝｸﾞⅡA 英語ﾗｲﾃｨﾝｸﾞⅡB 英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅡA 英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅡB
兼担	講師	Manuel Senna ＜平成27年4月＞	英語ﾗｲﾃｨﾝｸﾞⅠA 英語ﾗｲﾃｨﾝｸﾞⅠB 英語ﾘｰﾃﾞｨﾝｸﾞⅡA 英語ﾘｰﾃﾞｨﾝｸﾞⅡB 英語ﾗｲﾃｨﾝｸﾞⅡA 英語ﾗｲﾃｨﾝｸﾞⅡB
兼担	講師	Polly Tang ＜平成27年4月＞	英語ﾗｲﾃｨﾝｸﾞⅠA 英語ﾗｲﾃｨﾝｸﾞⅠB 英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅠA 英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅠB 英語ﾗｲﾃｨﾝｸﾞⅡA 英語ﾗｲﾃｨﾝｸﾞⅡB 英語ﾘｰﾃﾞｨﾝｸﾞⅡA 英語ﾘｰﾃﾞｨﾝｸﾞⅡB

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞	担当授業科目名
兼担	講師	Matthew Barbee ＜平成27年4月＞	英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅠA 英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅠB 英語ﾗｲﾃｨﾝｸﾞⅠA 英語ﾗｲﾃｨﾝｸﾞⅠB 英語ﾗｲﾃｨﾝｸﾞⅡA 英語ﾗｲﾃｨﾝｸﾞⅡB 英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅡA 英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅡB **千刈集中英語実習**

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞	担当授業科目名

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞	担当授業科目名
兼担	講師	Robert Stroud ＜平成27年4月＞	英語ﾗｲﾃｨﾝｸﾞⅠA 英語ﾗｲﾃｨﾝｸﾞⅠB 英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅠA 英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅠB 英語ﾘｰﾃﾞｨﾝｸﾞⅡA 英語ﾘｰﾃﾞｨﾝｸﾞⅡB 英語ﾗｲﾃｨﾝｸﾞⅡA 英語ﾗｲﾃｨﾝｸﾞⅡB 英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅡA 英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅡB
兼担	講師	Regan Thomson ＜平成27年4月＞	英語ﾗｲﾃｨﾝｸﾞⅠA 英語ﾗｲﾃｨﾝｸﾞⅠB 英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅠA 英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅠB 英語ﾘｰﾃﾞｨﾝｸﾞⅡA 英語ﾘｰﾃﾞｨﾝｸﾞⅡB 英語ﾗｲﾃｨﾝｸﾞⅡA 英語ﾗｲﾃｨﾝｸﾞⅡB 英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅡA 英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅡB

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞	担当授業科目名
兼担	講師	Robert Stroud ＜平成27年4月＞	英語ﾗｲﾃｨﾝｸﾞⅠA 英語ﾗｲﾃｨﾝｸﾞⅠB 英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅠA 英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅠB 英語ﾘｰﾃﾞｨﾝｸﾞⅡA 英語ﾘｰﾃﾞｨﾝｸﾞⅡB 英語ﾗｲﾃｨﾝｸﾞⅡA 英語ﾗｲﾃｨﾝｸﾞⅡB 英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅡA 英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅡB
兼担	講師	Regan Thomson ＜平成27年4月＞	英語ﾗｲﾃｨﾝｸﾞⅠA 英語ﾗｲﾃｨﾝｸﾞⅠB 英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅠA 英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅠB 英語ﾘｰﾃﾞｨﾝｸﾞⅡA 英語ﾘｰﾃﾞｨﾝｸﾞⅡB 英語ﾗｲﾃｨﾝｸﾞⅡA 英語ﾗｲﾃｨﾝｸﾞⅡB 英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅡA 英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅡB
兼担	講師	Evan Cacali ＜平成27年4月＞	英語ﾗｲﾃｨﾝｸﾞⅠA 英語ﾗｲﾃｨﾝｸﾞⅠB 英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅠA 英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅠB 英語ﾘｰﾃﾞｨﾝｸﾞⅡA 英語ﾘｰﾃﾞｨﾝｸﾞⅡB 英語ﾗｲﾃｨﾝｸﾞⅡA 英語ﾗｲﾃｨﾝｸﾞⅡB 英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅡA 英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅡB
兼担	講師	Mario Perez ＜平成27年4月＞	英語ﾗｲﾃｨﾝｸﾞⅠA 英語ﾗｲﾃｨﾝｸﾞⅠB 英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅠA 英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅠB
兼担	講師	Willam Marcus ＜平成27年4月＞	英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅠA 英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅠB 英語ﾘｰﾃﾞｨﾝｸﾞⅠA 英語ﾘｰﾃﾞｨﾝｸﾞⅠB 英語ﾘｰﾃﾞｨﾝｸﾞⅡA 英語ﾘｰﾃﾞｨﾝｸﾞⅡB 英語ﾗｲﾃｨﾝｸﾞⅡA 英語ﾗｲﾃｨﾝｸﾞⅡB 英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅡA 英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅡB

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞	担当授業科目名
兼担	講師	Regan Thomson ＜平成27年4月＞	英語ﾗｲﾃｨﾝｸﾞⅠA 英語ﾗｲﾃｨﾝｸﾞⅠB 英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅠA 英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅠB 英語ﾘｰﾃﾞｨﾝｸﾞⅡA 英語ﾘｰﾃﾞｨﾝｸﾞⅡB 英語ﾗｲﾃｨﾝｸﾞⅡA 英語ﾗｲﾃｨﾝｸﾞⅡB
兼担	講師	Evan Cacali ＜平成27年4月＞	英語ﾗｲﾃｨﾝｸﾞⅠA 英語ﾗｲﾃｨﾝｸﾞⅠB 英語ﾘｰﾃﾞｨﾝｸﾞⅡA 英語ﾘｰﾃﾞｨﾝｸﾞⅡB 英語ﾗｲﾃｨﾝｸﾞⅡA 英語ﾗｲﾃｨﾝｸﾞⅡB 英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅡA 英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅡB
兼担	講師	Mario Perez ＜平成27年4月＞	英語ﾗｲﾃｨﾝｸﾞⅠA 英語ﾗｲﾃｨﾝｸﾞⅠB 英語ﾘｰﾃﾞｨﾝｸﾞⅡA 英語ﾘｰﾃﾞｨﾝｸﾞⅡB 英語ﾗｲﾃｨﾝｸﾞⅡA 英語ﾗｲﾃｨﾝｸﾞⅡB 英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅡA 英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅡB
兼担	講師	Willam Marcus ＜平成27年4月＞	英語ﾘｰﾃﾞｨﾝｸﾞⅠA 英語ﾘｰﾃﾞｨﾝｸﾞⅠB 英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅠA 英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅠB 英語ﾘｰﾃﾞｨﾝｸﾞⅡA 英語ﾘｰﾃﾞｨﾝｸﾞⅡB 英語ﾗｲﾃｨﾝｸﾞⅡA 英語ﾗｲﾃｨﾝｸﾞⅡB 英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅡA 英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅡB

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞	担当授業科目名
兼担	講師	Evan Cacali ＜平成27年4月＞	英語ﾗｲﾃｨﾝｸﾞⅠA 英語ﾗｲﾃｨﾝｸﾞⅠB 英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅠA 英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅠB 英語ﾘｰﾃﾞｨﾝｸﾞⅡA 英語ﾘｰﾃﾞｨﾝｸﾞⅡB 英語ﾗｲﾃｨﾝｸﾞⅡA 英語ﾗｲﾃｨﾝｸﾞⅡB 千刈集中英語実習
兼担	講師	Mario Perez ＜平成27年4月＞	英語ﾗｲﾃｨﾝｸﾞⅠA 英語ﾗｲﾃｨﾝｸﾞⅠB 英語ﾘｰﾃﾞｨﾝｸﾞⅡA 英語ﾘｰﾃﾞｨﾝｸﾞⅡB 英語ﾗｲﾃｨﾝｸﾞⅡA 英語ﾗｲﾃｨﾝｸﾞⅡB 英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅡA 英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅡB 千刈集中英語実習
兼担	講師	Willam Marcus ＜平成27年4月＞	英語ﾗｲﾃｨﾝｸﾞⅠA 英語ﾗｲﾃｨﾝｸﾞⅠB 英語ﾗｲﾃｨﾝｸﾞⅡA 英語ﾗｲﾃｨﾝｸﾞⅡB 英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅡA 英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅡB

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞	担当授業科目名
兼担	講師	Evan Cacali ＜平成27年4月＞	英語ﾗｲﾃｨﾝｸﾞⅠA 英語ﾗｲﾃｨﾝｸﾞⅠB 英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅠA 英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅠB 英語ﾘｰﾃﾞｨﾝｸﾞⅡA 英語ﾘｰﾃﾞｨﾝｸﾞⅡB 英語ﾗｲﾃｨﾝｸﾞⅡA 英語ﾗｲﾃｨﾝｸﾞⅡB 千刈集中英語実習
兼担	講師	Mario Perez ＜平成27年4月＞	英語ﾗｲﾃｨﾝｸﾞⅠA 英語ﾗｲﾃｨﾝｸﾞⅠB 英語ﾘｰﾃﾞｨﾝｸﾞⅡA 英語ﾘｰﾃﾞｨﾝｸﾞⅡB 英語ﾗｲﾃｨﾝｸﾞⅡA 英語ﾗｲﾃｨﾝｸﾞⅡB 英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅡA 英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅡB 科学技術英語Ａ 科学技術英語Ｂ 千刈集中英語実習
兼担	講師	Willam Marcus ＜平成27年4月＞	英語ﾗｲﾃｨﾝｸﾞⅠA 英語ﾗｲﾃｨﾝｸﾞⅠB 英語ﾗｲﾃｨﾝｸﾞⅡA 英語ﾗｲﾃｨﾝｸﾞⅡB 英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅡA 英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅡB

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞	担当授業科目名

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞	担当授業科目名
兼担	講師	Audrey Moreno ＜平成27年4月＞	英語ﾗｲﾃｨﾝｸﾞⅠA 英語ﾗｲﾃｨﾝｸﾞⅠB 英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅠA 英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅠB 英語ﾘｰﾃﾞｨﾝｸﾞⅡA 英語ﾘｰﾃﾞｨﾝｸﾞⅡB 英語ﾗｲﾃｨﾝｸﾞⅡA 英語ﾗｲﾃｨﾝｸﾞⅡB 英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅡA 英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅡB
兼担	講師	Dormer Geoffrey ＜平成27年4月＞	英語ﾗｲﾃｨﾝｸﾞⅠA 英語ﾗｲﾃｨﾝｸﾞⅠB 英語ﾘｰﾃﾞｨﾝｸﾞⅠA 英語ﾘｰﾃﾞｨﾝｸﾞⅠB 英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅠA 英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅠB

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞	担当授業科目名
兼担	講師	Audrey Moreno ＜平成27年4月＞	英語ﾗｲﾃｨﾝｸﾞⅠA 英語ﾗｲﾃｨﾝｸﾞⅠB 英語ﾗｲﾃｨﾝｸﾞⅡA 英語ﾗｲﾃｨﾝｸﾞⅡB 英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅡA 英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅡB
兼担	講師	Dormer Geoffrey ＜平成27年4月＞	英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅠA 英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅠB 英語ﾗｲﾃｨﾝｸﾞⅡA 英語ﾗｲﾃｨﾝｸﾞⅡB 英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅡA 英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅡB
兼担	講師	Erik Fritz ＜平成28年4月＞	英語ﾗｲﾃｨﾝｸﾞⅠA 英語ﾗｲﾃｨﾝｸﾞⅠB 英語ﾘｰﾃﾞｨﾝｸﾞⅡA 英語ﾘｰﾃﾞｨﾝｸﾞⅡB 英語ﾗｲﾃｨﾝｸﾞⅡA 英語ﾗｲﾃｨﾝｸﾞⅡB 英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅡA 英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅡB
兼担	講師	Katie Deng ＜平成28年4月＞	英語ﾗｲﾃｨﾝｸﾞⅠA 英語ﾗｲﾃｨﾝｸﾞⅠB 英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅠA 英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅠB 英語ﾗｲﾃｨﾝｸﾞⅡA 英語ﾗｲﾃｨﾝｸﾞⅡB
兼担	講師	Kevin Bartlett ＜平成28年4月＞	英語ﾗｲﾃｨﾝｸﾞⅠA 英語ﾗｲﾃｨﾝｸﾞⅠB 英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅠA 英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅠB 英語ﾘｰﾃﾞｨﾝｸﾞⅡA 英語ﾘｰﾃﾞｨﾝｸﾞⅡB 英語ﾗｲﾃｨﾝｸﾞⅡA 英語ﾗｲﾃｨﾝｸﾞⅡB

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞	担当授業科目名
兼担	講師	Dormer Geoffrey ＜平成27年4月＞	英語ﾗｲﾃｨﾝｸﾞⅠA 英語ﾗｲﾃｨﾝｸﾞⅠB 英語ﾘｰﾃﾞｨﾝｸﾞⅡA 英語ﾘｰﾃﾞｨﾝｸﾞⅡB 英語ﾗｲﾃｨﾝｸﾞⅡA 英語ﾗｲﾃｨﾝｸﾞⅡB 英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅡA 英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅡB 科学技術英語A 科学技術英語B 千刈集中英語実習
兼担	講師	Erik Fritz ＜平成28年4月＞	英語ﾗｲﾃｨﾝｸﾞⅠA 英語ﾗｲﾃｨﾝｸﾞⅠB 英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅠA 英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅠB 英語ﾘｰﾃﾞｨﾝｸﾞⅡA 英語ﾘｰﾃﾞｨﾝｸﾞⅡB 英語ﾗｲﾃｨﾝｸﾞⅡA 英語ﾗｲﾃｨﾝｸﾞⅡB 千刈集中英語実習
兼担	講師	Katie Deng ＜平成28年4月＞	英語ﾗｲﾃｨﾝｸﾞⅠA 英語ﾗｲﾃｨﾝｸﾞⅠB 英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅠA 英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅠB 英語ﾘｰﾃﾞｨﾝｸﾞⅡA 英語ﾘｰﾃﾞｨﾝｸﾞⅡB 英語ﾗｲﾃｨﾝｸﾞⅡA 英語ﾗｲﾃｨﾝｸﾞⅡB
兼担	講師	Kevin Bartlett ＜平成28年4月＞	英語ﾗｲﾃｨﾝｸﾞⅠA 英語ﾗｲﾃｨﾝｸﾞⅠB 英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅠA 英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅠB 英語ﾘｰﾃﾞｨﾝｸﾞⅡA 英語ﾘｰﾃﾞｨﾝｸﾞⅡB 英語ﾗｲﾃｨﾝｸﾞⅡA 英語ﾗｲﾃｨﾝｸﾞⅡB 千刈集中英語実習

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞	担当授業科目名
兼担	講師	Erik Fritz ＜平成28年4月＞	英語ﾗｲﾃｨﾝｸﾞⅠA 英語ﾗｲﾃｨﾝｸﾞⅠB 英語ﾘｰﾃﾞｨﾝｸﾞⅡA 英語ﾘｰﾃﾞｨﾝｸﾞⅡB 英語ﾗｲﾃｨﾝｸﾞⅡA 英語ﾗｲﾃｨﾝｸﾞⅡB 英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅡA 英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅡB
兼担	講師	Kevin Bartlett ＜平成28年4月＞	英語ﾗｲﾃｨﾝｸﾞⅠA 英語ﾗｲﾃｨﾝｸﾞⅠB 英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅠA 英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅠB 英語ﾘｰﾃﾞｨﾝｸﾞⅡA 英語ﾘｰﾃﾞｨﾝｸﾞⅡB 英語ﾗｲﾃｨﾝｸﾞⅡA 英語ﾗｲﾃｨﾝｸﾞⅡB 科学技術英語A 科学技術英語B 千刈集中英語実習

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞	担当授業科目名

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞	担当授業科目名

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞	担当授業科目名

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞	担当授業科目名
兼担	講師	Troy Rubesch ＜平成29年4月＞	英語ﾗｲﾃｨﾝｸﾞⅠA 英語ﾗｲﾃｨﾝｸﾞⅠB 英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅠA 英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅠB 英語ﾘｰﾃﾞｨﾝｸﾞⅡA 英語ﾘｰﾃﾞｨﾝｸﾞⅡB 英語ﾗｲﾃｨﾝｸﾞⅡA 英語ﾗｲﾃｨﾝｸﾞⅡB 千刈集中英語実習
兼担	講師	Laura Huston ＜平成29年4月＞	英語ﾗｲﾃｨﾝｸﾞⅠA 英語ﾗｲﾃｨﾝｸﾞⅠB 英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅠA 英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅠB 英語ﾗｲﾃｨﾝｸﾞⅡA 英語ﾗｲﾃｨﾝｸﾞⅡB 英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅡA 英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅡB
兼担	講師	Jason Henwood ＜平成29年4月＞	英語ﾗｲﾃｨﾝｸﾞⅠA 英語ﾗｲﾃｨﾝｸﾞⅠB 英語ﾗｲﾃｨﾝｸﾞⅡA 英語ﾗｲﾃｨﾝｸﾞⅡB 英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅡA 英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅡB 千刈集中英語実習
兼担	講師	Kym Jolley ＜平成29年4月＞	英語ﾗｲﾃｨﾝｸﾞⅠA 英語ﾗｲﾃｨﾝｸﾞⅠB 英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅠA 英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅠB 英語ﾗｲﾃｨﾝｸﾞⅡA 英語ﾗｲﾃｨﾝｸﾞⅡB 英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅡA 英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅡB 千刈集中英語実習
兼担	講師	Shalvin Singh ＜平成29年4月＞	英語ﾗｲﾃｨﾝｸﾞⅠA 英語ﾗｲﾃｨﾝｸﾞⅠB 英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅠA 英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅠB 英語ﾗｲﾃｨﾝｸﾞⅡA 英語ﾗｲﾃｨﾝｸﾞⅡB 千刈集中英語実習

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞	担当授業科目名
兼担	講師	Troy Rubesch ＜平成29年4月＞	英語ﾗｲﾃｨﾝｸﾞⅠA 英語ﾗｲﾃｨﾝｸﾞⅠB 英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅠA 英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅠB 英語ﾗｲﾃｨﾝｸﾞⅡA 英語ﾗｲﾃｨﾝｸﾞⅡB 千刈集中英語実習
兼担	講師	Laura Huston ＜平成29年4月＞	英語ﾗｲﾃｨﾝｸﾞⅠA 英語ﾗｲﾃｨﾝｸﾞⅠB 英語ﾗｲﾃｨﾝｸﾞⅡA 英語ﾗｲﾃｨﾝｸﾞⅡB 英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅡA 英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅡB 千刈集中英語実習
兼担	講師	Jason Henwood ＜平成29年4月＞	英語ﾗｲﾃｨﾝｸﾞⅠA 英語ﾗｲﾃｨﾝｸﾞⅠB 英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅠA 英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅠB 英語ﾘｰﾃﾞｨﾝｸﾞⅡA 英語ﾘｰﾃﾞｨﾝｸﾞⅡB 英語ﾗｲﾃｨﾝｸﾞⅡA 英語ﾗｲﾃｨﾝｸﾞⅡB 千刈集中英語実習
兼担	講師	Kym Jolley ＜平成29年4月＞	英語ﾗｲﾃｨﾝｸﾞⅠA 英語ﾗｲﾃｨﾝｸﾞⅠB 英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅠA 英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅠB 英語ﾘｰﾃﾞｨﾝｸﾞⅡA 英語ﾘｰﾃﾞｨﾝｸﾞⅡB 英語ﾗｲﾃｨﾝｸﾞⅡA 英語ﾗｲﾃｨﾝｸﾞⅡB
兼担	講師	Shalvin Singh ＜平成29年4月＞	英語ﾗｲﾃｨﾝｸﾞⅠA 英語ﾗｲﾃｨﾝｸﾞⅠB 英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅠA 英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅠB 英語ﾗｲﾃｨﾝｸﾞⅡA 英語ﾗｲﾃｨﾝｸﾞⅡB 英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅡA 英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅡB
兼担	講師	Michael Collins ＜平成30年4月＞	英語ﾗｲﾃｨﾝｸﾞⅠA 英語ﾗｲﾃｨﾝｸﾞⅠB 英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅠA 英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅠB 英語ﾘｰﾃﾞｨﾝｸﾞⅡA 英語ﾘｰﾃﾞｨﾝｸﾞⅡB 英語ﾗｲﾃｨﾝｸﾞⅡA 英語ﾗｲﾃｨﾝｸﾞⅡB 千刈集中英語実習

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞	担当授業科目名
兼担	助教	長谷川　由美子 ＜平成27年4月＞	生命科学入門実験
兼担	助教	小森　英之 ＜平成27年4月＞	生命科学入門実験
兼担	助教	宮田　将徳 ＜平成27年4月＞	生命科学入門実験
兼担	助教	前田　康大 ＜平成27年4月＞	生命科学入門実験
兼担	助教	桑原　圭裕 ＜平成27年9月＞	芸術と技術

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞	担当授業科目名
兼担	助教	宮田　将徳 ＜平成27年4月＞	生命科学入門実験
兼担	助教	桑原　圭裕 ＜平成27年9月＞	芸術と技術
兼担	助教	松吉　ひろ子 ＜平成27年4月＞	生命科学入門実験
兼担	助教	安達　直樹 ＜平成27年4月＞	生命科学入門実験
兼担	助教	荒木　啓吾 ＜平成27年4月＞	生命科学入門実験

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞	担当授業科目名
兼担	助教	宮田　将徳 ＜平成27年4月＞	生命科学入門実験
兼担	助教	松吉　ひろ子 ＜平成27年4月＞	生命科学入門実験
兼担	助教	安達　直樹 ＜平成27年4月＞	生命科学入門実験
兼担	助教	荒木　啓吾 ＜平成27年4月＞	生命科学入門実験
兼担	助教	Salak Dragan ＜平成28年4月＞	基礎物理学実験Ⅰ
兼担	助教	前田　一貴 ＜平成28年4月＞	微積分学Ⅰ 微積分学Ⅱ

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞	担当授業科目名
兼担	助教	宮田　将徳 ＜平成27年4月＞	生命科学入門実験
兼担	助教	松吉　ひろ子 ＜平成27年4月＞	生命科学入門実験
兼担	助教	安達　直樹 ＜平成27年4月＞	生命科学入門実験
兼担	助教	荒木　啓吾 ＜平成27年4月＞	生命科学入門実験
兼担	助教	Salak Dragan ＜平成28年4月＞	基礎物理学実験Ⅰ
兼担	助教	前田　一貴 ＜平成28年4月＞	微積分学Ⅰ 微積分学Ⅱ

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞	担当授業科目名
兼担	講師	Chad Cottam ＜平成30年4月＞	英語ﾗｲﾃｨﾝｸﾞⅠA 英語ﾗｲﾃｨﾝｸﾞⅠB 英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅠA 英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅠB 英語ﾗｲﾃｨﾝｸﾞⅡA 英語ﾗｲﾃｨﾝｸﾞⅡB 英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅡA 英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅡB 千刈集中英語実習
兼担	講師	Imogen Custance ＜平成30年4月＞	英語ﾗｲﾃｨﾝｸﾞⅠA 英語ﾗｲﾃｨﾝｸﾞⅠB 英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅠA 英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅠB 英語ﾗｲﾃｨﾝｸﾞⅡA 英語ﾗｲﾃｨﾝｸﾞⅡB 英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅡA 英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅡB 千刈集中英語実習
兼担	助教	安達　直樹 ＜平成27年4月＞	生命科学入門実験
兼担	助教	荒木　啓吾 ＜平成27年4月＞	生命科学入門実験
兼担	助教	Salak Dragan ＜平成28年4月＞	基礎物理学実験Ⅰ
兼担	助教	前田　一貴 ＜平成28年4月＞	線形代数学Ⅰ 線形代数学Ⅱ 微積分学Ⅰ 微積分学Ⅱ
兼担	助教	竹谷　皓規 ＜平成30年4月＞	生命科学入門実験

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞	担当授業科目名
兼任	講師	瀬川　新一 ＜平成28年4月＞	基礎物理学Ｃ 基礎物理学Ｄ
兼任	講師	城　健男 ＜平成27年4月＞	基礎物理学Ａ
兼任	講師	田中　泉 ＜平成27年9月＞	基礎物理学Ｂ
兼任	講師	堀　郁 ＜平成27年9月＞	環境倫理
兼任	講師	西澤　真則 ＜平成27年9月＞	環境倫理
兼任	講師	井上　尚之 ＜平成27年4月＞	自然科学史
兼任	講師	谷　恭子 ＜平成27年4月＞	フランス語読解Ⅰ フランス語読解Ⅱ
兼任	講師	副島　猛 ＜平成27年4月＞	哲学 論理学
兼任	講師	阪口　勝弘 ＜平成27年4月＞	フランス語文法Ⅰ フランス語文法Ⅱ
兼任	講師	北口　勝也 ＜平成27年4月＞	心理学
兼任	講師	藤戸　麻理 ＜平成27年4月＞	ドイツ語読解Ⅰ ドイツ語読解Ⅱ
兼任	講師	平田　誠一郎 ＜平成27年9月＞	社会学
兼任	講師	谷村　要 ＜平成27年4月＞	サイバー社会入門
兼任	講師	村上 亮 ＜平成27年9月＞	西洋史
兼任	講師	中窪　啓介 ＜平成27年4月＞	地誌学

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞	担当授業科目名
兼任	講師	瀬川　新一 ＜平成28年4月＞	基礎物理学Ｃ 基礎物理学Ｄ
兼任	講師	城　健男 ＜平成27年4月＞	基礎物理学Ａ
兼任	講師	田中　泉 ＜平成27年9月＞	基礎物理学Ｂ
兼任	講師	堀　郁 ＜平成27年9月＞	環境倫理
兼任	講師	西澤　真則 ＜平成27年9月＞	環境倫理
兼任	講師	井上　尚之 ＜平成27年4月＞	自然科学史
兼任	講師	谷　恭子 ＜平成27年4月＞	フランス語読解Ⅰ フランス語読解Ⅱ
兼任	講師	副島　猛 ＜平成27年4月＞	哲学 論理学
兼任	講師	阪口　勝弘 ＜平成27年4月＞	フランス語文法Ⅰ フランス語文法Ⅱ
兼任	講師	北口　勝也 ＜平成27年4月＞	心理学
兼任	講師	藤戸　麻理 ＜平成27年4月＞	ドイツ語読解Ⅰ ドイツ語読解Ⅱ
兼任	講師	村上 亮 ＜平成27年9月＞	西洋史
兼任	講師	中窪　啓介 ＜平成27年4月＞	地誌学
兼任	講師	内田　啓太郎 ＜平成27年4月＞	サイバー社会入門
兼任	講師	宮田　玲 ＜平成27年4月＞	ドイツ語文法Ⅰ ドイツ語文法Ⅱ

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞	担当授業科目名
兼任	講師	瀬川　新一 ＜平成28年4月＞	基礎物理学Ｃ 基礎物理学Ｄ
兼任	講師	城　健男 ＜平成27年4月＞	線形代数学Ⅲ 基礎物理学Ａ
兼任	講師	田中　泉 ＜平成27年9月＞	基礎物理学Ｂ
兼任	講師	堀　郁 ＜平成27年9月＞	環境倫理
兼任	講師	井上　尚之 ＜平成27年4月＞	自然科学史
兼任	講師	谷　恭子 ＜平成27年4月＞	フランス語読解Ⅰ フランス語読解Ⅱ
兼任	講師	副島　猛 ＜平成27年4月＞	哲学 論理学
兼任	講師	阪口　勝弘 ＜平成27年4月＞	フランス語文法Ⅰ フランス語文法Ⅱ
兼任	講師	北口　勝也 ＜平成27年4月＞	心理学
兼任	講師	藤戸　麻理 ＜平成27年4月＞	ドイツ語読解Ⅰ ドイツ語読解Ⅱ
兼任	講師	村上 亮 ＜平成27年9月＞	西洋史
兼任	講師	内田　啓太郎 ＜平成27年4月＞	サイバー社会入門
兼任	講師	宮田　玲 ＜平成27年4月＞	ドイツ語文法Ⅰ ドイツ語文法Ⅱ

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞	担当授業科目名
兼任	講師	瀬川　新一 ＜平成28年4月＞	基礎物理学Ｃ 基礎物理学Ｄ
兼任	講師	城　健男 ＜平成27年4月＞	線形代数学Ⅲ 基礎物理学Ａ
兼任	講師	田中　泉 ＜平成27年9月＞	基礎物理学Ｂ
兼任	講師	堀　郁 ＜平成27年9月＞	環境倫理
兼任	講師	井上　尚之 ＜平成27年4月＞	自然科学史
兼任	講師	谷　恭子 ＜平成27年4月＞	フランス語読解Ⅰ フランス語読解Ⅱ
兼任	講師	副島　猛 ＜平成27年4月＞	哲学 論理学
兼任	講師	阪口　勝弘 （52） ＜平成27年4月＞	フランス語文法Ⅰ フランス語文法Ⅱ
兼任	講師	北口　勝也 ＜平成27年4月＞	心理学
兼任	講師	藤戸　麻理 ＜平成27年4月＞	ドイツ語読解Ⅰ ドイツ語読解Ⅱ
兼任	講師	内田　啓太郎 ＜平成27年4月＞	サイバー社会入門
兼任	講師	宮田　玲 ＜平成27年4月＞	ドイツ語文法Ⅰ ドイツ語文法Ⅱ

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞	担当授業科目名
兼担	助教	福田　亮介 ＜平成30年4月＞	生命科学入門実験
兼任	講師	瀬川　新一 ＜平成28年4月＞	基礎物理学Ｃ 基礎物理学Ｄ
兼任	講師	城　健男 ＜平成27年4月＞	線形代数学Ⅲ 基礎物理学Ａ
兼任	講師	田中　泉 ＜平成27年9月＞	基礎物理学Ｂ
兼任	講師	堀　郁 ＜平成27年9月＞	環境倫理
兼任	講師	井上　尚之 ＜平成27年4月＞	自然科学史
兼任	講師	谷　恭子 ＜平成27年4月＞	フランス語読解Ⅰ フランス語読解Ⅱ
兼任	講師	副島　猛 ＜平成27年4月＞	哲学 論理学
兼任	講師	阪口　勝弘 ＜平成27年4月＞	フランス語文法Ⅰ フランス語文法Ⅱ
兼任	講師	北口　勝也 ＜平成27年4月＞	心理学
兼任	講師	藤戸　麻理 ＜平成27年4月＞	ドイツ語読解Ⅰ ドイツ語読解Ⅱ
兼任	講師	内田　啓太郎 ＜平成27年4月＞	サイバー社会入門
兼任	講師	宮田　玲 ＜平成27年4月＞	ドイツ語文法Ⅰ ドイツ語文法Ⅱ

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞	担当授業科目名

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞	担当授業科目名

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞	担当授業科目名

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞	担当授業科目名

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞	担当授業科目名
兼任	講師	風井　浩志 ＜平成29年4月＞	コンピュータ演習Ａ
兼任	講師	デイヴィス　恵美 ＜平成29年4月＞	英語ﾘｰﾃﾞｨﾝｸﾞＩＡ 英語ﾘｰﾃﾞｨﾝｸﾞＩＢ
兼任	講師	高山　正輝 ＜平成29年4月＞	地球環境科学実験

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞	担当授業科目名
兼任	講師	風井　浩志 ＜平成29年4月＞	コンピュータ演習Ａ
兼任	講師	デイヴィス　恵美 ＜平成29年4月＞	英語ﾘｰﾃﾞｨﾝｸﾞＩＡ 英語ﾘｰﾃﾞｨﾝｸﾞＩＢ
兼任	講師	高山　正輝 ＜平成29年4月＞	地球環境科学実験
兼任	講師	山崎　陽一 ＜平成30年4月＞	コンピュータ演習Ａ
兼任	講師	岡本 託 ＜平成30年9月＞	西洋史

（注）・　申請書又は届出書の様式第３号（その２の１）に準じて作成してください。
・　設置認可時又は届出時の教員全て（兼任，兼担教員を含む。）を黒字で記入してください。
その上で，**認可時又は届出時から変更となっている箇所は太字の赤字としてください。**
・　年齢は，**それぞれの年度の５月１日時点の満年齢**を記入してください。
・　専任、兼担、兼任の順に記入してください。
・　不要な年度（平成２８年度開設であれば平成２７年度、平成２９年度開設であれば平成２７年度及び平成２８年度、平成３０年度開設であれば平成２７年度から平成２９年度）の表は適宜削除し，詰めてください。

（１）ー②担当教員表に関する変更内容

【平成２７年度】

・昇任により壷井基裕准教授の職名を「准教授」から「教授」に変更。
・クラス数及び担当教員の編成を見直したことにより、尾鼻靖子兼担教授の担当授業科目を変更。
・担当教員の編成を見直したことにより、中後大輔兼担准教授から、飛谷謙介兼任講師に変更。
・クラス数及び担当教員の編成を見直したことにより、工藤多恵兼担准教授の担当授業科目を変更。
・クラス数及び担当教員の編成を見直したことにより、Matthew Barbee兼担講師、Polly Tang兼担講師の担当授業科目を変更。
・Michael Lynn兼担准教授、Stuart Cunningham兼担講師、Carmen Tamas兼担講師、Amy Johnson兼担講師が就任辞退したが、住政二郎兼担准教授、Evan Cacali兼担講師、Mario Perez兼担講師、Willam Marcus兼担講師、Audrey Moreno兼担講師、Dormer Geoffrey兼担講師が新たに就任し、クラス数及び担当教員の編成を変更。
・担当教員の編成を見直したことにより、前川裕兼担講師の担当授業科目を変更し、「ドイツ語文法Ⅰ」、「ドイツ語文法Ⅱ」は宮田玲兼任講師に変更。
・長谷川由美子兼担助教の就任辞退により、安達直樹兼担助教に変更。
・小森英之兼担助教の就任辞退により、荒木啓吾兼担助教に変更。
・前田康大兼担助教の就任辞退により、松吉ひろ子兼担助教に変更。
・平田誠一郎兼任講師の担当辞退により、尾添侑太兼任講師に変更。
・谷村要兼任講師の担当辞退により、内田啓太郎兼任講師に変更。
・授業形態を変更したことにより、藤田明史兼任講師を「芸術と技術」の担当教員として追加。

【平成２８年度】

・昇任により増尾貞弘准教授の職名を「准教授」から「教授」に変更。
・担当教員の編成を見直したことにより、石井博昭兼担教授の担当授業科目を変更し、「微積分学Ⅱ」を前田一貴兼担助教に変更。
・担当教員の編成を見直したことにより、水木純一郎兼担教授から加藤知兼担教授に変更。
・特別研究員となったことにより、尾鼻靖子兼担教授の担当授業科目を一部削除。
・担当教員の編成を見直したことにより、楠瀬正昭兼担教授から城健男兼任講師に変更。
・担当教員の編成を見直したことにより、金子忠昭兼担教授から松浦周二兼担教授に変更。
・担当教員の編成を見直したことにより、山根英司兼担教授から前田一貴兼担助教に変更。
・長岡徹兼担教授担当辞退により、佐藤潤一兼任講師に変更。
・担当教員の編成を見直したことにより、松尾元彰兼担准教授からSalak Dragan兼担助教に変更。
・担当教員の編成を見直したことにより、森本孝之兼担准教授から石井博昭兼担教授及び仲久則兼任講師に変更。
・クラス数及び担当教員の編成を見直したことにより、工藤多恵兼担准教授、住政二郎兼担准教授の担当授業科目を変更。
・クラス数及び担当教員の編成を見直したことにより、Matthew Barbee兼担講師、Manuel Senna兼担講師、Polly Tang兼担講師、Regan Thomson兼担講師、Evan Cacali兼担講師、Mario Perez兼担講師、Audrey Moreno兼担講師、Dormer Geoffrey兼担講師の担当授業科目を変更。
・Robert Stroud兼担講師が辞任したが、Erik Fritz兼担講師、Katie Deng兼担講師、Kevin Bartlett兼担講師が新たに就任し、クラス数及び担当教員の編成を変更。
・授業形態を変更したことにより、桑原圭裕兼担助教の担当授業科目を削除。
・担当教員の編成を見直したことにより、西澤真則兼任講師の担当授業科目を削除。
・中窪啓介兼任講師担当辞退により、吉田雄介兼任講師に変更。
・クラス数及び担当教員の編成を見直したことにより、言語教育科目を担当する兼任講師６名を追加。

【平成２９年度】

・藤原正澄助教辞任により、山内光陽助教に変更。
・赤井勇人助教辞任により、山口きらら助教に変更。
・担当教員の編成を見直したことにより、石井博昭兼担教授から昌子浩登兼担准教授に変更。
・特別研究員の終了により、尾鼻靖子兼担教授の担当授業科目を復活。
・担当教員の編成を見直したことにより、氏木道人兼担教授の担当授業科目を一部削除。
・佐藤潤一兼任講師担当辞退により、長岡徹兼担教授に変更。
・クラス数及び担当教員の編成を見直したことにより、工藤多恵兼担准教授、住政二郎兼担准教授の担当授業科目を変更。
・担当教員の編成を見直したことにより、仲久則兼任講師から昌子浩登兼担准教授に変更。
・昇任により前川裕兼担講師の職名を「講師」から「准教授」に変更。
・クラス数及び担当教員の編成を見直したことにより、Matthew Barbee兼担講師、Evan Cacali兼担講師、Mario Perez兼担講師、Willam Marcus兼担講師、Dormer Geoffrey兼担講師、Erik Fritz兼担講師、Katie Deng兼担講師、Kevin Bartlett兼担講師の担当授業科目を変更。
・Daniel Parsonss兼担講師、Manuel Senna兼担講師、Polly Tang兼担講師、Regan Thomson兼担講師、Audrey Moreno兼担講師が担当辞退したが、Troy Rubesch兼担講師、Laura Huston兼担講師、Jason Henwood兼任講師、Kym Jolley専任講師、Shalvin Singh専任講師が新たに就任し、クラス数及び担当教員の編成を変更。
・担当教員の編成を見直したことにより、飛谷謙介兼任講師から風井浩志兼任講師に変更。
・クラス数及び担当教員の編成を見直したことにより、藤平愛美兼任講師の担当授業科目を削除し、「英語リーディングＩＡ」「英語リーディングＩＢ」はデイヴィス恵美兼任講師に変更。
・担当教員の編成を見直したことにより、高山正輝兼任講師を「地球環境科学実験」の担当教員として追加。

【平成３０年度】

・高畑由起夫兼担教授辞任により、佐山浩兼担教授に変更。
・長岡徹兼担教授担当辞退により、佐藤潤一兼任講師に変更。
・クラス数及び担当教員の編成を見直したことにより、工藤多恵兼担准教授、住政二郎兼担准教授の担当授業科目を変更。
・担当教員の編成を見直したことにより、昌子浩登兼担准教授から前田一貴兼担助教に変更。
・クラス数及び担当教員の編成を見直したことにより、Mario Perez兼担講師、Erik Fritz兼担講師、Kevin Bartlett兼担講師、Troy Rubesch兼担講師、Laura Huston兼担講師、Jason Henwood兼担講師、Kym Jolley兼担講師、Shalvin Singh兼担講師の担当授業科目を変更。
・Matthew Barbee兼担講師、Dormer Geoffrey兼担講師、Katie Deng兼担講師が辞任したが、Michael Collins兼担講師、Chad Cottam兼担講師、Imogen Custance兼担講師が、新たに就任しクラス数及び担当教員の編成を変更。
・宮田将徳兼担助教辞任により、福田亮介兼担助教に変更。
・松吉ひろ子兼担助教辞任により、竹谷皓規兼担助教に変更。
・村上亮兼任講師担当辞退により、岡本託兼任講師に変更。
・担当教員の編成を見直したことにより、山崎陽一兼任講師を「コンピュータ演習Ａ」の担当教員として追加。

（注）・　変更内容を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
・　**認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合**は，当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し，大学設置・学校法人審議会による教員資格審査（AC教員審査）を受けてください。**AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
・　「専任教員採用等変更書（ＡＣ）」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」と記入してください。なお，設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は，「教員審査省略」と記入してください。
・　不要な年度（平成２８年度開設であれば平成２７年度、平成２９年度開設であれば平成２７年度及び平成２８年度、平成３０年度開設であれば平成２７年度から平成２９年度）の表は適宜削除してください。

（２） 専任教員数等

（２）ー① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における設置基準上の必要専任教員数	うち、完成年度時における設置基準上の必要教授数
8 名	4 名

（注）・ 大学設置基準第十三条別表第一、短期大学設置基準第二十二条別表第一イにより算出される専任教員数を記入してください。

（２）ー② 専任教員数

設置時の計画					現在（報告書提出時）の状況					現在（報告書提出時）の完成年度時の計画				
教 授	准教授	講 師	助 教	計（A）	教 授	准教授	講 師	助 教	計（B）	教 授	准教授	講 師	助 教	計（C）
8	2	0	6	16	10	0	0	6	16	10	0	0	6	16
(8)	(2)	(0)	(6)	(16)						[2]	[△2]	[0]	[0]	[0]

（注）・「設置時の計画」には，設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに，（ ）内に開設時の状況を記入してください。
・「現在（報告書提出時）の状況」には、報告書提出年度の５月１日の教員数（実人数）を記入してください。
・**「現在（報告書提出時）の完成年度時の計画」には，「現在（報告書提出時）の状況」に記入した数字に，教員審査を受審済みであり，完成年度までに就任する教員数を加えた数を記入**するとともに，［ ］内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：１名減の場合：△１）

（２）ー③ 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める定年年齢（歳）	報告書提出時（上記（B））の教員のうち、定年を延長して採用している教員数	完成年度時（上記（C））の教員うち、定年を延長して採用する教員数
65歳（教授の資格を有する者は68歳）	0 名	0 名

（注）・「年齢構成」には，当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません），および，平成３０年５月１日現在，定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数および完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。
・なお，職位等によって定年年齢が異なる場合には，職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し，「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

（２）ー④ 設置時の計画に対する教員充足率

$$\frac{\text{現在（報告書提出時）の完成年度時の計画（C）}}{\text{設置時の計画（A）}} = \frac{16}{16} = 100.00\ \%$$

（注）・ 小数点以下第３位を切り捨て，小数点以下第２位まで表示されます。

（２）ー⑤ 現在（報告書提出時）の状況における定年を延長している教員構成率

$$\frac{\text{報告書提出時の教員のうち、定年を延長して採用している教員数}}{\text{現在（報告書提出時）の状況（B）}} = \frac{0}{16} = 0.00\ \%$$

（注）・ 小数点以下第３位を切り捨て，小数点以下第２位まで表示されます。

（３） 専任教員辞任等の理由

（３）－① 専任教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況

番　号	職　位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由
－	－	該当なし。				

合計（A）			後任補充状況の集計（B）								
就任を辞退した教員数	担当科目数の合計（a）＋（b）＋（c）		①の合計数（a）		②の合計数（b）		③の合計数（c）				
0 人	必修	0 科目	必修	0 科目	必修	0 科目	必修	0 科目			
	選択	0 科目	選択	0 科目	選択	0 科目	選択	0 科目			
	自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目			
	計	0 科目	計	0 科目	計	0 科目	計	0 科目			

（注）・ 認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての専任教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。
・ 「就任辞退（未就任）」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことです。
就任した後に辞任した教員は、以下「（３）－②専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。
・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに就任を辞退した場合，赤字にて記入するとともに，
「就任辞退（未就任）の理由」に就任辞退の理由等および（ ）書きで報告年度を記入してください。
・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、
「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

・専任教員が担当する（している）場合は「①」
・兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
・後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

（３）－② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況

番　号	職　位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由
1	助教	藤原　正澄	必修	基礎化学実験Ⅰ	①	一身上の都合のため(29)
			必修	基礎化学実験Ⅱ	①	
			必修	環境・応用化学実験Ⅰ	①	
			必修	環境・応用化学実験Ⅱ	①	
			必修	卒業実験及び演習	①	
2	助教	赤井　勇斗	必修	基礎化学実験Ⅰ	①	一身上の都合のため(29)
			必修	基礎化学実験Ⅱ	①	
			必修	環境・応用化学実験Ⅰ	①	
			必修	環境・応用化学実験Ⅱ	①	
			必修	卒業実験及び演習	①	

合計（C）			後任補充状況の集計（D）								
辞任した教員数	担当科目数の合計（a）＋（b）＋（c）		①の合計数（a）		②の合計数（b）		③の合計数（c）				
2 人	必修	10 科目	必修	10 科目	必修	0 科目	必修	0 科目			
	選択	0 科目	選択	0 科目	選択	0 科目	選択	0 科目			
	自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目			
	計	10 科目	計	10 科目	計	0 科目	計	0 科目			

（注）・ 一度就任した後に、**定年による退職以外の理由で辞任した全ての専任教員**についてに記入してください。
・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに辞任等した場合，赤字にて記入するとともに，「辞任等の理由」
に辞任理由等および（ ）書きで報告年度を記入してください。
・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、
「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

・専任教員が担当する（している）場合は「①」
・兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
・後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

（３）－③ 上記（３）－① ・ （３）－② の合計

合計（A）＋（C）			後任補充状況の集計（B）＋（D）								
辞任等した教員数	担当科目数の合計（a）＋（b）＋（c）		①の合計数（a）		②の合計数（b）		③の合計数（c）				
2 人	必修	10 科目	必修	10 科目	必修	0 科目	必修	0 科目			
	選択	0 科目	選択	0 科目	選択	0 科目	選択	0 科目			
	自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目			
	計	10 科目	計	10 科目	計	0 科目	計	0 科目			

（３）－④ 設置時の計画に対する教員辞任率

$$\frac{(3)-③合計(D)+(F)}{(2)-②設置時の計画(A)} = \frac{2}{16} = \boxed{12.5}\ \%$$

（注）・ 小数点以下第３位を切り捨て，小数点以下第２位まで表示されます。

（3）ー⑤　定年により退職した専任教員に対する後任補充状況

番　号	職　位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由
－	－	該当なし。				

合計				後任補充状況の集計								
辞任した教員数		担当科目数の合計（a）+（b）+（c）			①の合計数（a）			②の合計数（b）			③の合計数（c）		
0	人	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目

（注）・　**定年により退職した全ての専任教員**について に記入してください。
・　昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに辞任等した場合，赤字にて記入するとともに，「辞任等の理由」に辞任理由等および（　）書きで報告年度を記入してください。
・　また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

・専任教員が担当する（している）場合は「①」
・兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
・後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

（4）専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

助教2名については、一身上の都合により退職することとなったが、退職が決まった段階で、後任人事を行い、平成29年4月より新任の助教2名を迎えると同時によりきめ細やかで効果的な教育を行うため、教員編成の見直しを行った。学生には、シラバスで講義内容、履修心得で講義担当教員一覧を掲載し周知している。(29)

（注）・　上記（3）の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

６　留意事項等に対する履行状況等

区　　分	留　意　事　項　等		履　行　状　況		未履行事項についての実施計画
設　置　時 （27年4月）	該当なし。				
設置計画履行状況調　査　時 （28年2月）	理工学部先進エネルギーナノ工学科の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生確保の努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。	改善意見	平成28年度以降の定員確保に向けて、方策を検討し努力した。具体的には、先進エネルギーナノ工学科教員が中心となり、高校訪問を近畿圏内の高校だけでなく、東北地方等の高校でも実施した。積極的な広報活動を行い、新学科の学びの内容を高校教員や高校生に伝えた。また、オープンキャンパスの実施、夢ナビライブへの参加、模擬授業の高校への提供等により、受験生に新学科の学びの内容を理解してもらう機会を多く設けた。また、新たに学科のWebページを開設し、教育研究内容が受験生に浸透するよう、情報を発信した。 この結果、入学者を99名確保することができ、平成28年度、平均入学定員超過率は0.95倍となった。(28) 平成29年度は、600名の志願者より73名の入学者を迎えた。3年間の平均入学定員超過率は、0.94倍となった。志願状況等より入学定員は適切と思われるため入学定員は変更しない。引き続き、定員確保に努める。(29) 平成30年度は、566名の志願より54名の入学者を迎えた。多くの志願者があったにもかかわらず歩留まりを予測することが難しく定員を確保することができなかった。完成年次を迎え、過去4年間の平均入学定員超過率は0.87倍となった。毎年、定員確保に努めているが、新学科ということもあり歩留まりを予測することが難しく、年度によって入学者数にばらつきが出る結果となった。しかしながら、過去4年間の志願者数の平均は577名と入学定員を大きく上回っていることから、本学科に対する社会的な需要が高いことが示されている。今後、継続して入試データを蓄積し、歩留まりの予測精度を高めることで、より安定的で確実な定員確保が可能となる。併せて、受験生への積極的な広報活動も継続的に実施していく。具体的には、先進エネルギーナノ工学科の教員が中心となり、高校訪問を中国・四国・九州地方等の高校を中心に積極的に実施する。加えて、オープンキャンパスの実施、夢ナビライブへの参加、模擬授業の高校への提供等を予定している。 （30）	履行済	

区　　分	留　意　事　項　等		履　行　状　況		未履行事項について の実施計画
設置計画履行状況 調　　査　　時 （29年2月）	該当なし。				
設置計画履行状況 調　　査　　時 （30年2月）	該当なし。				

（注）・　「設置時」には，当該大学等の設置時（認可時又は届出時）に付された留意事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る留意事項を除く。）　と，それに対する履行状況等について，具体的に記入し，報告年度を（　　）書きで付記してください。

・　「設置計画履行状況調査時」には，当該設置計画履行状況調査の結果，**当該大学に付された意見を全て記入**するとともに，付された意見に対する履行状況等について，具体的に記入してください。その履行状況等を裏付ける資料があれば，添付してください。

・　「履行状況」では，履行途中であれば「未履行」，履行済みであれば「履行済」を選択してください。

・　該当がない場合には，「該当なし」と記入してください。

・　「設置計画履行状況調査時」の（年月）には，調査結果を公表した月（通常２月）を記入してください。（実地調査や面接調査を実施した日ではありません。）

７　その他全般的事項

＜理工学部　環境・応用化学科＞

（１） 設置計画変更事項等

設　置　時　の　計　画	変更内容・状況，今後の見通しなど
① 様式第2号（その3の1）「授業科目の概要」 P.5 芸術と技術	① 授業形態を変更したため、「授業科目の概要」の該当部分を変更。(27)(28)【別紙1参照】
② 「校地校舎等の図面」P.9～12 キャンパス別　校地等面積一覧表 キャンパス別　校舎等建物一覧表	② 校地校舎等の面積変更に伴い、「キャンパス別　校地等面積一覧表」及び「キャンパス別　校舎等建物一覧表」を変更。(30)【別紙2参照】
③ 「様式第3号（その3）専任教員の年齢構成・学位保有状況」 P.2	③ 准教授より教授へ昇任したことに伴う変更。(27)(28) 教員の退職及び新任の新規採用に伴う変更。(29) 【別紙4参照】

（注）・　１～６の項目に記入した事項以外で，設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）
及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

（２） 教員の資質の維持向上の方策（ＦＤ・ＳＤ活動含む）

①　実施体制

ａ　委員会の設置状況

・ 全学的な組織として、平成22年4月より総合教育研究室と情報メディア教育センターを統合し、高等教育推進センターを設置した。また、高等教育推進センターのもとに教育力向上（ＦＤ）専門部会と情報通信技術（ＩＣＴ）専門部会を設置していたが、平成25年度よりそれらの専門部会を廃し、教育力向上企画専門部会、学習支援専門部会を設置した。学習支援専門部会では、各種調査及び学習支援システムを活用した教育の開発と支援について取り組んでいる。これらの取り組みは、すべて教員と学生のコミュニケーション強化を目的としているため、ＦＤに関する取り組みの1つとして捉えている。平成24年4月よりＦＤ活動を含む教員の資質の維持向上の取り組みに対する意思決定の高度化、施策の全学的推進を図るため、教務委員会のもとに教育力向上部会を設置した。

・ ＦＤ委員会（理工学部・理工学研究科共通）を設置している。

ｂ　委員会の開催状況（教員の参加状況含む）

・ 平成25年度以降の教務委員会は、月1回開催、委員は各学部副学部長等で構成されている。教育力向上部会は随時開催。教育力向上部会の委員も各学部副学部長等で構成されている。

・ 平成25年度より設置した教育力向上企画専門部会は、センター長が指名した委員で構成されており、平成26年度までは年4回、平成27年度は年3回開催していたが、平成28年度、平成29年度は教育力向上企画専門部会は開催せず、教務委員会のもとに設置されている教育力向上部会に3回講師を派遣し、全学的に教育力向上のための企画を検討した。学習支援専門部会は、学部から選出された委員と教務機構長補佐で構成されており、平成26年度は年10回、平成27年度は年8回、平成28年度、平成29年度は7回開催した。

・ ＦＤ委員会は、平成26年度は10回、平成27年度は6回、平成28年度は5回、平成29年度は4回開催した。副学部長(教務担当)、学部長補佐(教務担当)を中心に各学科から選出されたＦＤ委員9名で構成されている。

ｃ　委員会の審議事項等

・ 教務委員会は、別紙3「教務委員会規程」第6条に記載のとおり、全学科目の開講と担当者に関する事項、全学科目の非常勤講師の採用審査に関する事項、授業実施に関する事項、定期・中間試験実施に関する事項、全学に共通する教務上の様式に関する事項、不測事態への対応体制に関する事項等を議決する。なお、教育力向上部会では教育力向上（ファカルティ・ディベロップメント）施策の全学的推進を協議する。

・ 平成25年度より設置している教育力向上企画専門部会の審議内容は別紙3「高等教育推進センター規程」に基づき、授業調査、ＦＤ講演会、初任者研修等を主な事項としている。

・ 平成25年度から設置している学習支援専門部会では、「高等教育推進センター規程」に基づき、各種調査や学習支援システムを活用した教育の開発と支援について協議している。

・ ＦＤ委員会は、学部・研究科の教育方針やその特色に照らしあわせて、授業形態・方法の点検と改善の方法を議論する。

② 実施状況

ａ 実施内容

・ 新任教員研修（全学）

・ 大学院生、大学教員対象のワークショップ「大学教員のための『講義方法のブラッシュアップ』」（全学）（平成25年度～平成29年度）

・ ＦＤ講演会・ＦＤワークショップ・ＬＭＳ講習会・ＳＤ講演会・ＳＤワークショップ（全学）

・ 各学部のＦＤ活動報告「高等教育推進センターニューズレター」（全学）（平成25年度～平成29年度）

・ ホームページの充実（全学）

・ カレッジコミュニティ調査（ＣＣＡ）（全学）（平成26・28年度）

・ 大学ＩＲコンソーシアム　共通学生調査（平成25年度～平成29年度）

・ 研修会の開催（理工学部）

・ 履修指導マニュアルの作成（理工学部）

・ 指導教員による成績配布の際の履修指導方針の明確化（理工学部）

・ 教員間での各授業の合格状況の把握と共有化（理工学部）

・ アカデミックアドバイザー制度の導入（理工学部）

・ シラバスの向上に向けた取組（理工学部）

ｂ 実施方法

・ 新任教員研修は、毎年度初めに大学の役職者が大学の歴史や組織、研究関連諸制度、人権問題等について新任教員オリエンテーションとして行っている。また、この研修内でＦＤ講演会やＬＭＳの操作法の講習も実施し、教員の資質の維持向上を図っている。

・ 本学の教員や教員を志す大学院生（既に非常勤講師等で教壇に立っている者を含む）を対象として、授業の方法等をプレＦＤとして実施している。なお、関西地区ＦＤ連絡協議会と共催し、他大学の教員も受け入れている。

・ ＦＤワークショップとして、ＴＡを対象としたワークショップを新たに開催し、変化する大学の授業と教育方法、ＴＡが受講生に求められる能力・役割について再考する機会を設けている。

・ 全学の教職員を対象として、ＦＤ講演会、ＦＤワークショップ、ＬＭＳ利用講習会、ＳＤ講演会、ＳＤワークショップを実施している。

・ 各学部にＦＤ委員会を組織する等、学部単位でも研修会や講演会を実施し、ＦＤ活動に取り組んでいる。1年間取り組んだことについて、高等教育推進センターが報告書をまとめ、「高等教育推進センターニューズレター」として、発行している。ニューズレターは毎年2回発行する。

・ 大学のホームページにＦＤ関連サイトを開設し、これまで行ってきたＦＤに関する講演会や研究会の講演要旨や、今後開催される講演会・研究会等の情報を公表している。

・ 大学ＩＲコンソーシアムの共通学生調査については、コンソーシアム加盟の大学が共通の調査項目を用いて、調査を実施している。この学生調査による間接評価結果は、成績などの直接評価結果と合わせて評価指標とすることが可能である。

・ 平成26年度は生きた学びの場として神戸三田キャンパスに設置されたアカデミック・コモンズの理念、現在の運営方針と活動状況、将来の展望について、「アカデミック・コモンズが拓く新たな学び」というテーマで研修会を実施した。平成27年度は、本学におけるインスティテューショナル・リサーチ（ＩＲ）の現状と課題について「ＩＲ学生調査、データの活用法」というテーマで研修会を実施した。また、神戸三田キャンパスで開催されたメンタルヘルス研究会「アサーティブなコミュニケ―ション」へ積極的に参加した。平成28年度は、ＤＶＤ視聴の形で『教育の質保証とシラバスの実質化』に関するＦＤ研修を実施した。またアカデミック・アドバイザー制度における教員面談指導能力の向上を図るため、立命館大学より講師を招き「学生動態の定点観測の試み － 立命館大学物理学科における学修面談について － 」というテーマで研修会を実施した。さらに、ＦＤ研修会として、学生からの授業アンケートで高い評価を受けている２つの講義の見学を行った。平成29年度は、「授業におけるルーブリックの活用」と題して、ＦＤ研修を実施した。また、シラバス向上に向けた取組を実施した。

・ 担任が学生に成績を渡す際、学生の単位修得状況に応じて、的確なアドバイスが出来るよう各学科が履修指導マニュアルを作成し、履修指導を行う際の方針を明確化している。

・ 平成26年度、平成27年度、平成28年度、平成29年度教授会において、カリキュラム及び教育体制の点検の指標として、成績分布表を配布。

・ 平成27年度から9学科体制となったことに伴い、学生数増加による授業調査の手間などの軽減のため、独自の出席調査アプリを開発し、平成27年度より運用を開始し、平成28年度、平成29年度も利用した。

ｃ 開催状況（教員の参加状況含む）

・ 新任教員オリエンテーションは、毎年度初めに新任教員が全員参加する。平成22年度からは、本学が全新任者を対象として実施してきた学院紹介等を含むオリエンテーションプログラム、従来から行われていた人権研修プログラムに、研究制度と研究費の使用についてなど、教員としての自覚を後押しするようなプログラムを新たに研修プログラムとして加え、新任者研修プログラムとして体系化し、全学的なＦＤへの取組として実施している。

・ 平成24年度からは「講義方法のブラッシュアップ」というテーマで講師を迎え、授業の構成、黒板の使い方等について、夏季にワークショップを行っている。今後も継続する予定である。

・ ＦＤ講演会を平成26年度～平成28年度は1回、平成29年度は2回、ＬＭＳ利用講習会を平成26年度は10回、平成27年度は11回、平成28年度は13回、平成29年度は12回、ＳＤ講演会を平成25年度～平成29年度は1回実施した。また、ＦＤワークショップを平成27年度は2回、平成28年度は4回、平成29年度は12回開催した。平成28年度は、新たにＳＤワークショップを実施した。今後も、ＦＤ講演会やＦＤワークショップ、ＳＤワークショップを毎年1～2回、ＬＭＳ利用講習会を数回、ＳＤ講演会を年1回実施する。

・ 各学部のＦＤ委員会が1年間取り組んだ内容について、報告書にまとめ「高等教育推進センターニューズレター」に掲載している。

・ 大学ホームページのＦＤサイト「教育改善・ＦＤへの取組」に、これまで行ってきたＦＤに関する講演会や研究会の講演要旨、今後学内の部課で開催される講演会・研究会等の情報を公表している。

・ 平成26年度、平成28年度にカレッジコミュニティ調査（ＣＣＡ）を実施した。本調査は現役学生の「正課活動への参加」や「大学への進学動機」等、学生の実態や大学の学習環境等の調査を行ったものである。この調査報告書を教員に配布して活用している。

・ 大学ＩＲコンソーシアム共通の学生調査について、平成25年度より全学部生のおよそ7割の学生を対象として、1年生調査と上級生調査を実施している。調査項目は授業内外における学習行動を中心としており、学部間のみならず、他大学との比較を行い、カリキュラムや授業改善等の参考としている。

・ 平成26年度は研修会を1回開催し、約半数の教員が参加した。平成27年度も、外部講師を招いて研修会を1回開催、約半数の教員が参加した。平成28年度、平成29年度も、外部講師を招いて研修会を1回開催、約半数の教員が参加した。また新たに「教育の質保証とシラバスの実質化』というテーマでＦＤ研修会を開催し、全教員が参加した。

・ 平成26年度、平成27年度、平成28年度及び平成29年度の9月、3月の成績発表において、明確化した履修指導方針をもとに、履修指導を行った。

・ 平成26年度、平成27年度、平成28年度及び平成29年度の5月開催の教授会において、教員間における学生の各科目の成績状況の把握と共有化を目的に成績分布表を配布した。

ｄ　実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

・ 学生による授業評価アンケートの結果を分析し、各教員に報告し、それについて各教員はコメントを提出することにしている。またその教員コメントを学内で公開し、相互研鑽に努めている。各学部内のＦＤ委員会での活動結果をニューズレターに掲載し、学部間の情報交換としている。またニューズレターや高等教育推進センター紀要『関西学院高等教育研究』を各教員に配布することで情報の共有を行っている。

・ 平成26年度の研修会を通じて、クレセントチューターと呼ばれる院生中心の学修支援システムがレポート作成、成果発表、試験勉強などのフィールドに分かれてきめ細かく対応している状況を把握するとともに、チューター自身の能力向上のための支援体制のあり方などは、ラーニング・アシスタント制度の効率的な運用を考える上でも大きな手がかりを与えるものであることを学ぶことができた。

・ 平成27年度の研修会を通じて、学生調査データの積極的な活用方法について学ぶことができた。国内における本学の現状を把握し、課題を解決するために、大学間でのデータ比較や、複数の調査データの分析が有用であることがわかった。

・ メンタルヘルス研究会に参加することで、自他共に肯定するという考え方に基づくより一層の教育指導能力の向上を図ることができた。

・ 平成28年度の研修会を通じて、面談を学生の振り返りの場や、学生生活の問題を聞くことで安心感を与える場とする考え方などを学ぶことができた。また、学生は入学後の英語クラスなど集団の影響を受けるため、入学初期に成績上位層の学生のレベルをさらに引き上げる事で集団全体の質を上げるような取り組みも重要である事がわかった。

・ 平成29年度の研修会を通じて、初等・中等教育で導入が始まっているルーブリックに関して大学での活用に関する情勢と実践に向けた取り組みについて学ぶことができ、具体的な導入を想定した質疑応答が活発になされた。シラバス向上に向けた取り組みでは、組織的な評価システムと実践的、効果的、かつ持続可能な運用について検討を行い、方針を教員で共有した。

・ 成績発表の際の履修指導方針を明確化することにより、全学生に対して、同じ内容の履修指導を行うことが可能になった。

・ 教授会において、カリキュラム及び教育体制の点検の指標として、成績分布表を配布することにより、カリキュラムや成績評価や履修指導に改善すべき点がないか検討を行うことが可能になった。

③　学生に対する授業評価アンケートの実施状況

ａ　実施の有無及び実施時期

・ 学生による授業評価アンケートは、平成24年度より毎年全学的に統一された方式で実施している。実施方法は各学部で専任教員3科目以上、非常勤講師1科目以上の科目を抽出して実施する「マークシート方式で実施する調査」とマークシート方式で実施しない科目を対象とした「Ｗｅｂ方式で実施する調査」の2方式である。このほかに全学統一書式で「自由記述用紙で実施する調査」も毎年全開講科目を対象として実施している。平成29年度には、学生の学修行動についての調査項目を加えた。

ｂ　教員や学生への公開状況，方法等

・ 平成24年度より「シラバスとの整合性」、「話し方」、「授業進行の工夫」、「リポート、宿題など」、「授業準備」、「新たな知見」、「満足」の各項目について、各学部の科目区分毎にマクロで分析したレーダーチャートを全学生・全教職員に公表している。また、調査結果を踏まえて「学生の評価に対するコメント」と「今後の改善点について」の2点のポイントについて、各教員がまとめた改善報告書を全学生・全教職員に公表している。なお、それらに加え、平成24年度より、実施した調査結果をもとに各学部がとりまとめた総評についても、全学生・全教職員に平成25年度から公表している。

（注）・「①ａ　委員会の設置状況」には，関係規程等を転載又は添付すること。
「②実施状況」には，実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

（３） 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

環境・応用化学科は、平成27年度は入学定員80名に対し、1期生として71名の新入生を迎えた。入学定員超過率は、0.88倍であった。志願者数は861名であった。多くの志願者を集めたにも関わらず、入学定員を割る結果になったのは、初めての入試で新設学科として過去のデータを使用できなかったこと、また、旧課程最後の入試であったために浪人生の動きを読みとることができなかったことが挙げられる。平成28年度は積極的な広報活動を行い、また平成27年度のデータを活用し、入学定員80名の学生確保をめざした結果、定員を上回る90名の新入生を迎え、入学定員超率は、1.12倍で定員を確保することができた。平成29年度は、72名の新入生を迎え、入学定員超過率は0.90倍であった。3年間の平均入学定員超過率は0.96倍となった。平成30年度は、72名の新入生を迎え、入学定員超過率は0.90倍であった。完成年次を迎え、4年間の平均入学定員超過率は0.95倍となった。毎年、定員確保に努めているが、新学科ということもあり歩留まりを予測することが難しい中、2年目以降は比較的安定的に入学者を確保することができている。過去4年間の志願者数の平均は711名と入学定員を大きく上回っており、本学科に対する社会的な需要が高いことが示されている。今後、継続して入試データを蓄積し、歩留まりの予測精度を高めることで、より安定的で確実な定員確保が可能となる。併せて、受験生への積極的な広報活動も継続的に実施していく予定である。

環境・応用化学科の設置の趣旨・目的は、地球環境問題に関連する多様な課題に化学的な視点から柔軟に取り組み、これらの課題に対処できる人材を育成することである。具体的には、地球環境に関連する物質の分析と評価、物質に潜在する多様な性質の探索と機能開拓、環境にやさしいものづくりなど、グリーンイノベーションに関わる教育研究を推進させることによって、新しい化学的な解決法により持続可能な地球環境形成に寄与できる人材の養成をめざしている。環境・応用化学科の設置の趣旨・目的を実現するために、環境・応用化学科の教員組織及び教育課程を編成し、1年目、2年目、3年目及び4年目の春学期においても、予定していた全ての科目を適正な規模で開講することができた。今後も、本学科の設置の趣旨・目的を実現するために、設置計画を踏まえた適切な教育及び教育の質の向上のための取組を継続して実施する。

② 自己点検・評価報告書

ａ 公表（予定）時期

・ 平成30年度は、平成27年度に設定した目標の進捗評価を中心に自己点検・評価を実施する。
評価結果を平成31年3月末日に公表。

ｂ 公表方法

・ 本学Ｗｅｂサイトにて公表

③ 認証評価を受ける計画

・ 平成25年度に大学基準協会の認証評価で「適合」の認定を受けた。
次回は平成32年度に認証評価を受けるべく、学内で検討中。

（注）・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。
また，「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については，できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。
なお，「② 自己点検・評価報告書」については，当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

（４） 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書

ａ ホームページに公表（予定）の有無 （ 有 ・ 無 ）

ｂ 公表（予定）有の場合の公表（予定）時期 （ 平成30年 9月 1日 ）

（注）・ 「ａ ホームページに公表（予定）有無」には，５月１日時点で公表している場合，もしくは，今後公表する予定の場合は，「有」にマルを記入してください。今後も公表する予定がない場合は，「無」にマルを記入してください。
・ 「ｂ 公表（予定）有の場合の公表（予定）時期」には，「ａ ホームページに公表（予定）有無」で「有」にマルを記入した場合のみ，時期を記入してください。

1　調査対象大学等の概要等

（1）設　置　者

学校法人関西学院

（2）大　学　名

関西学院大学

（3）大学の位置

〒669－1337
兵庫県三田市学園2丁目1番地
〒662－0891
兵庫県西宮市上ケ原一番町1番155号

・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には，複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

（4）管理運営組織

職　　名	設　　置　　時	変　更　状　況	備　　考
理 事 長	（ ミヤハラ　アキラ ） 宮原　明 （平成27年4月）		
学　　長	（ ムラタ　オサム ） 村田　治 （平成27年4月）		
学 部 長	（ カトウ　サトル ） 加藤　知 （平成27年4月）	（ ミズキ　ジュンイチロウ ） 水木　純一郎 （平成29年4月）	任期満了のため平成29年4月1日より変更(29)
学科長等	―		

（注）・「変更状況」は，変更があった場合に記入し，併せて「備考」に変更の理由と変更年月日，報告年度を（　）書きで記入してください。
（例）平成２９年度に報告済の内容　→（29）
平成３０年度に報告する内容　→（30）
・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば，「変更状況」に赤字にて記載（昨年度までに報告された記載があれば，そこに赤字で見え消し修正）するとともに，上記と同様に，「備考」に変更理由等を記入してください。
・大学院の場合には，「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は，各職に相当する職名の方を記載してください。

（５） 調査対象学部等の名称，定員，入学者の状況等

（注）・ 当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等，定員を定めている組織ごとに記入してください（入試区分ごとではありません）。
・ なお，課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は，法令上規定されている最小単位（大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」でも記載してください。その場合適宜各項目の表を追加してください。
・ 様式は，平成２７年度開設の４年制の学科の場合（平成３０年度までの４年間）ですが，開設年度・修業年限に合わせて作成してください。（修業年限が３年以下の場合には欄を削除し，５年以上の場合には，欄を設けてください。）

（５）－① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の名称（学位）	学位又は学科の分野	設置時の計画				備考
		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	
理工学部 生命医化学科 学士（生命医化学）	理学関係 工学関係	4年	80人	年次人 —	320人	

（注）・ 定員を変更した場合は，「備考」に変更前の人数，変更年月及び報告年度を（ ）書きで記入してください。
・ 学生募集停止を予定している場合は、「備考」にその旨記載してください。
・ 「学位又は学科の分野」には、「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要（別記様式第２号（その２の１））」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。

（５）－② 調査対象学部等の入学者の状況

区分＼対象年度	平成２７年度		平成２８年度		平成２９年度		平成３０年度		平均入学定員超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期		
A 入学定員	人 80 (—) [—]	人	人 80 (—) [—]	人	人 80 (—) [—]	人	人 80 (—) [—]	人	0.89倍	
志願者数	773 (—) [—]	— (—) [—]	668 (—) [7]	— (—) [—]	635 (—) [9]	— (—) [—]	617 (—) [19]	( ) [ ]		
受験者数	749 (—) [—]	— (—) [—]	652 (—) [7]	— (—) [—]	617 (—) [9]	— (—) [—]	598 (—) [19]	( ) [ ]		
合格者数	336 (—) [—]	— (—) [—]	364 (—) [6]	— (—) [—]	351 (—) [5]	— (—) [—]	333 (—) [9]	( ) [ ]		
B 入学者数	62 (—) [—]	— (—) [—]	71 (—) [3]	— (—) [—]	84 (—) [2]	— (—) [—]	69 (—) [3]	( ) [ ]		
入学定員超過率 B／A	0.77		0.88		1.05		0.86			

（注）・ 数字は，平成３０年５月１日現在の数字を記入してください。
・ （ ）内には，編入学の状況について**外数で**記入してください。なお，編入学を複数年次で行っている場合には，(( ))書きとするなどし，その旨を「備考」に付記してください。 該当がない年には「－」を記入してください。
・ [ ]内には，留学生の状況について**内数で**記入してください。該当がない年には「－」を記入してください。
・ 留学生については，「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により，我が国の大学（大学院を含む。），短期大学，高等専門学校，専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
・ 短期交換留学生など，定員内に含めていない学生については記入しないでください。
・ 転入学生は記入しないでください。
・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「－」を記入してください。また，その他の学期に入学定員を設けている場合は，備考欄にその人数を記入してください。
・ 「入学定員超過率」については，**各年度の春季入学とその他を合計した入学定員，入学者数で算出**してください。なお，計算の際は小数点以下第３位を切り捨て，小数点以下第２位まで記入してください。
・ 「平均入学定員超過率」には，開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお，計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。

（５）－③　調査対象学部等の在学者の状況

学年＼対象年度	平成２７年度		平成２８年度		平成２９年度		平成３０年度		備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
１年次	62 [－] (－)	－ [－] (－)	71 [3] (－)	－ [－] (－)	84 [2] (－)	－ [－] (－)	69 [3] (－)	[　　] (　　)	平成27年9月 1年次1人退学（28） 平成28年9月 1年次1人退学（29） 平成29年3月 1年次1人退学（29） 平成29年4月 2年次1人転学科（29） 平成30年3月 3年次2人退学（30）
２年次			61 [－] (－)	－ [－] (－)	68 [1] (－)	－ [－] (－)	84 [2] (－)	[　　] (　　)	
３年次					61 [－] (－)	－ [－] (－)	68 [1] (－)	[　　] (　　)	
４年次							59 [－] (－)	[　　] (　　)	
計	62 [－] (－)		132 [3] (－)		213 [3] (－)		280 [6] (－)		

（注）・　数字は，平成３０年５月１日現在の数字を記入してください。
・　[　　]内には，留学生の状況について**内数で**記入してください。該当がない年には「－」を記入してください。
・　留学生については，「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により，我が国の大学（大学院を含む。），短期大学，高等専門学校，専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
・　短期交換留学生など，定員内に含めていない学生については記入しないでください。
・　編入学生や転入学生も含めて記入してください。その際，備考欄に人数の内訳を記入してください。
・　学期の区分に従い学生を入学させる場合は，春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は，その他の学期欄は「－」を記入してください。また，その他の学期に入学定員を設けている場合は，備考欄にその人数を記入してください。
・　「計」については，**各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数，留学生数**を記入してください。
・（　）内には，留年者の状況について，内数で記入してください。該当がない年には「－」を記入してください。

（５）－④　調査対象学部等の退学者等の状況

区分 / 対象年度	在学者数(b)	退学者数(a)	内訳 入学した年度	内訳 退学者数	内訳 退学者数のうち留学生数	主な退学理由
平成27年度	62 人	1 人	平成27年度	1 人	0 人	海外留学(1人)
平成28年度	132 人	2 人	平成27年度	0 人	0 人	
			平成28年度	2 人	1 人	他大学入学(2人)
平成29年度	213 人	3 人	平成27年度	2 人	0 人	他大学入学(1人)、学生個人の心身に関する事情(1人)
			平成28年度	1 人	1 人	転学科(1人)
			平成29年度	0 人	0 人	
平成30年度	280 人	0 人	平成27年度	0 人	0 人	
			平成28年度	0 人	0 人	
			平成29年度	0 人	0 人	
			平成30年度	0 人	0 人	
合　計	687 人	6 人				

（注）・ 数字は，平成30年5月1日現在の数字を記入してください。
・ 各年度の在学者数については，該当年度に在学した人数を記入してください。（途中で退学者がいた場合でも、その退学者数を減らす必要はありません。）
・ 内訳については，退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
・ 在学者数や退学者数には編入学生や転入学生も含めて記入してください。
・ 留学生については，「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により，我が国の大学（大学院を含む。），短期大学，高等専門学校，専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記入してください。
・ 短期交換留学生など，定員内に含めていない学生については記入しないでください。
・「主な退学理由」は，下の項目を参考に記入してください。その際，「就学意欲の低下（○人）」というように，その人数も含めて記入してください。
（記入項目例）・就学意欲の低下　・学力不足　・他の教育機関への入学・転学　・海外留学
・就職　・学生個人の心身に関する事情　・家庭の事情　・除籍　・その他

（５）－⑤　調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【平成27年度】

$$\frac{\text{平成27年度の退学者数(a)}}{\text{平成27年度の在学者数(b)}} = \frac{1}{62} = 1.61\%$$

【平成28年度】

$$\frac{\text{平成28年度の退学者数(a)}}{\text{平成28年度の在学者数(b)}} = \frac{2}{132} = 1.51\%$$

【平成29年度】

$$\frac{\text{平成29年度の退学者数(a)}}{\text{平成29年度の在学者数(b)}} = \frac{3}{213} = 1.40\%$$

【平成30年度】

$$\frac{\text{平成30年度の退学者数(a)}}{\text{平成30年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{280} = 0.00\%$$

（注）・ 小数点以下第３位を切り捨て，小数点以下第２位まで表示されます。

2　授業科目の概要

＜理工学部　生命医化学科＞

（1）ー① 授業科目表

【認可時又は届出時】

科目区分		授業科目の名称	配当年次	単位数 必修	単位数 選択	単位数 自由	専任教員等の配置 教授	専任教員等の配置 准教授	専任教員等の配置 講師	専任教員等の配置 助教	専任教員等の配置 助手	兼任・兼担
総合教育科目	キリスト教科目	キリスト教学Ａ	1前	2								1
		キリスト教学Ｂ	1後	2								1
	言語教育科目	英語リーディングＩＡ	1前	1								4
		英語リーディングＩＢ	1後	1								4
		英語ライティングＩＡ	1前	1								10
		英語ライティングＩＢ	1後	1								10
		英語コミュニケーションＩＡ	1前	1								10
		英語コミュニケーションＩＢ	1後	1								10
		英語リーディングⅡＡ	2前	1								10
		英語リーディングⅡＢ	2後	1								10
		英語ライティングⅡＡ	2前	1								10
		英語ライティングⅡＢ	2後	1								10
		英語コミュニケーションⅡＡ	2前	1								10
		英語コミュニケーションⅡＢ	2後	1								10
		ドイツ語読解Ⅰ	1前		1							1
		ドイツ語読解Ⅱ	1後		1							1
		フランス語読解Ⅰ	1前		1							1
		フランス語読解Ⅱ	1後		1							1
		ドイツ語文法Ⅰ	1前		1							1
		ドイツ語文法Ⅱ	1後		1							1
		フランス語文法Ⅰ	1前		1							1
		フランス語文法Ⅱ	1後		1							1
	教養教育科目	哲学	1前		2							1
		論理学	1前		2							1
		西洋史	1後		2							1
		心理学	1前		2							1
		社会学	1後		2							1
		法学	1前		2							1
		日本国憲法	1前		2							1
		経済学	1前		2							1
		自然科学史	1前		2							1
		科学倫理	1後		2							1
		環境学	1後		2							4
		サイバー社会入門	1前		2							1
		芸術と技術	1後		2							1
		地誌学	1前		2							1
専門教育科目	必修科目	生命科学Ⅰ	1前	2								1
		生命科学Ⅱ	1後	2								1
		生命科学入門実験	1後	2			2	1		2		
		生命有機化学	1後	2			1					
		基礎医化学実験Ⅰ	2前	3			3			3		
		基礎医化学実験Ⅱ	2後	3			2	2		3		
		先端医化学実験Ⅰ	3前	8			3	2		4		
		先端医化学実験Ⅱ	3後	8			3	1		2		
		外国書講読	4通	2			6	3				
		輪講	4通	2			6	3				
		卒業実験及び演習	4通	8			6	3		6		

【平成３０年度】

科目区分		授業科目の名称	配当年次	単位数 必修	単位数 選択	単位数 自由	専任教員等の配置 教授	専任教員等の配置 准教授	専任教員等の配置 講師	専任教員等の配置 助教	専任教員等の配置 助手	兼任・兼担
総合教育科目	キリスト教科目	キリスト教学Ａ	1前	2								1
		キリスト教学Ｂ	1後	2								1
	言語教育科目	英語リーディングＩＡ	1前	1								9
		英語リーディングＩＢ	1後	1								9
		英語ライティングＩＡ	1前	1								14
		英語ライティングＩＢ	1後	1								14
		英語コミュニケーションＩＡ	1前	1								9
		英語コミュニケーションＩＢ	1後	1								9
		英語リーディングⅡＡ	2前	1								9
		英語リーディングⅡＢ	2後	1								9
		英語ライティングⅡＡ	2前	1								13
		英語ライティングⅡＢ	2後	1								13
		英語コミュニケーションⅡＡ	2前	1								7
		英語コミュニケーションⅡＢ	2後	1								7
		ドイツ語読解Ⅰ	1前		1							1
		ドイツ語読解Ⅱ	1後		1							1
		フランス語読解Ⅰ	1前		1							1
		フランス語読解Ⅱ	1後		1							1
		ドイツ語文法Ⅰ	1前		1							1
		ドイツ語文法Ⅱ	1後		1							1
		フランス語文法Ⅰ	1前		1							1
		フランス語文法Ⅱ	1後		1							1
	教養教育科目	哲学	1前		2							1
		論理学	1前		2							1
		西洋史	1後		2							1
		心理学	1前		2							1
		社会学	1後		2							1
		法学	1前		2							1
		日本国憲法	1前		2							1
		経済学	1前		2							1
		自然科学史	1前		2							1
		科学倫理	1後		2							1
		環境学	1後		2							4
		サイバー社会入門	1前		2							1
		芸術と技術	1後		2							1
		地誌学	1前		2							1
専門教育科目	必修科目	生命科学Ⅰ	1前	2								1
		生命科学Ⅱ	1後	2								1
		生命科学入門実験	1後	2			2	1		3		
		生命有機化学	1後	2			1					
		基礎医化学実験Ⅰ	2前	3			3			3		1
		基礎医化学実験Ⅱ	2後	3			2	2		4		1
		先端医化学実験Ⅰ	3前	8			3	2		3		
		先端医化学実験Ⅱ	3後	8			4	1		5		
		外国書講読	4通	2			6	3				
		輪講	4通	2			6	3				
		卒業実験及び演習	4通	8			6	3		7		

科目区分		授業科目の名称	配当年次	単位数 必修	単位数 選択	単位数 自由	専任教員等の配置 教授	専任教員等の配置 准教授	専任教員等の配置 講師	専任教員等の配置 助教	専任教員等の配置 助手	兼任・兼担
専門教育科目	基礎科目	生命科学倫理	1後		2		2	1				
		化学概論	1前		2		1					
		微積分学Ⅰ	1前		2							1
		基礎物理学Ａ	1前		2							1
		基礎物理学Ｂ	1後		2							1
		基礎化学Ａ	1前		2							1
		基礎化学Ｂ	1後		2							1
		基礎化学Ｃ	1後		2							1
		基礎化学実験Ⅰ	1前		2							14
		コンピュータ演習Ａ	1前		2							1
		線形代数学Ⅰ	1後		2			1				
		基礎医化学入門	1前		2					6		
		プログラミング演習	1後		2		1	1				2
		系統分類学	2前		2		1					
	発展科目	生命工学	2後		2		1					
		生化学	2前		2		1					
		薬理学	2前		2			1				
		分子遺伝学	2前		2							1
		発生生物学	2後		2		1					
		生命代謝化学	2後		2							1
		微生物学	2前		2							1
		組織学	2前		2							1
		生物統計学	2後		2							1
		細胞学	2前		2			1				
		数理生物学	2前		2							1
		データ科学演習	2前		2		1	1				2
		バイオインフォマティクス	3後		2		1					
	先端科目	再生医学	3前		2		1					
		発癌分子機構学	3後		2		1					
		環境医化学	3前		2		1					
		免疫学	3後		2			1				
		脳神経科学	3前		2		1					
		医学統計学	3前		2			1				
		エピゲノム医化学	3後		2			1				
		病態生理学	3後		2		1					
	生命科学科目	植物分子生物学	3後		2							1
		分子細胞生物学	3後		2							1
		器官形成学	3前		2							1
		植物分子生理学	3前		2							1
		遺伝子工学	3後		2							1
		生態システム学	3前		2							1
		染色体機能学	3後		2							1
	自由選択科目	情報科学概論	1前		2							11
		人間システム工学概論	1後		2							11
		臨海実験	1前		2							9
		自然環境論	1前		2							1
		基礎物理学実験Ⅰ	2後		2							2
		基礎地学Ⅰ	2前		2							2
		基礎地学Ⅱ	2後		2							2
		地学実験Ａ	3前		1							2
		科学技術英語Ａ	3前		2							4
		科学技術英語Ｂ	3後		2							4
		千刈集中英語実習	3前		2							1
		先進エネルギーナノ工学詳論	4前		2							15

科目区分		授業科目の名称	配当年次	単位数 必修	単位数 選択	単位数 自由	専任教員等の配置 教授	専任教員等の配置 准教授	専任教員等の配置 講師	専任教員等の配置 助教	専任教員等の配置 助手	兼任・兼担
専門教育科目	基礎科目	生命科学倫理	1後		2		2	1				
		化学概論	1前		2		1					
		微積分学Ⅰ	1前		2							1
		基礎物理学Ａ	1前		2							1
		基礎物理学Ｂ	1後		2							1
		基礎化学Ａ	1前		2							1
		基礎化学Ｂ	1後		2							1
		基礎化学Ｃ	1後		2							1
		基礎化学実験Ⅰ	1前		2							14
		コンピュータ演習Ａ	1前		2		1	1				1
		線形代数学Ⅰ	1後		2			1				
		基礎医化学入門	1前		2					7		
		プログラミング演習	1後		2		1	1				1
		系統分類学	2前		2		1					
	発展科目	生命工学	2後		2		1					
		生化学	2前		2		1					
		薬理学	2前		2			1				
		分子遺伝学	2前		2							1
		発生生物学	2後		2		1					
		生命代謝化学	2後		2							1
		微生物学	2前		2							1
		組織学	2前		2							1
		生物統計学	2後		2							1
		細胞学	2後		2			1				
		数理生物学	2前		2							1
		データ科学演習	2前		2		1	1				2
		バイオインフォマティクス	3後		2		1					
	先端科目	再生医学	3前		2		1					
		発癌分子機構学	3前		2		1					
		環境医化学	3前		2		1					
		免疫学	3後		2			1				
		脳神経科学	3前		2		1					
		医学統計学	3前		2			1				
		エピゲノム医化学	3後		2			1				
		病態生理学	3後		2		1					
	生命科学科目	植物分子生物学	3後		2							1
		分子細胞生物学	3後		2							1
		器官形成学	3前		2							1
		植物分子生理学	3前		2							1
		遺伝子工学	3前		2							1
		生態システム学	3後		2							1
		染色体機能学	3後		2							1
	自由選択科目	情報科学概論	1前		2							10
		人間システム工学概論	1後		2							11
		臨海実験	1前		2							15
		自然環境論	1後		2							1
		基礎物理学実験Ⅰ	2後		2							2
		基礎地学Ⅰ	2前		2							2
		基礎地学Ⅱ	2後		2							2
		地学実験Ａ	3前		1							2
		科学技術英語Ａ	3前		2							5
		科学技術英語Ｂ	3後		2							6
		千刈集中英語実習	3前		2							11
		先進エネルギーナノ工学詳論	4前		2							12

【平成２７年度】

科目区分		授業科目の名称	配当年次	単位数 必修	単位数 選択	単位数 自由	専任教員等の配置 教授	専任教員等の配置 准教授	専任教員等の配置 講師	専任教員等の配置 助教	専任教員等の配置 助手	兼任・兼担
総合教育科目	キリスト教科目	キリスト教学Ａ	1前	2								1
		キリスト教学Ｂ	1後	2								1
	言語教育科目	英語リーディングＩＡ	1前	1								7
		英語リーディングＩＢ	1後	1								7
		英語ライティングＩＡ	1前	1								8
		英語ライティングＩＢ	1後	1								8
		英語コミュニケーションＩＡ	1前	1								10
		英語コミュニケーションＩＢ	1後	1								10
		英語リーディングⅡＡ	2前	1								10
		英語リーディングⅡＢ	2後	1								10
		英語ライティングⅡＡ	2前	1								10
		英語ライティングⅡＢ	2後	1								10
		英語コミュニケーションⅡＡ	2前	1								10
		英語コミュニケーションⅡＢ	2後	1								10
		ドイツ語読解Ⅰ	1前		1							1
		ドイツ語読解Ⅱ	1後		1							1
		フランス語読解Ⅰ	1前		1							1
		フランス語読解Ⅱ	1後		1							1
		ドイツ語文法Ⅰ	1前		1							1
		ドイツ語文法Ⅱ	1後		1							1
		フランス語文法Ⅰ	1前		1							1
		フランス語文法Ⅱ	1後		1							1
	教養教育科目	哲学	1前		2							1
		論理学	1前		2							1
		西洋史	1後		2							1
		心理学	1前		2							1
		社会学	1後		2							1
		法学	1前		2							1
		日本国憲法	1前		2							1
		経済学	1前		2							1
		自然科学史	1前		2							1
		科学倫理	1後		2							1
		環境学	1後		2		1					4
		サイバー社会入門	1前		2							1
		芸術と技術	1後		2							2
		地誌学	1前		2							1
専門教育科目	必修科目	生命科学Ⅰ	1前	2								1
		生命科学Ⅱ	1後	2								1
		生命科学入門実験	1後	2			2	1		3		
		生命有機化学	1後	2			1					
		基礎医化学実験Ⅰ	2前	3			3			3		
		基礎医化学実験Ⅱ	2後	3			2	2		4		
		先端医化学実験Ⅰ	3前	8			3	2		5		
		先端医化学実験Ⅱ	3後	8			3	1		2		
		外国書講読	4通	2			6	3				
		輪講	4通	2			6	3				
		卒業実験及び演習	4通	8			6	3		7		

【平成２８年度】

科目区分		授業科目の名称	配当年次	単位数 必修	単位数 選択	単位数 自由	専任教員等の配置 教授	専任教員等の配置 准教授	専任教員等の配置 講師	専任教員等の配置 助教	専任教員等の配置 助手	兼任・兼担
総合教育科目	キリスト教科目	キリスト教学Ａ	1前	2								1
		キリスト教学Ｂ	1後	2								1
	言語教育科目	英語リーディングＩＡ	1前	1								10
		英語リーディングＩＢ	1後	1								10
		英語ライティングＩＡ	1前	1								11
		英語ライティングＩＢ	1後	1								11
		英語コミュニケーションＩＡ	1前	1								9
		英語コミュニケーションＩＢ	1後	1								9
		英語リーディングⅡＡ	2前	1								9
		英語リーディングⅡＢ	2後	1								9
		英語ライティングⅡＡ	2前	1								13
		英語ライティングⅡＢ	2後	1								13
		英語コミュニケーションⅡＡ	2前	1								8
		英語コミュニケーションⅡＢ	2後	1								8
		ドイツ語読解Ⅰ	1前		1							1
		ドイツ語読解Ⅱ	1後		1							1
		フランス語読解Ⅰ	1前		1							1
		フランス語読解Ⅱ	1後		1							1
		ドイツ語文法Ⅰ	1前		1							1
		ドイツ語文法Ⅱ	1後		1							1
		フランス語文法Ⅰ	1前		1							1
		フランス語文法Ⅱ	1後		1							1
	教養教育科目	哲学	1前		2							1
		論理学	1前		2							1
		西洋史	1後		2							1
		心理学	1前		2							1
		社会学	1後		2							1
		法学	1前		2							1
		日本国憲法	1前		2							1
		経済学	1前		2							1
		自然科学史	1前		2							1
		科学倫理	1後		2							1
		環境学	1後		2		1					4
		サイバー社会入門	1前		2							1
		芸術と技術	1後		2							1
		地誌学	1前		2							1
専門教育科目	必修科目	生命科学Ⅰ	1前	2								1
		生命科学Ⅱ	1後	2								1
		生命科学入門実験	1後	2			2	1		3		
		生命有機化学	1後	2			1					
		基礎医化学実験Ⅰ	2前	3			3			3		
		基礎医化学実験Ⅱ	2後	3			2	2		4		
		先端医化学実験Ⅰ	3前	8			3	2		5		
		先端医化学実験Ⅱ	3後	8			3	1		2		
		外国書講読	4通	2			6	3				
		輪講	4通	2			6	3				
		卒業実験及び演習	4通	8			6	3		7		

科目区分		授業科目の名称	配当年次	単位数 必修	単位数 選択	単位数 自由	専任教員等の配置 教授	専任教員等の配置 准教授	専任教員等の配置 講師	専任教員等の配置 助教	専任教員等の配置 助手	兼任・兼担
専門教育科目	基礎科目	生命科学倫理	1後		2		2	1				
		化学概論	1前		2		1					
		微積分学Ⅰ	1前		2							1
		基礎物理学Ａ	1前		2							1
		基礎物理学Ｂ	1後		2							1
		基礎化学Ａ	1前		2							1
		基礎化学Ｂ	1後		2							1
		基礎化学Ｃ	1後		2							1
		基礎化学実験Ⅰ	1前		2							14
		コンピュータ演習Ａ	1前		2							1
		線形代数学Ⅰ	1後		2			1				
		基礎医化学入門	1前		2					7		
		プログラミング演習	1後		2		1	1				1
		系統分類学	2前		2		1					
	発展科目	生命工学	2後		2		1					
		生化学	2前		2		1					
		薬理学	2前		2			1				
		分子遺伝学	2前		2							1
		発生生物学	2後		2		1					
		生命代謝化学	2後		2							1
		微生物学	2前		2							1
		組織学	2前		2							1
		生物統計学	2後		2							1
		細胞学	2前		2			1				
		数理生物学	2前		2							1
		データ科学演習	2前		2		1	1				2
		バイオインフォマティクス	3後		2		1					
	先端科目	再生医学	3前		2		1					
		発癌分子機構学	3後		2		1					
		環境医化学	3前		2		1					
		免疫学	3後		2			1				
		脳神経科学	3前		2		1					
		医学統計学	3前		2			1				
		エピゲノム医化学	3後		2			1				
		病態生理学	3後		2		1					
	生命科学科目	植物分子生物学	3後		2							1
		分子細胞生物学	3後		2							1
		器官形成学	3前		2							1
		植物分子生理学	3前		2							1
		遺伝子工学	3後		2							1
		生態システム学	3前		2							1
		染色体機能学	3後		2							1
	自由選択科目	情報科学概論	1前		2							11
		人間システム工学概論	1後		2							11
		臨海実験	1前		2							10
		自然環境論	1前		2							1
		基礎物理学実験Ⅰ	2後		2							2
		基礎地学Ⅰ	2前		2							2
		基礎地学Ⅱ	2後		2							2
		地学実験Ａ	3前		1							2
		科学技術英語Ａ	3前		2							4
		科学技術英語Ｂ	3後		2							4
		千刈集中英語実習	3前		2							1
		先進エネルギーナノ工学詳論	4前		2							15

科目区分		授業科目の名称	配当年次	単位数 必修	単位数 選択	単位数 自由	専任教員等の配置 教授	専任教員等の配置 准教授	専任教員等の配置 講師	専任教員等の配置 助教	専任教員等の配置 助手	兼任・兼担
専門教育科目	基礎科目	生命科学倫理	1後		2		2	1				
		化学概論	1前		2		1					
		微積分学Ⅰ	1前		2							1
		基礎物理学Ａ	1前		2							1
		基礎物理学Ｂ	1後		2							1
		基礎化学Ａ	1前		2							1
		基礎化学Ｂ	1後		2							1
		基礎化学Ｃ	1後		2							1
		基礎化学実験Ⅰ	1前		2							14
		コンピュータ演習Ａ	1前		2							1
		線形代数学Ⅰ	1後		2			1				
		基礎医化学入門	1前		2					7		
		プログラミング演習	1後		2		1	1				1
		系統分類学	2前		2		1					
	発展科目	生命工学	2後		2		1					
		生化学	2後		2		1					
		薬理学	2前		2			1				
		分子遺伝学	2前		2							1
		発生生物学	2後		2		1					
		生命代謝化学	2後		2							1
		微生物学	2前		2							1
		組織学	2前		2							1
		生物統計学	2後		2							1
		細胞学	2後		2			1				
		数理生物学	2前		2							1
		データ科学演習	2前		2		1	1				1
		バイオインフォマティクス	3後		2		1					
	先端科目	再生医学	3前		2		1					
		発癌分子機構学	3後		2		1					
		環境医化学	3前		2		1					
		免疫学	3後		2			1				
		脳神経科学	3前		2		1					
		医学統計学	3前		2			1				
		エピゲノム医化学	3後		2			1				
		病態生理学	3後		2		1					
	生命科学科目	植物分子生物学	3後		2							1
		分子細胞生物学	3後		2							1
		器官形成学	3前		2							1
		植物分子生理学	3前		2							1
		遺伝子工学	3後		2							1
		生態システム学	3前		2							1
		染色体機能学	3後		2							1
	自由選択科目	情報科学概論	1前		2							10
		人間システム工学概論	1後		2							11
		臨海実験	1前		2							14
		自然環境論	1前		2							1
		基礎物理学実験Ⅰ	2後		2							2
		基礎地学Ⅰ	2前		2							2
		基礎地学Ⅱ	2後		2							2
		地学実験Ａ	3前		1							2
		科学技術英語Ａ	3前		2							4
		科学技術英語Ｂ	3後		2							4
		千刈集中英語実習	3前		2							1
		先進エネルギーナノ工学詳論	4前		2							15

【平成２９年度】

科目区分		授業科目の名称	配当年次	単位数 必修	単位数 選択	単位数 自由	専任教員等の配置 教授	専任教員等の配置 准教授	専任教員等の配置 講師	専任教員等の配置 助教	専任教員等の配置 助手	兼任・兼担
総合教育科目	キリスト教科目	キリスト教学Ａ	1前	2								1
		キリスト教学Ｂ	1後	2								1
	言語教育科目	英語リーディングＩＡ	1前	1								9
		英語リーディングＩＢ	1後	1								9
		英語ライティングＩＡ	1前	1								14
		英語ライティングＩＢ	1後	1								14
		英語コミュニケーションＩＡ	1前	1								9
		英語コミュニケーションＩＢ	1後	1								9
		英語リーディングⅡＡ	2前	1								9
		英語リーディングⅡＢ	2後	1								9
		英語ライティングⅡＡ	2前	1								13
		英語ライティングⅡＢ	2後	1								13
		英語コミュニケーションⅡＡ	2前	1								7
		英語コミュニケーションⅡＢ	2後	1								7
		ドイツ語読解Ⅰ	1前		1							1
		ドイツ語読解Ⅱ	1後		1							1
		フランス語読解Ⅰ	1前		1							1
		フランス語読解Ⅱ	1後		1							1
		ドイツ語文法Ⅰ	1前		1							1
		ドイツ語文法Ⅱ	1後		1							1
		フランス語文法Ⅰ	1前		1							1
		フランス語文法Ⅱ	1後		1							1
	教養教育科目	哲学	1前		2							1
		論理学	1前		2							1
		西洋史	1後		2							1
		心理学	1前		2							1
		社会学	1後		2							1
		法学	1前		2							1
		日本国憲法	1前		2							1
		経済学	1前		2							1
		自然科学史	1前		2							1
		科学倫理	1後		2							1
		環境学	1後		2		1					4
		サイバー社会入門	1前		2							1
		芸術と技術	1後		2							1
		地誌学	1前		2							1
専門教育科目	必修科目	生命科学Ⅰ	1前	2								1
		生命科学Ⅱ	1後	2								1
		生命科学入門実験	1後	2			2	1		3		
		生命有機化学	1後	2			1					
		基礎医化学実験Ⅰ	2前	3			3			3		1
		基礎医化学実験Ⅱ	2後	3			2	2		4		1
		先端医化学実験Ⅰ	3前	8			3	2		3		
		先端医化学実験Ⅱ	3後	8			4	1		5		
		外国書講読	4通	2			6	3				
		輪講	4通	2			6	3				
		卒業実験及び演習	4通	8			6	3		7		

科目区分		授業科目の名称	配当年次	単位数 必修	単位数 選択	単位数 自由	専任教員等の配置 教授	専任教員等の配置 准教授	専任教員等の配置 講師	専任教員等の配置 助教	専任教員等の配置 助手	兼任・兼担
専門教育科目	基礎科目	生命科学倫理	1後		2		2	1				
		化学概論	1前		2		1					
		微積分学Ⅰ	1前		2							1
		基礎物理学Ａ	1前		2							1
		基礎物理学Ｂ	1後		2							1
		基礎化学Ａ	1前		2							1
		基礎化学Ｂ	1後		2							1
		基礎化学Ｃ	1後		2							1
		基礎化学実験Ⅰ	1前		2							14
		コンピュータ演習Ａ	1前		2		1	1				1
		線形代数学Ⅰ	1後		2			1				
		基礎医化学入門	1前		2					7		
		プログラミング演習	1後		2		1	1				1
		系統分類学	2前		2		1					
	発展科目	生命工学	2後		2		1					
		生化学	2前		2		1					
		薬理学	2前		2			1				
		分子遺伝学	2前		2							1
		発生生物学	2後		2		1					
		生命代謝化学	2後		2							1
		微生物学	2前		2							1
		組織学	2前		2							1
		生物統計学	2後		2							1
		細胞学	2後		2			1				
		数理生物学	2前		2							1
		データ科学演習	2前		2		1	1				1
		バイオインフォマティクス	3後		2		1					
	先端科目	再生医学	3前		2		1					
		発癌分子機構学	3後		2		1					
		環境医化学	3前		2		1					
		免疫学	3後		2			1				
		脳神経科学	3前		2		1					
		医学統計学	3前		2			1				
		エピゲノム医化学	3後		2			1				
		病態生理学	3後		2		1					
	生命科学科目	植物分子生物学	3後		2							1
		分子細胞生物学	3後		2							1
		器官形成学	3前		2							1
		植物分子生理学	3前		2							1
		遺伝子工学	3後		2							1
		生態システム学	3前		2							1
		染色体機能学	3後		2							1
	自由選択科目	情報科学概論	1前		2							11
		人間システム工学概論	1後		2							11
		臨海実験	1前		2							15
		自然環境論	1前		2							1
		基礎物理学実験Ⅰ	2後		2							2
		基礎地学Ⅰ	2前		2							2
		基礎地学Ⅱ	2後		2							2
		地学実験Ａ	3前		1							2
		科学技術英語Ａ	3前		2							6
		科学技術英語Ｂ	3後		2							6
		千刈集中英語実習	3前		2							12
		先進エネルギーナノ工学詳論	4前		2							15

（注）・　認可申請書又は設置届出書の様式第２号（その２の１）に準じて作成してください。
・　設置認可時又は届出時の授業科目全て（兼任，兼担教員が担当する科目を含む。）を黒字で記載してください。
その上で，認可時又は届出時から変更となっている箇所は太字の赤字としてください。
・　履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても記入してください。
・　１ページ目には認可時又は届出時と平成３０年度の表を記入してください。
・　不要な年度（平成２８年度開設であれば平成２７年度、平成２９年度開設であれば平成２７年度及び平成２８年度、平成３０年度開設であれば平成２７年度から平成２９年度）の表は適宜削除し，詰めてください。
（２つの表が１ページに表示されるようにしてください。）

（１）ー②授業科目表に関する変更内容

【平成２７年度】

・クラス数及び担当教員の編成を見直したことにより、「英語リーディングＩＡ」、「英語リーディングＩＢ」の兼任・兼担を「４」から「７」に変更。
・クラス数及び担当教員の編成を見直したことにより、「英語ライティングＩＡ」、「英語ライティングＩＢ」の兼任・兼担を「１０」から「８」に変更。
・授業形態を変更したことにより、「芸術と技術」の兼任・兼担を「１」から「２」に変更。
・助教を採用したため、「生命科学入門実験」の専任教員等の配置を「助教２」から「助教３」に変更。
・助教を採用したため、「基礎医化学実験Ⅱ」の専任教員等の配置を「助教３」から「助教４」に変更。
・助教を採用したため、「先端医化学実験Ⅰ」の専任教員等の配置を「助教４」から「助教５」に変更。
・助教を採用したため、「卒業実験及び演習」、「基礎医化学入門」の専任教員等の配置を「助教６」から「助教７」に変更。
・担当教員の編成を見直したことにより、「プログラミング演習」の兼任・兼担を「２」から「１」に変更。
・担当教員の編成を見直したことにより、「臨海実験」の兼任・兼担を「９」から「１０」に変更。

【平成２８年度】

・クラス数及び担当教員の編成を見直したことにより、「英語リーディングＩＡ」、「英語リーディングＩＢ」の兼任・兼担を「７」から「１０」に変更。
・クラス数及び担当教員の編成を見直したことにより、「英語ライティングＩＡ」、「英語ライティングＩＢ」の兼任・兼担を「８」から「１１」に変更。
・クラス数及び担当教員の編成を見直したことにより、「英語コミュニケーションＩＡ」、「英語コミュニケーションＩＢ」、「英語リーディングⅡＡ」、「英語リーディングⅡＢ」の兼任・兼担を「１０」から「９」に変更。
・クラス数及び担当教員の編成を見直したことにより、「英語ライティングⅡＡ」、「英語ライティングⅡＢ」の兼任・兼担を「１０」から「１３」に変更。
・クラス数及び担当教員の編成を見直したことにより、「英語コミュニケーションⅡＡ」、「英語コミュニケーションⅡＢ」の兼任・兼担を　「１０」から「８」に変更。
・授業形態を変更したことにより、「芸術と技術」の兼任・兼担を「２」から「１」に変更。
・開講学期の見直しにより、「生化学」の配当年次を、「前期」から「後期」に変更。
・関准教授の学院留学のため、「細胞学」の配当年次を、「前期」から「後期」に変更。
・担当教員の編成を見直したことにより、「データ科学演習」の兼任・兼担を「２」から「１」に変更。
・高橋和子兼担教授の学院留学のため、「情報科学概論」の兼任・兼担を「１１」から「１０」に変更。
・担当教員の編成を見直したことにより、「臨海実験」の兼任・兼担を「１０」から「１４」に変更。

【平成２９年度】

・クラス数及び担当教員の編成を見直したことにより、「英語リーディングＩＡ」、「英語リーディングＩＢ」の兼任・兼担を「１０」から「９」に変更。
・クラス数及び担当教員の編成を見直したことにより、「英語ライティングＩＡ」、「英語ライティングＩＢ」の兼任・兼担を「１１」から「１４」に変更。
・クラス数及び担当教員の編成を見直したことにより、「英語コミュニケーションⅡＡ」、「英語コミュニケーションⅡＢ」の兼任・兼担を「８」から「７」に変更。
・担当教員の編成を見直したことにより、「基礎医化学実験Ⅰ」、「基礎医化学実験Ⅱ」の兼任・兼担を「０」から「１」に変更。
・担当教員の編成を見直したことにより、「先端医化学実験Ⅰ」の専任教員等の配置を「助教５」から「助教３」に変更。
・担当教員の編成を見直したことにより、「先端医化学実験Ⅱ」の専任教員等の配置を「教授３」から「教授４」、「助教２」から「助教５」に変更。
・担当教員の編成を見直したことにより、「コンピュータ演習Ａ」の専任教員の配置を「教授０」から「教授１」、「准教授０」から「准教授１」に変更。
・開講学期の見直しにより、「生化学」の配当年次を、「後期」から「前期」に変更。
・高橋和子兼担教授の学院留学終了のため、「情報科学概論」の兼任・兼担を「１０」から「１１」に変更。
・担当教員の編成を見直したことにより、「臨海実験」の兼任・兼担を「１４」から「１５」に変更。
・担当教員の編成を見直したことにより、「科学技術英語Ａ」、「科学技術英語Ｂ」の兼任・兼担を「４」から「６」に変更。
・担当教員の編成を見直したことにより、「千刈集中英語実習」の兼任・兼担を「１」から「１２」に変更。

【平成３０年度】

・担当教員の編成を見直したことにより、「データ科学演習」の兼任・兼担を、「１」から「２」に変更。
・開講学期の見直しにより、「発癌分子機構学」、「遺伝子工学」の配当年次を、「前期」から「後期」に変更。
・開講学期の見直しにより、「生態システム学」、「自然環境論」の配当年次を、「後期」から「前期」に変更。
・担当教員の編成を見直したことにより、「情報科学概論」の兼任・兼担を「１１」から「１０」に変更。
・担当教員の編成を見直したことにより、「科学技術英語Ａ」の兼任・兼担を「６」から「５」に変更。
・担当教員の編成を見直したことにより、「千刈集中英語実習」の兼任・兼担を「１２」から「１１」に変更。
・担当教員の編成を見直したことにより、「先進エネルギーナノ工学詳論」の兼任・兼担を「１５」から「１２」に変更。

（注）・　変更内容（配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など）を箇条書きで記入してください。
変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
・　変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。
・　不要な年度（平成２８年度開設であれば平成２７年度、平成２９年度開設であれば平成２７年度及び平成２８年度、平成３０年度開設であれば平成２７年度から平成２９年度）の表は適宜削除してください。

（２）授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計（Ａ）	必修	選択	自由	計	
25 科目	76 科目	0 科目	101 科目	25 科目 [0]	76 科目 [0]	0 科目 [0]	101 科目 [0]	

（注）・　未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに，［　］内に，設置時の計画からの増減を記入してください。（記入例：１科目減の場合：△１）

（３） 未開講科目

番号	授業科目名	単 位 数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由，代替措置の有無
—	該当なし。					

（注）・ 配当年次に達しているにも関わらず，何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお，理由については可能な限り具体的に記入してください。
・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については，記入しないでください。
・ 教職大学院の場合は，「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

（４） 廃止科目

番号	授業科目名	単 位 数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由，代替措置の有無
—	該当なし。					

（注）・ 設置時の計画にあり，何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお，理由については可能な限り具体的に記入してください。
・ 教職大学院の場合は，「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

（５） 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし。

（注）・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

（６） 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目（３）と廃止科目（４）の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計（A）}} = \frac{0}{101} = \boxed{0.00}\ \%$$

（注）・ 小数点以下第３位を切り捨て，小数点以下第２位まで表示されます。
・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「（３）未開講科目」と「（４）廃止科目」の合計数となるように留意してください。

3　施設・設備の整備状況，経費

区分		内容				備考
(1)	区分	専用	共用	共用する他の学校等の専用	計	大学全体 聖和短期大学と共用
校地等	校舎敷地	267,458 ㎡			290,990 ㎡	
		~~247,004 ㎡~~			~~270,461 ㎡~~	神戸三田キャンパス理工学部新学科用校舎敷地およびその他敷地の面積変更（27）
		~~248,517 ㎡~~	23,532 ㎡		~~271,974 ㎡~~	西宮上ケ原キャンパス高等部体育館新設に伴う校舎敷地の面積変更（27）
		~~248,919 ㎡~~	~~23,457 ㎡~~	－ ㎡	~~272,376 ㎡~~	西宮上ケ原キャンパス西宮市への土地一部無償譲渡に伴う運動場用地の面積変更（27）
	運動場用地	277,465 ㎡			287,277 ㎡	新女子寮新設に伴う運動場用地およびその他敷地の面積変更（27）
		~~279,250 ㎡~~	9,812 ㎡		~~289,062 ㎡~~	新規購入した聖和寮隣地（寮建設予定）をその他敷地に計上（27）
		~~277,663 ㎡~~	~~7,948 ㎡~~		~~285,611 ㎡~~	西宮聖和キャンパス西宮市への土地一部無償譲渡に伴うその他敷地の面積変更（27）
		~~278,168 ㎡~~	~~8,365 ㎡~~	－ ㎡	~~286,533 ㎡~~	西宮上ケ原キャンパス高等部体育館新設に伴う校舎敷地の面積変更（28）
	小計	544,923 ㎡	33,344 ㎡		578,267 ㎡	神戸三田キャンパス航空部格納庫新設伴う校舎敷地および運動場用地の面積変更（28）
		~~526,254 ㎡~~	~~33,269 ㎡~~		~~559,523 ㎡~~	西宮上ケ原キャンパスの土地一部を西宮市へ無償譲渡したことに伴う校舎敷地の面積変更（28）
		~~526,180 ㎡~~	~~31,405 ㎡~~		~~557,585 ㎡~~	新規購入した仁川五ケ山町土地（グラウンド）を運動場用地に計上（28）
		~~527,087 ㎡~~	~~31,822 ㎡~~	－ ㎡	~~558,909 ㎡~~	仁川五ケ山町の土地一部を西宮市へ無償譲渡したことに伴う運動場用地の面積変更（28）
	その他	44,657 ㎡			48,755 ㎡	国際学生レジデンスⅠ売却に伴うその他敷地の面積変更（28）
		~~44,431 ㎡~~	4,098 ㎡		~~48,529 ㎡~~	新清風寮敷地の区分を修正（28）
		~~40,762 ㎡~~	~~5,686 ㎡~~		~~46,448 ㎡~~	新清風寮隣接地の区分をその他敷地から運動場用地へ変更（28）
		~~41,816 ㎡~~	~~7,550 ㎡~~		~~49,366 ㎡~~	西宮上ケ原キャンパス地積校正に伴う面積変更（29）
		~~44,214 ㎡~~	~~5,698 ㎡~~	－ ㎡	~~49,912 ㎡~~	旧有光寮跡地を駐車場に用途変更（29）
	合計	589,580 ㎡			627,022 ㎡	仁川五ケ山町土地を運動場用地からその他敷地に用途変更（29）
		~~589,354 ㎡~~			~~626,796 ㎡~~	新清風寮敷地・駐車場を共用面積から専用面積に変更（29）
		~~567,016 ㎡~~	37,442 ㎡		~~605,971 ㎡~~	西宮聖和キャンパス10号館の建替えに伴いその他敷地から校舎敷地に一部用途変更（29）
		~~567,996 ㎡~~	~~38,955 ㎡~~		~~606,951 ㎡~~	新規購入した仁川五ケ山町土地をその他敷地に計上（30）
		~~571,301 ㎡~~	~~37,520 ㎡~~	－ ㎡	~~608,821 ㎡~~	
(2) 校舎		専用	共用	共用する他の学校等の専用	計	大学全体 聖和短期大学と共用
		242,790 ㎡			262,321 ㎡	
		~~241,504 ㎡~~			~~262,290 ㎡~~	西宮上ケ原キャンパスＨ号館・社会学部棟完成後の登記面積誤差による変更（27）
		~~241,453 ㎡~~	19,166 ㎡		~~263,057 ㎡~~	西宮上ケ原キャンパス中央講堂完成後の登記面積誤差による変更（27）
		~~242,265 ㎡~~	~~16,705 ㎡~~	365 ㎡	~~263,869 ㎡~~	神戸三田キャンパス理工学部新学科用校舎（Ⅶ号館）完成後の登記面積誤差および倉庫棟新設に伴う面積変更（27）
		~~242,674 ㎡~~	~~17,523 ㎡~~	~~4,081 ㎡~~	~~264,278 ㎡~~	総合体育館改修による大学管理部分の面積変更（28）
		(242,265 ㎡)			(263,869 ㎡)	西宮上ケ原キャンパス中央講堂の面積誤差による変更（28）
		~~(242,674 ㎡)~~	(17,523 ㎡)	(4,081 ㎡)	~~(264,278 ㎡)~~	西宮聖和キャンパス10号館取壊しによる面積変更（28） 西宮聖和キャンパス2号館建築予定による面積変更（28） 神戸三田キャンパスⅦ号館の面積誤差による変更（28） 神戸三田キャンパス航空部格納庫建築による面積変更（28） 西宮聖和キャンパス2号館完成後の登記面積誤差による変更（29） 西宮聖和キャンパス2号館を専用面積から共用面積に変更（29） 総合体育館改修に伴う一部用途変更による面積変更（29） 西宮上ケ原キャンパスＧ号館改修に伴う一部用途変更による面積変更（29） 西宮聖和キャンパス3号館改修に伴う一部用途変更による面積変更（29） 西宮聖和キャンパス8号館改修に伴う一部用途変更による面積変更（29） 西宮聖和キャンパスの共用する他の学校等の専用面積から専用・共用面積に変更（30） 西宮聖和キャンパス聖和大学院棟のぽぷら保育園設置による面積変更（30）

	講　義　室	演　習　室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設	大学全体
(3) 教　室　等	257 室 ~~252 室~~ ~~251 室~~ ~~247 室~~	166 室 ~~169 室~~ ~~158 室~~ ~~157 室~~	281 室 ~~269 室~~ ~~267 室~~	46 室 45 ~~44~~ ~~46~~ （補助職員 ~~48~~人）	13 室 ~~14 室~~ ~~13 室~~ 10 ~~11~~ （補助職員 ~~10~~ 人）	西宮上ケ原キャンパス文学部本館および神戸三田キャンパスⅠ号館・Ⅱ号館改修に伴う変更（27） 退職のため情報処理学習施設補助職員減員(27) 新規採用による語学学習施設職員増員(27) 西宮聖和キャンパス２号館建設に伴う変更（28） 退職のため情報処理学習施設補助職員減員(28) 西宮上ケ原キャンパス第4別館、大阪梅田キャンパス10階、中央講堂、総合体育館の改修に伴う講義室数及び演習室数の変更（29） 退職のため語学学習施設補助職員減員(29) 新規採用による情報処理学習施設補助職員増員（30）

	新設学部等の名称	室　　数	
(4) 専任教員研究室	理工学部生命医化学科	14 室 ~~9 室~~	過年度計上漏れの室数を追加したため増加（29）

	新設学部等の名称	図　書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標　本 点	
(5) 図書・設備	理工学部 生命医化学科	373,853 〔248,874〕 ~~〔236,846〕~~ 372,939 〔237,079〕	11,020 ~~10,206~~ 〔4,874〕 10,295 〔4,834〕	30,485 ~~30,845~~ ~~31,924~~ 〔29,233〕 ~~〔25,657〕~~ ~~〔26,589〕~~ 28,893 〔27,707〕	10,227 ~~10,518~~ ~~8,094~~ (9,982)	1,916 ~~2,108~~ ~~1,762~~ ~~1,623~~ ~~315~~ (1,916)	0 (0)	平成27年4月 視聴覚資料は、教育研究充実のため増加(27) 機械・器具は算出方法変更のため増加（27） 平成28年4月 電子ジャーナルは、購読パッケージの見直しを行ったため減少（28） 視聴覚資料は、新規取得及び除却をし、除却が新規取得を上回ったため減少（28） 機械・器具は新規取得のため増加（28） 平成29年4月 図書（外国書）は、教育研究充実のため増加（29） 学術雑誌は、教育研究充実のため増加（29） 電子ジャーナルは、CiNii定額制終了に伴いCiNiiから提供されていたタイトル移管先が未定のため減少（29） 電子ジャーナル（外国書）は、教育研究充実のため増加（29） 機械・器具は新規取得のため増加（29） 平成30年4月 機械・器具は新規取得及び除却をし、除却が新規取得を上回ったため減少（30）
	計	373,853 〔248,874〕 ~~〔236,846〕~~ 372,939 〔237,079〕	11,020 ~~10,206~~ 〔4,874〕 10,295 〔4,834〕	30,485 ~~30,845~~ ~~31,924~~ 〔29,233〕 ~~〔25,657〕~~ ~~〔26,589〕~~ 28,893 〔27,707〕	~~10,227~~ ~~10,518~~ ~~8,094~~ (9,982)	~~1,916~~ ~~2,108~~ ~~1,762~~ ~~1,623~~ ~~315~~ (1,916)	0 (0)	

	面　　積	閲覧座席数	収納可能冊数	大学全体
(6) 図　書　館	26,044㎡ ~~23,121㎡~~	2,634席 ~~2,318席~~	2,750,000冊 ~~2,500,000冊~~	平成29年4月 面積・閲覧座席数・収納可能冊数は、短期大学図書館の大学図書館分室化に伴い増加（29）

	面　　積	体育館以外のスポーツ施設の概要		大学全体
(7) 体　育　館	16,191㎡ ~~16,216㎡~~ ~~15,753㎡~~	－	－	総合体育館改修に伴う高等部管理部分の変更、大学スポーツセンター取壊しおよびG号館地下の仮設大学トレーニングセンター撤収に伴う変更（28） 総合体育館改修に伴う一部用途変更による面積変更（29） 西宮聖和キャンパス8号館改修に伴う一部用途変更による面積変更（29）

(8) 経費の見積り及び維持方法の概要

経費の見積り	区　　分	開設年度	完成年度	区　　分	開設前年度	開設年度	完成年度
	教員１人当り研究費等	3,817千円	3,730千円	図書購入費	3,810千円	4,190千円	4,000千円
	共　同　研　究　費　等	15,811千円	15,332千円	設備購入費	474,405千円	36,052千円	36,052千円

学生１人当り納付金	第１年次	第２年次	第３年次	第４年次	第５年次	第６年次
	1,657千円 ~~1,619千円~~	1,593千円 ~~1,575千円~~ ~~1,534千円~~ ~~1,491千円~~	1,575千円 ~~1,534千円~~ ~~1,491千円~~	1,534千円 ~~1,491千円~~	－千円	－千円
学生納付金以外の維持方法の概要	手数料収入、寄付金収入、補助金収入、資産運用収入、資産売却収入を充当する。					

図書購入費には、電子ジャーナル・データベースの整備費（運用コスト含む）を含む。

学費改定のため（28）（29）（30）

（注）・　設置時の計画を，申請書の様式第２号（その１の１）に準じて作成してください。（複数のキャンパスに分かれている場合，複数の様式に分ける必要はありません。なお，「（１）校地等」及び「（２）校舎」は大学全体の数字を，その他の項目はＡＣ対象学部等の数値を記入してください。）
・　運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は，その旨（所要時間・距離等）を「備考」に記入してください。
・　「(5)図書・設備」については，上段に完成年度の予定数値を，下段には平成３０年５月１日現在の数値を記入してください。
・　昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては，変更部分を赤字で見え消し修正するとともに，その理由及び報告年度「（30）」を「備考」に赤字で記入してください。
　なお，昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については，見え消しのまま黒字にしてください。
・　校舎等建物の計画の変更（校舎又は体育館の総面積の減少，建築計画の遅延）がある場合には，「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。
・　国立大学については「（８）経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

４　ＡＣ対象学部等を含む大学等の状況

大学の名称	関西学院大学								備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	開設年度	所在地	
	年	人	年次 人	人		倍		兵庫県西宮市 上ケ原一番町	
神学部	4	30	―	120	学士（神学）	1.04	昭和27年	1番155号	
文学部						1.04		同上	
文化歴史学科	4	275	―	1,100	学士（文学）	1.02	平成15年		
総合心理科学科	4	175	―	700	学士（文学）	1.02	平成15年		
文学言語学科	4	320	―	1,280	学士（文学）	1.06	平成15年		
社会学部								同上	
社会学科	4	650	―	2,600	学士（社会学）	1.04	昭和35年		
法学部						1.03		同上	
法律学科	4	520	―	2,080	学士（法学）	1.01	昭和23年		
政治学科	4	160	―	640	学士（法学）	1.12	昭和23年		
経済学部	4	680	―	2,720	学士（経済学）	1.04	昭和23年	同上	
商学部	4	650	―	2,600	学士（商学）	1.03	昭和26年	同上	
理工学部						0.97			
数理科学科	4	75	―	300	学士（理学）	1.01	平成21年	兵庫県三田市	
物理学科	4	75	―	300	学士（理学）	1.03	昭和36年	学園2丁目1番地	
先進エネルギーナノ工学科	4	80	―	240	学士（工学）	0.96	平成27年		
化学科	4	75	―	300	学士（理学）	0.94	昭和36年		
環境・応用化学科	4	80	―	240	学士（工学）	0.98	平成27年		
生命科学科	4	80	―	320	学士（生命科学）	1.00	平成14年		
生命科学専攻	4	―	―	―	学士（生命科学）	-			H27年より学生募集停止
生命医化学専攻	4	―	―	―	学士（生命科学）	-			H27年より学生募集停止
生命医化学科	4	80	―	240	学士（生命医化学）	0.94	平成27年		
情報科学科	4	75	―	300	学士（情報科学）	1.07	平成14年		
人間システム工学科	4	80	―	320	学士（工学）	1.10	平成21年		
総合政策学部						1.03		同上	H21年より学部一括募集を開始
総合政策学科	4	245	3年次 20	1,010	学士（総合政策）	1.03	平成7年		H28年度入学定員増（5人）、編入学定員減（△15人）
メディア情報学科	4	120	―	480	学士（総合政策）	1.03	平成14年		
都市政策学科	4	100	―	400	学士（総合政策）	1.03	平成21年		
国際政策学科	4	125	3年次 10	510	学士（総合政策）	1.03	平成21年		H28年度入学定員増（5人）、編入学定員減（△5人）
人間福祉学部						1.02			
社会福祉学科	4	130	―	520	学士（社会福祉学）	1.01	平成20年	兵庫県西宮市	
社会起業学科	4	70	―	280	学士（社会起業）	1.06	平成20年	上ケ原一番町	
人間科学科	4	100	―	400	学士（人間科学）	1.00	平成20年	1番155号	

大学の名称	関西学院大学								備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	開設年度	所在地	
	年	人	年次 人	人		倍			
教育学部 教育学科	4	350	3年次 5	1,410	学士（教育学）	1.03	平成25年	兵庫県西宮市 岡田山7番54号	
国際学部 国際学科	4	300	―	1,200	学士（国際学）	1.03	平成22年	兵庫県西宮市 上ケ原一番町 1番155号	

大学の名称	関西学院大学大学院								備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	開設年度	所在地	
	年	人	年次 人	人		倍			
博士課程　前期課程 神学研究科 神学専攻	2	10	―	20	修士（神学）	0.65	昭和27年	兵庫県西宮市 上ケ原一番町 1番155号	
文学研究科 文化歴史学専攻	2	22	―	44	修士（哲学） 修士（美学） 修士（芸術学） 修士（歴史学） 修士（地理学）	0.42 0.49	平成19年	同上	
総合心理科学専攻	2	20	―	40	修士（心理科学） 修士（学校教育学）	0.45	平成19年		
文学言語学専攻	2	22	―	44	修士（文学） 修士（言語学）	0.33	平成19年		
社会学研究科 社会学専攻	2	12	―	24	修士（社会学）	0.49	昭和36年	同上	
法学研究科 法学・政治学専攻	2	45	―	90	修士（法学）	0.29	平成16年	同上	
経済学研究科 経済学専攻	2	30	―	60	修士（経済学）	0.20	昭和25年	同上	
商学研究科 商学専攻	2	30	―	60	修士（商学） 修士（経営学） 修士（会計学） 修士（マーケティング） 修士（ファイナンス） 修士（ビジネス情報） 修士（国際ビジネス）	0.21	昭和28年	同上	

大学の名称	関西学院大学大学院								備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	開設年度	所在地	
	年	人	年次人	人		倍			
理工学研究科						1.08		兵庫県三田市	
数理科学専攻	2	10	—	20	修士（理学） 修士（工学）	0.95	平成21年	学園2丁目1番地	
物理学専攻	2	22	—	44	修士（理学） 修士（工学） 修士（国際自然科学）	1.63	昭和40年		
化学専攻	2	33	—	66	修士（理学） 修士（工学） 修士（国際自然科学）	0.98	昭和40年		
生命科学専攻	2	35	—	70	修士（理学） 修士（工学） 修士（国際自然科学）	0.99	平成16年		
情報科学専攻	2	22	—	44	修士（理学） 修士（工学）	0.92	平成18年		
人間システム工学専攻	2	25	—	50	修士（理学） 修士（工学）	1.08	平成25年		
総合政策研究科								同上	
総合政策専攻	2	50	—	100	修士（総合政策）	0.16	平成11年		
言語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝ文化研究科								兵庫県西宮市	
言語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝ文化専攻	2	30	—	60	修士（言語科学） 修士（言語文化学） 修士（言語教育学） 修士（日本語教育学）	0.71	平成13年	上ケ原一番町1番155号	
人間福祉研究科								同上	
人間福祉専攻	2	8	—	16	修士（人間福祉）	0.87	平成20年		
教育学研究科								兵庫県西宮市	
教育学専攻	2	6	—	12	修士（教育学）	0.74	平成21年	岡田山7番54号	
国際学研究科								兵庫県西宮市上ケ原一番町	
国際学専攻	2	6	—	12	修士（国際学）	0.49	平成26年	1番155号	
博士課程　後期課程									
神学研究科									
神学専攻	3	2	—	6	博士（神学）	0.50	昭和29年	同上	
文学研究科						0.58		同上	
文化歴史学専攻	3	7	—	21	博士（哲学） 博士（美学） 博士（芸術学） 博士（歴史学） 博士（地理学）	0.37	平成19年		
総合心理科学専攻	3	6	—	18	博士（心理学） 博士（教育心理学）	0.88	平成19年		
文学言語学専攻	3	7	—	21	博士（文学） 博士（言語学）	0.52	平成19年		

大学の名称	関西学院大学大学院								備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	開設年度	所在地	
	年	人	年次人	人		倍			
社会学研究科 社会学専攻	3	4	—	12	博士（社会学）	1.00	昭和36年	兵庫県西宮市上ケ原一番町1番155号	
法学研究科						0.27		同上	
政治学専攻	3	2	—	6	博士（法学）	0.33	昭和34年		
基礎法学専攻	3	2	—	6	博士（法学）	0.00	昭和29年		
民刑事法学専攻	3	2	—	6	博士（法学）	0.50	昭和38年		
経済学研究科 経済学専攻	3	3	—	9	博士（経済学）	0.11	昭和29年	同上	
商学研究科 商学専攻	3	5	—	15	博士（商学）	0.40	昭和36年	同上	
理工学研究科						0.38		兵庫県三田市学園2丁目1番地	
数理科学専攻	3	2	—	6	博士（理学） 博士（工学）	0.16	平成23年		
物理学専攻	3	3	—	9	博士（理学） 博士（工学）	0.44	昭和42年		
化学専攻	3	6	—	18	博士（理学） 博士（工学）	0.55	昭和42年		
生命科学専攻	3	5	—	15	博士（理学） 博士（工学）	0.20	平成18年		
情報科学専攻	3	2	—	6	博士（理学） 博士（工学）	0.33	平成18年		
人間システム工学専攻	3	2	—	6	博士（理学） 博士（工学）	0.50	平成25年		
総合政策研究科 総合政策専攻	3	5	—	15	博士（総合政策）	0.20	平成13年	同上	
言語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝ文化研究科 言語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝ文化専攻	3	3	—	9	博士（言語コミュニケーション文化）	0.66	平成15年	兵庫県西宮市上ケ原一番町1番155号	
人間福祉研究科 人間福祉専攻	3	5	—	15	博士（人間福祉）	0.73	平成20年	同上	
教育学研究科 教育学専攻	3	3	—	9	博士（教育学）	0.66	平成21年	兵庫県西宮市岡田山7番54号	
国際学研究科 国際学専攻	3	2	—	6	博士（国際学）	0.50	平成26年	兵庫県西宮市上ケ原一番町1番155号	
経営戦略研究科 先端マネジメント専攻	3	4	—	12	博士（先端マネジメント）	1.00	平成20年	同上	

大学の名称	関西学院大学大学院								備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	開設年度	所在地	
	年	人	年次人	人		倍			
専門職学位課程								兵庫県西宮市	
司法研究科								上ケ原一番町	
法務専攻	3	30	―	150	法務博士（専門職）	0.49	平成16年	1番155号	H28年度入学定員減（△20人） H29年度入学定員減（△20人）
経営戦略研究科								大阪府大阪市北区茶屋町19番19号7ﾌﾟﾛｰｽﾞﾀﾜｰ14階	
経営戦略専攻	2	100	―	200	経営管理修士（専門職）	0.80	平成17年		
会計専門職専攻	2	70	―	140	会計修士（専門職）	0.47	平成17年	兵庫県西宮市	
								上ケ原一番町	
								1番155号	

大学の名称	聖和短期大学								備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	開設年度	所在地	
	年	人	年次人	人		倍			
								兵庫県西宮市	
保育科	2	150	―	300	短期大学士（保育学）	1.01	昭和25年	岡田山7番54号	

（注）・本調査の対象となっている大学等の設置者（学校法人等）が設置している全ての大学（学部，学科），大学院（専攻）及び短期大学（学科）（ＡＣ対象学部等含む）について，それぞれの学校種ごとに，平成２９年５月１日現在の上記項目の情報を記入してください。

・学部の学科または研究科の専攻等，「入学定員を定めている組織」ごとに記入してください。

※「入学定員を定めている組織ごと」には，課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。

※なお，課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は，法令上規定されている組織上の最小単位（大学であれば「学科」，短期大学であれば「専攻課程」）でも記載してください。

・専攻科に係るものについては，記入する必要はありません。

・ＡＣ対象学部等についても必ず記入してください。

・「平均入学定員超過率」には，標準修業年限に相当する期間における入学定員に対する入学者の割合の平均の小数点以下第２位まで（小数点以下第３位を切り捨て）を記入してください。

・学生募集を停止している学部等がある場合，入学定員・収容定員・平均入学定員超過率は「ー」とし，「備考」に「平成〇〇年より学生募集停止」と記入してください。

５　教員組織の状況

＜理工学部　生命医化学科＞

（１）ー① 担当教員表

【認可時又は届出時】

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 担当授業科目名
専	教授	海老原　史樹文 ＜平成27年4月＞ 基礎医化学実験Ⅰ 基礎医化学実験Ⅱ 先端医化学実験Ⅱ 外国書講読 輪講 卒業実験及び演習 脳神経科学
専	教授	今岡　進 ＜平成27年4月＞ 生命有機化学 基礎医化学実験Ⅰ 先端医化学実験Ⅰ 外国書講読 輪講 卒業実験及び演習 環境医化学
専	教授	大谷　清 ＜平成27年4月＞ 生命科学入門実験 基礎医化学実験Ⅰ 先端医化学実験Ⅰ 外国書講読 輪講 卒業実験及び演習 生命科学倫理 生化学 発癌分子機構学 病態生理学
専	教授	藤　博幸 ＜平成27年4月＞ 先端医化学実験Ⅱ 外国書講読 輪講 卒業実験及び演習 プログラミング演習 系統分類学 データ科学演習 バイオインフォマティクス
専	教授	平井　洋平 ＜平成27年4月＞ 基礎医化学実験Ⅱ 先端医化学実験Ⅰ 外国書講読 輪講 卒業実験及び演習 生命科学倫理 発生生物学 再生医学
専	教授	佐藤　英俊 ＜平成27年4月＞ 生命科学入門実験 先端医化学実験Ⅱ 外国書講読 輪講 卒業実験及び演習 化学概論 生命工学

【平成２７年度】

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 担当授業科目名
専	教授	海老原　史樹文 ＜平成27年4月＞ 基礎医化学実験Ⅰ 基礎医化学実験Ⅱ 先端医化学実験Ⅱ 外国書講読 輪講 卒業実験及び演習 脳神経科学
専	教授	今岡　進 ＜平成27年4月＞ 生命有機化学 基礎医化学実験Ⅰ 先端医化学実験Ⅰ 外国書講読 輪講 卒業実験及び演習 環境医化学
専	教授	大谷　清 ＜平成27年4月＞ 生命科学入門実験 基礎医化学実験Ⅰ 先端医化学実験Ⅰ 外国書講読 輪講 卒業実験及び演習 生命科学倫理 生化学 発癌分子機構学 病態生理学
専	教授	藤　博幸 ＜平成27年4月＞ 先端医化学実験Ⅱ 外国書講読 輪講 卒業実験及び演習 プログラミング演習 系統分類学 データ科学演習 バイオインフォマティクス
専	教授	平井　洋平 ＜平成27年4月＞ 基礎医化学実験Ⅱ 先端医化学実験Ⅰ 外国書講読 輪講 卒業実験及び演習 生命科学倫理 発生生物学 再生医学
専	教授	佐藤　英俊 ＜平成27年4月＞ 生命科学入門実験 先端医化学実験Ⅱ 外国書講読 輪講 卒業実験及び演習 化学概論 生命工学

【平成２８年度】

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 担当授業科目名
専	教授	海老原　史樹文 ＜平成27年4月＞ 基礎医化学実験Ⅰ 基礎医化学実験Ⅱ 先端医化学実験Ⅱ 外国書講読 輪講 卒業実験及び演習 脳神経科学
専	教授	今岡　進 ＜平成27年4月＞ 生命有機化学 基礎医化学実験Ⅰ 先端医化学実験Ⅰ 外国書講読 輪講 卒業実験及び演習 環境医化学
専	教授	大谷　清 ＜平成27年4月＞ 生命科学入門実験 基礎医化学実験Ⅰ 先端医化学実験Ⅰ 外国書講読 輪講 卒業実験及び演習 生命科学倫理 生化学 発癌分子機構学 病態生理学
専	教授	藤　博幸 ＜平成27年4月＞ 先端医化学実験Ⅱ 外国書講読 輪講 卒業実験及び演習 プログラミング演習 系統分類学 データ科学演習 バイオインフォマティクス
専	教授	平井　洋平 ＜平成27年4月＞ 基礎医化学実験Ⅱ 先端医化学実験Ⅰ 外国書講読 輪講 卒業実験及び演習 生命科学倫理 発生生物学 再生医学
専	教授	佐藤　英俊 ＜平成27年4月＞ 生命科学入門実験 先端医化学実験Ⅱ 外国書講読 輪講 卒業実験及び演習 化学概論 生命工学

【平成２９年度】

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 担当授業科目名
専	教授	海老原　史樹文 ＜平成27年4月＞ 基礎医化学実験Ⅰ 基礎医化学実験Ⅱ **先端医化学実験Ⅰ** 外国書講読 輪講 卒業実験及び演習 脳神経科学
専	教授	今岡　進 ＜平成27年4月＞ 生命有機化学 基礎医化学実験Ⅰ **先端医化学実験Ⅱ** 外国書講読 輪講 卒業実験及び演習 環境医化学
専	教授	大谷　清 ＜平成27年4月＞ 生命科学入門実験 基礎医化学実験Ⅰ **先端医化学実験Ⅱ** 外国書講読 輪講 卒業実験及び演習 生命科学倫理 生化学 発癌分子機構学 病態生理学
専	教授	藤　博幸 ＜平成27年4月＞ **先端医化学実験Ⅰ** 外国書講読 輪講 卒業実験及び演習 **コンピュータ演習Ａ** プログラミング演習 系統分類学 データ科学演習 バイオインフォマティクス
専	教授	平井　洋平 ＜平成27年4月＞ 基礎医化学実験Ⅱ **先端医化学実験Ⅱ** 外国書講読 輪講 卒業実験及び演習 生命科学倫理 発生生物学 再生医学
専	教授	佐藤　英俊 ＜平成27年4月＞ 生命科学入門実験 **先端医化学実験Ⅰ** 先端医化学実験Ⅱ 外国書講読 輪講 卒業実験及び演習 化学概論 生命工学

【平成３０年度】

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 担当授業科目名
専	教授	海老原　史樹文 ＜平成27年4月＞ 基礎医化学実験Ⅰ 基礎医化学実験Ⅱ **先端医化学実験Ⅰ** 外国書講読 輪講 卒業実験及び演習 脳神経科学
専	教授	今岡　進 ＜平成27年4月＞ 生命有機化学 基礎医化学実験Ⅰ **先端医化学実験Ⅱ** 外国書講読 輪講 卒業実験及び演習 環境医化学
専	教授	大谷　清 ＜平成27年4月＞ 生命科学入門実験 基礎医化学実験Ⅰ **先端医化学実験Ⅱ** 外国書講読 輪講 卒業実験及び演習 生命科学倫理 生化学 発癌分子機構学 病態生理学
専	教授	藤　博幸 ＜平成27年4月＞ **先端医化学実験Ⅰ** 外国書講読 輪講 卒業実験及び演習 **コンピュータ演習Ａ** プログラミング演習 系統分類学 データ科学演習 バイオインフォマティクス
専	教授	平井　洋平 ＜平成27年4月＞ 基礎医化学実験Ⅱ **先端医化学実験Ⅱ** 外国書講読 輪講 卒業実験及び演習 生命科学倫理 発生生物学 再生医学
専	教授	佐藤　英俊 ＜平成27年4月＞ 生命科学入門実験 **先端医化学実験Ⅰ** 先端医化学実験Ⅱ 外国書講読 輪講 卒業実験及び演習 化学概論 生命工学

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 担当授業科目名
専	准教授	吉野　公三 ＜平成27年4月＞ 先端医化学実験Ⅱ 外国書講読 輪講 卒業実験及び演習 線形代数学Ⅰ プログラミング演習 データ科学演習 医学統計学
専	准教授	沖米田　司 ＜平成27年4月＞ 基礎医化学実験Ⅱ 先端医化学実験Ⅰ 外国書講読 輪講 卒業実験及び演習 生命科学倫理 薬理学 免疫学
専	准教授	関　由行 ＜平成27年4月＞ 生命科学入門実験 基礎医化学実験Ⅱ 先端医化学実験Ⅰ 外国書講読 輪講 卒業実験及び演習 細胞学 エピゲノム医化学
専	助教	長谷川　由美子 ＜平成27年4月＞ 基礎医化学実験Ⅱ 先端医化学実験Ⅰ 卒業実験及び演習 基礎医化学入門
専	助教	小森　英之 ＜平成27年4月＞ 生命科学入門実験 基礎医化学実験Ⅰ 先端医化学実験Ⅰ 卒業実験及び演習 基礎医化学入門
専	助教	宮田　将徳 ＜平成27年4月＞ 基礎医化学実験Ⅱ 先端医化学実験Ⅰ 卒業実験及び演習 基礎医化学入門
専	助教	今井　早希 ＜平成27年4月＞ 基礎医化学実験Ⅰ 基礎医化学実験Ⅱ 先端医化学実験Ⅱ 卒業実験及び演習 基礎医化学入門
専	助教	前田　康大 ＜平成27年4月＞ 生命科学入門実験 先端医化学実験Ⅱ 卒業実験及び演習 基礎医化学入門
専	助教	大黒　亜美 ＜平成27年4月＞ 基礎医化学実験Ⅰ 先端医化学実験Ⅰ 卒業実験及び演習 基礎医化学入門

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 担当授業科目名
専	准教授	吉野　公三 ＜平成27年4月＞ 先端医化学実験Ⅱ 外国書講読 輪講 卒業実験及び演習 線形代数学Ⅰ プログラミング演習 データ科学演習 医学統計学
専	准教授	沖米田　司 ＜平成27年4月＞ 基礎医化学実験Ⅱ 先端医化学実験Ⅰ 外国書講読 輪講 卒業実験及び演習 生命科学倫理 薬理学 免疫学
専	准教授	関　由行 ＜平成27年4月＞ 生命科学入門実験 基礎医化学実験Ⅱ 先端医化学実験Ⅰ 外国書講読 輪講 卒業実験及び演習 細胞学 エピゲノム医化学
専	助教	宮田　将徳 ＜平成27年4月＞ 基礎医化学実験Ⅱ 先端医化学実験Ⅰ 卒業実験及び演習 基礎医化学入門
専	助教	大黒　亜美 ＜平成27年4月＞ 基礎医化学実験Ⅰ 先端医化学実験Ⅰ 卒業実験及び演習 基礎医化学入門

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 担当授業科目名
専	准教授	吉野　公三 ＜平成27年4月＞ 先端医化学実験Ⅱ 外国書講読 輪講 卒業実験及び演習 線形代数学Ⅰ プログラミング演習 データ科学演習 医学統計学
専	准教授	沖米田　司 ＜平成27年4月＞ 基礎医化学実験Ⅱ 先端医化学実験Ⅰ 外国書講読 輪講 卒業実験及び演習 生命科学倫理 薬理学 免疫学
専	准教授	関　由行 ＜平成27年4月＞ 生命科学入門実験 基礎医化学実験Ⅱ 先端医化学実験Ⅰ 外国書講読 輪講 卒業実験及び演習 細胞学 エピゲノム医化学
専	助教	宮田　将徳 ＜平成27年4月＞ 基礎医化学実験Ⅱ 先端医化学実験Ⅰ 卒業実験及び演習 基礎医化学入門
専	助教	大黒　亜美 ＜平成27年4月＞ 基礎医化学実験Ⅰ 先端医化学実験Ⅰ 卒業実験及び演習 基礎医化学入門

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 担当授業科目名
専	准教授	吉野　公三 ＜平成27年4月＞ 先端医化学実験Ⅰ 外国書講読 輪講 卒業実験及び演習 コンピュータ演習Ａ 線形代数学Ⅰ プログラミング演習 データ科学演習 医学統計学
専	准教授	沖米田　司 ＜平成27年4月＞ 基礎医化学実験Ⅱ 先端医化学実験Ⅰ 外国書講読 輪講 卒業実験及び演習 生命科学倫理 薬理学 免疫学
専	准教授	関　由行 ＜平成27年4月＞ 生命科学入門実験 基礎医化学実験Ⅱ 先端医化学実験Ⅱ 外国書講読 輪講 卒業実験及び演習 細胞学 エピゲノム医化学
専	助教	宮田　将徳 ＜平成27年4月＞ 基礎医化学実験Ⅱ 先端医化学実験Ⅰ 卒業実験及び演習 基礎医化学入門
専	助教	大黒　亜美 ＜平成27年4月＞ 基礎医化学実験Ⅰ 先端医化学実験Ⅱ 卒業実験及び演習 基礎医化学入門

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 担当授業科目名
専	准教授	吉野　公三 ＜平成27年4月＞ 先端医化学実験Ⅰ 外国書講読 輪講 卒業実験及び演習 コンピュータ演習Ａ 線形代数学Ⅰ プログラミング演習 データ科学演習 医学統計学
専	准教授	沖米田　司 ＜平成27年4月＞ 基礎医化学実験Ⅱ 先端医化学実験Ⅰ 外国書講読 輪講 卒業実験及び演習 生命科学倫理 薬理学 免疫学
専	准教授	関　由行 ＜平成27年4月＞ 生命科学入門実験 基礎医化学実験Ⅱ 先端医化学実験Ⅱ 外国書講読 輪講 卒業実験及び演習 細胞学 エピゲノム医化学
専	助教	大黒　亜美 ＜平成27年4月＞ 基礎医化学実験Ⅰ 先端医化学実験Ⅱ 卒業実験及び演習 基礎医化学入門

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞	担当授業科目名
専	助教	安達　直樹 ＜平成27年4月＞	基礎医化学実験Ⅱ 先端医化学実験Ⅰ 卒業実験及び演習 基礎医化学入門
専	助教	荒木　啓吾 ＜平成27年4月＞	生命科学入門実験 基礎医化学実験Ⅰ 先端医化学実験Ⅰ 卒業実験及び演習 基礎医化学入門
専	助教	松吉　ひろ子 ＜平成27年4月＞	生命科学入門実験 先端医化学実験Ⅱ 卒業実験及び演習 基礎医化学入門
専	助教	諏訪　喜昭 ＜平成27年4月＞	生命科学入門実験 基礎医化学実験Ⅱ 先端医化学実験Ⅰ 卒業実験及び演習 基礎医化学入門
専	助教	安達　直樹 ＜平成27年4月＞	基礎医化学実験Ⅱ 先端医化学実験Ⅰ 卒業実験及び演習 基礎医化学入門
専	助教	荒木　啓吾 ＜平成27年4月＞	生命科学入門実験 基礎医化学実験Ⅰ 先端医化学実験Ⅰ 卒業実験及び演習 基礎医化学入門
専	助教	松吉　ひろ子 ＜平成27年4月＞	生命科学入門実験 先端医化学実験Ⅱ 卒業実験及び演習 基礎医化学入門
専	助教	諏訪　喜昭 ＜平成27年4月＞	生命科学入門実験 基礎医化学実験Ⅱ 先端医化学実験Ⅰ 卒業実験及び演習 基礎医化学入門
専	助教	村田　知弥 ＜平成28年4月＞	基礎医化学実験Ⅰ 基礎医化学実験Ⅱ 先端医化学実験Ⅱ 卒業実験及び演習 基礎医化学入門
専	助教	安達　直樹 ＜平成27年4月＞	基礎医化学実験Ⅱ 先端医化学実験Ⅱ 卒業実験及び演習 基礎医化学入門
専	助教	荒木　啓吾 ＜平成27年4月＞	生命科学入門実験 基礎医化学実験Ⅰ 先端医化学実験Ⅱ 卒業実験及び演習 基礎医化学入門
専	助教	松吉　ひろ子 ＜平成27年4月＞	生命科学入門実験 先端医化学実験Ⅰ 先端医化学実験Ⅱ 卒業実験及び演習 基礎医化学入門
専	助教	村田　知弥 ＜平成28年4月＞	基礎医化学実験Ⅰ 基礎医化学実験Ⅱ 先端医化学実験Ⅰ 卒業実験及び演習 基礎医化学入門
専	助教	松原　和純 ＜平成29年4月＞	生命科学入門実験 基礎医化学実験Ⅱ 先端医化学実験Ⅱ 卒業実験及び演習 基礎医化学入門
専	助教	安達　直樹 ＜平成27年4月＞	基礎医化学実験Ⅱ 先端医化学実験Ⅱ 卒業実験及び演習 基礎医化学入門
専	助教	荒木　啓吾 ＜平成27年4月＞	生命科学入門実験 基礎医化学実験Ⅰ 先端医化学実験Ⅱ 卒業実験及び演習 基礎医化学入門
専	助教	村田　知弥 ＜平成28年4月＞	基礎医化学実験Ⅰ 基礎医化学実験Ⅱ 先端医化学実験Ⅰ 卒業実験及び演習 基礎医化学入門
専	助教	松原　和純 ＜平成29年4月＞	生命科学入門実験 基礎医化学実験Ⅱ 先端医化学実験Ⅱ 卒業実験及び演習 基礎医化学入門
専	助教	竹谷　皓規 ＜平成30年4月＞	生命科学入門実験 先端医化学実験Ⅰ 先端医化学実験Ⅱ 卒業実験及び演習 基礎医化学入門

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞	担当授業科目名
兼担	教授	岸野　文郎 ＜平成27年9月＞	人間システム工学概論
兼担	教授	水木　純一郎 ＜平成30年4月＞	先進エネルギーナノ工学詳論
兼担	教授	鈴木　信太郎 ＜平成27年4月＞	組織学 臨海実験
兼担	教授	矢倉　達夫 ＜平成27年4月＞	分子遺伝学 臨海実験
兼担	教授	加藤　直樹 ＜平成27年4月＞	情報科学概論
兼担	教授	浅野　考平 ＜平成27年4月＞	コンピュータ演習Ａ 情報科学概論
兼担	教授	鹿田　真一 ＜平成30年4月＞	先進エネルギーナノ工学詳論
兼担	教授	御厨　正博 ＜平成27年4月＞	基礎化学Ｂ 基礎化学実験Ⅰ 環境学
兼担	教授	多賀　登喜雄 ＜平成27年4月＞	情報科学概論
兼担	教授	高畑　由起夫 ＜平成27年4月＞	自然環境論
兼担	教授	田中　裕久 ＜平成30年4月＞	先進エネルギーナノ工学詳論
兼担	教授	尾鼻　靖子 ＜平成27年4月＞	英語ﾘｰﾃﾞｨﾝｸﾞⅠＡ 英語ﾘｰﾃﾞｨﾝｸﾞⅠＢ 科学技術英語Ａ 科学技術英語Ｂ
兼担	教授	千葉　光一 ＜平成27年4月＞	基礎化学実験Ⅰ
兼担	教授	川端　豪 ＜平成27年9月＞	人間システム工学概論

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞	担当授業科目名
兼担	教授	水木　純一郎 ＜平成30年4月＞	先進エネルギーナノ工学詳論
兼担	教授	鈴木　信太郎 ＜平成27年4月＞	組織学
兼担	教授	矢倉　達夫 ＜平成27年4月＞	分子遺伝学 臨海実験
兼担	教授	加藤　直樹 ＜平成27年4月＞	情報科学概論
兼担	教授	浅野　考平 ＜平成27年4月＞	情報科学概論
兼担	教授	鹿田　真一 ＜平成30年4月＞	先進エネルギーナノ工学詳論
兼担	教授	御厨　正博 ＜平成27年4月＞	基礎化学Ｂ 基礎化学実験Ⅰ 環境学
兼担	教授	多賀　登喜雄 ＜平成27年4月＞	情報科学概論
兼担	教授	高畑　由起夫 ＜平成27年4月＞	自然環境論
兼担	教授	田中　裕久 ＜平成30年4月＞	先進エネルギーナノ工学詳論
兼担	教授	尾鼻　靖子 ＜平成27年4月＞	**英語ﾘｰﾃﾞｨﾝｸﾞⅡＡ** **英語ﾘｰﾃﾞｨﾝｸﾞⅡＢ** 科学技術英語Ａ 科学技術英語Ｂ
兼担	教授	千葉　光一 ＜平成27年4月＞	基礎化学実験Ⅰ
兼担	教授	川端　豪 ＜平成27年9月＞	人間システム工学概論

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞	担当授業科目名
兼担	教授	水木　純一郎 ＜平成30年4月＞	先進エネルギーナノ工学詳論
兼担	教授	鈴木　信太郎 ＜平成27年4月＞	組織学
兼担	教授	矢倉　達夫 ＜平成27年4月＞	分子遺伝学 臨海実験
兼担	教授	加藤　直樹 ＜平成27年4月＞	情報科学概論
兼担	教授	浅野　考平 ＜平成27年4月＞	情報科学概論
兼担	教授	鹿田　真一 ＜平成28年9月＞	**基礎物理学実験Ⅰ** 先進エネルギーナノ工学詳論
兼担	教授	御厨　正博 ＜平成27年4月＞	基礎化学Ｂ 基礎化学実験Ⅰ 環境学
兼担	教授	多賀　登喜雄 ＜平成27年4月＞	情報科学概論
兼担	教授	高畑　由起夫 ＜平成27年4月＞	自然環境論
兼担	教授	田中　裕久 ＜平成30年4月＞	先進エネルギーナノ工学詳論
兼担	教授	尾鼻　靖子 ＜平成27年4月＞	科学技術英語Ａ 科学技術英語Ｂ
兼担	教授	千葉　光一 ＜平成27年4月＞	基礎化学実験Ⅰ
兼担	教授	川端　豪 ＜平成27年9月＞	人間システム工学概論

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞	担当授業科目名
兼担	教授	水木　純一郎 ＜平成30年4月＞	先進エネルギーナノ工学詳論
兼担	教授	鈴木　信太郎 ＜平成27年4月＞	組織学
兼担	教授	矢倉　達夫 ＜平成27年4月＞	分子遺伝学 臨海実験
兼担	教授	加藤　直樹 ＜平成27年4月＞	情報科学概論
兼担	教授	浅野　考平 ＜平成27年4月＞	情報科学概論
兼担	教授	鹿田　真一 ＜平成28年9月＞	**基礎物理学実験Ⅰ** 先進エネルギーナノ工学詳論
兼担	教授	御厨　正博 ＜平成27年4月＞	基礎化学Ｂ 基礎化学実験Ⅰ 環境学
兼担	教授	多賀　登喜雄 ＜平成27年4月＞	情報科学概論
兼担	教授	高畑　由起夫 ＜平成27年4月＞	自然環境論
兼担	教授	田中　裕久 ＜平成30年4月＞	先進エネルギーナノ工学詳論
兼担	教授	尾鼻　靖子 ＜平成27年4月＞	**英語ﾘｰﾃﾞｨﾝｸﾞⅡＡ** **英語ﾘｰﾃﾞｨﾝｸﾞⅡＢ** 科学技術英語Ａ 科学技術英語Ｂ
兼担	教授	千葉　光一 ＜平成27年4月＞	基礎化学実験Ⅰ
兼担	教授	川端　豪 ＜平成27年9月＞	人間システム工学概論

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞	担当授業科目名
専	**助教**	**福田　亮介** **＜平成30年4月＞**	**基礎医化学実験Ⅱ** **先端医化学実験Ⅰ** **卒業実験及び演習** **基礎医化学入門**
兼担	教授	水木　純一郎 ＜平成30年4月＞	先進エネルギーナノ工学詳論
兼担	教授	加藤　直樹 ＜平成27年4月＞	情報科学概論
兼担	教授	鹿田　真一 ＜平成28年9月＞	**基礎物理学実験Ⅰ** 先進エネルギーナノ工学詳論
兼担	教授	御厨　正博 ＜平成27年4月＞	基礎化学Ｂ 基礎化学実験Ⅰ 環境学
兼担	教授	多賀　登喜雄 ＜平成27年4月＞	情報科学概論
兼担	教授	田中　裕久 ＜平成30年4月＞	先進エネルギーナノ工学詳論
兼担	教授	尾鼻　靖子 ＜平成27年4月＞	**英語ﾘｰﾃﾞｨﾝｸﾞⅡＡ** **英語ﾘｰﾃﾞｨﾝｸﾞⅡＢ** 科学技術英語Ａ 科学技術英語Ｂ
兼担	教授	千葉　光一 ＜平成27年4月＞	基礎化学実験Ⅰ
兼担	教授	川端　豪 ＜平成27年9月＞	人間システム工学概論

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞	担当授業科目名
兼担	教授	大谷　昇 ＜平成30年4月＞	先進エネルギーナノ工学詳論
兼担	教授	西脇　清二 ＜平成27年4月＞	生命科学Ⅱ 器官形成学 臨海実験
兼担	教授	岡留　剛 ＜平成27年9月＞	人間システム工学概論
兼担	教授	高橋　和子 ＜平成27年4月＞	情報科学概論
兼担	教授	金子　忠昭 ＜平成30年4月＞	先進エネルギーナノ工学詳論
兼担	教授	高橋　功 ＜平成28年9月＞	基礎物理学実験Ⅰ
兼担	教授	石浦　菜岐佐 ＜平成27年4月＞	情報科学概論
兼担	教授	北村　泰彦 ＜平成27年4月＞	情報科学概論
兼担	教授	長田　典子 ＜平成27年9月＞	人間システム工学概論
兼担	教授	西谷　滋人 ＜平成27年4月＞	情報科学概論
兼担	教授	日比野　浩樹 ＜平成30年4月＞	先進エネルギーナノ工学詳論
兼担	教授	嵯峨　宣彦 ＜平成27年9月＞	人間システム工学概論
兼担	教授	橋本　秀樹 ＜平成27年4月＞	基礎化学実験Ⅰ
兼担	教授	藤原　伸介 ＜平成27年4月＞	微生物学 遺伝子工学 臨海実験
兼担	教授	片寄　晴弘 ＜平成27年9月＞	人間システム工学概論
兼担	教授	藤原　明比古 ＜平成30年4月＞	先進エネルギーナノ工学詳論
兼担	教授	松田　祐介 ＜平成27年4月＞	生命代謝化学 植物分子生理学 臨海実験

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞	担当授業科目名
兼担	教授	大谷　昇 ＜平成30年4月＞	先進エネルギーナノ工学詳論
兼担	教授	西脇　清二 ＜平成27年4月＞	生命科学Ⅱ 器官形成学 臨海実験
兼担	教授	岡留　剛 ＜平成27年9月＞	人間システム工学概論
兼担	教授	高橋　和子 ＜平成27年4月＞	情報科学概論
兼担	教授	金子　忠昭 ＜平成30年4月＞	先進エネルギーナノ工学詳論
兼担	教授	高橋　功 ＜平成28年9月＞	基礎物理学実験Ⅰ
兼担	教授	石浦　菜岐佐 ＜平成27年4月＞	情報科学概論
兼担	教授	北村　泰彦 ＜平成27年4月＞	情報科学概論
兼担	教授	長田　典子 ＜平成27年9月＞	人間システム工学概論
兼担	教授	西谷　滋人 ＜平成27年4月＞	情報科学概論
兼担	教授	日比野　浩樹 ＜平成30年4月＞	先進エネルギーナノ工学詳論
兼担	教授	嵯峨　宣彦 ＜平成27年9月＞	人間システム工学概論
兼担	教授	橋本　秀樹 ＜平成27年4月＞	基礎化学実験Ⅰ
兼担	教授	藤原　伸介 ＜平成27年4月＞	微生物学 遺伝子工学 臨海実験
兼担	教授	片寄　晴弘 ＜平成27年9月＞	人間システム工学概論
兼担	教授	藤原　明比古 ＜平成30年4月＞	先進エネルギーナノ工学詳論
兼担	教授	松田　祐介 ＜平成27年4月＞	生命代謝化学 植物分子生理学 臨海実験

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞	担当授業科目名
兼担	教授	大谷　昇 ＜平成30年4月＞	先進エネルギーナノ工学詳論
兼担	教授	西脇　清二 ＜平成27年4月＞	生命科学Ⅱ 器官形成学 臨海実験
兼担	教授	岡留　剛 ＜平成27年9月＞	人間システム工学概論
兼担	教授	金子　忠昭 ＜平成30年4月＞	先進エネルギーナノ工学詳論
兼担	教授	石浦　菜岐佐 ＜平成27年4月＞	情報科学概論
兼担	教授	北村　泰彦 ＜平成27年4月＞	情報科学概論
兼担	教授	長田　典子 ＜平成27年9月＞	人間システム工学概論
兼担	教授	西谷　滋人 ＜平成27年4月＞	情報科学概論
兼担	教授	日比野　浩樹 ＜平成30年4月＞	先進エネルギーナノ工学詳論
兼担	教授	嵯峨　宣彦 ＜平成27年9月＞	人間システム工学概論
兼担	教授	橋本　秀樹 ＜平成27年4月＞	基礎化学実験Ⅰ
兼担	教授	藤原　伸介 ＜平成27年4月＞	微生物学 遺伝子工学 臨海実験
兼担	教授	片寄　晴弘 ＜平成27年9月＞	人間システム工学概論
兼担	教授	藤原　明比古 ＜平成30年4月＞	先進エネルギーナノ工学詳論
兼担	教授	松田　祐介 ＜平成27年4月＞	生命代謝化学 植物分子生理学 臨海実験

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞	担当授業科目名
兼担	教授	大谷　昇 ＜平成30年4月＞	先進エネルギーナノ工学詳論
兼担	教授	西脇　清二 ＜平成27年4月＞	生命科学Ⅱ 器官形成学 臨海実験
兼担	教授	岡留　剛 ＜平成27年9月＞	人間システム工学概論
兼担	教授	高橋　和子 ＜平成27年4月＞	情報科学概論
兼担	教授	金子　忠昭 ＜平成30年4月＞	先進エネルギーナノ工学詳論
兼担	教授	石浦　菜岐佐 ＜平成27年4月＞	情報科学概論
兼担	教授	北村　泰彦 ＜平成27年4月＞	情報科学概論
兼担	教授	長田　典子 ＜平成27年9月＞	人間システム工学概論
兼担	教授	西谷　滋人 ＜平成27年4月＞	情報科学概論
兼担	教授	日比野　浩樹 ＜平成30年4月＞	先進エネルギーナノ工学詳論
兼担	教授	嵯峨　宣彦 ＜平成27年9月＞	人間システム工学概論
兼担	教授	橋本　秀樹 ＜平成27年4月＞	基礎化学実験Ⅰ
兼担	教授	藤原　伸介 ＜平成27年4月＞	微生物学 遺伝子工学 臨海実験
兼担	教授	片寄　晴弘 ＜平成27年9月＞	人間システム工学概論
兼担	教授	藤原　明比古 ＜平成30年4月＞	先進エネルギーナノ工学詳論
兼担	教授	松田　祐介 ＜平成27年4月＞	生命代謝化学 植物分子生理学 臨海実験

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞	担当授業科目名
兼担	教授	角所　考 ＜平成27年9月＞	人間システム工学概論
兼担	教授	白川　英二 ＜平成27年4月＞	基礎化学Ｃ 基礎化学実験Ⅰ
兼担	教授	河野　恭之 ＜平成27年9月＞	人間システム工学概論
兼担	教授	氏木　道人 ＜平成27年4月＞	英語ﾘｰﾃﾞｨﾝｸﾞⅠＡ 英語ﾘｰﾃﾞｨﾝｸﾞⅠＢ 科学技術英語Ａ 科学技術英語Ｂ 千刈集中英語実習
兼担	教授	田中　克典 ＜平成27年4月＞	生命科学Ⅰ 染色体機能学 臨海実験
兼担	教授	田和　圭子 ＜平成27年4月＞	基礎化学実験Ⅰ
兼担	教授	巳波　弘佳 ＜平成27年4月＞	情報科学概論
兼担	教授	若林　克法 ＜平成30年4月＞	先進エネルギーナノ工学詳論
兼担	教授	井坂　元彦 ＜平成27年4月＞	情報科学概論
兼担	教授	工藤　卓 ＜平成27年9月＞	人間システム工学概論
兼担	教授	大崎　博之 ＜平成27年4月＞	情報科学概論
兼担	教授	谷水　雅治 ＜平成28年4月＞	基礎地学Ⅰ 基礎地学Ⅱ 地学実験Ａ
兼担	教授	羽村　季之 ＜平成27年4月＞	基礎化学実験Ⅰ
兼担	教授	森崎　泰弘 ＜平成27年4月＞	基礎化学実験Ⅰ
兼担	教授	河野　正道 ＜平成27年4月＞	経済学
兼担	教授	田辺　陽 ＜平成27年9月＞	環境学
兼担	教授	長岡　徹 ＜平成27年4月＞	日本国憲法

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞	担当授業科目名
兼担	教授	角所　考 ＜平成27年9月＞	人間システム工学概論
兼担	教授	白川　英二 ＜平成27年4月＞	基礎化学Ｃ 基礎化学実験Ⅰ
兼担	教授	河野　恭之 ＜平成27年9月＞	人間システム工学概論
兼担	教授	氏木　道人 ＜平成27年4月＞	英語ﾘｰﾃﾞｨﾝｸﾞⅠＡ 英語ﾘｰﾃﾞｨﾝｸﾞⅠＢ 科学技術英語Ａ 科学技術英語Ｂ 千刈集中英語実習
兼担	教授	田中　克典 ＜平成27年4月＞	生命科学Ⅰ 染色体機能学 臨海実験
兼担	教授	田和　圭子 ＜平成27年4月＞	基礎化学実験Ⅰ
兼担	教授	巳波　弘佳 ＜平成27年4月＞	情報科学概論
兼担	教授	若林　克法 ＜平成30年4月＞	先進エネルギーナノ工学詳論
兼担	教授	井坂　元彦 ＜平成27年4月＞	情報科学概論
兼担	教授	工藤　卓 ＜平成27年9月＞	人間システム工学概論
兼担	教授	大崎　博之 ＜平成27年4月＞	情報科学概論
兼担	教授	谷水　雅治 ＜平成28年4月＞	基礎地学Ⅰ 基礎地学Ⅱ 地学実験Ａ
兼担	教授	羽村　季之 ＜平成27年4月＞	基礎化学実験Ⅰ
兼担	教授	森崎　泰弘 ＜平成27年4月＞	基礎化学実験Ⅰ
兼担	教授	河野　正道 ＜平成27年4月＞	経済学
兼担	教授	田辺　陽 ＜平成27年9月＞	環境学
兼担	教授	長岡　徹 ＜平成27年4月＞	日本国憲法

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞	担当授業科目名
兼担	教授	角所　考 ＜平成27年9月＞	人間システム工学概論
兼担	教授	白川　英二 ＜平成27年4月＞	基礎化学Ｃ 基礎化学実験Ⅰ
兼担	教授	河野　恭之 ＜平成27年9月＞	人間システム工学概論
兼担	教授	氏木　道人 ＜平成27年4月＞	英語ﾘｰﾃﾞｨﾝｸﾞⅠＡ 英語ﾘｰﾃﾞｨﾝｸﾞⅠＢ 科学技術英語Ａ 科学技術英語Ｂ
兼担	教授	田中　克典 ＜平成27年4月＞	生命科学Ⅰ 染色体機能学 臨海実験
兼担	教授	田和　圭子 ＜平成27年4月＞	基礎化学実験Ⅰ
兼担	教授	巳波　弘佳 ＜平成27年4月＞	情報科学概論
兼担	教授	若林　克法 ＜平成30年4月＞	先進エネルギーナノ工学詳論
兼担	教授	井坂　元彦 ＜平成27年4月＞	情報科学概論
兼担	教授	工藤　卓 ＜平成27年9月＞	人間システム工学概論
兼担	教授	大崎　博之 ＜平成27年4月＞	情報科学概論
兼担	教授	谷水　雅治 ＜平成28年4月＞	基礎地学Ⅰ 基礎地学Ⅱ 地学実験Ａ
兼担	教授	羽村　季之 ＜平成27年4月＞	基礎化学実験Ⅰ
兼担	教授	森崎　泰弘 ＜平成27年4月＞	基礎化学実験Ⅰ
兼担	教授	河野　正道 ＜平成27年4月＞	経済学
兼担	教授	田辺　陽 ＜平成27年9月＞	環境学
兼担	教授	長岡　徹 ＜平成27年4月＞	日本国憲法

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞	担当授業科目名
兼担	教授	角所　考 ＜平成27年9月＞	人間システム工学概論
兼担	教授	白川　英二 ＜平成27年4月＞	基礎化学Ｃ 基礎化学実験Ⅰ
兼担	教授	河野　恭之 ＜平成27年9月＞	人間システム工学概論
兼担	教授	氏木　道人 ＜平成27年4月＞	英語ﾘｰﾃﾞｨﾝｸﾞⅠＡ 英語ﾘｰﾃﾞｨﾝｸﾞⅠＢ 科学技術英語Ａ 科学技術英語Ｂ
兼担	教授	田中　克典 ＜平成27年4月＞	生命科学Ⅰ 染色体機能学 臨海実験
兼担	教授	田和　圭子 ＜平成27年4月＞	基礎化学実験Ⅰ
兼担	教授	巳波　弘佳 ＜平成27年4月＞	情報科学概論
兼担	教授	若林　克法 ＜平成30年4月＞	先進エネルギーナノ工学詳論
兼担	教授	井坂　元彦 ＜平成27年4月＞	情報科学概論
兼担	教授	工藤　卓 ＜平成27年9月＞	人間システム工学概論
兼担	教授	大崎　博之 ＜平成27年4月＞	情報科学概論
兼担	教授	谷水　雅治 ＜平成28年4月＞	基礎地学Ⅰ 基礎地学Ⅱ 地学実験Ａ
兼担	教授	羽村　季之 ＜平成27年4月＞	基礎化学実験Ⅰ
兼担	教授	森崎　泰弘 ＜平成27年4月＞	基礎化学実験Ⅰ
兼担	教授	河野　正道 ＜平成27年4月＞	経済学
兼担	教授	田辺　陽 ＜平成27年9月＞	環境学

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞	担当授業科目名
兼担	教授	玉井　尚登 ＜平成27年9月＞	環境学
兼担	教授	関根　孝道 ＜平成27年4月＞	法学
兼担	准教授	阪上　潔 ＜平成27年4月＞	物理学序論 環境学
兼担	准教授	山田　一美 ＜平成27年4月＞	英語ﾘｰﾃﾞｨﾝｸﾞⅠA 英語ﾘｰﾃﾞｨﾝｸﾞⅠB 科学技術英語A 科学技術英語B
兼担	准教授	工藤　多恵 ＜平成27年4月＞	科学技術英語A 科学技術英語B 英語ﾘｰﾃﾞｨﾝｸﾞⅠA 英語ﾘｰﾃﾞｨﾝｸﾞⅠB
兼担	准教授	吉川　浩史 ＜平成30年4月＞	先進エネルギーナノ工学詳論
兼担	准教授	松尾　元彰 ＜平成30年4月＞	先進エネルギーナノ工学詳論
兼担	准教授	山本　倫也 ＜平成27年9月＞	人間システム工学概論
兼担	准教授	増尾　貞弘 ＜平成27年4月＞	基礎化学A 基礎化学実験Ⅰ
兼担	准教授	猪口　明博 ＜平成27年4月＞	情報科学概論
兼担	准教授	中後　大輔 ＜平成27年9月＞	人間システム工学概論
兼担	准教授	壷井　基裕 ＜平成28年4月＞	基礎地学Ⅰ 基礎地学Ⅱ 地学実験A
兼担	准教授	宗景　ゆり ＜平成27年4月＞	植物分子生物学 臨海実験

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞	担当授業科目名
兼担	教授	玉井　尚登 ＜平成27年9月＞	環境学
兼担	教授	関根　孝道 ＜平成27年4月＞	法学
兼担	**教授**	**井村　誠孝 ＜平成27年9月＞**	**人間システム工学概論**
兼担	准教授	阪上　潔 ＜平成27年4月＞	物理学序論 環境学
兼担	准教授	山田　一美 ＜平成27年4月＞	英語ﾘｰﾃﾞｨﾝｸﾞⅠA 英語ﾘｰﾃﾞｨﾝｸﾞⅠB 科学技術英語A 科学技術英語B
兼担	准教授	工藤　多恵 ＜平成27年4月＞	**英語ﾘｰﾃﾞｨﾝｸﾞⅡA 英語ﾘｰﾃﾞｨﾝｸﾞⅡB** 科学技術英語A 科学技術英語B
兼担	准教授	吉川　浩史 ＜平成30年4月＞	先進エネルギーナノ工学詳論
兼担	准教授	松尾　元彰 ＜平成30年4月＞	先進エネルギーナノ工学詳論
兼担	**教授**	山本　倫也 ＜平成27年9月＞	人間システム工学概論
兼担	准教授	増尾　貞弘 ＜平成27年4月＞	基礎化学A 基礎化学実験Ⅰ
兼担	准教授	猪口　明博 ＜平成27年4月＞	情報科学概論
兼担	准教授	中後　大輔 ＜平成27年9月＞	人間システム工学概論
兼担	**教授**	壷井　基裕 ＜平成28年4月＞	基礎地学Ⅰ 基礎地学Ⅱ 地学実験A
兼担	准教授	宗景　ゆり ＜平成27年4月＞	植物分子生物学

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞	担当授業科目名
兼担	教授	玉井　尚登 ＜平成27年9月＞	環境学
兼担	教授	関根　孝道 ＜平成27年4月＞	法学
兼担	**教授**	**井村　誠孝 ＜平成27年9月＞**	**人間システム工学概論**
兼担	准教授	阪上　潔 ＜平成27年4月＞	物理学序論 環境学
兼担	准教授	山田　一美 ＜平成27年4月＞	英語ﾘｰﾃﾞｨﾝｸﾞⅠA 英語ﾘｰﾃﾞｨﾝｸﾞⅠB 科学技術英語A 科学技術英語B
兼担	准教授	工藤　多恵 ＜平成27年4月＞	**英語ﾘｰﾃﾞｨﾝｸﾞⅡA 英語ﾘｰﾃﾞｨﾝｸﾞⅡB** 科学技術英語A 科学技術英語B **千刈集中英語実習**
兼担	准教授	吉川　浩史 ＜平成30年4月＞	先進エネルギーナノ工学詳論
兼担	准教授	松尾　元彰 ＜平成30年4月＞	先進エネルギーナノ工学詳論
兼担	**教授**	山本　倫也 ＜平成27年9月＞	人間システム工学概論
兼担	**教授**	増尾　貞弘 ＜平成27年4月＞	基礎化学実験Ⅰ
兼担	准教授	猪口　明博 ＜平成27年4月＞	情報科学概論
兼担	准教授	中後　大輔 ＜平成27年9月＞	人間システム工学概論
兼担	**教授**	壷井　基裕 ＜平成28年4月＞	基礎地学Ⅰ 基礎地学Ⅱ 地学実験A
兼担	准教授	宗景　ゆり ＜平成27年4月＞	植物分子生物学

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞	担当授業科目名
兼担	教授	玉井　尚登 ＜平成27年9月＞	**基礎化学A** 環境学
兼担	教授	関根　孝道 ＜平成27年4月＞	法学
兼担	**教授**	**井村　誠孝 ＜平成27年9月＞**	**人間システム工学概論**
兼担	**教授**	**佐山　浩 ＜平成30年4月＞**	**自然環境論**
兼担	准教授	阪上　潔 ＜平成27年4月＞	物理学序論 環境学
兼担	准教授	山田　一美 ＜平成27年4月＞	英語ﾘｰﾃﾞｨﾝｸﾞⅠA 英語ﾘｰﾃﾞｨﾝｸﾞⅠB 科学技術英語A 科学技術英語B
兼担	准教授	工藤　多恵 ＜平成27年4月＞	英語ﾘｰﾃﾞｨﾝｸﾞⅠA **英語ﾘｰﾃﾞｨﾝｸﾞⅡA 英語ﾘｰﾃﾞｨﾝｸﾞⅡB 千刈集中英語実習**
兼担	准教授	吉川　浩史 ＜平成30年4月＞	先進エネルギーナノ工学詳論
兼担	准教授	松尾　元彰 ＜平成30年4月＞	先進エネルギーナノ工学詳論
兼担	**教授**	山本　倫也 ＜平成27年9月＞	人間システム工学概論
兼担	**教授**	増尾　貞弘 ＜平成27年4月＞	基礎化学実験Ⅰ
兼担	准教授	猪口　明博 ＜平成27年4月＞	情報科学概論
兼担	准教授	中後　大輔 ＜平成27年9月＞	人間システム工学概論
兼担	**教授**	壷井　基裕 ＜平成28年4月＞	基礎地学Ⅰ 基礎地学Ⅱ 地学実験A
兼担	准教授	宗景　ゆり ＜平成27年4月＞	植物分子生物学

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞	担当授業科目名
兼担	准教授	小倉　鉄平 ＜平成30年4月＞	先進エネルギーナノ工学詳論
兼担	准教授	三浦　佳二 ＜平成27年4月＞	微積分学Ⅰ プログラミング演習 生物統計学 データ科学演習 臨海実験
兼担	准教授	Michael Lynn ＜平成27年4月＞	英語ﾗｲﾃｨﾝｸﾞⅠA 英語ﾗｲﾃｨﾝｸﾞⅠB 英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅠA 英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅠB 英語ﾘｰﾃﾞｨﾝｸﾞⅡA 英語ﾘｰﾃﾞｨﾝｸﾞⅡB 英語ﾗｲﾃｨﾝｸﾞⅡA 英語ﾗｲﾃｨﾝｸﾞⅡB 英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅡA 英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅡB
兼担	講師	尾崎　壽紀 ＜平成30年4月＞	先進エネルギーナノ工学詳論
兼担	講師	前川　裕 ＜平成27年4月＞	キリスト教学A キリスト教学B ドイツ語文法Ⅰ ドイツ語文法Ⅱ 科学倫理
兼担	講師	Stuart Cunningham ＜平成27年4月＞	英語ﾗｲﾃｨﾝｸﾞⅠA 英語ﾗｲﾃｨﾝｸﾞⅠB 英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅠA 英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅠB 英語ﾘｰﾃﾞｨﾝｸﾞⅡA 英語ﾘｰﾃﾞｨﾝｸﾞⅡB 英語ﾗｲﾃｨﾝｸﾞⅡA 英語ﾗｲﾃｨﾝｸﾞⅡB 英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅡA 英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅡB

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞	担当授業科目名
兼担	准教授	小倉　鉄平 ＜平成30年4月＞	先進エネルギーナノ工学詳論
兼担	准教授	三浦　佳二 ＜平成27年4月＞	微積分学Ⅰ プログラミング演習 生物統計学 データ科学演習
兼担	准教授	住　政二郎 ＜平成27年4月＞	英語ﾘｰﾃﾞｨﾝｸﾞⅠA 英語ﾘｰﾃﾞｨﾝｸﾞⅠB 英語ﾘｰﾃﾞｨﾝｸﾞⅡA 英語ﾘｰﾃﾞｨﾝｸﾞⅡB 英語ﾗｲﾃｨﾝｸﾞⅡA 英語ﾗｲﾃｨﾝｸﾞⅡB 英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅡA 英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅡB
兼担	講師	尾崎　壽紀 ＜平成30年4月＞	先進エネルギーナノ工学詳論
兼担	講師	前川　裕 ＜平成27年4月＞	キリスト教学A キリスト教学B 科学倫理

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞	担当授業科目名
兼担	准教授	小倉　鉄平 ＜平成30年4月＞	先進エネルギーナノ工学詳論
兼担	准教授	三浦　佳二 ＜平成27年4月＞	微積分学Ⅰ プログラミング演習 生物統計学 データ科学演習 臨海実験
兼担	准教授	住　政二郎 ＜平成27年4月＞	英語ﾘｰﾃﾞｨﾝｸﾞⅠA 英語ﾘｰﾃﾞｨﾝｸﾞⅠB
兼担	講師	尾崎　壽紀 ＜平成30年4月＞	先進エネルギーナノ工学詳論
兼担	講師	前川　裕 ＜平成27年4月＞	キリスト教学A キリスト教学B 科学倫理

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞	担当授業科目名
兼担	准教授	小倉　鉄平 ＜平成30年4月＞	先進エネルギーナノ工学詳論
兼担	准教授	三浦　佳二 ＜平成27年4月＞	微積分学Ⅰ コンピュータ演習A プログラミング演習 生物統計学 データ科学演習
兼担	准教授	住　政二郎 ＜平成27年4月＞	英語ﾘｰﾃﾞｨﾝｸﾞⅠA 英語ﾘｰﾃﾞｨﾝｸﾞⅠB 科学技術英語A 科学技術英語B 千刈集中英語実習
兼担	准教授	武田　直也 ＜平成29年4月＞	臨海実験
兼担	准教授	北條　賢 ＜平成29年4月＞	臨海実験
兼担	講師	尾崎　壽紀 ＜平成30年4月＞	先進エネルギーナノ工学詳論
兼担	准教授	前川　裕 ＜平成27年4月＞	キリスト教学A キリスト教学B 科学倫理

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞	担当授業科目名
兼担	准教授	小倉　鉄平 ＜平成30年4月＞	先進エネルギーナノ工学詳論
兼担	准教授	三浦　佳二 ＜平成27年4月＞	微積分学Ⅰ コンピュータ演習A プログラミング演習 生物統計学 データ科学演習
兼担	准教授	住　政二郎 ＜平成27年4月＞	英語ﾘｰﾃﾞｨﾝｸﾞⅠB 科学技術英語B 千刈集中英語実習
兼担	准教授	北條　賢 ＜平成29年4月＞	臨海実験
兼担	講師	尾崎　壽紀 ＜平成30年4月＞	先進エネルギーナノ工学詳論
兼担	准教授	前川　裕 ＜平成27年4月＞	キリスト教学A キリスト教学B 科学倫理

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞	担当授業科目名
兼担	講師	Matthew Barbee ＜平成27年4月＞	英語ﾗｲﾃｨﾝｸﾞⅠA 英語ﾗｲﾃｨﾝｸﾞⅠB 英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅠA 英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅠB 英語ﾘｰﾃﾞｨﾝｸﾞⅡA 英語ﾘｰﾃﾞｨﾝｸﾞⅡB 英語ﾗｲﾃｨﾝｸﾞⅡA 英語ﾗｲﾃｨﾝｸﾞⅡB 英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅡA 英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅡB
兼担	講師	Carmen Tamas ＜平成27年4月＞	英語ﾗｲﾃｨﾝｸﾞⅠA 英語ﾗｲﾃｨﾝｸﾞⅠB 英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅠA 英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅠB 英語ﾘｰﾃﾞｨﾝｸﾞⅡA 英語ﾘｰﾃﾞｨﾝｸﾞⅡB 英語ﾗｲﾃｨﾝｸﾞⅡA 英語ﾗｲﾃｨﾝｸﾞⅡB 英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅡA 英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅡB
兼担	講師	Daniel Parsons ＜平成27年4月＞	英語ﾗｲﾃｨﾝｸﾞⅠA 英語ﾗｲﾃｨﾝｸﾞⅠB 英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅠA 英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅠB 英語ﾘｰﾃﾞｨﾝｸﾞⅡA 英語ﾘｰﾃﾞｨﾝｸﾞⅡB 英語ﾗｲﾃｨﾝｸﾞⅡA 英語ﾗｲﾃｨﾝｸﾞⅡB 英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅡA 英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅡB
兼担	講師	Amy Johnson ＜平成27年4月＞	英語ﾗｲﾃｨﾝｸﾞⅠA 英語ﾗｲﾃｨﾝｸﾞⅠB 英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅠA 英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅠB 英語ﾘｰﾃﾞｨﾝｸﾞⅡA 英語ﾘｰﾃﾞｨﾝｸﾞⅡB 英語ﾗｲﾃｨﾝｸﾞⅡA 英語ﾗｲﾃｨﾝｸﾞⅡB 英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅡA 英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅡB
兼担	講師	Manuel Senna ＜平成27年4月＞	英語ﾗｲﾃｨﾝｸﾞⅠA 英語ﾗｲﾃｨﾝｸﾞⅠB 英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅠA 英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅠB 英語ﾘｰﾃﾞｨﾝｸﾞⅡA 英語ﾘｰﾃﾞｨﾝｸﾞⅡB 英語ﾗｲﾃｨﾝｸﾞⅡA 英語ﾗｲﾃｨﾝｸﾞⅡB 英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅡA 英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅡB
兼担	講師	Polly Tang ＜平成27年4月＞	英語ﾗｲﾃｨﾝｸﾞⅠA 英語ﾗｲﾃｨﾝｸﾞⅠB 英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅠA 英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅠB 英語ﾘｰﾃﾞｨﾝｸﾞⅡA 英語ﾘｰﾃﾞｨﾝｸﾞⅡB 英語ﾗｲﾃｨﾝｸﾞⅡA 英語ﾗｲﾃｨﾝｸﾞⅡB 英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅡA 英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅡB

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞	担当授業科目名
兼担	講師	Matthew Barbee ＜平成27年4月＞	**英語ﾘｰﾃﾞｨﾝｸﾞⅠA** **英語ﾘｰﾃﾞｨﾝｸﾞⅠB** 英語ﾗｲﾃｨﾝｸﾞⅡA 英語ﾗｲﾃｨﾝｸﾞⅡB 英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅡA 英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅡB
兼担	講師	Daniel Parsons ＜平成27年4月＞	英語ﾗｲﾃｨﾝｸﾞⅠA 英語ﾗｲﾃｨﾝｸﾞⅠB 英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅠA 英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅠB 英語ﾘｰﾃﾞｨﾝｸﾞⅡA 英語ﾘｰﾃﾞｨﾝｸﾞⅡB 英語ﾗｲﾃｨﾝｸﾞⅡA 英語ﾗｲﾃｨﾝｸﾞⅡB 英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅡA 英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅡB
兼担	講師	Manuel Senna ＜平成27年4月＞	英語ﾗｲﾃｨﾝｸﾞⅠA 英語ﾗｲﾃｨﾝｸﾞⅠB 英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅠA 英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅠB 英語ﾘｰﾃﾞｨﾝｸﾞⅡA 英語ﾘｰﾃﾞｨﾝｸﾞⅡB 英語ﾗｲﾃｨﾝｸﾞⅡA 英語ﾗｲﾃｨﾝｸﾞⅡB 英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅡA 英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅡB
兼担	講師	Polly Tang ＜平成27年4月＞	**英語ﾘｰﾃﾞｨﾝｸﾞⅠA** **英語ﾘｰﾃﾞｨﾝｸﾞⅠB** 英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅠA 英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅠB 英語ﾗｲﾃｨﾝｸﾞⅡA 英語ﾗｲﾃｨﾝｸﾞⅡB 英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅡA 英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅡB

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞	担当授業科目名
兼担	講師	Matthew Barbee ＜平成27年4月＞	英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅠA 英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅠB 英語ﾗｲﾃｨﾝｸﾞⅠA 英語ﾗｲﾃｨﾝｸﾞⅠB 英語ﾗｲﾃｨﾝｸﾞⅡA 英語ﾗｲﾃｨﾝｸﾞⅡB 英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅡA 英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅡB **千刈集中英語実習**
兼担	講師	Daniel Parsons ＜平成27年4月＞	英語ﾗｲﾃｨﾝｸﾞⅠA 英語ﾗｲﾃｨﾝｸﾞⅠB 英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅠA 英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅠB 英語ﾘｰﾃﾞｨﾝｸﾞⅡA 英語ﾘｰﾃﾞｨﾝｸﾞⅡB 英語ﾗｲﾃｨﾝｸﾞⅡA 英語ﾗｲﾃｨﾝｸﾞⅡB 英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅡA 英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅡB
兼担	講師	Manuel Senna ＜平成27年4月＞	英語ﾗｲﾃｨﾝｸﾞⅠA 英語ﾗｲﾃｨﾝｸﾞⅠB 英語ﾘｰﾃﾞｨﾝｸﾞⅡA 英語ﾘｰﾃﾞｨﾝｸﾞⅡB 英語ﾗｲﾃｨﾝｸﾞⅡA 英語ﾗｲﾃｨﾝｸﾞⅡB
兼担	講師	Polly Tang ＜平成27年4月＞	英語ﾗｲﾃｨﾝｸﾞⅠA 英語ﾗｲﾃｨﾝｸﾞⅠB 英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅠA 英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅠB 英語ﾗｲﾃｨﾝｸﾞⅡA 英語ﾗｲﾃｨﾝｸﾞⅡB 英語ﾘｰﾃﾞｨﾝｸﾞⅡA 英語ﾘｰﾃﾞｨﾝｸﾞⅡB

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞	担当授業科目名

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞	担当授業科目名
兼担	講師	Robert Stroud ＜平成27年4月＞	英語ﾗｲﾃｨﾝｸﾞⅠA 英語ﾗｲﾃｨﾝｸﾞⅠB 英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅠA 英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅠB 英語ﾘｰﾃﾞｨﾝｸﾞⅡA 英語ﾘｰﾃﾞｨﾝｸﾞⅡB 英語ﾗｲﾃｨﾝｸﾞⅡA 英語ﾗｲﾃｨﾝｸﾞⅡB 英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅡA 英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅡB
兼担	講師	Regan Thomson ＜平成27年4月＞	英語ﾗｲﾃｨﾝｸﾞⅠA 英語ﾗｲﾃｨﾝｸﾞⅠB 英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅠA 英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅠB 英語ﾘｰﾃﾞｨﾝｸﾞⅡA 英語ﾘｰﾃﾞｨﾝｸﾞⅡB 英語ﾗｲﾃｨﾝｸﾞⅡA 英語ﾗｲﾃｨﾝｸﾞⅡB 英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅡA 英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅡB

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞	担当授業科目名
兼担	講師	Robert Stroud ＜平成27年4月＞	英語ﾗｲﾃｨﾝｸﾞⅠA 英語ﾗｲﾃｨﾝｸﾞⅠB 英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅠA 英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅠB 英語ﾘｰﾃﾞｨﾝｸﾞⅡA 英語ﾘｰﾃﾞｨﾝｸﾞⅡB 英語ﾗｲﾃｨﾝｸﾞⅡA 英語ﾗｲﾃｨﾝｸﾞⅡB 英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅡA 英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅡB
兼担	講師	Regan Thomson ＜平成27年4月＞	英語ﾗｲﾃｨﾝｸﾞⅠA 英語ﾗｲﾃｨﾝｸﾞⅠB 英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅠA 英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅠB 英語ﾘｰﾃﾞｨﾝｸﾞⅡA 英語ﾘｰﾃﾞｨﾝｸﾞⅡB 英語ﾗｲﾃｨﾝｸﾞⅡA 英語ﾗｲﾃｨﾝｸﾞⅡB 英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅡA 英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅡB
兼担	講師	Evan Cacali ＜平成27年4月＞	英語ﾗｲﾃｨﾝｸﾞⅠA 英語ﾗｲﾃｨﾝｸﾞⅠB 英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅠA 英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅠB 英語ﾘｰﾃﾞｨﾝｸﾞⅡA 英語ﾘｰﾃﾞｨﾝｸﾞⅡB 英語ﾗｲﾃｨﾝｸﾞⅡA 英語ﾗｲﾃｨﾝｸﾞⅡB 英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅡA 英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅡB
兼担	講師	Mario Perez ＜平成27年4月＞	英語ﾗｲﾃｨﾝｸﾞⅠA 英語ﾗｲﾃｨﾝｸﾞⅠB 英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅠA 英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅠB
兼担	講師	Willam Marcus ＜平成27年4月＞	英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅠA 英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅠB 英語ﾘｰﾃﾞｨﾝｸﾞⅠA 英語ﾘｰﾃﾞｨﾝｸﾞⅠB 英語ﾘｰﾃﾞｨﾝｸﾞⅡA 英語ﾘｰﾃﾞｨﾝｸﾞⅡB 英語ﾗｲﾃｨﾝｸﾞⅡA 英語ﾗｲﾃｨﾝｸﾞⅡB 英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅡA 英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅡB

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞	担当授業科目名
兼担	講師	Regan Thomson ＜平成27年4月＞	英語ﾗｲﾃｨﾝｸﾞⅠA 英語ﾗｲﾃｨﾝｸﾞⅠB 英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅠA 英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅠB 英語ﾘｰﾃﾞｨﾝｸﾞⅡA 英語ﾘｰﾃﾞｨﾝｸﾞⅡB 英語ﾗｲﾃｨﾝｸﾞⅡA 英語ﾗｲﾃｨﾝｸﾞⅡB
兼担	講師	Evan Cacali ＜平成27年4月＞	英語ﾗｲﾃｨﾝｸﾞⅠA 英語ﾗｲﾃｨﾝｸﾞⅠB 英語ﾘｰﾃﾞｨﾝｸﾞⅡA 英語ﾘｰﾃﾞｨﾝｸﾞⅡB 英語ﾗｲﾃｨﾝｸﾞⅡA 英語ﾗｲﾃｨﾝｸﾞⅡB 英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅡA 英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅡB
兼担	講師	Mario Perez ＜平成27年4月＞	英語ﾗｲﾃｨﾝｸﾞⅠA 英語ﾗｲﾃｨﾝｸﾞⅠB 英語ﾘｰﾃﾞｨﾝｸﾞⅡA 英語ﾘｰﾃﾞｨﾝｸﾞⅡB 英語ﾗｲﾃｨﾝｸﾞⅡA 英語ﾗｲﾃｨﾝｸﾞⅡB 英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅡA 英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅡB
兼担	講師	Willam Marcus ＜平成27年4月＞	英語ﾘｰﾃﾞｨﾝｸﾞⅠA 英語ﾘｰﾃﾞｨﾝｸﾞⅠB 英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅠA 英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅠB 英語ﾘｰﾃﾞｨﾝｸﾞⅡA 英語ﾘｰﾃﾞｨﾝｸﾞⅡB 英語ﾗｲﾃｨﾝｸﾞⅡA 英語ﾗｲﾃｨﾝｸﾞⅡB 英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅡA 英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅡB

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞	担当授業科目名
兼担	講師	Evan Cacali ＜平成27年4月＞	英語ﾗｲﾃｨﾝｸﾞⅠA 英語ﾗｲﾃｨﾝｸﾞⅠB 英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅠA 英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅠB 英語ﾘｰﾃﾞｨﾝｸﾞⅡA 英語ﾘｰﾃﾞｨﾝｸﾞⅡB 英語ﾗｲﾃｨﾝｸﾞⅡA 英語ﾗｲﾃｨﾝｸﾞⅡB 千刈集中英語実習
兼担	講師	Mario Perez ＜平成27年4月＞	英語ﾗｲﾃｨﾝｸﾞⅠA 英語ﾗｲﾃｨﾝｸﾞⅠB 英語ﾘｰﾃﾞｨﾝｸﾞⅡA 英語ﾘｰﾃﾞｨﾝｸﾞⅡB 英語ﾗｲﾃｨﾝｸﾞⅡA 英語ﾗｲﾃｨﾝｸﾞⅡB 英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅡA 英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅡB 千刈集中英語実習
兼担	講師	Willam Marcus ＜平成27年4月＞	英語ﾗｲﾃｨﾝｸﾞⅠA 英語ﾗｲﾃｨﾝｸﾞⅠB 英語ﾗｲﾃｨﾝｸﾞⅡA 英語ﾗｲﾃｨﾝｸﾞⅡB 英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅡA 英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅡB

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞	担当授業科目名
兼担	講師	Evan Cacali ＜平成27年4月＞	英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅠA 英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅠB 英語ﾗｲﾃｨﾝｸﾞⅠA 英語ﾗｲﾃｨﾝｸﾞⅠB 英語ﾘｰﾃﾞｨﾝｸﾞⅡA 英語ﾘｰﾃﾞｨﾝｸﾞⅡB 英語ﾗｲﾃｨﾝｸﾞⅡA 英語ﾗｲﾃｨﾝｸﾞⅡB 千刈集中英語実習
兼担	講師	Mario Perez ＜平成27年4月＞	英語ﾗｲﾃｨﾝｸﾞⅠA 英語ﾗｲﾃｨﾝｸﾞⅠB 英語ﾘｰﾃﾞｨﾝｸﾞⅡA 英語ﾘｰﾃﾞｨﾝｸﾞⅡB 英語ﾗｲﾃｨﾝｸﾞⅡA 英語ﾗｲﾃｨﾝｸﾞⅡB 英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅡA 英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅡB 科学技術英語A 科学技術英語B 千刈集中英語実習
兼担	講師	Willam Marcus ＜平成27年4月＞	英語ﾗｲﾃｨﾝｸﾞⅠA 英語ﾗｲﾃｨﾝｸﾞⅠB 英語ﾗｲﾃｨﾝｸﾞⅡA 英語ﾗｲﾃｨﾝｸﾞⅡB 英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅡA 英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅡB

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞	担当授業科目名

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞	担当授業科目名
兼担	講師	Audrey Moreno ＜平成27年4月＞	英語ﾗｲﾃｨﾝｸﾞⅠA 英語ﾗｲﾃｨﾝｸﾞⅠB 英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅠA 英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅠB 英語ﾘｰﾃﾞｨﾝｸﾞⅡA 英語ﾘｰﾃﾞｨﾝｸﾞⅡB 英語ﾗｲﾃｨﾝｸﾞⅡA 英語ﾗｲﾃｨﾝｸﾞⅡB 英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅡA 英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅡB
兼担	講師	Dormer Geoffrey ＜平成27年4月＞	英語ﾗｲﾃｨﾝｸﾞⅠA 英語ﾗｲﾃｨﾝｸﾞⅠB 英語ﾘｰﾃﾞｨﾝｸﾞⅠA 英語ﾘｰﾃﾞｨﾝｸﾞⅠB 英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅠA 英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅠB

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞	担当授業科目名
兼担	講師	Audrey Moreno ＜平成27年4月＞	英語ﾗｲﾃｨﾝｸﾞⅠA 英語ﾗｲﾃｨﾝｸﾞⅠB 英語ﾗｲﾃｨﾝｸﾞⅡA 英語ﾗｲﾃｨﾝｸﾞⅡB 英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅡA 英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅡB
兼担	講師	Dormer Geoffrey ＜平成27年4月＞	英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅠA 英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅠB 英語ﾗｲﾃｨﾝｸﾞⅡA 英語ﾗｲﾃｨﾝｸﾞⅡB 英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅡA 英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅡB
兼担	講師	Erik Fritz ＜平成28年4月＞	英語ﾗｲﾃｨﾝｸﾞⅠA 英語ﾗｲﾃｨﾝｸﾞⅠB 英語ﾘｰﾃﾞｨﾝｸﾞⅡA 英語ﾘｰﾃﾞｨﾝｸﾞⅡB 英語ﾗｲﾃｨﾝｸﾞⅡA 英語ﾗｲﾃｨﾝｸﾞⅡB 英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅡA 英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅡB
兼担	講師	Katie Deng ＜平成28年4月＞	英語ﾗｲﾃｨﾝｸﾞⅠA 英語ﾗｲﾃｨﾝｸﾞⅠB 英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅠA 英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅠB 英語ﾗｲﾃｨﾝｸﾞⅡA 英語ﾗｲﾃｨﾝｸﾞⅡB
兼担	講師	Kevin Bartlett ＜平成28年4月＞	英語ﾗｲﾃｨﾝｸﾞⅠA 英語ﾗｲﾃｨﾝｸﾞⅠB 英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅠA 英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅠB 英語ﾘｰﾃﾞｨﾝｸﾞⅡA 英語ﾘｰﾃﾞｨﾝｸﾞⅡB 英語ﾗｲﾃｨﾝｸﾞⅡA 英語ﾗｲﾃｨﾝｸﾞⅡB

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞	担当授業科目名
兼担	講師	Dormer Geoffrey ＜平成27年4月＞	英語ﾗｲﾃｨﾝｸﾞⅠA 英語ﾗｲﾃｨﾝｸﾞⅠB 英語ﾘｰﾃﾞｨﾝｸﾞⅡA 英語ﾘｰﾃﾞｨﾝｸﾞⅡB 英語ﾗｲﾃｨﾝｸﾞⅡA 英語ﾗｲﾃｨﾝｸﾞⅡB 英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅡA 英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅡB 科学技術英語A 科学技術英語B 千刈集中英語実習
兼担	講師	Erik Fritz ＜平成28年4月＞	英語ﾗｲﾃｨﾝｸﾞⅠA 英語ﾗｲﾃｨﾝｸﾞⅠB 英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅠA 英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅠB 英語ﾘｰﾃﾞｨﾝｸﾞⅡA 英語ﾘｰﾃﾞｨﾝｸﾞⅡB 英語ﾗｲﾃｨﾝｸﾞⅡA 英語ﾗｲﾃｨﾝｸﾞⅡB 千刈集中英語実習
兼担	講師	Katie Deng ＜平成28年4月＞	英語ﾗｲﾃｨﾝｸﾞⅠA 英語ﾗｲﾃｨﾝｸﾞⅠB 英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅠA 英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅠB 英語ﾘｰﾃﾞｨﾝｸﾞⅡA 英語ﾘｰﾃﾞｨﾝｸﾞⅡB 英語ﾗｲﾃｨﾝｸﾞⅡA 英語ﾗｲﾃｨﾝｸﾞⅡB
兼担	講師	Kevin Bartlett ＜平成28年4月＞	英語ﾗｲﾃｨﾝｸﾞⅠA 英語ﾗｲﾃｨﾝｸﾞⅠB 英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅠA 英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅠB 英語ﾘｰﾃﾞｨﾝｸﾞⅡA 英語ﾘｰﾃﾞｨﾝｸﾞⅡB 英語ﾗｲﾃｨﾝｸﾞⅡA 英語ﾗｲﾃｨﾝｸﾞⅡB 千刈集中英語実習

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞	担当授業科目名
兼担	講師	Erik Fritz ＜平成28年4月＞	英語ﾗｲﾃｨﾝｸﾞⅠA 英語ﾗｲﾃｨﾝｸﾞⅠB 英語ﾘｰﾃﾞｨﾝｸﾞⅡA 英語ﾘｰﾃﾞｨﾝｸﾞⅡB 英語ﾗｲﾃｨﾝｸﾞⅡA 英語ﾗｲﾃｨﾝｸﾞⅡB 英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅡA 英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅡB
兼担	講師	Kevin Bartlett ＜平成28年4月＞	英語ﾗｲﾃｨﾝｸﾞⅠA 英語ﾗｲﾃｨﾝｸﾞⅠB 英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅠA 英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅠB 英語ﾘｰﾃﾞｨﾝｸﾞⅡA 英語ﾘｰﾃﾞｨﾝｸﾞⅡB 英語ﾗｲﾃｨﾝｸﾞⅡA 英語ﾗｲﾃｨﾝｸﾞⅡB 科学技術英語A 科学技術英語B 千刈集中英語実習

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞	担当授業科目名

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞	担当授業科目名

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞	担当授業科目名

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞	担当授業科目名
兼担	講師	Troy Rubesch ＜平成29年4月＞	英語ﾗｲﾃｨﾝｸﾞⅠA 英語ﾗｲﾃｨﾝｸﾞⅠB 英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅠA 英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅠB 英語ﾘｰﾃﾞｨﾝｸﾞⅡA 英語ﾘｰﾃﾞｨﾝｸﾞⅡB 英語ﾗｲﾃｨﾝｸﾞⅡA 英語ﾗｲﾃｨﾝｸﾞⅡB 千刈集中英語実習
兼担	講師	Laura Huston ＜平成29年4月＞	英語ﾗｲﾃｨﾝｸﾞⅠA 英語ﾗｲﾃｨﾝｸﾞⅠB 英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅠA 英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅠB 英語ﾗｲﾃｨﾝｸﾞⅡA 英語ﾗｲﾃｨﾝｸﾞⅡB 英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅡA 英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅡB
兼担	講師	Jason Henwood ＜平成29年4月＞	英語ﾗｲﾃｨﾝｸﾞⅠA 英語ﾗｲﾃｨﾝｸﾞⅠB 英語ﾗｲﾃｨﾝｸﾞⅡA 英語ﾗｲﾃｨﾝｸﾞⅡB 英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅡA 英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅡB 千刈集中英語実習
兼担	講師	Kym Jolley ＜平成29年4月＞	英語ﾗｲﾃｨﾝｸﾞⅠA 英語ﾗｲﾃｨﾝｸﾞⅠB 英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅠA 英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅠB 英語ﾗｲﾃｨﾝｸﾞⅡA 英語ﾗｲﾃｨﾝｸﾞⅡB 英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅡA 英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅡB 千刈集中英語実習
兼担	講師	Shalvin Singh ＜平成29年4月＞	英語ﾗｲﾃｨﾝｸﾞⅠA 英語ﾗｲﾃｨﾝｸﾞⅠB 英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅠA 英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅠB 英語ﾗｲﾃｨﾝｸﾞⅡA 英語ﾗｲﾃｨﾝｸﾞⅡB 千刈集中英語実習

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞	担当授業科目名
兼担	講師	Troy Rubesch ＜平成29年4月＞	英語ﾗｲﾃｨﾝｸﾞⅠA 英語ﾗｲﾃｨﾝｸﾞⅠB 英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅠA 英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅠB 英語ﾗｲﾃｨﾝｸﾞⅡA 英語ﾗｲﾃｨﾝｸﾞⅡB 千刈集中英語実習
兼担	講師	Laura Huston ＜平成29年4月＞	英語ﾗｲﾃｨﾝｸﾞⅠA 英語ﾗｲﾃｨﾝｸﾞⅠB 英語ﾗｲﾃｨﾝｸﾞⅡA 英語ﾗｲﾃｨﾝｸﾞⅡB 英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅡA 英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅡB 千刈集中英語実習
兼担	講師	Jason Henwood ＜平成29年4月＞	英語ﾗｲﾃｨﾝｸﾞⅠA 英語ﾗｲﾃｨﾝｸﾞⅠB 英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅠA 英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅠB 英語ﾘｰﾃﾞｨﾝｸﾞⅡA 英語ﾘｰﾃﾞｨﾝｸﾞⅡB 英語ﾗｲﾃｨﾝｸﾞⅡA 英語ﾗｲﾃｨﾝｸﾞⅡB 千刈集中英語実習
兼担	講師	Kym Jolley ＜平成29年4月＞	英語ﾗｲﾃｨﾝｸﾞⅠA 英語ﾗｲﾃｨﾝｸﾞⅠB 英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅠA 英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅠB 英語ﾘｰﾃﾞｨﾝｸﾞⅡA 英語ﾘｰﾃﾞｨﾝｸﾞⅡB 英語ﾗｲﾃｨﾝｸﾞⅡA 英語ﾗｲﾃｨﾝｸﾞⅡB
兼担	講師	Shalvin Singh ＜平成29年4月＞	英語ﾗｲﾃｨﾝｸﾞⅠA 英語ﾗｲﾃｨﾝｸﾞⅠB 英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅠA 英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅠB 英語ﾗｲﾃｨﾝｸﾞⅡA 英語ﾗｲﾃｨﾝｸﾞⅡB 英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅡA 英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅡB

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞	担当授業科目名
兼担	助教	藤原　正澄 ＜平成27年4月＞	基礎化学実験Ⅰ
兼担	助教	當麻　真奈 ＜平成27年4月＞	基礎化学実験Ⅰ
兼担	助教	岩井　貴弘 ＜平成27年4月＞	基礎化学実験Ⅰ
兼担	助教	北村　圭 ＜平成27年4月＞	基礎化学実験Ⅰ
兼担	助教	三橋　了爾 ＜平成27年4月＞	基礎化学実験Ⅰ
兼担	助教	赤井　勇斗 ＜平成27年4月＞	基礎化学実験Ⅰ
兼担	助教	桑原　圭裕 ＜平成27年9月＞	芸術と技術

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞	担当授業科目名
兼担	助教	藤原　正澄 ＜平成27年4月＞	基礎化学実験Ⅰ
兼担	助教	當麻　真奈 ＜平成27年4月＞	基礎化学実験Ⅰ
兼担	助教	岩井　貴弘 ＜平成27年4月＞	基礎化学実験Ⅰ
兼担	助教	北村　圭 ＜平成27年4月＞	基礎化学実験Ⅰ
兼担	助教	三橋　了爾 ＜平成27年4月＞	基礎化学実験Ⅰ
兼担	助教	赤井　勇斗 ＜平成27年4月＞	基礎化学実験Ⅰ
兼担	助教	桑原　圭裕 ＜平成27年9月＞	芸術と技術

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞	担当授業科目名
兼担	助教	藤原　正澄 ＜平成27年4月＞	基礎化学実験Ⅰ
兼担	助教	當麻　真奈 ＜平成27年4月＞	基礎化学実験Ⅰ
兼担	助教	岩井　貴弘 ＜平成27年4月＞	基礎化学実験Ⅰ
兼担	助教	北村　圭 ＜平成27年4月＞	基礎化学実験Ⅰ
兼担	助教	三橋　了爾 ＜平成27年4月＞	基礎化学実験Ⅰ
兼担	助教	赤井　勇斗 ＜平成27年4月＞	基礎化学実験Ⅰ

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞	担当授業科目名
兼担	助教	當麻　真奈 ＜平成27年4月＞	基礎化学実験Ⅰ
兼担	助教	岩井　貴弘 ＜平成27年4月＞	基礎化学実験Ⅰ
兼担	助教	北村　圭 ＜平成27年4月＞	基礎化学実験Ⅰ
兼担	助教	三橋　了爾 ＜平成27年4月＞	基礎化学実験Ⅰ

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞	担当授業科目名
兼担	講師	Michael Collins ＜平成30年4月＞	英語ﾗｲﾃｨﾝｸﾞⅠA 英語ﾗｲﾃｨﾝｸﾞⅠB 英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅠA 英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅠB 英語ﾘｰﾃﾞｨﾝｸﾞⅡA 英語ﾘｰﾃﾞｨﾝｸﾞⅡB 英語ﾗｲﾃｨﾝｸﾞⅡA 英語ﾗｲﾃｨﾝｸﾞⅡB 千刈集中英語実習
兼担	講師	Chad Cottam ＜平成30年4月＞	英語ﾗｲﾃｨﾝｸﾞⅠA 英語ﾗｲﾃｨﾝｸﾞⅠB 英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅠA 英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅠB 英語ﾗｲﾃｨﾝｸﾞⅡA 英語ﾗｲﾃｨﾝｸﾞⅡB 英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅡA 英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅡB 千刈集中英語実習
兼担	講師	Imogen Custance ＜平成30年4月＞	英語ﾗｲﾃｨﾝｸﾞⅠA 英語ﾗｲﾃｨﾝｸﾞⅠB 英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅠA 英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅠB 英語ﾗｲﾃｨﾝｸﾞⅡA 英語ﾗｲﾃｨﾝｸﾞⅡB 英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅡA 英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅡB 千刈集中英語実習
兼担	助教	當麻　真奈 ＜平成27年4月＞	基礎化学実験Ⅰ
兼担	助教	岩井　貴弘 ＜平成27年4月＞	基礎化学実験Ⅰ
兼担	助教	北村　圭 ＜平成27年4月＞	基礎化学実験Ⅰ
兼担	助教	三橋　了爾 ＜平成27年4月＞	基礎化学実験Ⅰ

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞	担当授業科目名
兼任	講師	桑野　幸徳 ＜平成30年4月＞	先進エネルギーナノ工学詳論
兼任	講師	北澤　宏一 ＜平成30年4月＞	先進エネルギーナノ工学詳論
兼任	講師	城　健男 ＜平成27年4月＞	基礎物理学Ａ
兼任	講師	鈴木　信太郎 ＜平成29年4月＞	組織学
兼任	講師	矢倉　達夫 ＜平成29年4月＞	分子遺伝学 分子細胞生物学
兼任	講師	巌佐　庸 ＜平成27年4月＞	プログラミング演習 数理生物学 データ科学演習 生態システム学 臨海実験
兼任	講師	町田　敏生 ＜平成30年4月＞	先進エネルギーナノ工学詳論
兼任	講師	田中　泉 ＜平成27年9月＞	基礎物理学Ｂ
兼任	講師	井上　尚之 ＜平成27年4月＞	自然科学史
兼任	講師	谷　恭子 ＜平成27年4月＞	フランス語読解Ⅰ フランス語読解Ⅱ
兼任	講師	副島　猛 ＜平成27年4月＞	哲学 論理学
兼任	講師	阪口　勝弘 ＜平成27年4月＞	フランス語文法Ⅰ フランス語文法Ⅱ
兼任	講師	北口　勝也 ＜平成27年4月＞	心理学

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞	担当授業科目名
兼任	講師	桑野　幸徳 ＜平成30年4月＞	先進エネルギーナノ工学詳論
兼任	講師	北澤　宏一 ＜平成30年4月＞	先進エネルギーナノ工学詳論
兼任	講師	城　健男 ＜平成27年4月＞	基礎物理学Ａ
兼任	講師	鈴木　信太郎 ＜平成29年4月＞	組織学
兼任	講師	矢倉　達夫 ＜平成29年4月＞	分子遺伝学 分子細胞生物学
兼任	講師	巌佐　庸 ＜平成27年4月＞	数理生物学 データ科学演習 生態システム学
兼任	講師	町田　敏生 ＜平成30年4月＞	先進エネルギーナノ工学詳論
兼任	講師	田中　泉 ＜平成27年9月＞	基礎物理学Ｂ
兼任	講師	井上　尚之 ＜平成27年4月＞	自然科学史
兼任	講師	谷　恭子 ＜平成27年4月＞	フランス語読解Ⅰ フランス語読解Ⅱ
兼任	講師	副島　猛 ＜平成27年4月＞	哲学 論理学
兼任	講師	阪口　勝弘 ＜平成27年4月＞	フランス語文法Ⅰ フランス語文法Ⅱ
兼任	講師	北口　勝也 ＜平成27年4月＞	心理学

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞	担当授業科目名
兼任	講師	桑野　幸徳 ＜平成30年4月＞	先進エネルギーナノ工学詳論
兼任	講師	北澤　宏一 ＜平成30年4月＞	先進エネルギーナノ工学詳論
兼任	講師	城　健男 ＜平成27年4月＞	基礎物理学Ａ
兼任	講師	鈴木　信太郎 ＜平成29年4月＞	組織学
兼任	講師	矢倉　達夫 ＜平成29年4月＞	分子遺伝学 分子細胞生物学
兼任	講師	巌佐　庸 ＜平成27年4月＞	数理生物学 生態システム学
兼任	講師	町田　敏生 ＜平成30年4月＞	先進エネルギーナノ工学詳論
兼任	講師	田中　泉 ＜平成27年9月＞	基礎物理学Ｂ
兼任	講師	井上　尚之 ＜平成27年4月＞	自然科学史
兼任	講師	谷　恭子 ＜平成27年4月＞	フランス語読解Ⅰ フランス語読解Ⅱ
兼任	講師	副島　猛 ＜平成27年4月＞	哲学 論理学
兼任	講師	阪口　勝弘 ＜平成27年4月＞	フランス語文法Ⅰ フランス語文法Ⅱ
兼任	講師	北口　勝也 ＜平成27年4月＞	心理学

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞	担当授業科目名
兼担	助教	Bibin Bintang Andriana ＜平成29年4月＞	基礎医化学実験Ⅰ 基礎医化学実験Ⅱ
兼担	助教	山口　きらら ＜平成29年4月＞	基礎化学実験Ⅰ
兼担	助教	山内　光陽 ＜平成29年4月＞	基礎化学実験Ⅰ
兼任	講師	桑野　幸徳 ＜平成30年4月＞	先進エネルギーナノ工学詳論
兼任	講師	北澤　宏一 ＜平成30年4月＞	先進エネルギーナノ工学詳論
兼任	講師	城　健男 ＜平成27年4月＞	基礎物理学Ａ
兼任	講師	鈴木　信太郎 ＜平成29年4月＞	組織学
兼任	講師	矢倉　達夫 ＜平成29年4月＞	分子遺伝学 分子細胞生物学
兼任	講師	巌佐　庸 ＜平成27年4月＞	数理生物学 生態システム学
兼任	講師	町田　敏生 ＜平成30年4月＞	先進エネルギーナノ工学詳論
兼任	講師	田中　泉 ＜平成27年9月＞	基礎物理学Ｂ
兼任	講師	井上　尚之 ＜平成27年4月＞	自然科学史
兼任	講師	谷　恭子 ＜平成27年4月＞	フランス語読解Ⅰ フランス語読解Ⅱ
兼任	講師	副島　猛 ＜平成27年4月＞	哲学 論理学
兼任	講師	阪口　勝弘 ＜平成27年4月＞	フランス語文法Ⅰ フランス語文法Ⅱ
兼任	講師	北口　勝也 ＜平成27年4月＞	心理学

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞	担当授業科目名
兼担	助教	Bibin Bintang Andriana ＜平成29年4月＞	基礎医化学実験Ⅰ 基礎医化学実験Ⅱ
兼担	助教	山口　きらら ＜平成29年4月＞	基礎化学実験Ⅰ
兼担	助教	山内　光陽 ＜平成29年4月＞	基礎化学実験Ⅰ
兼任	講師	城　健男 ＜平成27年4月＞	基礎物理学Ａ
兼任	講師	鈴木　信太郎 ＜平成29年4月＞	組織学
兼任	講師	矢倉　達夫 ＜平成29年4月＞	分子遺伝学 分子細胞生物学
兼任	講師	巌佐　庸 ＜平成27年4月＞	数理生物学 データ科学演習 臨海実験
兼任	講師	田中　泉 ＜平成27年9月＞	基礎物理学Ｂ
兼任	講師	井上　尚之 ＜平成27年4月＞	自然科学史
兼任	講師	谷　恭子 ＜平成27年4月＞	フランス語読解Ⅰ フランス語読解Ⅱ
兼任	講師	副島　猛 ＜平成27年4月＞	哲学 論理学
兼任	講師	阪口　勝弘 ＜平成27年4月＞	フランス語文法Ⅰ フランス語文法Ⅱ
兼任	講師	北口　勝也 ＜平成27年4月＞	心理学

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞	担当授業科目名
兼任	講師	藤戸　麻理 ＜平成27年4月＞	ドイツ語読解Ⅰ ドイツ語読解Ⅱ
兼任	講師	平田　誠一郎 ＜平成27年9月＞	社会学
兼任	講師	谷村　要 ＜平成27年4月＞	サイバー社会入門
兼任	講師	村上 亮 ＜平成27年9月＞	西洋史
兼任	講師	中窪　啓介 ＜平成27年4月＞	地誌学

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞	担当授業科目名
兼任	講師	藤戸　麻理 ＜平成27年4月＞	ドイツ語読解Ⅰ ドイツ語読解Ⅱ
兼任	講師	村上 亮 ＜平成27年9月＞	西洋史
兼任	講師	中窪　啓介 ＜平成27年4月＞	地誌学
兼任	講師	内田　紘臣 ＜平成27年4月＞	臨海実験
兼任	講師	木下　泉 ＜平成27年4月＞	臨海実験
兼任	講師	大和　茂之 ＜平成27年4月＞	臨海実験
兼任	講師	齋藤　知己 ＜平成27年4月＞	臨海実験
兼任	講師	平岡　雅規 ＜平成27年4月＞	臨海実験
兼任	講師	風井　浩志 ＜平成27年4月＞	コンピュータ演習Ａ
兼任	講師	内田　啓太郎 ＜平成27年4月＞	サイバー社会入門
兼任	講師	宮田　玲 ＜平成27年4月＞	ドイツ語文法Ⅰ ドイツ語文法Ⅱ
兼任	講師	尾添　侑太 ＜平成27年4月＞	社会学
兼任	講師	藤田　明史 ＜平成27年4月＞	芸術と技術

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞	担当授業科目名
兼任	講師	藤戸　麻理 ＜平成27年4月＞	ドイツ語読解Ⅰ ドイツ語読解Ⅱ
兼任	講師	村上 亮 ＜平成27年9月＞	西洋史
兼任	講師	内田　紘臣 ＜平成27年4月＞	臨海実験
兼任	講師	木下　泉 ＜平成27年4月＞	臨海実験
兼任	講師	大和　茂之 ＜平成27年4月＞	臨海実験
兼任	講師	齋藤　知己 ＜平成27年4月＞	臨海実験
兼任	講師	平岡　雅規 ＜平成27年4月＞	臨海実験
兼任	講師	風井　浩志 ＜平成27年4月＞	コンピュータ演習Ａ
兼任	講師	内田　啓太郎 ＜平成27年4月＞	サイバー社会入門
兼任	講師	宮田　玲 ＜平成27年4月＞	ドイツ語文法Ⅰ ドイツ語文法Ⅱ
兼任	講師	尾添　侑太 ＜平成27年4月＞	社会学
兼任	講師	藤田　明史 ＜平成27年4月＞	芸術と技術
兼任	講師	海老原　由貴 ＜平成28年4月＞	英語ﾘｰﾃﾞｨﾝｸﾞⅠＡ 英語ﾘｰﾃﾞｨﾝｸﾞⅠＢ
兼任	講師	益田 玲爾 ＜平成28年4月＞	臨海実験

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞	担当授業科目名
兼任	講師	藤戸　麻理 ＜平成27年4月＞	ドイツ語読解Ⅰ ドイツ語読解Ⅱ
兼任	講師	村上 亮 ＜平成27年9月＞	西洋史
兼任	講師	内田　紘臣 ＜平成27年4月＞	臨海実験
兼任	講師	木下　泉 ＜平成27年4月＞	臨海実験
兼任	講師	大和　茂之 ＜平成27年4月＞	臨海実験
兼任	講師	齋藤　知己 ＜平成27年4月＞	臨海実験
兼任	講師	平岡　雅規 ＜平成27年4月＞	臨海実験
兼任	講師	内田　啓太郎 ＜平成27年4月＞	サイバー社会入門
兼任	講師	宮田　玲 ＜平成27年4月＞	ドイツ語文法Ⅰ ドイツ語文法Ⅱ
兼任	講師	尾添　侑太 ＜平成27年4月＞	社会学
兼任	講師	藤田　明史 ＜平成27年4月＞	芸術と技術
兼任	講師	海老原　由貴 ＜平成28年4月＞	英語ﾘｰﾃﾞｨﾝｸﾞⅠＡ 英語ﾘｰﾃﾞｨﾝｸﾞⅠＢ
兼任	講師	益田 玲爾 ＜平成28年4月＞	臨海実験

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞	担当授業科目名
兼任	講師	藤戸　麻理 ＜平成27年4月＞	ドイツ語読解Ⅰ ドイツ語読解Ⅱ
兼任	講師	内田　紘臣 ＜平成27年4月＞	臨海実験
兼任	講師	木下　泉 ＜平成27年4月＞	臨海実験
兼任	講師	大和　茂之 ＜平成27年4月＞	臨海実験
兼任	講師	齋藤　知己 ＜平成27年4月＞	臨海実験
兼任	講師	平岡　雅規 ＜平成27年4月＞	臨海実験
兼任	講師	風井　浩志 ＜平成27年4月＞	コンピュータ演習Ａ
兼任	講師	内田　啓太郎 ＜平成27年4月＞	サイバー社会入門
兼任	講師	宮田　玲 ＜平成27年4月＞	ドイツ語文法Ⅰ ドイツ語文法Ⅱ
兼任	講師	尾添　侑太 ＜平成27年4月＞	社会学
兼任	講師	藤田　明史 ＜平成27年4月＞	芸術と技術
兼任	講師	海老原　由貴 ＜平成28年4月＞	英語ﾘｰﾃﾞｨﾝｸﾞⅠＡ 英語ﾘｰﾃﾞｨﾝｸﾞⅠＢ
兼任	講師	益田 玲爾 ＜平成28年4月＞	臨海実験

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞	担当授業科目名

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞	専任・兼担・兼任の別	職名	氏　　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞	専任・兼担・兼任の別	職名	氏　　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞	専任・兼担・兼任の別	職名	氏　　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞	専任・兼担・兼任の別	職名	氏　　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
												兼任	講師	岡本 託 ＜平成30年4月＞
														西洋史
												兼任	講師	山崎　陽一 ＜平成30年4月＞
														コンピュータ演習Ａ

（注）・　申請書又は届出書の様式第３号（その２の１）に準じて作成してください。
・　設置認可時又は届出時の教員全て（兼任，兼担教員を含む。）を黒字で記入してください。
その上で，**認可時又は届出時から変更となっている箇所は太字の赤字としてください。**
・　年齢は，**それぞれの年度の５月１日時点の満年齢**を記入してください。
・　専任、兼担、兼任の順に記入してください。
・　不要な年度（平成２８年度開設であれば平成２７年度、平成２９年度開設であれば平成２７年度及び平成２８年度、平成３０年度開設であれば平成２７年度から平成２９年度）の表は適宜削除し，詰めてください。

（１）ー②担当教員表に関する変更内容

【平成２７年度】

・長谷川由美子助教就任辞退により、安達直樹助教に変更。
・小森英之助教就任辞退により、荒木啓吾助教に変更。
・前田康大助教就任辞退により、松吉ひろ子助教に変更。
・担当教員の編成を見直したことにより、諏訪喜昭助教を新たに採用。
・岸野文郎兼担教授辞任により、井村誠孝兼担教授に変更。
・担当教員の編成を見直したことにより、鈴木信太郎兼担教授の担当授業科目を変更し、「臨海実験」は内田紘臣兼任講師に変更。
・担当教員の編成を見直したことにより、浅野考平兼担教授の担当授業科目を変更し、「コンピュータ演習Ａ」は風井浩志兼任講師に変更。
・クラス数及び担当教員の編成を見直したことにより、尾鼻靖子兼担教授の担当授業科目を変更。
・クラス数及び担当教員の編成を見直したことにより、工藤多恵兼担准教授の担当授業科目を変更。
・昇任により山本倫也兼担准教授の職名を「准教授」から「教授」に変更。
・昇任により壷井基裕兼担准教授の職名を「准教授」から「教授」に変更。
・担当教員の編成を見直したことにより、宗景ゆり兼担准教授の担当授業科目を変更し、「臨海実験」は大和茂之兼任講師に変更。
・担当教員の編成を見直したことにより、三浦佳二兼担准教授の担当授業科目を変更し、「臨海実験」は平岡雅規兼任講師に変更。
・Michael Lynn兼担准教授、Stuart Cunningham兼担講師、Carmen Tamas兼担講師、Amy Johnson兼担講師が就任辞退したが、住政二郎兼担准教授、Evan Cacali兼担講師、Mario Perez兼担講師、Willam Marcus兼担講師、Audrey Moreno兼担講師、Dormer Geoffrey兼担講師が新たに就任し、クラス数及び担当教員の編成を変更。
・クラス数及び担当教員の編成を見直したことにより、Matthew Barbee兼担講師、Polly Tang兼担講師、の担当授業科目を変更。
・担当教員の編成を見直したことにより、前川裕兼担講師の担当授業科目を変更し、「ドイツ語文法Ⅰ」、「ドイツ語文法Ⅱ」は宮田玲兼任講師に変更。
・担当教員の編成を見直したことにより巌佐庸兼任講師の授業科目を変更し、「プログラミング演習」は削除し、「臨海実験」は木下泉兼任講師に変更。
・平田誠一郎兼任講師の担当辞退により、尾添侑太兼任講師に変更。
・谷村要兼任講師の担当辞退により、内田啓太郎兼任講師に変更。
・担当教員の編成を見直したことにより、「臨海実験」の担当教員として、斎藤知己兼任講師を追加。
・授業形態を変更したことにより、藤田明史兼任講師を「芸術と技術」の担当教員として追加。

【平成２８年度】

・今井早希助教辞任により、村田知弥助教に変更。
・担当教員の編成を見直したことにより、高橋功兼担教授から鹿田真一兼担教授に変更。
・特別研究員となったことにより、尾鼻靖子兼担教授の担当授業科目を削除。
・高橋和子兼担教授学院留学のため、担当授業科目を削除。
・長岡徹兼担教授担当辞退により、佐藤潤一兼任講師に変更。
・クラス数及び担当教員の編成を見直したことにより、工藤多恵兼担准教授、住政二郎兼担准教授の担当授業科目を変更。
・昇任により増尾貞弘兼担准教授の職名を「准教授」から「教授」に変更。
・担当教員の編成を見直したことにより、三浦佳二兼担准教授の担当授業科目を変更。
・Robert Stroud兼担講師が辞任したが、Erik Fritz兼担講師、Katie Deng兼担講師、Kevin Bartlett兼担講師が新たに就任し、クラス数及び担当教員の編成を変更。
・クラス数及び担当教員の編成を見直したことにより、Matthew Barbee兼担講師、Manuel Senna兼担講師、Polly Tang兼担講師、Regan Thomson兼担講師、Evan Cacali兼担講師、Mario Perez兼担講師、Audrey Moreno兼担講師、Dormer Geoffrey兼担講師の担当授業科目を変更。
・授業形態を変更したことにより、桑原圭裕兼担助教の担当授業科目を削除。
・担当教員の編成を見直したことにより、巌佐庸兼任講師の担当授業科目を一部削除。
・中窪啓介兼任講師担当辞退により、吉田雄介兼任講師に変更。
・担当教員の編成を見直したことにより、「臨海実験」の担当教員として、益田玲爾兼任講師、甲斐嘉晃兼任講師、鈴木啓太兼任講師を追加。
・クラス数及び担当教員の編成を見直したことにより、言語教育科目を担当する兼任講師６名を追加。

【平成２９年度】

・「先端医化学実験Ⅰ」、「先端医化学実験Ⅱ」の担当教員の編成を見直したことにより、海老原史樹文教授、今岡進教授、大谷清教授、藤博幸教授、平井洋平教授、佐藤英俊教授、吉野公三准教授、関由行准教授、大黒亜美助教、松吉ひろ子助教の担当授業科目を変更。
・Bibin Bintang Andriana兼担助教を「基礎医化学実験Ⅰ」、「基礎医化学実験Ⅱ」の担当教員として追加。
・諏訪喜昭助教辞任により、松原和純助教に変更し、担当授業科目も変更。
・特別研究員の終了により、尾鼻靖子兼担教授の担当授業科目を復活。
・高橋和子兼担教授学院留学終了のため、担当授業科目を復活。
・担当教員の編成を見直したことにより、氏木道人兼担教授の担当授業科目を一部削除
・佐藤潤一兼任講師担当辞退により、長岡徹兼担教授に変更。
・担当教員の編成を見直したことにより、増尾貞弘兼担教授の担当授業科目を変更し、「基礎化学Ａ」は尾崎幸洋兼担教授に変更。
・クラス数及び担当教員の編成を見直したことにより、工藤多恵兼担准教授、住政二郎兼担准教授担当授業科目を変更。
・担当教員の編成を見直したことにより、三浦佳二兼担准教授の担当授業科目を変更し、「臨海実験」は田城文人兼任講師に変更。
・担当教員の編成を見直したことにより、武田直也兼担准教授、北條賢兼担准教授を「臨海実験」の担当教員として追加。
・昇任により前川裕兼担講師の職名を「講師」から「准教授」に変更。
・Daniel Parsons兼担講師、Manuel Senna兼担講師、Polly Tang兼担講師、Regan Thomson兼担講師、Audrey Moreno兼担講師が辞任したが、Troy Rubesch兼担講師、Laura Huston兼担講師、Jason Henwood兼担講師、Kym Jolley兼担講師、Shalvin Singh兼担講師が新たに就任し、クラス数及び担当教員の編成を変更。
・クラス数及び担当教員の編成を見直したことにより、Matthew Barbee兼担講師、Evan Cacali兼担講師、Mario Perez兼担講師、Willam Marcus兼担講師、Dormer Geoffrey兼担講師、Erik Fritz兼担講師、Katie Deng兼担講師、Kevin Bartlett兼担講師の担当授業科目を変更。
・藤原正澄兼担助教辞任により、山口きらら兼担助教に変更。
・赤井勇人兼担助教辞任により、山内光陽兼担助教に変更。
・風井浩志兼任講師担当辞退のため、三浦佳二兼担准教授に変更。
・甲斐嘉晃兼任講師担当辞退のため、澤田英樹兼任講師に変更。
・クラス数及び担当教員の編成を見直したことにより、藤平愛美兼任講師の担当授業科目を削除し、「英語リーディングＩＡ」、「英語リーディングＩＢ」はデイヴィス恵美兼任講師に変更。

【平成３０年度】

・宮田将徳助教辞任により、福田亮介助教に変更。
・松吉ひろ子助教辞任により、竹谷皓規助教に変更。
・担当教員の編成を見直したことにより、浅野考平兼担教授の担当科目を削除。
・高畑由起夫兼担教授辞任により、佐山浩兼担教授に変更。
・長岡徹兼担教授担当辞退により、佐藤潤一兼任講師に変更。
・尾崎幸洋兼担教授辞任により、玉井尚登兼担教授に変更。
・クラス数及び担当教員の編成を見直したことにより、工藤多恵兼担准教授、住政二郎兼担准教授の担当授業科目を変更。
・担当教員の編成を見直したことにより、武田直也兼担准教授から巌佐庸兼任講師に変更。
・Matthew Barbee兼担講師、Dormer Geoffrey兼担講師、Katie Deng兼担講師が辞任したが、Michael Collins兼担講師、Chad Cottam兼担講師、Imogen Custance兼担講師が、新たに就任しクラス数及び担当教員の編成を変更。
・クラス数及び担当教員の編成を見直したことにより、Mario Perez兼担講師、Erik Fritz兼担講師、Kevin Bartlett兼担講師、Troy Rubesch兼担講師、Laura Huston兼担講師、Jason Henwood兼担講師、Kym Jolley兼担講師、Shalvin Singh兼担講師の担当授業科目を変更。
・担当教員の編成を見直したことにより、桑野幸徳兼任講師、北澤宏一兼任講師、町田敏生兼任講師の担当授業科目を削除。
・村上亮兼任講師担当辞退により、岡本託兼任講師に変更。
・担当教員の編成を見直したことにより、「コンピュータ演習Ａ」を担当する風井浩志兼任講師、山崎陽一兼任講師を追加。

（注）・　変更内容を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
・　**認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合**は，当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し，大学設置・学校法人審議会による教員資格審査（AC教員審査）を受けてください。**AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
・　「専任教員採用等変更書（ＡＣ）」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」と記入してください。なお，設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は，「教員審査省略」と記入してください。
・　不要な年度（平成２８年度開設であれば平成２７年度、平成２９年度開設であれば平成２７年度及び平成２８年度、平成３０年度開設であれば平成２７年度から平成２９年度）の表は適宜削除してください。

（２） 専任教員数等

（２）－① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における設置基準上の必要専任教員数	うち、完成年度時における設置基準上の必要教授数
8 名	4 名

（注）・ 大学設置基準第十三条別表第一、短期大学設置基準第二十二条別表第一イにより算出される専任教員数を記入してください。

（２）－② 専任教員数

設置時の計画					現在（報告書提出時）の状況					現在（報告書提出時）の完成年度時の計画				
教 授	准教授	講 師	助 教	計（A）	教 授	准教授	講 師	助 教	計（B）	教 授	准教授	講 師	助 教	計（C）
6	3	0	6	15	6	3	0	7	16	6	3	0	7	16
(6)	(3)	(0)	(6)	(15)						[0]	[0]	[0]	[1]	[1]

（注）・「設置時の計画」には，設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに，（ ）内に開設時の状況を記入してください。
・「現在（報告書提出時）の状況」には、報告書提出年度の５月１日の教員数（実人数）を記入してください。
・**「現在（報告書提出時）の完成年度時の計画」には，「現在（報告書提出時）の状況」に記入した数字に，教員審査を受審済みであり，完成年度までに就任する教員数を加えた数を記入**するとともに，［ ］内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：１名減の場合：△１）

（２）－③ 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める定年年齢（歳）	報告書提出時（上記（B））の教員のうち、定年を延長して採用している教員数	完成年度時（上記（C））の教員うち、定年を延長して採用する教員数
65歳（教授の資格を有する者は68歳）	0 名	0 名

（注）・「年齢構成」には，当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません），および，平成３０年５月１日現在，定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数および完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。
・なお，職位等によって定年年齢が異なる場合には，職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し，「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

（２）－④ 設置時の計画に対する教員充足率

$$\frac{\text{現在（報告書提出時）の完成年度時の計画（C）}}{\text{設置時の計画（A）}} = \frac{16}{15} = 106.66\ \%$$

（注）・ 小数点以下第３位を切り捨て，小数点以下第２位まで表示されます。

（２）－⑤ 現在（報告書提出時）の状況における定年を延長している教員構成率

$$\frac{\text{報告書提出時の教員のうち、定年を延長して採用している教員数}}{\text{現在（報告書提出時）の状況（B）}} = \frac{0}{16} = 0.00\ \%$$

（注）・ 小数点以下第３位を切り捨て，小数点以下第２位まで表示されます。

（３） 専任教員辞任等の理由

（３）－① 専任教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況

番　号	職　位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由
1	助教	長谷川　由美子	必修	基礎医化学実験Ⅱ	①	一身上の都合のため(27)
			必修	先端医化学実験Ⅰ	①	
			必修	卒業実験及び演習	①	
			選択	基礎医化学入門	①	
2	助教	小森　英之	必修	生命科学入門実験	①	一身上の都合のため27)
			必修	基礎医化学実験Ⅰ	①	
			必修	先端医化学実験Ⅰ	①	
			必修	卒業実験及び演習	①	
			選択	基礎医化学入門	①	
3	助教	前田　康大	必修	生命科学入門実験	①	一身上の都合のため(27)
			必修	先端医化学実験Ⅱ	①	
			必修	卒業実験及び演習	①	
			選択	基礎医化学入門	①	

合計（Ａ）			後任補充状況の集計（Ｂ）					
就任を辞退した教員数	担当科目数の合計（a）＋（b）＋（c）		①の合計数（a）		②の合計数（b）		③の合計数（c）	
3　人	必修	10　科目	必修	10　科目	必修	0　科目	必修	0　科目
	選択	3　科目	選択	3　科目	選択	0　科目	選択	0　科目
	自由	0　科目	自由	0　科目	自由	0　科目	自由	0　科目
	計	13　科目	計	13　科目	計	0　科目	計	0　科目

（注）・ 認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての専任教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。
・ 「就任辞退（未就任）」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことです。
就任した後に辞任した教員は、以下「（３）－②専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。
・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに就任を辞退した場合，赤字にて記入するとともに，
「就任辞退（未就任）の理由」に就任辞退の理由等および（　）書きで報告年度を記入してください。
・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、
「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

・専任教員が担当する（している）場合は「①」
・兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
・後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

（３）－② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況

番　号	職　位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由
1	助教	今井　早希	必修	基礎医化学実験Ⅰ	①	一身上の都合のため（28）
			必修	基礎医化学実験Ⅱ	①	
			必修	先端医化学実験Ⅱ	①	
			必修	卒業実験及び演習	①	
			選択	基礎医化学入門	①	
2	助教	諏訪　喜昭	必修	生命科学入門実験	①	一身上の都合のため(29)
			必修	基礎医化学実験Ⅱ	①	
			必修	先端医化学実験Ⅰ	①	
			必修	卒業実験及び演習	①	
			選択	基礎医化学入門	①	
3	助教	宮田　将徳	必修	基礎医化学実験Ⅱ	①	一身上の都合のため(30)
			必修	先端医化学実験Ⅰ	①	
			必修	卒業実験及び演習	①	
			選択	基礎医化学入門	①	
4	助教	松吉　ひろ子	必修	生命科学入門実験	①	一身上の都合のため(30)
			必修	先端医化学実験Ⅰ	①	
			必修	先端医化学実験Ⅱ	①	
			必修	卒業実験及び演習	①	
			選択	基礎医化学入門	①	

合計（Ｃ）			後任補充状況の集計（Ｄ）					
辞任した教員数	担当科目数の合計（a）＋（b）＋（c）		①の合計数（a）		②の合計数（b）		③の合計数（c）	
4　人	必修	15　科目	必修	15　科目	必修	0　科目	必修	0　科目
	選択	4　科目	選択	4　科目	選択	0　科目	選択	0　科目
	自由	0　科目	自由	0　科目	自由	0　科目	自由	0　科目
	計	19　科目	計	19　科目	計	0　科目	計	0　科目

（注）・ 一度就任した後に、定年による退職以外の理由で辞任した全ての専任教員についてに記入してください。
・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに辞任等した場合，赤字にて記入するとともに，「辞任等の理由」
に辞任理由等および（　）書きで報告年度を記入してください。
・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、
「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

・専任教員が担当する（している）場合は「①」
・兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
・後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

（３）－③　上記（３）－①　・　（３）－②　の合計

合計（Ａ）＋（Ｃ）				後任補充状況の集計（Ｂ）＋（Ｄ）							
辞任等した教員数	担当科目数の合計（a）＋（b）＋（c）			①の合計数（a）			②の合計数（b）			③の合計数（c）	
7　人	必修	25	科目	必修	25	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
	選択	7	科目	選択	7	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
	自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
	計	32	科目	計	32	科目	計	0	科目	計	0	科目

（３）－④　設置時の計画に対する教員辞任率

$$\frac{(3)-③合計(D)+(F)}{(2)-②設置時の計画(A)} = \frac{7}{15} = 46.66\%$$

（注）・　小数点以下第３位を切り捨て，小数点以下第２位まで表示されます。

（３）－⑤　定年により退職した専任教員に対する後任補充状況

番　号	職　位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由
－	－	該当なし。				

合計				後任補充状況の集計							
辞任した教員数	担当科目数の合計（a）＋（b）＋（c）			①の合計数（a）			②の合計数（b）			③の合計数（c）	
0　人	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
	選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
	自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
	計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目

（注）・　**定年により退職した全ての専任教員**についてに記入してください。
・　昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに辞任等した場合，赤字にて記入するとともに，「辞任等の理由」に辞任理由等および（　）書きで報告年度を記入してください。
・　また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

・専任教員が担当する（している）場合は「①」
・兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
・後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

（４）専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

助教3名については、一身上の都合により就任辞退することとなったが、就任辞退が決まった段階で、後任人事を行い、平成27年4月より新任の助教3名を迎えると同時によりきめ細やかで効果的な教育を行うため、教員編成の見直しを行った。学生には、シラバスで講義内容、履修心得で講義担当教員一覧を掲載し周知している。(27)
助教1名については、一身上の都合により退職することとなったが、退職が決まった段階で、後任人事を行い、平成28年4月より新任の助教1名を迎えると同時によりきめ細やかで効果的な教育を行うため、教員編成の見直しを行った。学生には、シラバスで講義内容、履修心得で講義担当教員一覧を掲載し周知している。(28)
助教1名については、一身上の都合により退職することとなったが、退職が決まった段階で、後任人事を行い、平成29年4月より新任の助教1名を迎えると同時によりきめ細やかで効果的な教育を行うため、教員編成の見直しを行った。学生には、シラバスで講義内容、履修心得で講義担当教員一覧を掲載し周知している。(29)
助教2名については、一身上の都合により退職することとなったが、退職が決まった段階で、後任人事を行い、平成30年4月より新任の助教2名を迎え、計画通り授業科目を開講した。学生には、シラバスで講義内容、履修心得で講義担当教員一覧を掲載し周知している。(30)

（注）・　上記（３）の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

６　留意事項等に対する履行状況等

区　　分	留　意　事　項　等		履　行　状　況		未履行事項についての実施計画
設　置　時 （27年4月）	該当なし。				
設置計画履行状況調　査　時 （28年2月）	理工学部先進エネルギーナノ工学科の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生確保の努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。	改善意見	平成28年度以降の定員確保に向けて、方策を検討し努力した。具体的には、先進エネルギーナノ工学科教員が中心となり、高校訪問を近畿圏内の高校だけでなく、東北地方等の高校でも実施した。積極的な広報活動を行い、新学科の学びの内容を高校教員や高校生に伝えた。また、オープンキャンパスの実施、夢ナビライブへの参加、模擬授業の高校への提供等により、受験生に新学科の学びの内容を理解してもらう機会を多く設けた。また、新たに学科のWebページを開設し、教育研究内容が受験生に浸透するよう、情報を発信した。 この結果、入学者を99名確保することができ、平成28年度、平均入学定員超過率は0.95倍となった。(28) 平成29年度は、600名の志願者より73名の入学者を迎えた。3年間の平均入学定員超過率は、0.94倍となった。志願状況等より入学定員は適切と思われるため入学定員は変更しない。引き続き、定員確保に努める。(29) 平成30年度は、566名の志願より54名の入学者を迎えた。多くの志願者があったにもかかわらず歩留まりを予測することが難しく定員を確保することができなかった。完成年次を迎え、過去4年間の平均入学定員超過率は0.87倍となった。毎年、定員確保に努めているが、新学科ということもあり歩留まりを予測することが難しく、年度によって入学者数にばらつきが出る結果となった。しかしながら、過去4年間の志願者数の平均は577名と入学定員を大きく上回っていることから、本学科に対する社会的な需要が高いことが示されている。今後、継続して入試データを蓄積し、歩留まりの予測精度を高めることで、より安定的で確実な定員確保が可能となる。併せて、受験生への積極的な広報活動も継続的に実施していく。具体的には、先進エネルギーナノ工学科の教員が中心となり、高校訪問を中国・四国・九州地方等の高校を中心に積極的に実施する。加えて、オープンキャンパスの実施、夢ナビライブへの参加、模擬授業の高校への提供等を予定している。 （30）	履行済	

区　　分	留　意　事　項　等		履　行　状　況		未履行事項について の実施計画
設置計画履行状況 調　　査　　時 （29年2月）	該当なし。				
設置計画履行状況 調　　査　　時 （30年2月）	該当なし。				

（注）・　「設置時」には，当該大学等の設置時（認可時又は届出時）に付された留意事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る留意事項を除く。）　と，それに対する履行状況等について，具体的に記入し，報告年度を（　　）書きで付記してください。

・　「設置計画履行状況調査時」には，当該設置計画履行状況調査の結果，**当該大学に付された意見を全て記入**するとともに，付された意見に対する履行状況等について，具体的に記入してください。その履行状況等を裏付ける資料があれば，添付してください。

・　「履行状況」では，履行途中であれば「未履行」，履行済みであれば「履行済」を選択してください。

・　該当がない場合には，「該当なし」と記入してください。

・　「設置計画履行状況調査時」の（年月）には，調査結果を公表した月（通常２月）を記入してください。（実地調査や面接調査を実施した日ではありません。）

７　その他全般的事項

＜理工学部　生命医科学科＞

（１） 設置計画変更事項等

設　置　時　の　計　画	変更内容・状況，今後の見通しなど
① 様式第2号（その3の1）「授業科目の概要」 P.5 芸術と技術	① 授業形態を変更したため、「授業科目の概要」の 該当部分を変更。(27)(28)【別紙1参照】
② 「校地校舎等の図面」P.9～12 キャンパス別　校地等面積一覧表 キャンパス別　校舎等建物一覧表	② 校地校舎等の面積変更に伴い、「キャンパス別　校地等面積一覧表」及び「キャンパス別　校舎等建物一覧表」を変更。(29)(30)【別紙2参照】
③ 「様式第3号（その3）専任教員の年齢構成・学位保有状況」 P.3	③ 助教1名採用に伴う変更。（27）（28） 教員の退職及び新任の新規採用に伴う変更。（29）(30) 【別紙4参照】

（注）・　１～６の項目に記入した事項以外で，設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）
及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

（２） 教員の資質の維持向上の方策（ＦＤ・ＳＤ活動含む）

①　実施体制

ａ　委員会の設置状況

・ 全学的な組織として、平成22年4月より総合教育研究室と情報メディア教育センターを統合し、高等教育推進センターを設置した。また、高等教育推進センターのもとに教育力向上（ＦＤ）専門部会と情報通信技術（ＩＣＴ）専門部会を設置していたが、平成25年度よりそれらの専門部会を廃し、教育力向上企画専門部会、学習支援専門部会を設置した。学習支援専門部会では、各種調査及び学習支援システムを活用した教育の開発と支援について取り組んでいる。これらの取り組みは、すべて教員と学生のコミュニケーション強化を目的としているため、ＦＤに関する取り組みの1つとして捉えている。平成24年4月よりＦＤ活動を含む教員の資質の維持向上の取り組みに対する意思決定の高度化、施策の全学的推進を図るため、教務委員会のもとに教育力向上部会を設置した。

・ ＦＤ委員会（理工学部・理工学研究科共通）を設置している。

ｂ　委員会の開催状況（教員の参加状況含む）

・ 平成25年度以降の教務委員会は、月1回開催、委員は各学部副学部長等で構成されている。教育力向上部会は随時開催。教育力向上部会の委員も各学部副学部長等で構成されている。

・ 平成25年度より設置した教育力向上企画専門部会は、センター長が指名した委員で構成されており、平成26年度までは年4回、平成27年度は年3回開催していたが、平成28年度、平成29年度は教育力向上企画専門部会は開催せず、教務委員会のもとに設置されている教育力向上部会に3回講師を派遣し、全学的に教育力向上のための企画を検討した。学習支援専門部会は、学部から選出された委員と教務機構長補佐で構成されており、平成26年度は年10回、平成27年度は年8回、平成28年度、平成29年度は7回開催した。

・ ＦＤ委員会は、平成26年度は10回、平成27年度は6回、平成28年度は5回、平成29年度は4回開催した。副学部長(教務担当)、学部長補佐(教務担当)を中心に各学科から選出されたＦＤ委員9名で構成されている。

ｃ　委員会の審議事項等

・ 教務委員会は、別紙3「教務委員会規程」第6条に記載のとおり、全学科目の開講と担当者に関する事項、全学科目の非常勤講師の採用審査に関する事項、授業実施に関する事項、定期・中間試験実施に関する事項、全学に共通する教務上の様式に関する事項、不測事態への対応体制に関する事項等を議決する。なお、教育力向上部会では教育力向上（ファカルティ・ディベロップメント）施策の全学的推進を協議する。

・ 平成25年度より設置している教育力向上企画専門部会の審議内容は別紙3「高等教育推進センター規程」に基づき、授業調査、ＦＤ講演会、初任者研修等を主な事項としている。

・ 平成25年度から設置している学習支援専門部会では、「高等教育推進センター規程」に基づき、各種調査や学習支援システムを活用した教育の開発と支援について協議している。

・ ＦＤ委員会は、学部・研究科の教育方針やその特色に照らしあわせて、授業形態・方法の点検と改善の方法を議論する。

② 実施状況

ａ 実施内容

・ 新任教員研修（全学）

・ 大学院生、大学教員対象のワークショップ「大学教員のための『講義方法のブラッシュアップ』」（全学）（平成25年度～平成29年度）

・ ＦＤ講演会・ＦＤワークショップ・ＬＭＳ講習会・ＳＤ講演会・ＳＤワークショップ（全学）

・ 各学部のＦＤ活動報告「高等教育推進センターニューズレター」（全学）（平成25年度～平成29年度）

・ ホームページの充実（全学）

・ カレッジコミュニティ調査（ＣＣＡ）（全学）（平成26・28年度）

・ 大学ＩＲコンソーシアム　共通学生調査（平成25年度～平成29年度）

・ 研修会の開催（理工学部）

・ 履修指導マニュアルの作成（理工学部）

・ 指導教員による成績配布の際の履修指導方針の明確化（理工学部）

・ 教員間での各授業の合格状況の把握と共有化（理工学部）

・ アカデミックアドバイザー制度の導入（理工学部）

ｂ 実施方法

・ 新任教員研修は、毎年度初めに大学の役職者が大学の歴史や組織、研究関連諸制度、人権問題等について新任教員オリエンテーションとして行っている。また、この研修内でＦＤ講演会やＬＭＳの操作法の講習も実施し、教員の資質の維持向上を図っている。

・ 本学の教員や教員を志す大学院生（既に非常勤講師等で教壇に立っている者を含む）を対象として、授業の方法等をプレＦＤとして実施している。なお、関西地区ＦＤ連絡協議会と共催し、他大学の教員も受け入れている。

・ ＦＤワークショップとして、ＴＡを対象としたワークショップを新たに開催し、変化する大学の授業と教育方法、ＴＡが受講生に求められる能力・役割について再考する機会を設けている。

・ 全学の教職員を対象として、ＦＤ講演会、ＦＤワークショップ、ＬＭＳ利用講習会、ＳＤ講演会、ＳＤワークショップを実施している。

・ 各学部にＦＤ委員会を組織する等、学部単位でも研修会や講演会を実施し、ＦＤ活動に取り組んでいる。1年間取り組んだことについて、高等教育推進センターが報告書をまとめ、「高等教育推進センターニューズレター」として、発行している。ニューズレターは毎年2回発行する。

・ 大学のホームページにＦＤ関連サイトを開設し、これまで行ってきたＦＤに関する講演会や研究会の講演要旨や、今後開催される講演会・研究会等の情報を公表している。

・ 大学ＩＲコンソーシアムの共通学生調査については、コンソーシアム加盟の大学が共通の調査項目を用いて、調査を実施している。この学生調査による間接評価結果は、成績などの直接評価結果と合わせて評価指標とすることが可能である。

・ 平成26年度は生きた学びの場として神戸三田キャンパスに設置されたアカデミック・コモンズの理念、現在の運営方針と活動状況、将来の展望について、「アカデミック・コモンズが拓く新たな学び」というテーマで研修会を実施した。平成27年度は、本学におけるインスティテューショナル・リサーチ（ＩＲ）の現状と課題について「ＩＲ学生調査、データの活用法」というテーマで研修会を実施した。また、神戸三田キャンパスで開催されたメンタルヘルス研究会「アサーティブなコミュニケ―ション」へ積極的に参加した。平成28年度は、ＤＶＤ視聴の形で『教育の質保証とシラバスの実質化』に関するＦＤ研修を実施した。またアカデミック・アドバイザー制度における教員面談指導能力の向上を図るため、立命館大学より講師を招き「学生動態の定点観測の試み － 立命館大学物理学科における学修面談について － 」というテーマで研修会を実施した。さらに、ＦＤ研修会として、学生からの授業アンケートで高い評価を受けている2つの講義の見学を行った。平成29年度は、「授業におけるルーブリックの活用」と題して、ＦＤ研修を実施した。また、シラバス向上に向けた取組を実施した。

・ 担任が学生に成績を渡す際、学生の単位修得状況に応じて、的確なアドバイスが出来るよう各学科が履修指導マニュアルを作成し、履修指導を行う際の方針を明確化している。

・ 平成26年度、平成27年度、平成28年度、平成29年度教授会において、カリキュラム及び教育体制の点検の指標として、成績分布表を配布。

・ 平成27年度から9学科体制となったことに伴い、学生数増加による授業調査の手間などの軽減のため、独自の出席調査アプリを開発し、平成27年度より運用を開始し、平成28年度、平成29年度も利用した。

ｃ 開催状況（教員の参加状況含む）

・ 新任教員オリエンテーションは、毎年度初めに新任教員が全員参加する。平成22年度からは、本学が全新任者を対象として実施してきた学院紹介等を含むオリエンテーションプログラム、従来から行われていた人権研修プログラムに、研究制度と研究費の使用についてなど、教員としての自覚を後押しするようなプログラムを新たに研修プログラムとして加え、新任者研修プログラムとして体系化し、全学的なＦＤへの取組として実施している。

・ 平成24年度からは「講義方法のブラッシュアップ」というテーマで講師を迎え、授業の構成、黒板の使い方等について、夏季にワークショップを行っている。今後も継続する予定である。

・ ＦＤ講演会を平成26年度～平成28年度は1回、平成29年度は2回、ＬＭＳ利用講習会を平成26年度は10回、平成27年度は11回、平成28年度は13回、平成29年度は12回、ＳＤ講演会を平成25年度～平成29年度は1回実施した。また、ＦＤワークショップを平成27年度は2回、平成28年度は4回、平成29年度は1回開催した。平成28年度は、新たにＳＤワークショップを実施した。今後も、ＦＤ講演会やＦＤワークショップ、ＳＤワークショップを毎年1～2回、ＬＭＳ利用講習会を数回、ＳＤ講演会を年1回実施する。

・ 各学部のＦＤ委員会が1年間取り組んだ内容について、報告書にまとめ「高等教育推進センターニューズレター」に掲載している。

・ 大学ホームページのＦＤサイト「教育改善・ＦＤへの取組」に、これまで行ってきたＦＤに関する講演会や研究会の講演要旨、今後学内の部課で開催される講演会・研究会等の情報を公表している。

・ 平成26年度、平成28年度にカレッジコミュニティ調査（ＣＣＡ）を実施した。本調査は現役学生の「正課活動への参加」や「大学への進学動機」等、学生の実態や大学の学習環境等の調査を行ったものである。この調査報告書を教員に配布して活用している。

・ 大学ＩＲコンソーシアム共通の学生調査について、平成25年度より全学部生のおよそ7割の学生を対象として、1年生調査と上級生調査を実施している。調査項目は授業内外における学習行動を中心としており、学部間のみならず、他大学との比較を行い、カリキュラムや授業改善等の参考としている。

・ 平成26年度は研修会を1回開催し、約半数の教員が参加した。平成27年度も、外部講師を招いて研修会を1回開催、約半数の教員が参加した。平成28年度、平成29年度も、外部講師を招いて研修会を1回開催、約半数の教員が参加した。また新たに「教育の質保証とシラバスの実質化」というテーマでＦＤ研修会を開催し、全教員が参加した。

・ 平成26年度、平成27年度、平成28年度及び平成29年度の9月、3月の成績発表において、明確化した履修指導方針をもとに、履修指導を行った。

・ 平成26年度、平成27年度、平成28年度及び平成29年度の5月開催の教授会において、教員間における学生の各科目の成績状況の把握と共有化を目的に成績分布表を配布した。

ｄ　実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

・ 学生による授業評価アンケートの結果を分析し、各教員に報告し、それについて各教員はコメントを提出することにしている。またその教員コメントを学内で公開し、相互研鑽に努めている。各学部内のＦＤ委員会での活動結果をニューズレターに掲載し、学部間の情報交換としている。またニューズレターや高等教育推進センター紀要『関西学院高等教育研究』を各教員に配布することで情報の共有を行っている。

・ 平成26年度の研修会を通じて、クレセントチューターと呼ばれる院生中心の学修支援システムがレポート作成、成果発表、試験勉強などのフィールドに分かれてきめ細かく対応している状況を把握するとともに、チューター自身の能力向上のための支援体制のあり方などは、ラーニング・アシスタント制度の効率的な運用を考える上でも大きな手がかりを与えるものであることを学ぶことができた。

・ 平成27年度の研修会を通じて、学生調査データの積極的な活用方法について学ぶことができた。国内における本学の現状を把握し、課題を解決するために、大学間でのデータ比較や、複数の調査データの分析が有用であることがわかった。

・ メンタルヘルス研究会に参加することで、自他共に肯定するという考え方に基づくより一層の教育指導能力の向上を図ることができた。

・ 平成28年度の研修会を通じて、面談を学生の振り返りの場や、学生生活の問題を聞くことで安心感を与える場とする考え方などを学ぶことができた。また、学生は入学後の英語クラスなど集団の影響を受けるため、入学初期に成績上位層の学生のレベルをさらに引き上げる事で集団全体の質を上げるような取り組みも重要である事がわかった。

・ 平成29年度の研修会を通じて、初等・中等教育で導入が始まっているルーブリックに関して大学での活用に関する情勢と実践に向けた取り組みについて学ぶことができ、具体的な導入を想定した質疑応答が活発になされた。シラバス向上に向けた取り組みでは、組織的な評価システムと実践的、効果的、かつ持続可能な運用について検討を行い、方針を教員で共有した。

・ 成績発表の際の履修指導方針を明確化することにより、全学生に対して、同じ内容の履修指導を行うことが可能になった。

・ 教授会において、カリキュラム及び教育体制の点検の指標として、成績分布表を配布することにより、カリキュラムや成績評価や履修指導に改善すべき点がないか検討を行うことが可能になった。

③　学生に対する授業評価アンケートの実施状況

ａ　実施の有無及び実施時期

・ 学生による授業評価アンケートは、平成24年度より毎年全学的に統一された方式で実施している。実施方法は各学部で専任教員3科目以上、非常勤講師1科目以上の科目を抽出して実施する「マークシート方式で実施する調査」とマークシート方式で実施しない科目を対象とした「Ｗｅｂ方式で実施する調査」の2方式である。このほかに全学統一書式で「自由記述用紙で実施する調査」も毎年全開講科目を対象として実施している。平成29年度には、学生の学修行動についての調査項目を加えた。

ｂ　教員や学生への公開状況，方法等

・ 平成24年度より「シラバスとの整合性」、「話し方」、「授業進行の工夫」、「リポート、宿題など」、「授業準備」、「新たな知見」、「満足」の各項目について、各学部の科目区分毎にマクロで分析したレーダーチャートを全学生・全教職員に公表している。また、調査結果を踏まえて「学生の評価に対するコメント」と「今後の改善点について」の2点のポイントについて、各教員がまとめた改善報告書を全学生・全教職員に公表している。なお、それらに加え、平成24年度より、実施した調査結果をもとに各学部がとりまとめた総評についても、全学生・全教職員に平成25年度から公表している。

（注）・「①ａ　委員会の設置状況」には，関係規程等を転載又は添付すること。
「②実施状況」には，実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

（３） 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

生命医化学科は、平成27年度は入学定員80名に対し、1期生として62名の新入生を迎えた。入学定員超過率は、0.77倍であった。志願者数は773名であった。多くの志願者が集まったにも関わらず、新設学科として過去のデータが使えなかったこともあり、定員を割ることになった。また初めての入試であったことに加えて、旧課程最後の入試であったために浪人生の動きを読みとることができず、入学者数を確保できなかった。平成28年度は積極的な広報活動を行い、また平成27年度のデータを活用し、入学定員80名の学生確保を目指した結果、71名の新入生を迎えたが、入学定員超率は、0.88倍で定員を2年連続割ることになった。平成29年度は、定員を上回る84名の新入生を迎え、入学定員超過率は1.05倍であった。3年間の平均入学定員超過率は0.90倍となった。平成30年度は、69名の新入生を迎え、入学定員超過率は0.86倍であった。完成年次を迎え、4年間の平均入学定員超過率は0.89倍となった。毎年、定員確保に努めているが、新学科ということもあり歩留まりを予測することが難しく、年度によって入学者数にばらつきが出る結果となった。しかしながら、過去4年間の志願者数の平均は673名と入学定員を大きく上回っており、本学科に対する社会的な需要が高いことが示されている。今後、継続して入試データを蓄積し、歩留まりの予測精度を高めることで、より安定的で確実な定員確保が可能となる。併せて、受験生への積極的な広報活動も継続的に実施していく予定である。

生命医化学科の設置の趣旨・目的は、現代社会が必要とする最新の生命科学の知識をしっかり修得した上で基礎医学系分野に応用できる人材や情報学を生命科学や医学へ応用できる人材を育成することである。基礎医療技術をターゲットとしてライフイノベーションに寄与することを目指す。 生命医化学科の設置の趣旨・目的を実現するために、生命医化学科の教員組織及び教育課程を編成し、1年目、2年目、3年目及び4年目の春学期においても、予定していた全ての科目を適正な規模で開講することができた。今後も、本学科の設置の趣旨・目的を実現するために、設置計画を踏まえた適切な教育及び教育の質の向上のための取組を継続して実施する。

② 自己点検・評価報告書

ａ 公表（予定）時期

・ 平成30年度は、平成27年度に設定した目標の進捗評価を中心に自己点検・評価を実施する。
評価結果を平成31年3月末日に公表。

ｂ 公表方法

・ 本学Ｗｅｂサイトにて公表

③ 認証評価を受ける計画

・平成25年度に大学基準協会の認証評価で「適合」の認定を受けた。
次回は平成32年度に認証評価を受けるべく、学内で検討中。

（注）・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。
また，「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については，できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。
なお，「② 自己点検・評価報告書」については，当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

（４） 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書

ａ ホームページに公表（予定）の有無 （ 有 ・ 無 ）

ｂ 公表（予定）有の場合の公表（予定）時期 （ 平成30年 9月 1日 ）

（注）・ 「ａ ホームページに公表（予定）有無」には，５月１日時点で公表している場合，もしくは，今後公表する予定の場合は，「有」にマルを記入してください。今後も公表する予定がない場合は，「無」にマルを記入してください。
・ 「ｂ 公表（予定）有の場合の公表（予定）時期」には，「ａ ホームページに公表（予定）有無」で「有」にマルを記入した場合のみ，時期を記入してください。

様式第2号（その3の1）

授業科目の概要

（理工学部先進エネルギーナノ工学科）

科目区分		授業科目の名称	講義等の内容	備考
総合教育科目	教養教育科目	芸術と技術	総合芸術とよばれる映画において「技術とは何か？」まず、考えられるのはレンズを使用したカメラやCG技術の発展など機械的な「技術」という意味があるだろう。そのような様々な技術が如何に織りなされて映画が芸術となりえるか、その造形の原理と変遷を探求することを目的とする。	よりきめ細やかで効果的な教育を行うため、授業形態を変更(27)(28)

様式第2号（その3の1）

授業科目の概要

（理工学部環境・応用化学科）

科目区分		授業科目の名称	講義等の内容	備考
総合教育科目	教養教育科目	芸術と技術	総合芸術とよばれる映画において「技術とは何か？」まず、考えられるのはレンズを使用したカメラやCG技術の発展など機械的な「技術」という意味があるだろう。そのような様々な技術が如何に織りなされて映画が芸術となりえるか、その造形の原理と変遷を探求することを目的とする。	よりきめ細やかで効果的な教育を行うため、授業形態を変更(27)(28)

様式第2号（その3の1）

授業科目の概要

（理工学部生命医化学科）

科目区分		授業科目の名称	講義等の内容	備考
総合教育科目	教養教育科目	芸術と技術	総合芸術とよばれる映画において「技術とは何か？」まず、考えられるのはレンズを使用したカメラやCG技術の発展など機械的な「技術」という意味があるだろう。そのような様々な技術が如何に織りなされて映画が芸術となりえるか、その造形の原理と変遷を探求することを目的とする。	よりきめ細やかで効果的な教育を行うため、授業形態を変更(27)(28)

キャンパス別 校地等面積一覧表

	区　　分	西宮上ケ原	西宮聖和	神戸三田	計
校地等	校舎敷地	157,004 ㎡	23,532 ㎡	110,454 ㎡	290,990 ㎡
	運動場用地	126,738 ㎡	9,812 ㎡	150,727 ㎡	287,277 ㎡
	小　　計	283,742 ㎡	33,344 ㎡	261,181 ㎡	578,267 ㎡
	そ　の　他	25,838 ㎡	4,098 ㎡	18,819 ㎡	48,755 ㎡
	合　　計	309,580 ㎡	37,442 ㎡	280,000 ㎡	627,022 ㎡

キャンパス別 校舎等建物一覧表

◆西宮上ケ原キャンパス

（単位：㎡）

建 物 名 称	面 積（A）
神学部	996.68
文学部	2,789.40
文学部新館	913.68
社会学部	3,362.66
H号館・社会学部棟	7,081.53
法学部	3,788.24
経済学部	2,505.77
経済学部物品管理室（旧印刷室）	25.92
商学部	2,740.55
全学共用棟	4,597.05
メディア・研究棟	3,740.16
大学院1号館	4,640.30
大学院2号館	2,737.84
PCB倉庫（旧理学部第2危険物屋外貯蔵所）	21.12
塗料倉庫（旧理学部動物飼育室）	15.36
第4別館	4,546.88
第5別館	4,536.82
A号館	3,287.81
B号館	6,820.38
C号館	3,210.87
D号館	3,589.26
E号館	2,701.68
F号館	5,049.42
G号館	23,753.04
第1教授研究館本館	4,088.88
第1教授研究館新館	1,159.48
第2教授研究館	3,595.17
図書館時計台	966.94
大学図書館	19,152.62
学院本部棟	1,132.22
本部棟	4,442.48
門衛所	49.91
チェックブース	6.05
業務支援センター・倉庫	182.16
特高電気室	260.16
倉庫（旧受電室）	17.55
倉庫（旧電気室）	90.00
仁川ポンプ室	22.15
第2フィールドポンプ室	66.00
総務・施設管理課第2倉庫	105.99
財務課倉庫	57.96

（単位：㎡）

建 物 名 称	面 積（A）
総務・施設管理課倉庫	57.33
ボランティア活動支援センター・警備員控室	66.60
関西学院会館	5,355.24
迎賓館（旧ﾍﾞｰﾂ館）	302.13
吉岡記念館	1,139.61
保健館	1,093.59
学生サービスセンター	3,004.33
情報メディア棟	1,389.60
学生会館新館	17,875.67
学生会館旧館	3,425.86
学生会館倉庫（1）	55.36
学生会館倉庫（2）	25.20
学生会館倉庫（可燃物）	36.00
倉庫（看板置場）	15.17
外国人住宅2（ラウンジ）	343.79
吉林大学交流館（旧外国人住宅9）	302.13
文学部ハミル館	440.98
文学部ハミル館倉庫	24.35
文学部ハミル館動物飼育室	33.12
第3ﾌｨｰﾙﾄﾞ体育棟	435.12
第3ﾌｨｰﾙﾄﾞ倉庫	15.00
総合体育館	299.02
中央講堂（125周年記念会館）	475.01
合　計	169,058.35

◆西宮聖和キャンパス

（単位：㎡）

建 物 名 称	面 積（A）
1号館	3,041.88
2号館	1,801.32
3号館	2,062.11
4号館	655.59
5・6号館	6,508.51
7号館	3,025.71
図書館	2,924.09
体育館（8号館）	101.61
大学院棟	955.93
山川記念館	2,085.62
合　計	23,162.37

◆神戸三田キャンパス

（単位：㎡）

建 物 名 称	面 積 (A)
Ⅰ号館	5,213.42
Ⅱ号館	5,237.20
Ⅲ号館	5,756.66
Ⅳ号館（理工学部本館）	18,289.43
Ⅳ号館（理工学部別館）	1,699.94
Ⅴ号館	2,754.24
Ⅵ号館	7,224.36
理工学部倉庫	156.16
設備棟	439.48
建築実験棟	407.12
自販機置場	36.00
車庫兼倉庫	36.00
第一厚生棟	1,697.25
第一厚生棟倉庫	24.63
第二厚生棟	1,995.45
第三厚生棟	548.35
Academic Commons	3,831.31
KSC特別高圧受電所	30.87
Ⅶ号館	12,782.05
倉庫棟	162.47
合　計	68,322.39

◆大阪梅田キャンパス

（単位：㎡）

建 物 名 称	面 積 (A)
大阪梅田キャンパス14階	1,218.30
大阪梅田キャンパス10階	559.90
合　計	1,778.20

◆各キャンパス面積　合計

（単位：㎡）

各キャンパス面積　合計	262,321.31

教務委員会規程

（目的）

第１条　教務上の事項について、全学的な連絡・調整、並びに協議、決定することを目的として教務機構に教務委員会（以下、「委員会」という。）を置く。

（構成）

第２条　委員会は次の各号の委員をもって構成し、委員長は教務機構長とする。ただし、教務機構長に差し支えあるときは、教務副機構長がこれを代行する。

1　教務機構長
2　教務副機構長
3　教務機構長補佐
4　各学部副学部長

副学部長に差し支えあるときは、学部長補佐がこれを代行する。ただし、学部長補佐が置かれていない学部については、学部が指定する委員とする。

5　言語教育研究センター副長（１名）
6　教職教育研究センター副長（１名）
7　高等教育推進センター副長（１名）
8　共通教育センター副長
9　ハンズオン教育プログラム室長
10　スポーツ科学・健康科学教育プログラム室長
11　人権教育研究室副室長
12　国際教育・日本語教育プログラム室副室長
13　国連・外交関連プログラム室副室長
14　委員長が指名した委員（若干名）

２　教務機構事務部長、教務機構事務部次長、教務機構事務部課長、教務機構事務部課長補佐、各学部事務長、吉岡記念館事務室課長（神学部担当）、神戸三田キャンパス事務室課長（理工学部担当、総合政策学部担当）、聖和キャンパス事務室課長（教育学部担当）、及び委員長が必要と認めたものは、職務上出席する。

（任期）

第３条　委員の任期は前条に定めるものがその職にある期間とする。

（定足数・議決数）

第４条　委員会は委員の３分の２以上の出席をもって成立し、議事は出席委員の過半数をもって決する。

（開催）

第５条　委員会は原則として月１回開催する。ただし、委員長が必要と認めた場合、又は委員の過半数から要求があった場合は、臨時に開催する。

（議決事項）

第６条　委員会は、次の事項を議決する。

1　全学科目（総合コース、センター等が提供する科目）の開講と担当者に関する事項
2　全学科目の非常勤講師の採用審査に関する事項
3　授業実施に関する事項
　イ　学部総合コース等の全学共通基準の策定
　ロ　その他全学に共通する事項
4　定期・中間試験実施に関する事項
　イ　全学に共通する事項
5　全学に共通する教務上の様式に関する事項
6　不測事態への対応体制に関する事項
　イ　授業実施

ロ　試験実施
7　共通教育センター教員の任用に関する事項
8　教育力向上（ファカルティ・ディベロップメント）施策の全学的実施に関する事項
9　大学評議会から委任された事項
10　その他委員会が必要と認める事項
2　委員会が必要と認めた事項については大学評議会に報告し、承認を得る。又、委員会は大学評議会に提案することができる。

（ＦＤ部会）
第７条　ＦＤ（ファカルティ・ディベロップメント）施策の全学的推進を図るため、委員会のもとに常設のＦＤ部会をおく。
2　本部会は、次の各号の委員をもって構成する。
1　教務機構長補佐（部会長）
2　高等教育推進センター副長　１名
3　第２条の委員のうちから委員長が指名する者
3　本部会の委員の任期は１年とし、再任を妨げない。ただし、その職にある期間とする。

（全学英語教育ＦＤ部会）
第８条　英語教育に関するＦＤ施策の全学的推進を図るため、委員会のもとに常設の全学英語教育ＦＤ部会をおく。
2　本部会は、次の各号の委員をもって構成する。
1　教務機構長補佐（部会長）
2　言語教育研究センター副長　１名
3　言語教育研究センター言語コーディネーター　１名
4　言語教育研究センターIEP コーディネーター
5　各学部において英語教育を担当する教員。ただし、英語教育を担当する教員がいない場合は学部が選出した委員
6　委員長が指名する者
3　本部会の委員の任期は１年とし、再任を妨げない。

（専門部会）
第９条　委員会は必要に応じ、専門部会をおくことができる。
2　専門部会は、本委員会委員、学部長補佐（又は学部選出委員）のうちから委員会において選出された委員をもって構成する。ただし、委員長が必要と認めた場合は、委員会の議を経てこれら以外から委員を選出することができる。
3　専門部会の委員の任期は、１年とする。
4　専門部会は、委員会から委任された事項について協議する。

（事務）
第 10 条　委員会に関する事務は教務機構事務部がこれを行う。

（規程の改廃）
第 11 条　この規程の改廃は、委員会の議を経て大学評議会で決定する。

附　則
1　この規程は、1997 年（平成９年）４月１日から施行する。
（略）
23　この規程は、2017 年（平成 29 年）４月１日から改正施行する。

高等教育推進センター規程

（設置）

第１条　関西学院大学教務機構に高等教育推進センター（以下「センター」という。）を置く。

（目的）

第２条　本センターは、教育力を強化し、教育の質を高めることにより、本学の教育の一層の充実・発展に寄与することを目的とする。

（事業）

第３条　本センターは前条の目的を達成するために、次の事業を行う。

１　本学の教育推進に資する施策の企画・立案
２　教育力向上に関する全学的方針の立案及びその方策の推進
３　高等教育に関する政策動向の調査・分析
４　大学情報（IR データ）の集約・分析
５　各種調査を活用した教育の開発・支援
６　学習支援システムを活用した教育の開発・支援
７　授業に関わる TA・LA 等の教育・指導力向上への支援
８　高等教育に関する調査・研究
９　センター紀要、資料等の発行
10　その他必要な事業

（センターの構成員）

第４条　本センターに次の教職員を置く。

１　センター長　１名
２　センター副長　１名
３　センター委員　２名
４　センター教員　若干名
５　センター教育技術主事　若干名
６　事務職員　若干名

第５条　センター長はセンターを代表し、センターの事業を統轄する。

２　センター長は本学専任教員の中から、学長が任命する。
３　センター長の任期は任命した学長の在任期間とする。

第６条　センター副長はセンター長を補佐する。センター長に事故あるとき、又はセンター長が欠けたとき、センター副長はその職務を代行する。

２　センター副長は本学専任教員の中からセンター長が推薦し、学長が任命する。
３　センター副長の任期は任命した学長の在任期間とする。

第７条　センター委員は、センター長、副長とともに、センターの運営にあたる。
２　センター委員は本学専任教員の中からセンター長が推薦し、学長が任命する。
３　センター委員の任期は任命した学長の在任期間とする。

第８条　センター教員は、本センターの目的達成に必要な職務を行う。
２　センター教員は、センター会議が推薦した者を、大学評議会で決定する

（センター会議）
第９条　本センターの円滑な運営を図るため、センター会議を置く。

第 10 条　センター会議は、次の委員をもって構成する。
１　センター長
２　センター副長　　１名
３　センター委員　　２名
４　学長補佐　　１名
５　教務副機構長
６　センター事務長
７　その他センター会議が推薦し、センター長が委嘱した者　若干名

第 11 条　センター会議はセンター長が招集し、議長となる。

第 12 条　センター会議は、次の事項を協議する。
１　教育力向上に関する全学的方針の立案及びその方策の推進に関する事項
２　センター予算・決算に関する事項
３　センター諸規程に関する事項
４　センター教員、及び教育技術主事の人事に関する事項
５　その他センターの事業に関する重要事項

第 13 条　センター会議は、構成員の過半数の出席を持って成立する。

第 14 条　センター会議の議事は、出席者の過半数を持って決する。

（センター運営委員会）
第 15 条　本センターにセンター運営委員会（以下「運営委員会」という）を置く。

第 16 条　運営委員会は、次の委員をもって構成する。
１　センター長
２　センター副長
３　センター委員
４　センター教員

５　センター教育技術主事
６　センター事務職員　若干名

第 17 条　運営委員会はセンター長が招集し、議長となる。

第 18 条　運営委員会は、次の事項を企画・立案し、センター会議に提案する。
１　センターの運営の基本方針に関する事項
２　事業計画に関する事項
３　高等教育についての調査・研究に関する事項
４　その他運営に関する必要な事項

（教育力向上企画専門部会）
第 19 条　本学が行う授業の内容及び方法の充実と向上を図るための施策を企画・立案するために、センター会議のもとに教育力向上企画専門部会を置く。
２　教育力向上企画専門部会は、次の各号の委員をもって構成する。
　１　センター長（部会長）
　２　センター副長
　３　センター委員　　２名
　４　学長補佐　　１名
　５　教務機構長補佐　　１名
　６　センター長が指名した者　　若干名

３　委員の任期は１年とし、再任を妨げない。ただし、前項第１号、第２号、第３号、第４号及び第５号の委員の任期はその職にある期間とする。
４　専門部会の運営に関する事項は別に定める。

（学習支援専門部会）
第 20 条　各種調査及び学習支援システムを活用した教育の開発と支援について協議し、実施するために、センター会議のもとに学習支援専門部会を置く。
２　学習支援専門部会は、次の各号の委員をもって構成する。
　１　センター長（部会長）
　２　センター副長
　３　センター委員　　２名
　４　学長補佐　　１名
　５　センター教員　　若干名
　６　各学部、専門職大学院、独立研究科及び学長直属から選出された教員　各１名
　７　センター長が指名した者　若干名

３　委員の任期は１年とし、再任を妨げない。ただし、前項第１号、第２号、第３号及び第４号の委員の任期はその職にある期間とする。

４　専門部会の運営に関する事項は別に定める。

（研究助成審査評価委員会）

第 21 条　本センターに、第３条第８号に関する研究助成の採択審査及び成果報告の評価を行うため、研究助成審査評価委員会を置く。

２　委員会の構成はセンター会議で決定する。

（センター紀要委員会）

第 22 条　本センターに、第３条第９号のセンター紀要を編集するため、センター紀要委員会を置く。

２　委員会の構成はセンター会議で決定する。

（センター教員及び教育技術主事の人事委員会）

第 23 条　本センターに、第４条第４号のセンター教員及び第５号の教育技術主事の人事のため、人事委員会を置く。

２　委員会の構成はセンター会議で決定する。

（事務）

第 24 条　この規程に関する事務は、高等教育推進センター事務室が行う。

（規程の改廃）

第 25 条　この規程の改廃は、センター会議の議を経て、大学評議会で決定する。

附　則

１　この規程は、2010 年（平成 22 年）４月１日から施行する。

２　この規程の施行をもって、「総合教育研究室規程」及び「情報メディア教育センター規程」を廃止する。

３　この規程は、2010 年（平成 22 年）４月１日から改正施行する。

４　この規程は、2012 年（平成 24 年）４月１日から改正施行する。

５　この規程は、2013 年（平成 25 年）４月１日から改正施行する。

６　この規程は、2017 年（平成 29 年）４月１日から改正施行する。

様式第３号（その３）

専任教員の年齢構成・学位保有状況

（理工学部　環境・応用化学科）

職　位	学　位	29 歳 以 下	30 ～ 39 歳	40 ～ 49 歳	50 ～ 59 歳	60 ～ 64 歳	65 ～ 69 歳	70 歳 以 上	合　計	備　考
教　授	博　士	人	人	5 ~~4~~ ~~3~~人	3人	1人	1人	人	10 ~~9~~ ~~8~~人	
	修　士	人	人	人	人	人	人	人	人	
	学　士	人	人	人	人	人	人	人	人	
	短期大学士	人	人	人	人	人	人	人	人	
	その他	人	人	人	人	人	人	人	人	
准教授	博　士	人	人	~~1~~ ~~2~~人	人	人	人	人	~~1~~ ~~2~~人	
	修　士	人	人	人	人	人	人	人	人	
	学　士	人	人	人	人	人	人	人	人	
	短期大学士	人	人	人	人	人	人	人	人	
	その他	人	人	人	人	人	人	人	人	
講　師	博　士	人	人	人	人	人	人	人	人	
	修　士	人	人	人	人	人	人	人	人	
	学　士	人	人	人	人	人	人	人	人	
	短期大学士	人	人	人	人	人	人	人	人	
	その他	人	人	人	人	人	人	人	人	
助　教	博　士	2人	4 ~~6~~ ~~3~~人	人	人	人	人	人	6 ~~3~~人	
	修　士	人	~~3~~人	人	人	人	人	人	~~3~~人	
	学　士	人	人	人	人	人	人	人	人	
	短期大学士	人	人	人	人	人	人	人	人	
	その他	人	人	人	人	人	人	人	人	
合　計	博　士	2人	4 ~~6~~ ~~3~~人	5人	3人	1人	1人	人	16 ~~13~~人	
	修　士	人	~~3~~人	人	人	人	人	人	~~3~~人	
	学　士	人	人	人	人	人	人	人	人	
	短期大学士	人	人	人	人	人	人	人	人	
	その他	人	人	人	人	人	人	人	人	

様式第３号（その３）

専任教員の年齢構成・学位保有状況

（理工学部　生命医化学科）

職　位	学　位	29 歳 以 下	30 ～ 39 歳	40 ～ 49 歳	50 ～ 59 歳	60 ～ 64 歳	65 ～ 69 歳	70 歳 以 上	合　計	備　考
教　授	博　士	人	人	1人	2人	2人	1人	人	6人	
	修　士	人	人	人	人	人	人	人	人	
	学　士	人	人	人	人	人	人	人	人	
	短期大学士	人	人	人	人	人	人	人	人	
	その他	人	人	人	人	人	人	人	人	
准教授	博　士	人	人	3人	人	人	人	人	3人	
	修　士	人	人	人	人	人	人	人	人	
	学　士	人	人	人	人	人	人	人	人	
	短期大学士	人	人	人	人	人	人	人	人	
	その他	人	人	人	人	人	人	人	人	
講　師	博　士	人	人	人	人	人	人	人	人	
	修　士	人	人	人	人	人	人	人	人	
	学　士	人	人	人	人	人	人	人	人	
	短期大学士	人	人	人	人	人	人	人	人	
	その他	人	人	人	人	人	人	人	人	
助　教	博　士	人	4 ~~3~~ ~~4~~人	3 ~~2~~ ~~1~~人	0 ~~1~~人	人	人	人	7 ~~6~~人	
	修　士	人	人	人	人	人	人	人	人	
	学　士	人	人	人	人	人	人	人	人	
	短期大学士	人	人	人	人	人	人	人	人	
	その他	人	人	人	人	人	人	人	人	
合　計	博　士	人	4 ~~3~~ ~~4~~人	7 ~~6~~ ~~5~~人	2 ~~3~~人	2人	1人	人	16 ~~15~~人	
	修　士	人	人	人	人	人	人	人	人	
	学　士	人	人	人	人	人	人	人	人	
	短期大学士	人	人	人	人	人	人	人	人	
	その他	人	人	人	人	人	人	人	人	